

## 目 次

|             |     |
|-------------|-----|
| 国 語         | 1   |
| 書 写         | 9   |
| 社会（地理的分野）   | 15  |
| 社会（歴史的分野）   | 23  |
| 社会（公民的分野）   | 34  |
| 地 図         | 40  |
| 数 学         | 43  |
| 理 科         | 52  |
| 音楽（一般）      | 57  |
| 音楽（器楽合奏）    | 62  |
| 美 術         | 67  |
| 保健体育        | 79  |
| 技術・家庭（技術分野） | 88  |
| 技術・家庭（家庭分野） | 96  |
| 英 語         | 106 |
| 道 徳         | 125 |

# 教科書の調査研究報告書

様式2

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |    |                    |            |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種  | 教科 | 教科用図書目録に記載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 国語 | 4                  | 8          |

## 調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点     | 2 東書  | 15 三省堂   | 17 教出  | 38 光村  |
|---------------|---|--|--|--|
| 知識及び<br>技能の習得 | <p><b>【視点】② 情報の扱い方に関する事項</b><br/> <b>【方法】○ 情報の扱い方に関する事項の示し方及び教材名等</b></p>   |  |  |  |
|               | <p>○情報の扱い方に関する事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年とも、本編に情報活用に係る単元を設定し、「情報と論理の学び」の前後に、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」、「読むこと」と「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</li> <li>各学年とも、資料編に情報活用に係る教材「思考のヒント」を掲載している。</li> </ul> | <p>○情報の扱い方に関する事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年とも、本編に情報活用に係り、「情報を関係づける」という単元を設定し、教材の掲載前に、情報の扱い方について説明している。資料を1つは掲載している。また、同単元内に「話すこと・聞くこと」又は「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</li> <li>各学年とも、資料編に「社会生活に生かす」として、情報活用に係る教材「著作権と引用」「メモを活用する」を掲載している。</li> </ul> | <p>○情報の扱い方に関する事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年とも、本編の情報活用に係る単元、第1学年「情報を得る」、第2学年「情報を捉える」、第3学年「情報を共有する」を設定し、第1・3学年は教材を4つ、第2学年は教材を3つ掲載している。</li> <li>各学年の単元内において、教材内容を活かして「書くこと」の活動の教材を1つは掲載している。また、「学びナビ」の中で、これまでの学習を踏まえた解説を加えると同時に、情報の扱い方を</li> </ul> | <p>○情報の扱い方に関する事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報×SDGs」を設定し、教材を1つは掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</li> <li>第2・3学年の資料編において、情報の整理に関する資料を掲載している。</li> </ul> |

|  |   |  |  |  |
|--|---|--|--|--|
|  | <p>○情報の扱い方に関する教材名<br/>(第2学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ネコだって推理できる」情報と論理の学び 情報の関係の表し方</li> <li>・「地域の魅力」の紹介文 効果的に伝えよう</li> <li>・「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」情報と論理の学び 意見と根拠の吟味</li> <li>・「「地図」の意見文」 根拠を吟味して書こう</li> <li>・「「正しい」言葉は信じられるか」</li> <li>・情報と論理の学び 具体と抽象</li> <li>・「プレゼンテーション」説得力のある提案をしよう</li> </ul> | <p>○情報の扱い方に関する教材名等<br/>(第2学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 情報を関係づける</li> <li>・マンガ「情報の扱い方」「水問題」って何？何が原因？</li> <li>・資料A 「100年後の水を守る」</li> <li>・資料B 「飲み水は不足しているか」</li> <li>・資料C 水問題に関する資料</li> <li>・投稿文「複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す」</li> </ul> | <p>掲載している。</p> <p>○情報の扱い方に関する教材名等<br/>(第2学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四 情報を捉える</li> <li>・「総合(SDGs)」持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える</li> <li>・「どう思いますか」—新聞投書から言葉を考える</li> <li>・「「ここにいる」を言う意味」</li> <li>・「一〇〇年後のみなさんへ」</li> <li>・「紙の建築」</li> <li>・「構成を明確にして説明文を書く」</li> </ul> | <p>○情報の扱い方に関する教材名等<br/>(第2学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報整理のレッスン「思考の視覚化」</li> <li>・「情報を整理して伝えよう」職業ガイドを作る</li> <li>・「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」—災害時における情報収集</li> <li>・「デジタル市民として生きる」</li> <li>・思考のレッスン1「根拠の吟味」</li> <li>・「適切な根拠を選んで書こう」意見文を書く</li> <li>・思考のレッスン2「具体と抽象」</li> </ul> |
| <p><b>【視点】③ 我が国の言語文化に関する事項</b></p>                                   |   |  |  |  |
| <p><b>【方法】○ 伝統的な言語文化に関する単元名・教材名及び関連する資料、読書に関わる内容及び紹介されている書籍数</b></p> |   |  |  |  |
|  | <p>○伝統的な言語文化に関する単元名・教材名、伝統的な言語文化に関連する資料(第1学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 伝統文化に親しむ</li> <li>・「移り行く浦島太郎の物語」</li> <li>・「伊曾保物語」</li> <li>・古典コラム 古典の仮名遣い</li> <li>・「竹取物語」</li> <li>・古典コラム 古典の言葉とその意味</li> </ul>   | <p>○伝統的な言語文化に関する単元名・教材名、伝統的な言語文化に関連する資料(第1学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5 古典に学ぶ</li> <li>・月を思う心</li> <li>・「竹取物語」</li> <li>・語彙を豊かに 古語と現代語で異なる意味の語</li> <li>・古文の読み方—古典の仮名遣い</li> <li>・「このあたり」ってどのあたり？</li> </ul>                       | <p>○伝統的な言語文化に関する単元名・教材名、伝統的な言語文化に関連する資料(第1学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五 古典にふれる</li> <li>・「昔話と古典—箱に入った桃太郎—」</li> <li>・「物語の始まり—竹取物語—」</li> <li>・古典の仮名遣い、いろは歌</li> <li>・故事成語—中国の名言—</li> <li>・漢文の読み方</li> </ul>   | <p>○伝統的な言語文化に関する単元名・教材名、伝統的な言語文化に関連する資料(第1学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 いにしへの心にふれる</li> <li>・古典の世界</li> <li>・音読を楽しむ「いろは歌」</li> <li>・「蓬萊の玉の枝—「竹取物語」から」</li> <li>・古典の言葉</li> <li>・「今に生きる言葉」</li> </ul>   |

|  |   |  |  |  |
|--|---|--|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 受け継がれる「竹取物語」</li> <li>・「矛盾 「韓非子」より」</li> <li>・資料 ほかの故事成語について知ろう</li> <li>・古典コラム 漢文の読み方</li> </ul> <p>○読書に関わる内容及び紹介されている書籍数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも、教材末や単元末、資料編に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。また、資料編に読書案内「中学生におすすめの本」を掲載している。</li> </ul> <p>【書籍紹介数】 3 学年合計 312 冊</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「故事成語－矛盾」</li> <li>・漢文の読み方－訓読の仕方</li> </ul> <p>○読書に関わる内容及び紹介されている書籍数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも、資料編「読書の広場」の「小さな図書館」内で書籍紹介を掲載するとともに、日本十進法及び本の構造について掲載している。なお、各学年とも、「読書の広場」に第 1 学年 5 作品、第 2・3 学年 4 作品の読書教材を掲載している。</li> </ul> <p>【書籍紹介数】 3 学年合計 280 冊</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・四季のたより春、夏、秋、冬</li> </ul> <p>○読書に関わる内容及び紹介されている書籍数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも、各単元末と資料編に「広がる本の世界」として書籍紹介を掲載している。</li> </ul> <p>【書籍紹介数】 3 学年合計 258 冊</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・故事成語を使って体験文を書こう</li> <li>・漢文を読む</li> <li>・季節のしおり 春、夏、秋、冬</li> </ul> <p>○読書に関わる内容及び紹介されている書籍数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料編において、各学年とも 2 作品の読書教材を掲載している。また、第 1 学年は「読書感想文の書き方」を掲載している。</li> </ul> <p>【書籍紹介数】 3 学年合計 340 冊</p> |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p>                     | <p>【視点】④ 自分の考えを形成する活動の工夫</p> <p>【方法】○ 話し合いに関する単元の内容の扱い</p>  |  |  |  |
|  | <p>(第 3 学年「話し合うこと」における合意形成に関する単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行の仕方を工夫したり、互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意を形成するよう示している。</li> </ul>  | <p>(第 3 学年「話し合うこと」における合意形成に関する単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりするよう示している。</li> </ul>  | <p>(第 3 学年「話し合うこと」における合意形成に関する単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの進行の仕方を理解し、互いの考えを尊重しながら話し合い、結論を出すよう示している。</li> </ul>   | <p>(第 3 学年「話し合うこと」における合意形成に関する単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な考え方を認め、互いの考えを生かしながら話し合い、合意形成を旨とするよう示している。</li> </ul>  |
|  | <p>【視点】⑤ 内容を解釈するための本文記述と図表等の関連</p> <p>【方法】○ 文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等、図表等の種類及び数</p>   |  |  |  |
| <p>○文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等 (第 2 学年)</p> | <p>○文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等 (第 2 学年)</p>  | <p>○文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等 (第 2 学年)</p>   | <p>○文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等 (第 2 学年)</p>   |  |

|               |  |  |  |  |
|---------------|--|--|--|--|
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 ネコだって推理できる、黄金の扇風機、「正しい」言葉は信じられるか</li> <li>・説明的文章の教材数 3<br/>総ページ数 18</li> <li>○図表等の種類及び数</li> <li>・図表等の掲載数 14<br/>(図 4、グラフ 3、写真 5、絵 2)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 人間は他の星に住むことができるのか、壁に残された伝言、味は味覚だけでは決まらない</li> <li>・説明的文章の教材数 3<br/>総ページ数 19</li> <li>○図表等の種類及び数</li> <li>・図表等の数 14<br/>(図 6、写真 5、グラフ 3)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 日本の花火の楽しみ、水の山 富士山、紙の建築</li> <li>・説明的文章の教材数 3<br/>総ページ数 18</li> <li>○図表等の種類及び数</li> <li>・図表等の数 22<br/>(図 5、写真 16、絵 1)</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 クマゼミ増加の原因を探る、モアイは語る—地球の未来、君は「最後の晚餐」を知っているか</li> <li>・説明的文章の教材数 3<br/>総ページ数 24</li> <li>○図表等の種類及び数</li> <li>・図表等の数 28<br/>(図 8、写真 8、グラフ 6、絵 9)</li> </ul>                 |
| 主体的に学習に取り組む工夫 | <p><b>【視点】⑥ 問題解決的な学習を実施するための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動</b></p>   |  |  |  |
|               | <p>○実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動<br/>(第 3 学年 書くこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的に伝える 「環境」の新聞編集して伝えよう</li> <li>・目的や意図に応じて文章の種類を選択し、構成や表現を工夫することを目標として示している。</li> </ul> | <p>○実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動<br/>(第 3 学年 書くこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に学ぶ 漢字一字「自分自身や社会を見つめる」</li> <li>・文章を読み合っ、お互いの表現のよい点を見つけることを目標として示している。</li> </ul>      | <p>○実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動<br/>(第 3 学年 書くこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理を築く 「客観性や信頼性のある記事を書く」</li> <li>・目的に応じて題材を決め、伝えたいことを明確にして記事にすることを目標として示している。</li> </ul> | <p>○実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動<br/>(第 3 学年 書くこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの考えを 「考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く」</li> <li>・自分の考えが効果的に伝わるように、表現のしかたや論理の展開を工夫し、助言し合うことを目標として示している。</li> </ul> |
|               | <p><b>【視点】⑧ 学習を振り返るための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 学習の振り返りの示し方及び具体例</b></p>  |  |  |  |
|               | <p>○振り返りの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りには、目標に対して学んだことを振り返るように促している。</li> </ul>   | <p>○振り返りの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標で示した項目を「思考の方法」を用いて学習し、それについて自分の言葉で振り返るようになっている。</li> </ul>  | <p>○振り返りの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標で示した項目を「学びナビ」を用いて学習し、「振り返り」で確認するようになっている。</li> </ul>  | <p>○振り返りの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標で示した項目を「学びのカギ」を用いて学習し、「振り返り」で確認するようになっている。</li> </ul>   |

|  |  |   |  |   |
|--|--|---|--|---|
|  | <p>○学習の振り返りの具体例<br/>(第1学年「話すこと・聞くこと」スピーチ)</p> <p>単元名 伝え方を考える<br/>教材名 「似ている言葉」スピーチ</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の中心を明確にし、事実と考えるとの関係に注意して、構成を考える。</li> <li>・聞き手の反応を踏まえて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。</li> </ul> <p>問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすいスピーチをするためには、構成や話し方をどのように工夫したらいいんだろう。</li> </ul> <p>振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの構成や、聞き手の反応を踏まえた話し方について学んだことを振り返り、これからの生活に生かそう。</li> </ul> | <p>○学習の振り返りの具体例<br/>(第1学年「話すこと・聞くこと」スピーチ)</p> <p>単元名 論理的に考える<br/>教材名 スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。</li> <li>・聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。</li> </ul> <p>思考の方法 ・順序立てる</p> <p>学びを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成を工夫して魅力を伝えるためには、どんなことが大切か、学んだことを自分の言葉でまとめましょう。</li> <li>・「振り返りのキーワード」最も伝えたいこと・事実・理由づけ</li> </ul> | <p>○学習の振り返りの具体例<br/>(第1学年「話すこと・聞くこと」スピーチ)</p> <p>単元名 論理を知る<br/>教材名 「構成を考えて話す」</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらスピーチの構成を考える。</li> <li>・相手の反応を見て、それに応じた表現の仕方を工夫する。</li> </ul> <p>学びナビ ・構成を考える方法</p> <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の構成、表現の仕方などに気をつけて説明をしているか。</li> <li>・相手や場の状況に応じて表現を工夫しながら話しているか。</li> </ul> | <p>○学習の振り返りの具体例<br/>(第1学年「話すこと・聞くこと」スピーチ)</p> <p>単元名 学びをひらく<br/>教材名 話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチする</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさや速さ、間の取り方などを意識して話す。(知る)</li> <li>・自分の伝えたいことが、わかりやすく伝わるように、話の構成や表現を工夫する。(話・聞)</li> </ul> <p>学びのカギ ・わかりやすい話の構成を考える</p> <p>振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「知る」声の大きさや間の取り方などを、どのように工夫したか。</li> <li>・「話す・聞く」自分の伝えたいことが、聞き手にはっきりとわかりやすく伝わるように、スピーチの構成や表現で工夫した点は何か。</li> <li>・「つなぐ」今回学んだことの中で、次にスピーチをするときに生かしたいことを挙げてみよう。</li> </ul> |
|--|--|---|--|---|

|                    |  |   |   |  |
|--------------------|--|---|---|--|
| <p>内容の構成・配列・分量</p> | <p><b>【視点】⑨ 単元の構成</b><br/> <b>【方法】○ 単元内の教材等の配列及び具体例</b></p>  |   |   |  |
|                    | <p>○「読むこと」教材と、「書くこと」教材、または「話すこと・聞くこと」教材がセットで単元構成されている。</p> <p>○単元内の教材等の配列の具体例（第2学年「走れメロス」）</p> <p>8 描写を味わう</p> <p>思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読む〈文学3〉「走れメロス」</li> <li>・てびき</li> <li>・書く〈感性・想像〉「短歌から始まる物語 いきいきと描き出そう」</li> <li>・話す・聞く〈話し合う〉「リンクマップによる話し合い 話し合いで問題を検討しよう」</li> </ul> <p>知識及び技能教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法の窓3「助詞・助動詞 絵に合う助詞・助動詞を探そう」</li> <li>○ 漢字道場7「他教科で学ぶ漢字(2)」</li> </ul> | <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。</p> <p>○単元内の教材等の配列の具体例（第2学年「走れメロス」）</p> <p>9 振り返って見つめる</p> <p>思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小説「走れメロス」</li> <li>・学びの道しるべ</li> <li>・読み方を学ぼう⑧心情把握</li> <li>・コラム「走れメロス」とシラーの「人質」</li> <li>・「走れメロス」から広げて読む 太宰治の世界</li> </ul> <p>知識及び技能教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字を身につけよう⑨</li> </ul> <p>思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話す・聞く／書く 「情報誌 地域の魅力を振り返って」</li> </ul> | <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。</p> <p>○単元内の教材等の配列の具体例（第2学年「走れメロス」）</p> <p>九 表現を味わう</p> <p>思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びナビ 想像・イメージ</li> <li>・詩「豚」</li> <li>・学びナビ 語り手の位置</li> <li>・小説「走れメロス」</li> <li>・みちしるべ</li> </ul> <p>知識及び技能教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の小窓3「類義語・対義語・多義語・同音語」</li> </ul> <p>思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「連作ショートショートを書く」</li> </ul> <p>知識及び技能教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字の広場4「同音の漢字 こうプレーにこう奮」</li> <li>○広がる本の世界9</li> </ul> | <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。</p> <p>○単元内の教材等の配列の具体例（第2学年「走れメロス」）</p> <p>8 表現を見つめる</p> <p>思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小説「走れメロス」</li> <li>・学びへの扉</li> <li>・学びのカギ 人物像に着目する</li> </ul> <p>知識及び技能教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字に親しもう5</li> <li>・文法への扉3「一字違いで大違い」</li> </ul> <p>思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く「描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く」</li> <li>・学びのカギ 表現の効果を考えて描写する</li> </ul> <p>知識及び技能教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉3「話し言葉と書き言葉」</li> <li>○漢字3「送り仮名」</li> </ul> <p>思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話す・聞く／書く「国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」</li> </ul> |

|          |   |  |  |  |
|----------|---|--|--|--|
|          |   |  |  | を考え、コピーを作る」<br>・学びのカギ これまでの学びを価値づける<br>○詩「鍵」<br>・学びへの扉   |
|          | <b>【視点】⑩ 単元・教材等の配列</b><br><b>【方法】○ 配列の特徴、総単元数、思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数</b>  |  |  |  |
|          | ○配列の特徴<br>・「読むこと」は、教材文の後に「てびき」がある。「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材は、教材の中に「てびき」の項目がある。<br>○1 学年本編総ページ数 143<br>○思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数<br>「話すこと・聞くこと」12<br>「書くこと」18<br>「読むこと」113 | ○配列の特徴<br>・「読むこと」は、教材の前後に「読み方を学ぼう」がある。<br>○1 学年本編総ページ数 168<br>○思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数<br>「話すこと・聞くこと」14<br>「書くこと」28<br>「読むこと」126      | ○配列の特徴<br>・「読むこと」は、教材の前に「学びナビ」(見通し)を、教材文の後ろに「みちしるべ」(学習のてびき)がある。<br>○1 学年本編総ページ数 149<br>○思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数<br>「話すこと・聞くこと」12<br>「書くこと」13<br>「読むこと」124 | ○配列の特徴<br>・「読むこと」は、教材の終わりに「学習の窓」がある。<br>○1 学年本編総ページ数 151<br>○思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数<br>「話すこと・聞くこと」18<br>「書くこと」23<br>「読むこと」110            |
|          | <b>【視点】⑪ 巻末資料の示し方</b><br><b>【方法】○ 巻末資料の示し方、内容及びページ数</b>   |  |  |  |
| 内容の表現・表記 | ○巻末資料の示し方<br>・「文法解説」「資料編」として全学年に示している。<br>(第1 学年)<br>・「文法解説」 12<br>・「トロッコ」等 3編 19<br>・さまざまな古典作品「古事記」等 3   | ○巻末資料の示し方<br>・「文法のまとめ」「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料」として全学年に示している。<br>(第1 学年)<br>・文法のまとめ 13<br>・読書の広場「小さな図書館」 6<br>・読書の広場「日本十進分類法」「本の構造」 2 | ○巻末資料の示し方<br>・「言葉と文法(解説編)」「言葉の自習室」「漢字」として全学年に示している。<br>(第1 学年)<br>・「言葉(解説)」 12<br>・「文法(解説)」 13<br>・「銀のしずく降る降る」等 4編 19                                  | ○巻末資料の示し方<br>・学びを深める「文法」「漢字」「国語の力試し」「語彙ブック」「資料編」として全学年に示している。<br>(第1 学年)<br>・「文法」 15<br>・「[漢字練習]小学校六年生で学習した漢字」等 5<br>・国語の力試し「読む力」「話す力」 |

|   |  |   |  |   |
|---|--|---|--|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内「中学生におすすめの本」 4</li> <li>・「学習の前に」「原稿用紙の使い方・推敲の観点」等 10</li> <li>・「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」 13</li> <li>・「主なデジタルコンテンツ」「デジタルコンテンツ一覧」折込(5)</li> <li>・「言葉の力一覧」 2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の広場「電車は走る」等 6編 34</li> <li>・読書の広場「落語の世界」「落語桃太郎」 6</li> <li>・読書の広場「日本文学名作集」「小倉百人一首」 10</li> <li>・社会生活に生かす「著作権と引用」等 16</li> <li>・「学習用語辞典」 6</li> <li>・「語彙の広がり」接頭語・接尾語等 4</li> <li>・「五十音図とローマ字」「日本語と英語の音節」 2</li> <li>・「一年生で学ぶ漢字字典」「一年生で学ぶ音訓」等 28</li> <li>・二次元コード参照先コンテンツ一覧 2</li> <li>・「読み方を学ぼう一覧」折込(5)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伝統芸能へのいざない 落語」 1</li> <li>・「十二支と月の呼び名」等 6</li> <li>・「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」等 7</li> <li>・「一年生で学習した漢字」等 28</li> <li>・「ふるさと」を巡る 2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>聞く力」等 5</li> <li>・語彙ブック「情景を表す言葉」等 8</li> <li>・「学びのカギ」一覧(「文学的な文章を読むために」等) 6</li> <li>・発想を広げる「表現テーマ例集」等 8</li> <li>・資料「幻の魚は生きていた」「坊ちゃん」 14</li> <li>・「言葉としぐさの伝統芸能」等 4</li> <li>・漢字「一年生で学習した漢字」等 29</li> <li>・「学習のための用語一覧」 2</li> <li>・ICT活用のヒント 2</li> </ul> |
| <p><b>【視点】⑫ デジタルコンテンツの活用</b><br/> <b>【方法】○ デジタルコンテンツの数と扱い</b></p>   |  |   |  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○二次元コードからつながる数 58 個</li> <li>○デジタルコンテンツの扱い</li> <li>・動画による教科書の編集意図(国語を学ぶ意義)や思考方法(ツール)、探究学習への活用につながる二次元コードがある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○二次元コードからつながる数 78 個</li> <li>○デジタルコンテンツの扱い</li> <li>・デジタル作品を全 88 作品、外部サイトへのリンクによる図書館検索、外部サイトへのリンクによる読書活動などにつながる二次元コードがある。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○二次元コードからつながる数 48 個</li> <li>○デジタルコンテンツの扱い</li> <li>・選書の仕方、読書活動、図書紹介や動画によるワールドカフェの仕方やジグソー学習の仕方につながる二次元コードがある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○二次元コードからつながる数 68 個</li> <li>○デジタルコンテンツの扱い</li> <li>・Web上の力試し問題につながる二次元コードがある。</li> </ul>   |   |

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |    |                    |            |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種  | 教科 | 教科用図書目録に記載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 書写 | 4                  | 6          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点     | 2 東書  | 15 三省堂  | 17 教出  | 38 光村   |
|---------------|---|---|--|---|
| 知識及び<br>技能の習得 | <p><b>【視点】① 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</b><br/> <b>【方法】○ 正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等及びページ数</b></p>   |   |  |   |
|               | <p><b>【写真】</b><br/>                     ・文字を整えて書くための姿勢(毛筆、硬筆)<br/>                     ・用具の名前・置き方<br/>                     ・書きやすい鉛筆の持ち方<br/>                     ・書きやすい筆の持ち方(大筆：双鉤法・単鉤法・懸腕法、小筆：提腕法・枕腕法)<br/>                     ・後かたづけ(大筆、小筆、硯)<br/> <b>【イラスト・写真】</b><br/>                     ・墨のすり方<br/> <b>【ページ数】</b> 2</p> | <p><b>【写真】</b><br/>                     ・姿勢と構え方(毛筆：懸腕法、硬筆)<br/>                     ・大筆の持ち方(双鉤法・単鉤法)、小筆の持ち方・構え方(提腕法・枕腕法)<br/>                     ・用具の扱い方(用具の準備・墨のすり方・用具の片づけ方)<br/>                     ・鉛筆の持ち方<br/> <b>【イラスト】</b><br/>                     ・筆の選び方(筆圧・穂先・軸の傾き・腕の動き)と「筆脈を意識しよう」<br/> <b>【ページ数】</b> 5</p> | <p><b>【写真】</b><br/>                     ・基本の姿勢(大筆：懸腕法)<br/>                     ・用具の置き方<br/>                     ・毛筆の持ち方(大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：枕腕法・提腕法)<br/>                     ・硬筆の持ち方(鉛筆・ボールペン)<br/>                     ・墨のすり方<br/>                     ・後片づけ<br/> <b>【ページ数】</b> 2</p> | <p><b>【写真】</b><br/>                     ・書くときの姿勢(大筆、姿勢のチェック欄)<br/>                     ・タブレットを使う姿勢<br/>                     ・筆記具の持ち方(大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：提腕法・枕腕法、鉛筆)<br/>                     ・用具の準備<br/>                     ・用具の片づけ(大筆、小筆、硯)<br/> <b>【ページ数】</b> 4</p> |
|               | <p><b>【視点】② 文字の書き方の示し方</b><br/> <b>【方法】○ 筆使い及び紙面構成等の示し方</b></p>   |   |  |   |
|               | 1 筆使い   | 1 筆使い   | 1 筆使い  | 1 筆使い   |

|                        |  |   |   |  |
|------------------------|--|---|---|--|
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1 見つけよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを、点線で筆脈を示している。</li> <li>・ポイントとなる箇所、「行書の動きのパターン」に当てはまる筆使いをマークで示している。</li> </ul> <p>2 紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページ</li> <li>・右ページに学習のポイントを示し、左ページ全面に主教材の文字を示している。</li> <li>・「見つけよう」では、楷書と行書で書かれた硬筆の文字を上下に示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書き方を学ぼう」では、矢印や点線で筆脈を示し、言葉で解説している。</li> <li>・主教材となる文字の行書（朱墨と薄墨）と、楷書（黒墨）を並べて示している。</li> </ul> <p>2 紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページ</li> <li>・右ページに書き方のポイントを示し、左ページ全面に主教材の文字を示している。</li> <li>・「形の変化」では、楷書と行書で書かれた毛筆の文字を上下に示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを、矢印や点線で筆順と筆脈を示し、言葉で解説している。</li> <li>・ポイントとなる箇所、「変化」という文字と写真で筆使いを示している。</li> </ul> <p>2 紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページ</li> <li>・左ページにポイントを示し、右ページ全面に主教材の文字を示している。</li> <li>・「試し書き」では、硬筆の楷書で字形を確認し、その下に硬筆の行書で書く欄を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「② 確かめよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを示すとともに、ポイントとなる箇所、写真と言葉で筆使いを示している。</li> <li>・半紙原寸大の主教材の文字の横に、朱墨と薄墨で筆使いを示している。</li> </ul> <p>2 紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4ページ</li> <li>・見開き2ページで、学習の進め方を示している。</li> <li>・次の見開き2ページで、半紙原寸大の主教材の文字を示している。</li> <li>・「考えよう」では、楷書と行書で書かれた毛筆の文字を左右に並べて示している。</li> </ul> |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p> | <p><b>【視点】③ 目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 目的や必要に応じた書き方を扱う場面の設定例</b></p>   |   |   |  |
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標」では、「楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要か、理解しよう」と示している。</li> <li>・「見つけよう」では、場面に応じて楷書と行書のどちらで書くかを考えるようにしている。</li> <li>・「確かめよう」では、手紙を書くには楷書と行書のどちらで書く</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標」では、「目的や必要に応じて、書体を選択して書くことができる」と示している。</li> <li>・「①」では、場面に応じて、楷書と行書のどちらで書くとよいか、理由も含めて話し合うようにしている。</li> <li>・「②」では、選択した書体で実際に書く欄を設けている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標」では、「書写の学習で身に着けた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう」と示している。</li> <li>・学習活動や日常生活の中で、場面に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合えるようにしている。</li> <li>・「振り返ろう」では、評価の観点</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標」では、「場面に応じて、楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解しよう」と示している。</li> <li>・「考えよう」では、場面に応じて、楷書と行書のどちらで書くかを考えるようにしている。</li> <li>・「生かそう」では、場面を選んで、楷書か行書で名前を書くように</li> </ul>  |

|  |   |  |   |  |
|--|---|--|---|--|
|  | <p>かを考えるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書写のかぎ」では、楷書と行書の特徴や使い分ける際の観点を示している。</li> <li>・インタビューメモ・試験の申し込み書を、楷書と行書で書き分けた例を掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・書体を使い分ける際に意識することとして、「読み手」「目的」「状況」という観点を示している。</li> </ul> | <p>について「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入する欄を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような点に注意するとよいか、話し合うための観点を示している。</li> <li>・楷書や行書が使われている場面の写真を掲載している。</li> <li>・教科書右下にある二次元コードから、話し合いの観点を整理するワークシートにアクセスできる。</li> </ul> | <p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのカギ」では、楷書と行書を使い分ける際の観点を示している。</li> </ul> |
|--|---|--|---|--|

|                                |  |  |   |  |
|--------------------------------|--|--|---|--|
| <p>主体的に<br/>学習に取り組む<br/>工夫</p> | <p><b>【視点】⑤ 学習の見通しを立てるための構成上の工夫</b><br/> <b>【方法】○ 学習過程の示し方と構成及び示し方の特徴</b></p>  |  |   |  |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書写の学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示している。</li> <li>・「1 見つけよう」では、「書写のかぎ」を見つけるための視点を示している。</li> <li>・「書写のかぎ」は目標を達成できるよう、箇条書きで記載されている。</li> <li>・「3 生かそう」や「生活に広げよう」では、学んだことを他の文字や生活の中で生かすための活動などを示している。</li> <li>・「振り返ろう」では、学習を通して理解したことを自分の書き</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この教科書の使い方」では、「教材の構成」と「学習の流れ」を上下2段で対応させて示している。</li> <li>・「学習の流れ」では、単元における学習の流れを示し、「教材の構成」で示している縮小した教材と照らし合わせることで学習の流れの具体を想起させる構成となっている。</li> <li>・「書き方を学ぼう」で身に付けた書き方のポイントを意識して毛筆で書き、「書いて身につけよう」では学びを生かして硬筆で書くことで、学んだことの定着</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。</li> <li>・学習の目標を確かめた後、硬筆や毛筆で試し書きをすることで「考えよう」において自分の課題が見付けやすい構成となっている。</li> <li>・「考えよう」では、具体的に話し合う活動をさせるために「書写の学習用語」を示している。</li> <li>・「生かそう」では、まとめとして書いた文字を試し書きと比べる活動を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中学書写スタートブック」の「学習の進め方」では、上段に「学習の進め方」下段に「タブレットを活用しよう」を設け、学習の過程におけるタブレットの活用例を示している。</li> <li>・「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。</li> <li>・「考えよう」では、課題について考えたり話し合ったりする活動を示している。</li> <li>・「生かそう」では、硬筆で書いたり、学校生活でも書写の学習を</li> </ul> |

|  |   |   |  |  |
|--|---|---|--|--|
|  | <p>た文字で振り返ったり、学習してきたことをどのように活用したかを話し合ったりする活動を示している。</p>   | <p>を図るような構成となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末の「自分が学んだことを書き残そう」では、学んだことを自分の言葉でまとめることができる記入欄を設けている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点到に沿って「できた=○」「もう少し=△」で自己評価できる欄を設けている。</li> </ul>   | <p>生かしたりできることを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「振り返ろう」では、目標の上に「○」枠を設け、振り返ることができたら「✓」を記入する欄を設けている。</li> </ul>   |
| <p><b>【視点】⑥ 自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 学習の目標及び振り返りの示し方</b></p> |   |   |  |  |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標」と明記し、学習のまとめごとにページ右下部に目標を示している。</li> <li>・「振り返ろう」と明記し、目標と対応させ、学習のまとめごとに振り返りを示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標」と明記し、学習のまとめごとにページ右下部に目標を示している。</li> <li>・振り返りのマークとともに、振り返りを示している。</li> <li>・単元末には、「振り返ろう」と明記し、学習したことを硬筆で書き直す枠を設けるとともに、学んだことを自分の言葉で書く欄を設けている。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標」と明記し、目標のマークとともに学習のまとめの最初のページに目標を示している。</li> <li>・「振り返ろう」と明記し、振り返りのマークを示し、評価の観点到に沿って「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入する欄を設けている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の冒頭に「点画の種類①～⑨」を示している。</li> <li>・学習のまとめごとに目標を示している。</li> <li>・目標の下に目標が達成できたかチェックを入れる「振り返ろう」欄を設けている。</li> </ul>  |
| 内容の構成・配列・分量  | <p><b>【視点】⑦ 単元・教材等の配列・分量</b></p> <p><b>【方法】○ 総ページ数、毛筆教材数・ページ数・毛筆教材例及び硬筆記入欄のページ数</b></p>   |   |  |  |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数<br/>1 学年 (39+折込4)<br/>2 学年 (25+折込4)<br/>3 学年 (17+折込8)<br/>資料編等 (46)</li> <li>・毛筆教材数<br/>1 学年 (11)<br/>2 学年 (9)<br/>3 学年 (5)<br/>資料編等 (0)</li> <li>・毛筆教材を扱うページ数<br/>1 学年 (20)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数<br/>1 学年 (34)<br/>2 学年 (22)<br/>3 学年 (9)<br/>資料編等 (33+折込12)</li> <li>・毛筆教材数<br/>1 学年 (7)<br/>2 学年 (4)<br/>3 学年 (1)<br/>資料編等 (14)</li> <li>・毛筆教材を扱うページ数<br/>1 学年 (16)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数<br/>1 学年 (57+折込8)<br/>2 学年 (30+折込4)<br/>3 学年 (13+折込4)<br/>資料編等 (30)</li> <li>・毛筆教材数<br/>1 学年 (12)<br/>2 学年 (9)<br/>3 学年 (6)<br/>資料編等 (13)</li> <li>・毛筆教材を扱うページ数<br/>1 学年 (24)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数<br/>1 学年 (27)<br/>2 学年 (21)<br/>3 学年 (23)<br/>資料編等 (46+折込16)</li> <li>・毛筆教材数<br/>1 学年 (6)<br/>2 学年 (4)<br/>3 学年 (2)<br/>資料編等 (21)</li> <li>・毛筆教材を扱うページ数<br/>1 学年 (22)</li> </ul> |

|   |   |  |  |  |
|---|---|--|--|--|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 学年 (14)</li> <li>3 学年 (6)</li> <li>資料編等 (0)</li> <li>・硬筆記入欄のページ数</li> <li>1 学年 (10)</li> <li>2 学年 (8)</li> <li>3 学年 (1)</li> <li>資料編等 (0)</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 学年 (8)</li> <li>3 学年 (1)</li> <li>資料編等 (15)</li> <li>・硬筆記入欄のページ数</li> <li>1 学年 (11)</li> <li>2 学年 (9)</li> <li>3 学年 (2)</li> <li>資料編等 (0)</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 学年 (14)</li> <li>3 学年 (7)</li> <li>資料編等 (3)</li> <li>・硬筆記入欄のページ数</li> <li>1 学年 (12)</li> <li>2 学年 (11)</li> <li>3 学年 (2)</li> <li>資料編等 (0)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 学年 (12)</li> <li>3 学年 (2)</li> <li>資料編等 (13)</li> <li>・硬筆記入欄のページ数</li> <li>1 学年 (6) 書写ブック (11)</li> <li>2 学年 (6) 書写ブック (6)</li> <li>3 学年 (4) 書写ブック (4)</li> <li>資料編等 (5)</li> </ul> |
| <p><b>【視点】⑧ 伝統と文化に関する内容の記述</b></p> <p><b>【方法】○ 伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い</b></p> |   |  |  |  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・明朝体の始まりを扱っている。(2)</li> <li>・平仮名の成り立ちを扱っている。(2)</li> <li>・文字の変遷を扱っている。(2)</li> <li>・書き初めを扱っている。(5)</li> <li>・平安時代から伝わる「いろは歌」を扱っている。(1)</li> <li>・「少年の日の思い出」「竹取物語」を扱っている。(1)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名の発生、楷書の教材として「いろは歌」を扱っている。(2)</li> <li>・5つの書体を扱っている。(2)</li> <li>・毛筆道具と進化する筆記具の変遷を扱っている。(4)</li> <li>・発展的な学習の教材として、高等学校の学習内容である王羲之と光明皇后の書を扱っている。(2)</li> <li>・書き初めを扱っている。(12)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文房四宝を扱っている。</li> <li>・仮名の成立として「いろは歌」を扱っている。</li> <li>・「竹取物語」を扱っている。</li> <li>・文字の変遷について扱っている。</li> <li>・行書の起源と特徴を扱っている。</li> <li>・日本の歴史上の人物の書や手紙等を扱っている。</li> <li>・書き初めを扱っている。</li> <li>・過去から現代に至る手書き文化について扱っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書として「いろは歌」を扱っている。</li> <li>・文字の歴史を扱っている。</li> <li>・古典や和歌・短歌・俳句を扱っている。</li> <li>・書き初めの由来や全国の書き初め文化、書き初めのポイントを扱っている。</li> <li>・書き初めを扱っている。</li> </ul>                                 |
| 内容の表現・表記  | <p><b>【視点】⑨ デジタルコンテンツの活用</b></p> <p><b>【方法】○ デジタルコンテンツの数・内容及び扱い</b></p>   |  |  |  |
|   | <p><b>【数・内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コード数 (33)</li> <li>・資料数 (68)</li> <li>・毛筆書字動画 (38)</li> <li>・硬筆書字動画 (0)</li> </ul>  | <p><b>【数・内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コード数 (41)</li> <li>・資料数 (69)</li> <li>・毛筆書字動画 (37)</li> <li>・硬筆書字動画 (0)</li> </ul>   | <p><b>【数・内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コード数(45)</li> <li>・資料数 (100)</li> <li>・毛筆書字動画 (48)</li> <li>・硬筆書字動画 (18)</li> </ul>  | <p><b>【数・内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コード数 (57)</li> <li>・資料数 (68)</li> <li>・毛筆書字動画 (21)</li> <li>・硬筆書字動画 (2)</li> </ul>   |

|  |  |   |   |   |
|--|--|---|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料動画（17）</li> <li>・その他（13）</li> </ul> <p><b>【扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年「はじめに」の二次元コードから、既習内容や姿勢と筆記具の持ち方、基本の点画の書き方等が確認できる。</li> <li>・学年末の「書写テストに挑戦！」の二次元コードから書写テストに回答できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料動画（14）</li> <li>・その他（18）</li> </ul> <p><b>【扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の参考となる動画資料（外部サイト）を参照できる二次元コードが3つある。</li> <li>・二次元コードの上部に「解説動画」「参考資料」等、確認できる資料の概要が記載されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料動画（9）</li> <li>・その他（25）</li> </ul> <p><b>【扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆や硯などの学習用具を製作している会社や組合など、学習に関連する団体のWebページの画像を閲覧できる二次元コードが2つ、国立文化財機構所蔵品統合検索システムにアクセスできる二次元コードが1つある。</li> <li>・毛筆の主教材を毛筆・硬筆の楷書・硬筆の行書で書字する動画が閲覧でき、それぞれを比較しながら学習できるようになっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料動画（24）</li> <li>・その他（21）</li> </ul> <p><b>【扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文字マップ」や「SDGsについて」等、教科用図書に収録されていない関連資料を閲覧できる二次元コードが6つある。</li> <li>・「他の文字にもチャレンジ」と書かれた二次元コードからは、補助教材（毛筆の手本）が閲覧できる。</li> </ul> |
|--|--|---|---|---|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |        |                    |            |
|-----|--------|--------------------|------------|
| 校種  | 教科     | 教科用図書目録に登録された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 社会（地理） | 4                  | 8          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点   | 2 東書  | 17 教出  | 46 帝国  | 116 日文   |
|---|---|--|--|--|
| 知識及び<br>技能の習得   | <p><b>【視点】① 学習課題の示し方</b><br/> <b>【方法】○ 1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例</b></p>  |  |  |  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように／どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図から見える世界」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのような～でしょうか。」「～比べましょう」等の表現で、1時間の学習課題を示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように／どのような～だろうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示している。タイトルの下に「どのように／どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。</li> </ul> |
| <p><b>【視点】② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方</b></p>  |   |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土・竹島と尖閣諸島 領土をめぐる問題をかかえる島々</li> <li>・項目 「地理的に見る島々の特色」「水産資源にめぐまれた竹島」「貴重な自然が残る北方領土」「資源が期待される尖閣諸島」</li> <li>・地図 「竹島、尖閣諸島、北方</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の領土をめぐる日本の国境をめぐるさまざまな動き</li> <li>・項目 「北方領土をめぐる問題」「竹島と尖閣諸島」</li> <li>・年表 「北方領土に関する主なできごと」</li> <li>・地図 「北方領土とその周辺」「南東を上にして、日本海周辺を描いた地図」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の領域とその特徴</li> <li>・項目 「国際法に基づく日本の領土」「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>・地図 「北方領土周辺の国境の移り変わり」「竹島の位置」「尖閣諸島の位置」</li> <li>・写真 「北方領土の島々」「日本国民と北方領土に住むロシア人</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の領域をめぐる問題をとらえよう</li> <li>・項目 「北方領土」「竹島」「領土問題の解決に向けて」「尖閣諸島をとりまく情勢」</li> <li>・地図 「北方領土・竹島・尖閣諸島の位置」「北方領土付近の国境の変化」</li> <li>・写真 「羅臼町から見た国後島」</li> </ul> |  |

|   |  |  |  |   |
|---|--|--|--|---|
|   | <p>領土の位置」「竹島の2万5000分の1地形図」「北方領土周辺の地形」「歯舞群島がのる20万分の1地勢図」「久場島の5万分の1地形図」</p> <p>・写真「竹島」「断崖に囲まれた竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「自然環境にめぐまれた択捉島」「尖閣諸島の南小島、北小島、魚釣島」「尖閣諸島の久場島」</p> | <p>・写真「ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団」「竹島」「尖閣諸島」</p>  | <p>との交流」「竹島」「隠岐の人々が行っていた竹島での漁の様子」「尖閣諸島」</p> <p>・読み物資料「漁業が盛んだった昔の竹島」</p> <p>・注釈「日本は、サンフランシスコ平和条約において、樺太(サハリン)の一部や千島列島を放棄しましたが、北方領土の4島はその放棄地に含まれていないという立場をとっています。」</p> | <p>「元島民らによる洋上からの先祖の慰霊」「竹島」「竹島に関する資料を展示する「竹島資料室」」「尖閣諸島」「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」「北方領土・竹島・尖閣諸島などに関する資料を展示する国立の施設「領土・主権展示館」」</p>             |
| <p><b>【視点】③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫</b></p>        |  |  |  |   |
| <p><b>【方法】○ 「世界の諸地域」の地域区分、主題(地球的課題)の記載及び知識及び技能を身に付けさせる記載例</b></p> |  |  |  |   |
|   | <p>・本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「未来にアクセス」というコーナーを設けている。</p> <p>・単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。</p>   | <p>・本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理の窓」「LOOK!」というコーナーを設けている。</p> <p>・単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。</p> | <p>・本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理プラス+」「未来に向けて」というコーナーを設けている。</p> <p>・単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。</p>  | <p>・本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理+α」というコーナーを設けている。「スキルUP」というコーナーを設けて、学習に必要な技能について解説している。</p> <p>・単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。</p> |
| <p><b>【視点】④ 見方・考え方を働かせるための工夫</b></p>                              |  |  |  |   |
| <p><b>【方法】○ 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例</b></p>                   |  |  |  |   |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p>  | <p>・巻頭ページに、「地理を学ぶ5つのミカタ」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」を示している。</p>   | <p>・巻頭ページに、「地理の学習を始めるにあたって…」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や広がり(分布)」「自然環境との関わり」「場所」「結びつき」「地域」を示している。</p>          | <p>・巻頭ページに、「地理的な見方・考え方」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人間と自然の関わり」「他地域との結びつき」「地域の特徴」を示している。</p>  | <p>・巻頭ページに、「地理的な見方・考え方って?」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人と自然のかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」を示している。</p>  |

|  |  |  |  |   |
|--|--|--|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・編や章の導入に「地理のミカタ」として、「見方・考え方」を示し、学習のまとめに「見方・考え方」を働かせる学習活動を設定している。ページによっては、「見方・考え方」を働かせる視点の例を示したマークを示している。</li> <li>・「世界の諸地域」の節ごとのまとめに、「見方・考え方」と資料を結びつけた「資料を活用する力をきたえよう」というページを設けている。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・編や章の始めのページの下の欄の「見方×考え方」をはたらかそうに、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・章や節の振り返りのページに働かせる「見方・考え方」を示している。</li> <li>・地理的な見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする特設ページ「アクティブ地理AL」を設けている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・編や章の導入ページや本文ページの見開きページごとに、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。</li> </ul>  |
| <p><b>【視点】⑤ 学習のまとめの工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例</b></p> |  |  |  |   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例</li> </ul> <p>アジア州</p> <p>経済発展についての資料を発表し合い、それぞれの地域や国で経済が成長した理由と、それによって起きた変化や課題を整理した図を参考に、単元の探究課題「アジア州の経済発展は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。</p> <p>ヨーロッパ州</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例</li> </ul> <p>アジア州</p> <p>アジアの国や地域について、経済成長によって生じた影響を、よい点と課題に分けて整理した表から国・地域を1つ選んで、そこで生じている課題の原因について考え、「持続可能な社会」を実現するためにはどのような取組が必要か、グループで話し合う。</p> <p>ヨーロッパ州</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例</li> </ul> <p>アジア州</p> <p>1節の問い「アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アジア州における経済成長の背景と地域への影響を、国や地域ごとに図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例</li> </ul> <p>アジア州</p> <p>学習した内容を「人口（都市・農村）」「資源・エネルギー」「産業（農業・工業）」「他地域との関係・国際協力」の視点で図に整理し、第1節の問い「アジアの国々は、どのように経済発展しているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「経済発展の地域格差や都市問題」に含まれる課題を整理して1つ選び、解決策</p> |

|  |   |   |  |  |
|--|---|---|--|--|
|  | <p>ヨーロッパ統合のきっかけやよい影響、課題を表す資料を発表し合い、図に整理し、「今後統合を進めるべきか」について話し合う。単元の探究課題「ヨーロッパ州での国家間の統合は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。</p> <p>アフリカ州<br/>アフリカ州の課題についての資料を発表し合い、「産業」「民族」「医療」の三つの側面から、アフリカ州の課題と、それに対する取組についてまとめ、その他に考えられる取組を話し合う。単元の探究課題「アフリカ州では、どのような国際支援が必要でしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。</p> <p>北アメリカ州<br/>経済発展についての資料を発表し合い、「農業」「工業」「生活文化」の三つの側面から、北アメリカ州（アメリカ合衆国）の発展の様子と移民とのかかわりを図に整理した図を見て、北アメリカ州の経済成長と移民のかかわりについて話し合</p> | <p>「ヨーロッパでは、環境対策としてどのようなことが行われているか。」「私たちは温暖化防止のために何ができるか。」について話し合う。ヨーロッパ統合のよい点と課題についてまとめる。</p> <p>アフリカ州<br/>アフリカ州への援助の例を、一つの国でもできること、多くの国が一体となって行うこと、効果がすぐに出る・出ないの軸で示した図のどこに「食糧援助」「（産業への）技術支援」「フェアトレード」があてはまるのかを考える。これらを踏まえて、アフリカの国々の支援や援助に必要な工夫について考える。</p> <p>北アメリカ州<br/>アメリカ合衆国で盛んな工業を2つ挙げ、その理由について表に整理する。アメリカ合衆国で多民族が共存するために解決しなければならない問題を1つ挙げ、その問題を解決するために必要と考えることを書き出し、グループで話し合う。</p> <p>南アメリカ州</p> | <p>ヨーロッパ州<br/>2節の問い「ヨーロッパ州では、国どうしの結びつきの強まりによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、ヨーロッパ州におけるEUの統合による効果とEUの統合によって生じた課題を、「人の動き」「物の動き」「通貨」「産業」の視点で図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。</p> <p>アフリカ州<br/>3節の問い「アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アフリカ州におけるモノカルチャー経済の背景と地域への影響を図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。</p> <p>北アメリカ州<br/>4節の問い「北アメリカ州では、巨大な産業が発達したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」につ</p> | <p>をグループで話し合う。</p> <p>ヨーロッパ州<br/>学習した内容を図で整理し、第2節の問い「ヨーロッパでは、どのように統合が進められ、どのような課題があるのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「統合のかけで広がる格差と対立」を踏まえ、イギリスの離脱前と離脱後の人々の意見を参考にして、EU離脱についてグループで議論する。</p> <p>アフリカ州<br/>学習した内容を図で整理し、第3節の問い「アフリカの国々は、資源などに頼る経済をどのように克服しようとしているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「モノカルチャー経済からの自立」を解決するために優先させるべき取組についてグループで議論する。</p> <p>北アメリカ州<br/>学習した内容を図で整理し、第4節の問い「北アメリカの産業は、世界にどのような影響をあたえているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「大量生産・大量消費の生活スタイル」に</p> |
|--|---|---|--|--|

|  |  |   |  |  |
|--|--|---|--|--|
|  | <p>う。単元の探究課題「北アメリカ州に多く見られる移民は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。</p> <p>南アメリカ州</p> <p>自然環境についての資料を発表し合い、南アメリカ州の開発と環境保全について図に整理する。単元の探究課題「南アメリカ州の開発と環境保全には、どのような課題があるのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。</p> <p>オセアニア州</p> <p>貿易や人々の移動の変化についての資料を発表し合い、「貿易の結び付き」「人の結び付き」の変化やその理由を図に整理し、異なる文化の人々との共存の在り方を話し合う。単元の探究課題「オセアニア州では、どのような地域との結び付きが強くなっているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。</p> | <p>アマゾン川の開発について、流域の森林が失われている理由、流域で暮らす人々の生活の変化、南アメリカの経済成長との関係の順でまとめる。南アメリカで開発が進んだ要因について、「都市の変化」「産業の変化」「自然環境の変化」「生活・文化の変化」の視点で図に整理し、グループで話し合う。</p> <p>オセアニア州</p> <p>各国の主な輸出品からオーストラリアと他の先進国を比較し、気付いたことをまとめる。観光地の規制をテーマにした文章から、「先住民」「ホテル経営者」「観光客」のそれぞれの立場でどのようなことを感じているか想像し、グループで話し合う。</p> | <p>いて、アメリカ合衆国における産業の特色と地域への影響を図にまとめる。それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を話し合う。</p> <p>南アメリカ州</p> <p>5節の問い「南アメリカ州では、農地や鉱山の開発によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、ブラジルにおける農地や鉱山の開発による影響を「プラスの面」「マイナスの面」を埋め、図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。</p> <p>オセアニア州</p> <p>第6節の問い「オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、オーストラリアにおける、他地域との結び付きと地域への影響を図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。</p> | <p>についての、アメリカの人々の意見を読み、共感できる考えについてグループで議論する。</p> <p>南アメリカ州</p> <p>学習した内容を図で整理し、第5節の問い「南アメリカの開発と環境保全は、どのような状況になっているのか。」についてまとめる。地球的課題「熱帯雨林の伐採による環境破壊」を解決するために様々な立場の人々と熱帯雨林を守る方法について、自分の考えをまとめる。</p> <p>オセアニア州</p> <p>第6節の問い「オセアニアでは、どのように多様性を尊重する社会づくりを進めているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「多様な民族の共生」について考えたことを踏まえ、自分の考える多文化社会について図でまとめ、グループで議論する。</p> |
|--|--|---|--|--|

|                       |   |   |   |   |
|-----------------------|---|---|---|---|
| 主体的に<br>学習に取り組<br>む工夫 | <b>【視点】⑥ 単元の導入における工夫</b><br><b>【方法】○ 各単元の導入における学習の見通しをもたせる工夫及び具体例</b>   |   |   |   |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入において、1 ページを使い、テーマ、地図やグラフ、写真、キャラクターの吹き出し、コラム、県章・シンボルを記載している。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入において、2 ページを使い、学習の視点、地図やグラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入において、3 ページを使い、イラスト、地図、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入において、2 ページを使い、テーマ、地図、グラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。</li> </ul>  |
|                       | <b>【視点】⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫</b><br><b>【方法】○ 「地域の在り方」における調査の手順及び方法の記載例</b>   |   |   |   |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査の手順として「課題をとらえ、問いを立てよう」「地域を調査し、課題をとらえよう」「課題の要因や影響を考察しよう」「解決策を議論し、構想しよう」「地域のこれからを提案し、発信しよう」の構成になっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査の手順として「地域の課題をとらえる」「地域の課題を調べよう」「地域の特色をまとめよう」「調査結果を整理しよう」「調査結果を地域に伝えよう」の構成になっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査の手順として「追究するテーマを決めよう」「地域の実態を調査しよう」「地域の魅力と課題を分析・考察しよう」「地域の課題の解決策を構想しよう」「解決策と魅力を高める提案をしよう」の構成になっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査の手順として「考察・構想するテーマを決めよう」「地域の課題の解決策を考察しよう」「情報を集めて構想しよう」「構想した内容を整理してまとめよう」「構想した内容を発信しよう」の構成になっている。</li> </ul> |
| 内容の構成・配<br>列・分量       | <b>【視点】⑧ 単元や資料等の配列・分量</b><br><b>【方法】○ 総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容のページ数</b>   |   |   |   |
|                       | 総ページ数 294<br>「世界と日本の地域構成」 26 (8.8%)<br>「世界の様々な地域」 110 (37.4%)<br>「日本の様々な地域」 136 (46.2%)<br>巻末資料の内容 11 (3.7%)<br>その他 11 (3.7%)                           | 総ページ数 310<br>「世界と日本の地域構成」 20 (6.5%)<br>「世界の様々な地域」 103 (33.2%)<br>「日本の様々な地域」 157 (50.6%)<br>巻末資料の内容 13 (4.1%)<br>その他 17 (5.5%)       | 総ページ数 310<br>「世界と日本の地域構成」 24 (7.7%)<br>「世界の様々な地域」 102 (32.9%)<br>「日本の様々な地域」 166 (53.5%)<br>巻末資料の内容 7 (2.3%)<br>その他 11 (3.5%)                          | 総ページ数 318<br>「世界と日本の地域構成」 24 (7.5%)<br>「世界の様々な地域」 104 (32.7%)<br>「日本の様々な地域」 163 (51.2%)<br>巻末資料の内容 16 (5.2%)<br>その他 11 (3.5%)                       |

|          |  |   |   |   |
|----------|--|---|---|---|
|          | <p><b>【視点】⑨ 防災教育の充実</b><br/> <b>【方法】○ 「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例</b></p>   |   |   |   |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本で見られるさまざまな自然災害」のタイトルで2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。</li> <li>特設ページでは、2ページを使い、ハザードマップの読み取り方と公共交通機関が災害からの復興に果たす役割について記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「自然災害に向き合う」のタイトルで2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。</li> <li>「災害から身を守るために」のタイトルで2ページを使い、災害から身を守るために、国や県、地域社会でなされている努力について記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本のさまざまな自然災害」のタイトルで2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。</li> <li>特設ページでは、2ページを使い、イラスト地図やハザードマップを使って、災害の危険性と防災情報の活用について記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。</li> <li>特設ページでは、2ページを使い、地震の仕組みや南海トラフ巨大地震への備え、ハザードマップの使い方について記載している。</li> </ul> |
| 内容の表現・表記 | <p><b>【視点】⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用</b><br/> <b>【方法】○ 資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数</b></p>   |   |   |   |
|          | <p>「世界の諸地域」における資料の総掲載数 283 点<br/> 写真 149<br/> 絵画 13<br/> 地図 41<br/> 図表・グラフ 42<br/> 二次元コード 38</p>   | <p>「世界の諸地域」における資料の総掲載数 210 点<br/> 写真 113<br/> 絵画 8<br/> 地図 45<br/> 図表・グラフ 37<br/> 二次元コード 7</p>  | <p>「世界の諸地域」における資料の総掲載数 274 点<br/> 写真 149<br/> 絵画 21<br/> 地図 34<br/> 図表・グラフ 50<br/> 二次元コード 20</p>  | <p>「世界の諸地域」における資料の総掲載数 295 点<br/> 写真 134<br/> 絵画 18<br/> 地図 28<br/> 図表・グラフ 67<br/> 二次元コード 48</p>  |
|          | <p><b>【視点】⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b><br/> <b>【方法】○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト</b></p>  |   |   |   |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>複数のデータを表現した折れ線</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>複数のデータを表現した折れ線</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>複数のデータを表現した折れ線</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>複数のデータを表現した折れ線グ</li> </ul>                  |

|  |                      |                      |                            |                      |
|--|----------------------|----------------------|----------------------------|----------------------|
|  | グラフでは、データごとに色を変えている。 | グラフでは、データごとに色を変えている。 | グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。 | グラフでは、データごとに色を変えている。 |
|--|----------------------|----------------------|----------------------------|----------------------|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |        |                    |            |
|-----|--------|--------------------|------------|
| 校種  | 教科     | 教科用図書目録に登載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 社会（歴史） | 9                  | 11         |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点     | 2 東書   | 17 教出  | 46 帝国  | 81 山川   | 116 日文   | 225 自由社  | 227 育鵬社  | 229 学び舎  | 236 令書  |
|---------------|--|--|--|---|--|--|--|--|---|
| 知識及び<br>技能の習得 | <b>【視点】① 学習課題の示し方</b><br><b>【方法】○ 1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例</b>  |  |  |   |  |  |  |  |   |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとにタイトル<br/>の右横に「どのよう<br/>な「どのよ<br/>うに」等の<br/>問いかけの<br/>形態で各1<br/>時間に追究<br/>する学習課<br/>題を示して<br/>いる。</li> <li>・見開き右ペ<br/>ージの下に<br/>「チェッ<br/>ク」と「ト<br/>ライ」を設</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごと<br/>にタイトル<br/>とその副題<br/>を示し、タ<br/>イトルの右<br/>横に「どの<br/>ような」「ど<br/>のように」<br/>等の問いか<br/>けの形態で<br/>各1時間の<br/>追究する学<br/>習課題を示<br/>している。</li> <li>・見開き右ペ<br/>ージの下段<br/>に、「表</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの<br/>右横に「ど<br/>のような」<br/>等の問いか<br/>けの形態で<br/>各1時間に<br/>追究する学<br/>習課題を示<br/>している。</li> <li>・見開き右ペ<br/>ージの下段<br/>に、「確認し<br/>よう」と「説<br/>明しよう」<br/>を設定し、<br/>学習課題に<br/>対応した学</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの<br/>下に「どの<br/>ような」「な<br/>ぜ」等の問<br/>いかけの形<br/>態で各1時<br/>間に追究す<br/>る学習課題<br/>を示してい<br/>る。</li> <li>・ページの下<br/>段に、「ステ<br/>ップアップ」<br/>を設定し、さら<br/>に深める課題<br/>追究に向け</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの<br/>下に「どの<br/>ような」と<br/>いった形態<br/>で各1時間<br/>に追究する<br/>学習課題を<br/>示してい<br/>る。</li> <li>・ページの下<br/>段に「確認」<br/>「表現」を<br/>設定し、学<br/>習課題に対<br/>応した問い<br/>を示してい<br/>る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごと<br/>にタイトル<br/>の下に「ど<br/>のような」<br/>「どんな」<br/>といった問<br/>いかけの形<br/>態で各1時<br/>間の追究す<br/>る学習課題<br/>を示してい<br/>る。</li> <li>・見開き右ペ<br/>ージの下段<br/>に、「チャレ<br/>ンジ」を設<br/>定し、学習</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごと<br/>にタイトル<br/>を示し、そ<br/>のタイトルの<br/>右横に学<br/>習内容を表<br/>す副題を示<br/>している。</li> <li>タイトルの<br/>下に、「どん<br/>な」「なぜ」<br/>等の表現で<br/>1時間ごと<br/>の学習課題<br/>を示してい<br/>る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごと<br/>にタイトル<br/>を示し、そ<br/>のタイトルの<br/>右横に学<br/>習内容を表<br/>す副題を示<br/>している。</li> <li>タイトルの<br/>下に、「どん<br/>な」「なぜ」<br/>等の表現で<br/>1時間ごと<br/>の学習課題<br/>を示してい<br/>る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルを<br/>示し、そのタ<br/>イトルの左横<br/>に「どのよう<br/>な」「なぜ」等<br/>の表現で学習<br/>課題を示して<br/>いる。</li> </ul> |

|  |   |  |  |  |   |  |   |   |  |
|--|---|--|--|--|---|--|---|---|--|
|  | <p>定し、学習課題に対応した学習活動を示している。</p>  | <p>現！」を設定し、学習課題に対応した学習活動を示している。</p>  | <p>習活動を示している。</p>  | <p>た発問や学習活動を示している。</p>   |   | <p>課題に対応した学習活動を示している。</p>  | <p>習課題に対応した振り返り課題を示している。</p>  |   |  |
| <p><b>【視点】② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 文化遺産の示し方及び神話・伝承等に関する記載内容</b></p>   |   |  |  |  |   |  |   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」「世界の記憶」「無形文化遺産」等のマークが付いている。</li> <li>本文の他に、特設ページ「現在に生きる神話」を2ページにわたって設定し、5点を取り上げ、民俗</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料「世界遺産」「国宝」「重要文化財」等のマークが付いている。</li> <li>本文の他に、特設ページ「神話にみる古代の人々の信仰」を2ページにわたって設定し、神話・伝承に関する事例を3点示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に「世界遺産」「国宝」「重要文化財」等のマークが付いている。</li> <li>本文の他に、コラム「自然災害と神話」を設けて、「古事記」と「日本書紀」の内容等について記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に「世界遺産」「国宝」等のマークが付いている。</li> <li>巻頭に「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。</li> <li>本文の他に、コラム「日本の神話」を設けて、「日本書紀」や「風土記」の内容等について記載して</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に「国宝」「世界遺産」等のマークが付いている。</li> <li>巻末の折り込みに「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。</li> <li>本文の他に、特設ページ「日本の神話」を設定し、1ページを使い、「神話とは何か」「『古事記』『日本</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」のマークが付いている。</li> <li>巻頭に「日本の世界文化遺産」を地図等とともに示している。</li> <li>本文の他に、コラム「国譲り神話と古代人」を2ページにわたって設定し、「大国主神の『国譲り』」「古</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。</li> <li>巻頭や巻末で世界遺産や国宝を地図等とともに示している。</li> <li>本文の他に、特設ページ「神話にみる日本誕生の物語」を2ページにわたって設定し、「日本の神々の物語」「三種の</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>第5章の扉ページ「世界遺産に見る世界」で世界遺産を示している。</li> <li>本文の他に、コラム「『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山」を1ページで設定し、常陸国風土記に記された内容等について記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に「国宝」「世界遺産」「重要文化財」等のマークが付いている。</li> <li>本文の他に、コラム「『古事記』の国譲り神話」を2ページにわたって設定し、「古事記」の国譲りの神話について記載している。</li> </ul> |  |

|   |   |   |  |  |   |   |   |  |   |
|---|---|---|--|--|---|---|---|--|---|
|   | 芸能や「神楽」との関わりを示している。   |   |  | いる。  | 書紀』の神話」「さまざまな神話」を記載している。                                | 代日本人のものの考え方」「姿を現す巨大空中神殿」を記載している。                        | 神器と神武天皇」「伝説の英雄が活躍する神話」を記載している。                          |  |   |
| <p><b>【視点】③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせるため工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数及び内容</b></p> |   |   |  |  |   |   |   |  |   |
|   | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は6点あり、古代(1)、中世(1)、近世(3)、近代(1)の内訳となっている。 | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は7点あり、古代(1)、中世(1)、近世(2)、近代(2)、現代(1)の内訳となっている。 | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は15点あり、古代(2)、中世(2)、近世(4)、近代(7)の内訳となっている。 | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は12点あり、古代(4)、中世(4)、近世(2)、近代(2)の内訳となっている。 | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は9点あり、中世(3)、近代(2)、現代(1)の内訳となっている。 | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は4点あり、古代(1)、近代(2)、現代(1)の内訳となっている。 | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は4点あり、古代(1)、近代(2)、現代(1)の内訳となっている。 | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は15点あり、古代(2)、中世(4)、近代(2)、現代(3)の内訳となっている。 | ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は5点あり、古代(2)、近代(1)、現代(2)の内訳となっている。 |
| <p><b>【視点】④ 見方・考え方を働かせるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 特設ページ等を活用して思考させるための記載例</b></p>                             |   |   |  |  |   |   |   |  |   |
| 思考力、判断力、表現力等の育成   | ・特設ページ「メディアの発達が日本を  | ・特設ページ「人口の変化と海外への移民」を   | ・特設ページ「世界に開かれた港横浜～開  | ・特設ページ「世界遺産・富岡製糸場から日   | ・特設ページ「経済発展か、環境保全か、足尾                                   | ・特設ページ「明治維新とは何か」を設定し、                                   | ・特設ページ「外国人が見た日本」を設定し、                                   | ・特設ページ「対話・討論にチャレンジ『学   | ・特設ページ「福沢諭吉『学問のすゝめ』を                                    |

|  |  |  |   |  |  |  |   |   |   |
|--|--|--|---|--|--|--|---|---|---|
|  | <p>変えた」を設定し、マスメディアや情報環境がどのように成立したか、メディアがどのように関わっているか、思考している。</p> | <p>設定し、人口の移り変わりの特徴や背景、多文化社会の取り組みを調査している。</p> | <p>港とともに広がった文明開化～」を設定し、日米修好通商条約締結当時の横浜がどのような場所だったのか、また、横浜からどのような新しい文化が各地に広まったのか、思考している。</p> | <p>本の近代を考える」を設定し、富岡製糸場が果たした役割や作られた理由などを思考している。</p> | <p>鉱毒事件を通して考えよう」を設定し、足尾鉱毒事件から経済発展、環境保全のどちらを優先するか、思考している。</p> | <p>一国の統治者たちが、みずからその身分を廃止して新しい国をつくった世界に例のない改革は、なぜ実現できたのだろうか、という問いを設定している。</p> | <p>幕末から明治時代にかけて来日した「お雇い外国人」が身近な地域にいたのか、日本のどこに関心を持ったのか、思考している。</p> | <p>問のすゝめ』をどう読むか」を設定し、「学問のすゝめ」から福沢諭吉の主張に賛成か、反対か思考している。</p> | <p>設定し、「学問のすゝめ」の本文や福沢諭吉の母親をもとに思考している。</p> |
|--|--|--|---|--|--|--|---|---|---|

**【視点】⑤ 学習のまとめの工夫**

**【方法】○ 単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための記載例（中世の日本）**

|   |   |   |  |  |  |   |   |   |
|---|---|---|--|--|--|---|---|---|
| <p>・「武士が生まれ、その支配が広がった中世の日本で、社会はどのように変化したのだろうか。」</p> | <p>・「武士と民衆の成長によって、社会はどのように変化したのだろうか。」という章の問いについて、自分の考えを</p> | <p>・「武士による政治が行われたことによって、社会はどのように変化したのだろうか」という章の問いに対して、自</p> | <p>・「武士」「農民」「守護」「荘園領主」の4つの立場で問いについて、自分の考えを文章にまとめ</p> | <p>・「絶えず戦乱がくり返される時代となったのは、なぜなのでしょう。」という編の問いについて、自分の考えを</p> | <p>・「中世とはどんな時代だったのだろうか」を考え、作文を造る活動を設定している。</p> | <p>・「武士が時代の主役になった中世は、どのような時代だったといえるのか」を考え、それぞれの考えをみんな</p> | <p>・「第2部・中世は、どのような人びとが力を持った時代だったでしょうか。前の時代と比べながら、自分の考えを</p> | <p>・「政治」「文化」「外交」「産業」の4つの視点から、学習を整理する。また、日明貿易がどのように展開したか</p> |
|---|---|---|--|--|--|---|---|---|

|  |                            |          |               |  |          |  |                |                                      |        |
|--|----------------------------|----------|---------------|--|----------|--|----------------|--------------------------------------|--------|
|  | という探究活動について、自分の考えを文章でまとめる。 | 文章にまとめる。 | 分の考えを文章にまとめる。 |  | 文章にまとめる。 |  | 話し合う活動を設定している。 | 文章にまとめましょう。」という問いについて、自分の考えを文章にまとめる。 | をまとめる。 |
|--|----------------------------|----------|---------------|--|----------|--|----------------|--------------------------------------|--------|

**【視点】⑥ 単元の導入における工夫**

**【方法】○ 各単元の導入における学習の見通しを持たせるための工夫の具体例**

|               |  |   |  |  |   |   |  |  |  |
|---------------|--|---|--|--|---|---|--|--|--|
| 主体的に学習に取り組む工夫 | ・単元の導入において、見開き2ページにわたり、二次元コード、小学校の社会で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表、キャラクターの問い等や、資料の読み取 | ・単元の導入において、3ページを使い、二次元コード、絵図、写真、地図、キャラクターの問い等や、人物のイラストを用いた年表及び資料の読み取りを示している。また、章の学習課題とともに、章に係る説明を | ・単元の導入において、1ページを使い、二次元コード、絵図、小学校で学んだ人物と主な出来事のイラストを用いた年表、キャラクターの問いを示し、話し合い活動や予想を書く活動を示している。章や各節の学 | ・単元の導入において、見開き2ページを使い、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて年表で示すとともに、章全体に係る説明を示し、日本史と世界史の主な歴史的事象の写真や絵図を示している。 | ・単元の導入において、見開き4ページにわたり、絵図、二次元コード、人物のイラストを用いた年表、写真、地図、キャラクターの問い等や、資料の読み取り、話し合い活動及び予想を書く活動を示している。 | ・単元の導入において、1ページを使い、絵図、キャラクターの問い等とともに、小学校で学んだ近世の人物のイラストを時代順に示している。 | ・単元の導入において、見開き4ページを使い、年表、絵図、人物や歴史的事象のイラストを時代順に示し、キャラクターの問い等や資料の読み取りを示している。章全体に係る説明を示し、章及び各節の学習 | ・単元の導入において、見開き2ページを使い、年表、写真、絵図を示し、それぞれの歴史的事象が関連する位置を地図に示している。章全体に係る説明を示し、章の学習課題を示している。 | ・単元の導入において、見開き2ページを使い、絵図及び歴史的事象を示した年表を示し、政治・外交・文化・産業の4つの視点で章の学習課題を示している。 |
|---------------|--|---|--|--|---|---|--|--|--|

|  |  |                                 |            |  |  |  |           |  |  |
|--|--|---------------------------------|------------|--|--|--|-----------|--|--|
|  | り及び話し合い活動を示している。また、章や各節の学習課題とともに、キャラクターの問いにより、章及び各節の学習課題を導くよう構成している。 | 示し、各節のタイトル及び各節に關係する歴史的事象を示している。 | 習課題を示している。 |  | 章や各節の学習課題を示すとともに、キャラクターの言葉から章の学習課題を導くよう構成している。 |  | 課題を示している。 |  |  |
|--|--|---------------------------------|------------|--|--|--|-----------|--|--|

**【視点】⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫**

**【方法】○ 「身近な地域の歴史」で示している記載の仕方及び調べる手順・方法**

|   |  |  |  |   |   |   |  |  |
|---|--|--|--|---|---|---|--|--|
| ・「第1章 歴史へのとびら」の「2節 身近な地域の歴史」において、「テーマと問いを設定して調査・考察しよう」、「ま | ・「第1章 歴史のとらえ方・調べ方」の「2節 身近な地域の歴史を調べよう」において、「情報を集めて問いを立てよう」、「実 | ・「第1章 歴史のとらえ方と調べ方」の「第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」において、「歴史の謎を探る | ・「第1章 歴史との対話」の「2節 身近な地域を調べよう」において、「テーマを設定しよう！」、「さあ調査だ！」、「レ | ・「第1編 私たちと歴史」の「第2節 身近な地域の歴史の探究—大阪市内を例に—」において、「テーマを決めて調査の準 | ・「序章 歴史のとらえ方」の「第3節 地域の歴史を調べる—堺市の歴史を調べよう—」において、「古墳を調査」、「港を | ・序章の「④ 身近な地域の歴史の調べ方」において、「テーマを決める」、「調査をする」、「分類・分析・整理をする」、「発 | ・「歴史への案内」に「4地域の博物館で調べる」を設定し、「地域の博物館で調べる」「地域の歴史について、上手に調べ、発 | ・「序 国史を学ぶにあたって」の「三グループで歴史を調べよう」において、「テーマを決める」、「疑問を持つ」、「調べる」、 |
|---|--|--|--|---|---|---|--|--|

|  |   |  |  |   |  |   |   |  |  |
|--|---|--|--|---|--|---|---|--|--|
|  | めと発表をしよう」など、調べ学習における学習のポイントを示している。<br>・いくつかの章に「地域の歴史を調べよう」という特設ページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 | 際の調査を進めよう」、「整理して考察しよう」、「調査の結果をまとめよう」、「発表して振り返ろう」など、調べ学習ポイントを示している。<br>・いくつかの章に「身近な地域の歴史を調べよう」という特設ページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 | う」、「資料をよく見てヒントを探そう」、「謎解きの答えをまとめよう」など、調べ学習における学習のポイントを示している。<br>・いくつかの章に「歴史を探ろう」という特設ページを設け、身近な地域の調べ学習の例を示している。 | ポートをつくって発表しよう！」など、調べ学習のポイントを示している。<br>・各章に「地域からのアプローチ」というページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 | 備をしよう」、「課題を設定して、調査しよう」、「考察し、まとめたことを報告しよう」など、調べ学習における学習のポイントを示している。<br>・各編に「でかけよう！地域調べ」という特設ページを設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 | 調査」、「千利休の屋敷跡を調査」、「堺事件を調査」など、調べ学習の具体例を4つ示している。<br>・大単元の最後に「調べ学習のページ」を設け、調べ学習の進め方やまとめの具体例等を示している。 | 表する（まとめ）」などの調べ学習における学習のポイントを示している。<br>・序章及び第4章において、「地域の歴史を調べてみよう」という特設ページを設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 | 表するために」などの、地域の博物館での調べ学習や現地調査における学習のポイントを示している。 | 「まとめ」、「発表する」、「振り返る」など、調べ学習における学習のポイントを示している。<br>・「第三章」「第四章」「第五章」において「field work」に具体的な課題を示している。 |
|--|---|--|--|---|--|---|---|--|--|

|             |                           |         |         |         |         |         |         |         |         |
|-------------|---------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 内容の構成・配列・分量 | <b>【視点】⑧ 単元や資料等の配列・分量</b> |         |         |         |         |         |         |         |         |
|             | <b>【方法】○ 各時代区別のページ数</b>   |         |         |         |         |         |         |         |         |
|             | 総 ペ ー ジ                   | 総 ペ ー ジ | 総 ペ ー ジ | 総 ペ ー ジ | 総 ペ ー ジ | 総 ペ ー ジ | 総 ペ ー ジ | 総 ペ ー ジ | 総 ペ ー ジ |
|             | 287、                      | 298、    | 314、    | 288、    | 307、    | 303、    | 292、    | 299、    | 463、    |

|                            |                            |                            |                           |                            |                            |                            |                           |                            |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 歴史との対話<br>14 (4.9%)、<br>古代 | 歴史との対話<br>17 (5.7%)、<br>古代 | 歴史との対話<br>12 (3.8%)、<br>古代 | 歴史との対話<br>9 (3.1%)、<br>古代 | 歴史との対話<br>12 (3.9%)、<br>古代 | 歴史との対話<br>12 (4.0%)、<br>古代 | 歴史との対話<br>14 (4.8%)、<br>古代 | 歴史との対話<br>8 (2.7%)、<br>古代 | 歴史との対話<br>13 (2.8%)、<br>古代 |
| 42 (14.6%)、<br>中世          | 40 (13.4%)、<br>中世          | 48 (15.3%)、<br>中世          | 48 (16.7%)、<br>中世         | 46 (15.0%)、<br>中世          | 50 (16.5%)、<br>中世          | 40 (13.7%)、<br>中世          | 44 (14.7%)、<br>中世         | 102 (22.0%)、<br>中世         |
| 34 (11.8%)、<br>近世          | 36 (12.0%)、<br>近世          | 42 (13.4%)、<br>近世          | 40 (13.9%)、<br>近世         | 40 (13.0%)、<br>近世          | 36 (11.9%)、<br>近世          | 32 (11.0%)、<br>近世          | 32 (11.0%)、<br>近世         | 64 (13.8%)、<br>近世          |
| 46 (16.0%)、<br>近代          | 48 (16.1%)、<br>近代          | 56 (17.8%)、<br>近代          | 52 (18.1%)、<br>近代         | 50 (16.3%)、<br>近代          | 44 (14.5%)、<br>近代          | 50 (17.1%)、<br>近代          | 48 (16.1%)、<br>近代         | 86 (18.6%)、<br>近代          |
| 100 (34.8%)、<br>現代         | 108 (36.2%)、<br>現代         | 114 (36.3%)、<br>現代         | 100 (34.7%)、<br>現代        | 104 (33.9%)、<br>現代         | 106 (35.0%)、<br>現代         | 98 (33.6%)、<br>現代          | 110 (36.8%)、<br>現代        | 142 (30.7%)、<br>現代         |
| 32 (11.1%)、<br>その他         | 36 (12.1%)、<br>その他         | 32 (10.2%)、<br>その他         | 30 (10.4%)、<br>その他        | 34 (11.1%)、<br>その他         | 33 (10.9%)、<br>その他         | 36 (12.3%)、<br>その他         | 36 (12.0%)、<br>その他        | 49 (10.6%)、<br>その他         |
| 19 (6.6%)                  | 13 (4.4%)                  | 10 (3.2%)                  | 9 (3.1%)                  | 21 (6.8%)                  | 22 (7.3%)                  | 22 (7.5%)                  | 21 (7.0%)                 | 7 (1.5%)                   |

【視点】⑨ 主権者育成のための工夫

【方法】○ 古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がりについての記載内容

|   |   |  |   |   |   |   |   |   |
|---|---|--|---|---|---|---|---|---|
| 古代「ギリシ<br>ヤ・ローマの<br>文明」という<br>タイトルで2<br>ページにわた<br>って記載し、<br>「アクロポリ<br>スとパルテノ<br>ン神殿」、「古<br>代ローマの支<br>配領域」等の<br>資料を掲載し<br>ている。 | 古代「すべて<br>の道はローマ<br>に通ず」とい<br>うタイトルで<br>2ページにわ<br>たって記載<br>し、「アテネ<br>のパルテノン<br>神殿」、「古<br>代ローマの領<br>域」等の資料<br>を掲載してい<br>る。 | 古代「ギリシ<br>ヤとローマの<br>政治と文明」<br>というタイト<br>ルで2ページ<br>にわたって記<br>載し、「パルテ<br>ノン神殿」、<br>「東西の大国<br>と交易のつな<br>がり」等の資<br>料を掲載して<br>いる。 | 古代「地中海<br>文明の発展」<br>というタイト<br>ルで2ページ<br>にわたって記<br>載し、「アクロ<br>ポリスに建つ<br>パルテノン神<br>殿」、「円形闘<br>技場」等の資<br>料を掲載して<br>いる。 | 古代「ギリシ<br>ヤ・ローマの<br>文明」という<br>タイトルで2<br>ページにわた<br>って記載し、<br>「パルテノン<br>神殿」、「ロー<br>マ帝国の支配<br>圏」等の資料<br>を掲載してい<br>る。 | 古代「ギリシ<br>ヤ・ローマの<br>文明」という<br>タイトルで2<br>ページにわた<br>って記載し、<br>「古代アテネ<br>復元図」「大西<br>洋から黒海沿<br>岸を支配した<br>ローマ帝国」<br>等の資料を掲<br>載している。 | 古代「ギリシ<br>ヤとローマの<br>文明」という<br>タイトルで2<br>ページにわた<br>って記載し、<br>「パルテノン<br>神殿」、「コ<br>ロッセオ」等<br>の資料を掲載<br>している。 | 古代「円形競<br>技場の熱狂」<br>というタイト<br>ルで2ページ<br>にわたって記<br>載し、「紀元前<br>5世紀ごろの<br>ギリシアとペ<br>ルシア」、「ロ<br>ーマ帝国の広<br>がり」等の資<br>料を掲載して<br>いる。 | 古代「ギリシ<br>ヤ・ローマの<br>文化」という<br>タイトルで3<br>ページにわた<br>って記載し、<br>「アレクサン<br>ドロス大王」、<br>「フォロ・ロ<br>マーノ」等の<br>資料を掲載し<br>ている。 |
|---|---|--|---|---|---|---|---|---|

|  |   |  |  |   |   |  |   |  |   |
|--|---|--|--|---|---|--|---|--|---|
|  | <p><b>近代</b>「イギリスとアメリカの革命」、「フランス革命」というタイトルで、4ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言」、「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「民主化と日本国憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「日本国憲法前文」、「初の男女普通選挙」等の資料を掲載している。</p> | <p><b>近代</b>「王は君臨すれども統治せず」「代表なくして課税なし」というタイトルで4ページにわたって記載し、「権利の章典」、「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「敗戦からの再出発」、「平和国家をめぐって」というタイトルで4ページにわたって記載し、「女性の国会議員の誕生」、「日本国憲法の前文」等の資料を掲載している。</p> | <p><b>近代</b>「市民革命の始まり」、「人権思想からフランス革命へ」というタイトルで4ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言の採択」、「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「新時代に求められた憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「あたらしい憲法のはなし」、「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。</p> | <p><b>近代</b>「市民革命の時代」というタイトルで4ページにわたって記載し、「独立宣言」、「バステューユ襲撃」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「占領下の日本」、「日本国憲法と民主化」というタイトルで4ページにわたって記載し、「女性の衆議院議員」、「日本国憲法」等の資料を掲載している。</p> | <p><b>近代</b>「王政から議会制へ」「アメリカの独立とフランス革命」というタイトルで4ページにわたって記載し、「権利の章典」、「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「占領と改革の始まり」、「平和で民主的な国家をめざして」というタイトルで4ページにわたって記載し、「日本国憲法公布の祝賀会」「投票する女性有権者」等の資料を掲載している。</p> | <p><b>近代</b>「イギリスの市民革命とアメリカの独立」「啓蒙思想とフランス革命」というタイトルで4ページにわたって記載し、「権利章典」、「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「占領下の日本」というタイトルで2ページにわたって記載し、「日本最初の婦人代議士」「占領軍の進めた戦後の主な改革」等の資料を掲載している。</p> | <p><b>近代</b>「イギリスの革命とアメリカ独立」「フランス革命」というタイトルで4ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言」、「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「民主化と日本国憲法制定」というタイトルで2ページにわたって記載し、「初めての女性国会議員」、「英文で書かれた日本国憲法の草案」等の資料を掲載している。</p> | <p><b>近代</b>「アメリカの大地に生きる」「バスチューユを襲撃せよ」というタイトルで4ページにわたって記載し、「ボストン港でのイギリスへの抗議行動」、「ベルサイユ宮殿へ向かう民衆」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「焼け跡からの出発」「もう戦争はしない」というタイトルで4ページにわたって記載し、「街頭演説をする山口ツヅエ」「あたらしい憲法のはなし」等の資料を掲載して</p> | <p><b>近代</b>「イギリス革命とアメリカ独立戦争」「啓蒙思想とフランス革命」というタイトルで8ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言」、「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p><b>現代</b>「大日本帝国憲法の改正」というタイトルで5ページにわたって記載し、「日本国憲法原本上論」等の資料を掲載している。</p> |
|--|---|--|--|---|---|--|---|--|---|

|                                       |  |  |   |  |   |   |   |  |  |
|---------------------------------------|--|--|---|--|---|---|---|--|--|
|                                       |  |  |   |  |   |   |   | いる。  |  |
| 内容の表現・表<br>記                          | <b>【視点】⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用</b><br><b>【方法】○ 資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数</b>                    |  |   |  |   |   |   |  |  |
|                                       | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 423 点<br>(写真・絵図(209) 地図(32) 図表・グラフ(26) 文書資料(47) 年表(3) 人物(57) 二次元コード(49)) | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 335 点<br>(写真・絵図(189) 地図(28) 図表・グラフ(32) 文書資料(22) 年表(3) 人物(55) 二元コード(6)) | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 364 点<br>(写真・絵図(202) 地図(37) 図表・グラフ(38) 文書資料(2) 年表(3) 人物(62) 二次元コード(20)) | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 334 点<br>(写真・絵図(189) 地図(31) 図表・グラフ(37) 文書資料(19) 年表(0) 人物(47) 二次元コード(11)) | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 439 点<br>(写真・絵図(185) 地図(31) 図表・グラフ(37) 文書資料(34) 年表(31) 人物(61) 二次元コード(60)) | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 274 点<br>(写真・絵図(139) 地図(22) 図表・グラフ(14) 文書資料(60) 年表(5) 人物(34) 二次元コード(0)) | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 317 点<br>(写真・絵図(146) 地図(33) 図表・グラフ(36) 文書資料(20) 年表(3) 人物(77) 二次元コード(2)) | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 286 点<br>(写真・絵図(194) 地図(32) 図表・グラフ(20) 文書資料(1) 年表(0) 人物(39) 二次元コード(0)) | 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数 120 点<br>(写真・絵図(49) 地図(4) 図表・グラフ(8) 文書資料(29) 年表(3) 人物(27) 二次元コード(0)) |
|                                       | <b>【視点】⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b><br><b>【方法】○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等</b>    |  |   |  |   |   |   |  |  |
| <b>フォント</b><br>ユニバーサルデザインフォントを使用している。 | <b>フォント</b><br>ユニバーサルデザインフォントを使用している。  | <b>フォント</b><br>ユニバーサルデザインフォントを使用している。  | <b>フォント</b><br>ユニバーサルデザインフォントを使用している。   | <b>フォント</b><br>ユニバーサルデザインフォントを使用している。  | <b>グラフ</b><br>円グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。   | <b>フォント</b><br>ユニバーサルデザインフォントを使用している。   | <b>グラフ</b><br>円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。   | <b>フォント</b><br>本文は縦書きで示し、脚注は横書きで示している。   |  |
| <b>グラフ</b><br>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入 | <b>グラフ</b><br>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入  | <b>グラフ</b><br>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入  | <b>グラフ</b><br>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入   | <b>グラフ</b><br>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入  | また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変  | <b>グラフ</b><br>円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入   | また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データ  | <b>グラフ</b><br>円グラフでは、グラフに文字や数値を入   |  |

|  |  |   |   |   |  |  |   |  |   |
|--|--|---|---|---|--|--|---|--|---|
|  | <p>れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の部分を色分けしている。また、ページの隅の色分け、見開き右側の年表及び下部の記載で、学習内容を示している。</p> | <p>れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の部分を色分けしている。また、ページの隅の色分け及び下部の記載で、学習内容を示している。</p> | <p>れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>本文ページのレイアウトを統一している。また、ページの隅の色分け及び下部の記載で、学習内容を示している。</p> | <p>ている。また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>本文ページのレイアウトを統一している。また、ページの隅の色分け及び下部の記載で、学習内容を示している。</p> | <p>れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>本文ページ見開きのレイアウトを統一している。また、ページの隅の色分け及び見開き右側の年表で学習内容を示している。</p> | <p>え、実線で示している。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>本文ページ見開きのレイアウトを統一している。また、ページの隅の色分け、見開き左下部の年表及び下部の記載で、学習内容を示している。</p> | <p>れ、隣り合うデータは区切りを入れている。また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>本文ページ見開きのレイアウトを統一している。また、ページの隅の色分け及び見開き左下部の年表で学習内容を示している。</p> | <p>ごとに色を変えている。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>本文ページ見開きのレイアウトを統一している。また、ページの隅の色分けで学習内容を示している。</p> | <p>また、複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに濃淡を変え、実線で示している。</p> <p><b>レイアウト</b></p> <p>ページ下部の記載で学習内容を示している。</p> |
|--|--|---|---|---|--|--|---|--|---|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |        |                    |            |
|-----|--------|--------------------|------------|
| 校種  | 教科     | 教科用図書目録に登録された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 社会（公民） | 6                  | 6          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点  | 2 東書  | 17 教出   | 46 帝国   | 116 日文   | 225 自由社  | 227 育鵬社   |
|--|---|---|---|--|--|---|
| 知識及び<br>技能の習得  | <p><b>【視点】① 学習課題の示し方</b><br/> <b>【方法】</b>○ 1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例</p>  |   |   |  |  |   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとのタイトルの右横に「学習課題」として「どのような」「どのように」を中心とし「～でしょうか」といった問いかけの文を示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとのタイトルの右横に「学習課題」として「どのような」「どのように」を中心とし「～でしょうか」といった問いかけの文を示している。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとのタイトルの右横に「学習課題」として「どのような」「どのように」を中心とし「～のだろうか」といった問いかけの文を示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとのタイトルの下に「学習課題」として「どのような」「どのように」を中心とし「～でしょうか」といった問いかけの文を示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとのタイトルの下に「どんな」「どのように」を中心とし「～なのだろうか」「考えてみよう」などの問いかけの文を示している。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとのタイトルの右横に「課題」として「どのような」「～でしょうか」「調べましょう」などの問いかけの文を示している。</li> </ul> |
| <p><b>【視点】② 公民としての基礎的教養を培うための工夫</b><br/> <b>【方法】</b>○ 現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例</p>   |   |   |   |  |  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動ごとの体育館使用の割り振りを取り上げ、「問題の状況」「解決のための話し合い」「決まりの作成」「決まりの見直し」「見直した決まりの評価」の流れを示し考えさせている。本文中8ページの扱いがある。</li> <li>・活用課題「T市の公園の使用ルールを考えよう」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱コンクールの練習を例に、「ルールについて考えよう」という課題を、絵図で示し、ごみ収集所の新たな設置を例に、「ルールをつくってみよう」という課題を、絵図で示しており、本文中4ページの扱いがある。</li> <li>・活用課題「ごみ収集所の新たな設置」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備蓄倉庫の新設を考えることを取り上げ、「状況を確認する」「設置を話し合う」の流れの中で考えさせている。本文中5ページの記載がある。</li> <li>・活用課題「マンションの騒音問題を解決しよう」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱コンクールの練習スケジュールを取り上げ、対立する場面、効率や公正を考える場面、決まりを評価する場面を設定し考えさせている。本文中6ページの記載がある。</li> <li>・活用課題「公園づくりについて話し合おう」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動ごとの体育館使用の割り振りを取り上げ、「対立」「合意形成と目的に関する考察」「合意形成後の対立」「決まりをつくる」の流れで考えさせている。本文中4ページの記載がある。</li> <li>・活用課題「魅力ある『まちづくり』を考えよう」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みのグラウンド使用について取り上げている。本文中4ページの記載がある。</li> <li>・活用課題「マンションの住民のペットの飼育について」</li> </ul> |   |

|                        |  |   |  |  |   |  |
|------------------------|--|---|--|--|---|--|
|                        | <p><b>【視点】③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</b><br/> <b>【方法】○ 国旗・国家に関する記載の仕方及び領土をめぐる問題等に関する記載の仕方</b></p>   |   |  |  |   |  |
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国旗と国歌」というタイトルで本文中に7行の記載がある。</li> <li>・「領土をめぐる問題の現状」というタイトルで見開き2ページを使い、竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げ、それぞれ写真も掲載している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国旗と国歌」というタイトルで本文中に10行の記載がある。</li> <li>・「領土をめぐる問題」というタイトルで本文中に16行の記載があり竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げている。竹島と尖閣諸島の写真を掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国旗と国歌」というタイトルで本文中に8行の記載がある。</li> <li>・「領土をめぐる取り組み」というタイトルで見開き2ページを使い、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げている。尖閣諸島の写真を掲載している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国家と国家主権」というタイトルの中で、本文中に4行の記載がある。</li> <li>・「日本の領土をめぐる問題」というタイトルで見開き2ページを使い、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げ、それぞれ写真も掲載している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国旗と国歌」というタイトルで本文中に7行の記載があるとともに、「国旗と国歌を考えてみよう」という見開き2ページのコラムを掲載している。</li> <li>・「わが国の領域に関する課題」というタイトルで、本文中に14行の記載があり、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げるとともに「わが国の領土問題」という見開き2ページのコラムを掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国旗・国歌」というタイトルで本文中に12行の記載があるとともに、「国歌『君が代』の意味」「各国の国歌の大意」というコラムを掲載している。</li> <li>・「日本の領土をめぐる問題」というタイトルで本文中に17行の記載があり、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げ、それぞれ写真も掲載している。また、「日本の領土をめぐる問題」という見開き2ページのコラムを掲載している。</li> </ul> |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p> | <p><b>【視点】④ 見方・考え方を働かせるための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例</b></p>  |   |  |  |   |  |
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【課題】「持続可能な社会の実現に向けて、私たちに何ができるのでしょうか」に対して【資料】絵図「社会的な見方・考え方を働かせて身に付けた資質能力」と表「人間と自然環境との相互依存関係」「持続可能性」「推移に関する視点（継続）」「対立と合意」「希少性」「持続可能性」を掲載し、見方・考え方を働かせるようにしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【課題】『私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくらう』に対して【資料】イメージ図「作品の作成～振り返りのイメージ図」と【文書資料】「四つの視点とは」を掲載し、見方・考え方を働かせるようにしている。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【課題】「持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題について考察、構想し、自分の考えを論述します。」に対して【資料】吹き出し「民主主義」の観点で考えてみたい。」「効率と公正」の観点で考えてみるよ。」 絵図「個人の尊重」に着目」「空間的な広がり」や「推移」に着目」「持続可能性」に着目」「希少性」や「協調」に着目」「人口に応じた調整だけでいい?」「増加</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【課題】「これからの社会をどんな社会にしたい?」に対して【資料】まどかさんの考察内にある「位置」に関する文章、グラフによる「比較」、「効率と公正」に関する「効率と公正の観点から」と題する文章と表「どの程度の効果があらわれているかを表す統計資料はあるだろうか。」「自分の提案は、実現が可能なものになっているだろうか。」「自分の提案は、効果がある</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【課題】ディベートをやってみように対して【資料】文書資料として論題の例「政治の仕組みに関して」「安全保障の方針に関して」「環境問題への対応に関して」をもとに見方・考え方を働かせるようにしている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【課題】これからの社会に加わる私たちが、持続可能な社会(将来の世代が必要とするものを満たしつつ、現在の私たちの世代をも満足させる社会)を築いていくという観点からよりよい社会をつくるためにはどうすればよいのでしょうか。に対して【資料】絵図 テーマを決める～ウェッジマップの作成表 テーマ例「社会」「政治・経済」「国</li> </ul>                              |

|   |  |  |  |   |  |   |
|---|--|--|--|---|--|---|
|   |  |  | <p>する医療費にどう対応するのか？」「高福祉には高負担が必要」「日本の難民受け入れ数は少ない」「これまでの考察をもとに、レポートを書いてみよう。」 文書資料「一票の格差とは？」を掲載し、見方・考え方を働かせるようにしている。</p>                                      | <p>ものになっているだろうか。」をもとに見方・考え方を働かせるようにしている。</p>  |  | <p>際」「環境・食料」をもとに見方・考え方を働かせるようにしている。</p>   |
| <p><b>【視点】⑤ 学習のまとめの工夫</b><br/> <b>【方法】○ 単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例</b></p>  |  |  |  |   |  |   |
|   | <p>・単元末に「深めよう」を2ページ設け、「みんなチャレンジ」を通して、単元の内容をまとめながら多面的・多角的に考察できるようにしているとともに単元の導入で示した「探究課題」に対するまとめを行うようにしている。さらに、「節の問いを解決しよう」で「シンキングツール」を使って考察するページ設けている。</p> | <p>・単元末に「学習のまとめを表現しよう」を3ページ設け、1ページ目は用語の理解を促す問い、2ページ目は、学習活動として2つのSTEPを行い、単元の導入で示した学習課題に対するまとめを行うようにしている。さらに、「各節で学習したことを振り返ろう」で「シンキングツール」を使って考察するページ設けている。</p> | <p>・単元末に「学習を振り返ろう」を4ページ設け、1ページ目は、学んだ知識、思考・判断・表現を確かめる問い、2ページ目は、思考・判断・表現を働かせて考える問いを掲載し、4ページ目は主体的な学びを促す問いを掲載している。さらに、「節の振り返り」で「シンキングツール」を使って考察するページ設けている。</p> | <p>・単元末に「章のまとめをしよう」を2ページ設け、「語句の意味を確認しよう」の欄、「ニュースを『見方・考え方』から見てみよう」の欄を設けている。さらに、「章の問いに答えよう」で「シンキングツール」を使って考察するページ設けている。</p> | <p>・単元末に「学習のまとめと発展」を1ページ設け、「学習のまとめ」欄で用語を掲載し、「学習の発展」欄では、学習内容の関連する複数の課題を提示し、1つを選択して400字でまとめる課題を設定している。</p> | <p>・単元末に「〇〇のこれから」を2ページ設け、単元の導入において「〇〇の入り口」で示された課題を受け、資料を活用し、学んだことを生かして取り組む課題が設定されている。また、「学習のまとめ」を1ページ設け、重要語句の確認や、説明させたり、自分の考えをまとめさせたりする問いを掲載している。</p> |
| <p><b>【視点】⑥ 単元の導入における工夫</b><br/> <b>【方法】○ 各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て及び具体例</b></p> |  |  |  |   |  |   |
| <p>主体的に学習に取り組む工夫</p>  | <p>・最初の扉の1ページに単元の内容に関する3枚の写真を掲載し、キャラクターによる吹き出しで「どのように～のだろう」といった投げかけをしている。また、小学校の学習と関連させる工夫がある。</p>   | <p>・最初の扉の1ページに単元の内容に関する3～4枚の写真を掲載し、写真の説明と関係するページを示している。<br/>         ・2次元コードを掲載し、関係する情報を見ることができるようになっている。</p>  | <p>・大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。<br/>         ・最初の見開き2ページに「学習の前に」としてイラストを掲載し、それをもとにした問いが掲載されている。また、問いには関連する本文の</p>  | <p>・最初の見開き2ページに「学習の始めに」として漫画及び漫画についての説明文を掲載し、内容についての問いを2つ掲載している。また、小学校の学習と関連させる工夫がある。</p>                                 | <p>・最初の扉1ページに人のいる風景のイラストを掲載し、単元名の下に単元の内容についての問いを示している。</p>   | <p>・最初の扉1ページに単元の内容に関する3枚の写真及びその説明を掲載し、それぞれにキャラクターが問いかけをしている。また、小学校の学習と関連させる工夫がある。<br/>         ・2次元コードを掲載し、関係する情報を</p>                                |

|   |   |  |   |  |   |   |
|---|---|--|---|--|---|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次元コードを掲載し、関係する情報を見ることができるようにしている。</li> <li>・単元の導入において、見開き2ページで「導入の活動」を設定し、大単元の学習を貫く「探究課題」を設定し、「探究」のステップでは各節の問いを示している。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入において、見開き2ページで「第〇章の学習のはじめに」を設け、導入の活動を設定し、大単元の「学習の見通し」を示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページが示されている。また、小学校の学習と関連させる工夫がある。</li> <li>・2次元コードを掲載し、関係する情報を見ることができるようにしている。</li> <li>・キャラクターの吹き出しで、「～していきましょう」と第3部で何を学習するのかを示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次元コードを掲載し、関係する情報を見ることができるようにしている。</li> <li>・「第〇編第□の問いでは」の欄を設け、その単元で何を学習するかを示している。</li> </ul>          |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見ることができるようにしている。</li> <li>・単元の導入において、見開き2ページで、「〇〇の入り口」を設け、イラストや資料をもとに導入の活動をさせるとともに、その単元を学ぶ意義や単元で考えることを示している。</li> </ul> |
| <p><b>【視点】⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 持続可能な社会の形成に関わる課題例及び課題解決の手段</b></p> |   |  |   |  |   |   |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの課題例を分野ごとの一覧表にして示すとともに、関連する本文のページを示している。</li> <li>・①「課題の設定」(持続可能な社会の形成者として)②「資料の収集と読み取り」(持続可能な社会を実現するために)③「意思決定」④「提案参加」(中間発表・最終発表)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・7の課題例を分野ごとの一覧表にして示している。</li> <li>・①持続可能な未来をつくるために、私たちに必要なことはどのようなことでしょうか。②私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成するには、どうしたらよいでしょうか。③「私の提案」をもとに対話を行うと、さらにどのような未来が描けるのでしょうか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6つの課題例を分野ごとの一覧表にして示すとともに、関連する本文のページを示している。</li> <li>・①「課題を決めよう(課題の設定)」②「資料を集めよう(資料の収集と読み取り)」③「考察しよう(考察)」④「レポートを書こう(構想とまとめ)」</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの課題例を分野ごとにまとめた図表の中に示している。</li> <li>・①「テーマの設定」②「資料の収集と読み取り」③「考察と構想」④「まとめと評価」</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」17項目を掲載している。</li> <li>・3つのテーマを分野ごとの一覧表にして示している。</li> <li>・①「課題をみつけよう」②「選択した課題について調べよう」③「解決の方法を考えてみよう」④「卒業論文にまとめる」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの課題例を分野ごとの一覧表にして示している。</li> <li>・①「テーマを決めよう」②「課題探求の計画を立てよう」③「プレゼンテーションしよう」④「内容の見直し」⑤「レポート作成」</li> </ul>               |
|   | <p><b>【視点】⑧ 単元や資料等の配列・分量</b><br/> <b>【方法】○ 各大項目のページ数</b></p>  |  |   |  |   |   |
| 内容の構成・配列・分量   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数246、「私たちと現代社会」31(12%)、「私たちと経済」52(21%)、「私たちと政治」92(37%)、「私たちと国際社会の諸課題」43(17%)、その他28(11%)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数270、「私たちと現代社会」26(10%)、「私たちと経済」64(24%)、「私たちと政治」90(33%)、「私たちと国際社会の諸課題」45(16%)、その他47(17%)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数262、「私たちと現代社会」28(10%)、「私たちと経済」66(25%)、「私たちと政治」86(33%)、「私たちと国際社会の諸課題」43(16%)、その他39(15%)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数274、「私たちと現代社会」32(12%)、「私たちと経済」66(25%)、「私たちと政治」86(33%)、「私たちと国際社会の諸課題」43(16%)、その他49(18%)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数270、「私たちと現代社会」42(16%)、「私たちと経済」44(16%)、「私たちと政治」78(29%)、「私たちと国際社会の諸課題」60(22%)、その他46(17%)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数262、「私たちと現代社会」28(11%)、「私たちと経済」54(21%)、「私たちと政治」80(31%)、「私たちと国際社会の諸課題」36(14%)、その他64(24%)</li> </ul>                  |

|  |   |  |  |  |   |   |
|--|---|--|--|--|---|---|
|  | <p><b>【視点】⑨ 社会参画への意識を高める工夫</b><br/> <b>【方法】○ 「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例</b></p>   |  |  |  |   |   |
| <p>内容の表現・表記</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に「S市の議員になって条例をつくらう」を2ページ設け、課題から条例案を議会に提出する活動が示されている。</li> <li>・ステップチャートの活用が示されている。</li> <li>・章の導入で示した探究課題「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか。」について、文章で記述する活動を設けている</li> <li>・キャラクターの吹き出しで「持続可能性」、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点に注目してまとめるように示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に3ページを使い、第3章の「日本国憲法に基づいてよりよい社会をつくるために、私たちは政治とどのように関わればよいだろうか。」の問いをこれまでの学習を振り返りながら自分の意見をまとめる学習活動を設定している。</li> <li>・キャラクターの吹き出しの意見に対する現在の考えを書かせる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」という学習活動を2ページ設け、予算案を考える活動を示している。</li> <li>・KJ法の活用が示されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に「自分たちのまちの首長を選ぼう」を2ページ設け、公約を整理して選挙を行う活動を示している。</li> <li>・ダイヤモンドランキングの活用が示されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に「総合的な安全保障問題を考えよう」を2ページ設け、「食料問題」「防災問題」「防犯問題」について、調べ、まとめる活動を示している。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に「政治のこれから」を2ページ設け、自分たちの住む地域をよりよくするために必要なことを考える活動を示している。</li> <li>・KJ法及びランキングシートの活用が示されている。</li> </ul> |
|  | <p><b>【視点】⑩ 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</b><br/> <b>【方法】○ 資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数</b></p>   |  |  |  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと政治」における資料の総掲載数303（絵図55、写真123、地図3、表・グラフ45、新聞12、年表2、文書資料16、二次元コード47）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと政治」における資料の総掲載数総掲載数206（絵図47、写真78、地図4、表・グラフ55、新聞3、年表3、文書資料6、二次元コード10）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと政治」における資料の総掲載数総掲載数200（絵図47、写真79、地図4、表・グラフ47、新聞3、年表1、文書資料5、二次元コード14）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと政治」における資料の総掲載数総掲載数305（絵図60、写真110、地図3、表・グラフ61、新聞9、年表2、文書資料16、二次元コード44）</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと政治」における資料の総掲載数総掲載数120（絵図27、写真71、地図0、表・グラフ14、新聞4、年表0、文書資料4、二次元コード0）</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと政治」における資料の総掲載数総掲載数244（絵図44、写真116、地図3、表・グラフ33、新聞13、年表1、文書資料32、二次元コード2）</li> </ul> |   |
| <p><b>【視点】⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b><br/> <b>【方法】○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等</b></p>                       |   |  |  |  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句はゴシック体（太字）を使用している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり仮名にはゴシック体を使用している。</li> </ul>  |   |

|  |   |   |  |   |  |  |
|--|---|---|--|---|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>・複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> <li>・グラフには、背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。</li> <li>・本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色を付け、本文との区別をしている。</li> <li>・ページの隅の色分けと見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>・複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> <li>・グラフには、背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。</li> <li>・ページの隅の色分けと見開きページ右側のインデックス、左ページの下部への記載で、学習内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>・複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> <li>・グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。</li> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。ページの隅の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。</li> <li>・図版資料などのタイトルの先頭に、矢印を付している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年生以上で学習する漢字の初出箇所と、全ての重要語句にルビが付いている。</li> <li>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>・複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> <li>・グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。</li> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>・ページの隅の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・円グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>・帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは色を変えている。</li> <li>・複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> <li>・グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。</li> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>・見開きページの隅の色分けと、見開きページ左下の文字で、学習内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・円グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>・帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、主となるグラフの中に違うデータが含まれる場合は、色を変えたり斜線を入れたりしている。</li> <li>・複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> <li>・グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。</li> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>・ページの隅の色分けで、学習内容を示している。</li> <li>・図版資料などのタイトルの先頭に、矢印を付している。</li> </ul> |
|--|---|---|--|---|--|--|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| 校種  | 教科 | 教科用図書目録に登録された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
|-----|----|--------------------|------------|
| 中学校 | 地図 | 2                  | 3          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点               | 2 東書  | 46 帝国  |
|-------------------------|---|--|
| 知識及び<br>技能の習得           | <p><b>【視点】① 地図の活用を促す工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 地図の見方の記載と内容及び地図を活用した調べ方の事例</b></p>   |  |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。</li> <li>・巻末に「地形図の読み取り」では、「主な地形図の記号」と縮尺、等高線、方位の説明を記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。</li> <li>・巻末に「国土地理院の地形図」では、「地形図のおもな記号」と地形図、縮尺の説明を記載している。</li> </ul> |
| 思考力、判断<br>力、表現力等の<br>育成 | <p><b>【視点】② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 国土の地理的環境及び歴史的事象が記載された地図の例</b></p>   |  |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全体に関しては、地形、気候、自然災害、文化、人口、農林水産業、資源・エネルギー、工業・貿易、交通・通信に関する資料や統計を記載している。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全体に関しては、地形、気候、自然災害・防災、人口、鉱産資源、工業、農業・水産業、交通・観光、歴史・生活・文化に関する資料や統計を記載している。</li> </ul>         |
| 思考力、判断<br>力、表現力等の<br>育成 | <p><b>【視点】③ 思考力、判断力、表現力等を育む工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 思考力、判断力、表現力等の育成を促す記載内容</b></p>  |  |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、公民、SDGsとの関連を示すマークを設けている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、公民、SDGsとの関連を示すアイコンや「防災」「環境」「日本との結びつき」コーナーを設けている。</li> </ul>                               |
| 思考力、判断<br>力、表現力等の<br>育成 | <p><b>【視点】④ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 地図を活用した表現の記載の仕方及び具体例</b></p>  |  |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をするミツバチーズ」というキャラクターを設定し、資料活用コーナーを設け、地図の活</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図で発見！」のコーナーを設け、社会科の学習を、地図をもとに確認したり深めたりする問いとして156問記載している。</li> </ul>                        |

|               |   |   |
|---------------|---|---|
|               | <p>用や学習を深めるためのヒントとなる問いとして157 問記載している。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1月に日本海側で降水量が多くなる仕組みを説明しよう。」</li> </ul>   | <p><b>【具体例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「渥美半島で野菜や花の栽培がさかんになった理由を、水や輸送、消費地の面から調べ、説明しよう。」</li> </ul>  |
| 主体的に学習に取り組む工夫 | <p><b>【視点】⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 課題を追究するための資料の扱い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。</li> </ul>   |
| 内容の構成・配列・分量   | <p><b>【視点】⑥ 題材や資料等の配列</b></p> <p><b>【方法】○ 内容の構成、配列及びページ数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全体」「日本全体」「世界や日本の地域ごと」「統計」「さくいん」に分類し、インデックスを5つに分類し色分けしている。また、「世界」を「世界全体」「州」、「日本」を「日本全体」「地方」で分類し、色分けしている。</li> </ul> <p>題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数 176</li> <li>「世界と日本の資料図」 32 (18.2%)</li> <li>「世界の諸地域」 50 (28.4%)</li> <li>「日本の諸地域」 64 (36.4%)</li> <li>「統計」 5 (0.3%)</li> <li>「さくいん」 9 (0.5%)</li> <li>「巻頭・巻末」 16 (0.9%)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」でインデックスを5つに分類し色分けしている。</li> </ul> <p>題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総ページ数 198</li> <li>「世界と日本の資料図」 28 (14.1%)</li> <li>「世界の諸地域」 58 (29.3%)</li> <li>「日本の諸地域」 74 (37.4%)</li> <li>「統計」 9 (0.5%)</li> <li>「さくいん」 11 (0.6%)</li> <li>「巻頭・巻末」 18 (0.9%)</li> </ul> |
| 内容の表現・表記      | <p><b>【視点】⑦ 学習内容との関連付けがなされた地図や資料等の取扱い</b></p> <p><b>【方法】○ 地図の種類と縮尺及び資料等（二次元コードを含む）の活用方法の示し方</b></p> <p><b>【地図の種類と縮尺】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域地図 6000 万分の1～6500 万分の1</li> <li>・各州地図 1500 万分の1～3500 万分の1</li> </ul>   | <p><b>【地図の種類と縮尺】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域地図 3500 万分の1～9000 万分の1</li> <li>・各州地図 1600 万分の1～3000 万分の1</li> </ul>   |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全体 1000 万分の1、600 万分の1</li> <li>・日本の各地方地図 200 万分の1、100 万分の1</li> <li>・日本のある地域の拡大図 50 万分の1、5 万分の1、2 万分の1</li> <li>・デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを、83か所記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全体 500万分の1</li> <li>・日本の各地方地図 200 万分の1、100 万分の1</li> <li>・日本のある地域の拡大図 50 万分の1、30万分の1、5万分の1</li> <li>・デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを、56か所記載している。</li> </ul> |
|--|--|--|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

|     |    |                    |            |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種  | 教科 | 教科用図書目録に記載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 数学 | 7                  | 9          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点     | 2 東書  | 4 大日本  | 11 学図  | 17 教出  | 61 啓林   | 104 数研  | 116 日文  |
|---------------|---|--|--|--|---|---|---|
| 知識及び<br>技能の習得 | <p><b>【視点】① 知識及び技能の習得を図るための工夫</b><br/> <b>【方法】</b> ○ 学習内容の定着や既習事項の確認に関する扱い及び練習問題数 (第2学年：文字を用いた式の四則計算)</p>   |  |  |  |   |   |   |
|               | <p>2年 「式の計算」<br/>                 ◆知識及び技能の習得を図るための工夫<br/>                 ○ 章のはじめに、章とびらを設け、章の学習内容につながる問いかけとともに、学習を通して身に付ける力を示している。<br/>                 ○ 各学習のはじめに、「Q考えてみよう」を設定して学習のきっかけとするとともに、見通しをたてるための考え方を示している。<br/>                 ○ 「まちがいの例」を示し、どこがまちがっているか説明し、正しく計算する問題を取り扱っている。<br/>                 ○ 学習のまとめごとに、「クイックチェック」を設定し、必ず身に付けたい問題を取り扱っている。<br/>                 ○ 節末に学習した内容の題目やそのページを、巻末に学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。<br/>                 ○ 二次元コードを読み取ると、そのページの内容に関する練習問題が表示される。</p> <p>◇練習問題数<br/>                 ・問 【83問】<br/>                 ・節末 【23問】<br/>                 ・章末 【26問】<br/>                 ・巻末 【77問】</p> | <p>2年 「式と計算」<br/>                 ◆知識及び技能の習得を図るための工夫<br/>                 ○ 章のはじめに、見開きページで、単元で学習する内容や下学年の学習内容との関連を示している。<br/>                 ○ 各学習のはじめに、「考えよう？」を設定して学習のきっかけとするとともに、学習のめあてを示している。<br/>                 ○ 問いに対して、問題解決に関する生徒の考えを取り上げている。<br/>                 ○ 節末に学習した内容の概略とそのページを、巻末に学習した内容の題目やそのページを示し、振り返ることができるようにしている。<br/>                 ○ 学習内容を定着させるために「たしかめ」や「プラスワン」を設定し、例題と同じように取り組める問題や補充するための問題を取り扱っている。</p> <p>◇練習問題数<br/>                 ・問 【117問】<br/>                 ・節末 【28問】<br/>                 ・章末 【18問】<br/>                 ・巻末 【32問】</p> | <p>2年 「式の計算」<br/>                 ◆知識及び技能の習得を図るための工夫<br/>                 ○ 章の前に、「ふりかえり」を設け、下学年の学習内容を示すとともに、章のはじめに、章とびらを設け、日常生活の中から学習内容につながる疑問を示している。<br/>                 ○ 各学習のはじめに「Question」を設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決のための見通しをもたせている。<br/>                 ○ 「正しいかな？」として、誤答例を示し、正しいかどうか確かめる問題を取り扱っている。<br/>                 ○ 節末に、学習した内容の題目やそのページを示し、振り返ることができるようにしている。<br/>                 ○ 「チャレンジ」として示された二次元コードを読み取ると、関連する練習問題が表示される。</p> <p>◇練習問題数<br/>                 ・問 【82問】<br/>                 ・節末 【57問】<br/>                 ・章末 【25問】<br/>                 ・巻末 【25問】</p> | <p>2年 「式の計算」<br/>                 ◆知識及び技能の習得を図るための工夫<br/>                 ○ 章の前に、「〇〇を学習する前に」を設け、章のはじめに、章の学習内容に関連する既習の問題を示すとともに、章とびらを設け、章の学習内容と日常生活や社会との関連を示している。<br/>                 ○ 各学習のはじめに、「Q」などを設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、考え方の手がかりを示している。<br/>                 ○ 「まちがいの例」を示し、どこが間違っているかを説明し、正しく計算する問題を取り扱っている。<br/>                 ○ 「もどって確認」として、下学年で学習した類似の問題の解き方を示している。<br/>                 ○ 節末に学習した題目やその内容のページを、巻末に学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。</p> <p>◇練習問題<br/>                 ・問 【78問】<br/>                 ・節末 【26問】<br/>                 ・章末 【24問】<br/>                 ・巻末 【85問】</p> | <p>2年 「式の計算」<br/>                 ◆知識及び技能の習得を図るための工夫<br/>                 ○ 章のはじめに、日常生活と関わる課題を示すとともに、各節のはじめに、その節で学習する内容に関わる課題を示している。<br/>                 ○ 「説明しよう」「話しあおう」として、誤答例を示し、正しい理由を説明したり、どのように直せば正しくなるかを考えたりする問題を取り扱っている。<br/>                 ○ 内容のまとめごとに練習問題を設定している。<br/>                 ○ 「ふりかえり」として、下学年で学習した類似の問題の解き方を示している。<br/>                 ○ 章末に、学習した内容の概略とそのページを示し、振り返ることができるようにしている。<br/>                 ○ 二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される。</p> <p>◇練習問題<br/>                 ・問 【79問】<br/>                 ・節末 【なし】<br/>                 ・章末 【50問】<br/>                 ・巻末 【15問】</p> | <p>2年 「式の計算」<br/>                 ◆知識及び技能の習得を図るための工夫<br/>                 ○ 章の前に、「ふりかえり」を設け、章の学習に関連する下学年の学習内容や問題を示している。<br/>                 ○ 各学習内容の導入で、「Q」マークを設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決のための手がかりを示している。<br/>                 ○ 「例」の横に、「ふりかえり」として、章の前の「ふりかえり」にある既習事項に関する内容が示されている。<br/>                 ○ 「例」では複数の解答例を示し、多様な考えを取り上げている。<br/>                 ○ 節末と巻末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。<br/>                 ○ 「Link 補充」として示された二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される。</p> <p>◇練習問題<br/>                 ・問 【91問】<br/>                 ・節末 【16問】<br/>                 ・章末 【15問】<br/>                 ・巻末 【38問】</p> | <p>2年 「式の計算」<br/>                 ◆知識及び技能の習得を図るための工夫<br/>                 ○ 章の前に、「次の章を学ぶ前に」を設け、章の学習内容に関連する下学年の学習内容や問題を示している。<br/>                 ○ 各学習内容の導入で、「Q」マークを設定して学習のきっかけとするとともに、学習のめあてを示している。<br/>                 ○ 「まちがいの例」として、誤答例を示し、どこが間違っているかを見つけ、正しく計算する問題を取り扱っている。<br/>                 ○ 「チャレンジ」として、「問」の後に、さらに練習するための問題を示している。<br/>                 ○ 節末に学習した題目やその内容のページを、巻末に学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。<br/>                 ○ 「身につける」として示された二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される。</p> <p>◇練習問題<br/>                 ・問 【96問】<br/>                 ・節末 【25問】<br/>                 ・章末 【34問】<br/>                 ・巻末 【28問】</p> |
|               | <p><b>【視点】② 概念的な理解を促す工夫</b><br/> <b>【方法】</b> ○ 基礎的な概念を身に付ける活動の具体例及び展開 (第1学年：比例、反比例)</p>   |  |  |  |   |   |   |
|               | <p>1年 「比例と反比例」<br/>                 ◆概念的な理解を促す工夫について<br/>                 ○導入<br/>                 ・水そうに水を入れ始めてからの時間と水の深さの関係を導入例にあげている。<br/><br/>                 〈見出し〉満水になるまでの時間を予想しよう。</p>  | <p>1年 「量の変化と比例、反比例」<br/>                 ◆概念的な理解を促す工夫について<br/>                 ○導入<br/>                 ・マラソンで走る先生が走る時刻にともなって変わる数量の関係を導入例にあげている。<br/><br/>                 〈見出し〉時間とともに変わるものは？</p>  | <p>1年 「比例と反比例」<br/>                 ◆概念的な理解を促す工夫について<br/>                 ○導入<br/>                 ・プールに水を入れ始めてからの時間と水位の関係を導入例にあげている。<br/><br/>                 〈見出し〉ともなって変わる2つの数量の関係は？</p>  | <p>1年 「比例と反比例」<br/>                 ◆概念的な理解を促す工夫について<br/>                 ○導入<br/>                 ・水そうに水を入れ始めてからの時間と水面の高さの関係を導入例にあげている。<br/><br/>                 〈見出し〉いつ水を止めればよいかな？</p>  | <p>1年 「変化と対応」<br/>                 ◆概念的な理解を促す工夫について<br/>                 ○導入<br/>                 ・箱をつくるときの切り取る正方形の1辺の長さとその箱の底面の1辺の長さの関係を導入例にあげている。<br/><br/>                 〈見出し〉ともなって変わる数量を見つけよう</p>   | <p>1年 「比例と反比例」<br/>                 ◆概念的な理解を促す工夫について<br/>                 ○導入<br/>                 ・硬貨の枚数とその重さの関係を導入例にあげている。<br/><br/>                 〈見出し〉どんな関係があるのかな</p>   | <p>1年 「比例と反比例」<br/>                 ◆概念的な理解を促す工夫について<br/>                 ○導入<br/>                 ・歩数と道のりの関係を導入例にあげている。<br/><br/>                 〈見出し〉どんな関係があるのかな</p>   |

|  |     |     |    |    |    |    |     |    |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
|--|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|---|----|---|----|--|--|--|--|--|---|---|--|-------------|----|----|----|----|----|----|--------------|-----|-----|--|--|--|--|--|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--|---|-------|---|---|---|---|---|---|-----|--|--|--|--|--|--|--|-----|-------|---|---|---|---|---|---|-----|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|
| <p>(例)水そうの掃除を終えたあと、水がたまっていくようすをしばらく見ていましたが、なかなかたまりません。<br/>(問)空の水そうに水を入れるとき、どのように考えれば満水になるまでの時間を予想できるでしょうか。</p> <p>○展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水そうに水を入れ始めてからの時間と水の深さの関係について、表にまとめながら考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</li> <li>水そうの例で関数の定義を説明している。</li> </ul> <p>○主な発問とまとめ</p> <p>(問)空の水そうに水を入れ始めてから10分後に見にいくと、底から30cmの深さまで水がたまっていました。満水のときの水の深さを180cmとして、満水になるまでの時間を予想してみましょう。</p> <p>(問)水を入れ始めてからx分後の水の深さをycmとして、下の表のxの値に対応するyの値を求め、空らんをうめてみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>X</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>…</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>0</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>…</td> </tr> </table> <p>(まとめ)</p> <p>水そうの例では、xの値を決めると、それにもなってyの値もただ1つ決まる。このように、2つの変数x、yがあり、変数xの値を決めると、それにもなって変数yの値もただ1つ決まるとき、yはxの関数であるという。</p> | X   | 0   | 5  | 10 | 15 | 20 | 25  | 30 | … | Y  | 0 | 30 |  |  |  |  |  | … | <p>(例)東京マラソンに出場した先生をいろいろな場所で応援しました。<br/>(問)マラソン大会で、時刻にともなって変化していった数量を、いろいろあげましょう。</p> <p>○展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1時間ごとの気温の変化のようすなど、ともなって変わるいろいろな数量のうち、2つの数量に着目して、それらの数量の関係について考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</li> <li>章とびらの例と異なる例で、その後を展開している。</li> <li>時刻と気温の例を含めた例【3例】で関数の定義を説明している。</li> </ul> <p>○主な発問とまとめ</p> <p>(問)ある地点で、ある日の8時から18時までの1時間ごとの気温の変化のようすを表したものです。このグラフから、いろいろなことを読み取りましょう。</p> <p>(問1)12時の気温は何℃ですか。また、15時の気温は何℃ですか。</p> <p>(問2)時刻を決めると、気温はただ1つに決まるといってよいですか。</p> <p>(問3)10℃のときの時刻は1つに決まりますか。</p> <p>(まとめ)</p> <p>ともなって変わる2つの数量x、yがあつて、xの値を決めると、それに対応してyの値がただ1つに決まるとき、yはxの関数であるといえます。</p> | <p>(例)縦25m 横13m、深さ1.2mのプールがあります。プール開きの前に、プールをきれいに掃除したあと、一定の割合で、プールが満水になるまで水を入れていきます。<br/>(問)プールに水を入れるとき、ともなって変わる2つの数量をいろいろ見つけましょう。</p> <p>○展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プールや水そうに水を入れる時の水を入れる時間と水位の関係や、窓を開けた時の開けた幅と開けた部分の周囲の長さの関係について考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</li> <li>水そうの例以外の例も考えさせながら、窓の開閉の例で関数の定義を説明している。</li> </ul> <p>○主な発問とまとめ</p> <p>(問)①~③の水そうに一定の割合で水を入れます。水を入れる時間と水位の関係をグラフに表すと、それぞれア~ウのどれになるでしょうか。※グラフは略</p> <p>(問)水そうに一定の割合で水を入れたとき、水を入れた時間と水位の関係をグラフに表すとどうなるでしょうか。およそのグラフをノートにかきましょう。</p> <p>(問)縦90cmの長方形の窓をxcm開けたとき、開けた部分の周囲の長さをycmとします。xとyの関係を、次の表にまとめてみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>開けた幅 x (cm)</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>50</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>周囲の長さ y (cm)</td> <td>200</td> <td>220</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(まとめ)</p> <p>ともなって変わる2つの変数x、yがあつて、xの値を決めると、それに対応するyの値がただ1つに決まるとき、yはxの関数であるという。</p> | 開けた幅 x (cm) | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 | 周囲の長さ y (cm) | 200 | 220 |  |  |  |  | <p>(例)りくさんは、夏休みの数日間、親戚のおじさんが経営しているペットショップでお手伝いをしています。<br/>(問)りくさんは、空の水そうに水を入れ、水の高さが40cmになったら水を止めようとしています。水を入れ始めてから止めるまでの時間を知るには、前もってどんなことを確かめておく必要があるでしょうか。</p> <p>○展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水そうに水を入れ始めてからの時間と水面の高さについて、表にまとめて考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</li> <li>章とびらで展開し、次のページ【本編】最初で関数の定義を説明している。</li> <li>駐輪場の例も示しながら、水そうの例で関数の定義を説明している。</li> </ul> <p>○主な発問とまとめ</p> <p>(問)下の表の口をうめて、水を入れ始めてからの時間と水面の高さの関係を調べて、水面の高さが40cmになるのは何分後か求めてみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>水を入れ始めてからの時間(分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>…</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>水面の高さ(cm)</td> <td>0</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>6</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>…</td> <td>40</td> </tr> </table> <p>(まとめ)</p> <p>水を入れ始めてからの時間をx分、水面の高さをycmとすると、xとyはいろいろな値をとる。ともなって変わる2つの変数x、yがあつて、xの値を決めると、それに対応するyの値がただ1つ決まるとき、yはxの関数であるという。</p> | 水を入れ始めてからの時間(分) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | … | 7 | 水面の高さ(cm) | 0 | □ | □ | □ | 6 | □ | □ | □ | … | 40 | <p>(例)けいたさんとかりんさんは、1辺の長さが16cmの正方形の厚紙を使って次の方法で、ふたのない箱をつくり、小物入れにすることにしました。<br/>(問)箱をつくる時、切り取る正方形の1辺の長さを変えると、それにもなって、どんな数量が変わるでしょうか。</p> <p>○展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>箱をつくる時、切り取る正方形の1辺の長さが変わることにもなって、箱の底面の1辺の長さが変わることなどについて考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</li> <li>箱の例以外の例【4例】も示しながら、箱の例で関数の定義を説明している。</li> </ul> <p>○主な発問とまとめ</p> <p>(問)切り取る正方形の1辺の長さが2cmのとき、箱の底面の正方形の1辺の長さは何cmになるでしょうか。また、切り取る正方形の1辺の長さが7cmのときには、箱の底面の正方形の1辺の長さは何cmになるでしょうか。</p> <p>(まとめ)</p> <p>切り取る正方形の1辺の長さをxcm、箱の底面の1辺の長さをycmとすると、yはxにもなって変わり、いろいろな値をとります。このx、yのように、ともなって変わる2つの変数x、yがあつて、xの値を決めると、それに対応してyの値がただ1つに決まるとき、yはxの関数であるといえます。</p> | <p>(例)かんなさんは、小学生のころから貯金をしていて、500円硬貨はすべて貯金箱Aに、それ以外の硬貨はすべて貯金箱Bに入れている。<br/>(見出し)硬貨の枚数と重さの関係を調べよう。</p> <p>○展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>500円硬貨ばかり入れている貯金箱Aと、それ以外の硬貨を入れている貯金箱Bそれぞれについて、硬貨を何枚か取り出し、硬貨の枚数と重さの関係について考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</li> <li>硬貨の例(非連続)以外の例【2例】で関数の定義を説明している。</li> </ul> <p>○主な発問とまとめ</p> <p>(問)貯金箱Aから硬貨を何枚か取り出すとき、硬貨の枚数と重さの関係はどのようになるでしょうか。また、貯金箱Bから硬貨を何枚か取り出すときはどのようになるでしょうか。それぞれについて、下の表を使って考えてみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>貯金箱 A</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>(枚)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(g)</td> </tr> <tr> <td>貯金箱 B</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>(枚)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(g)</td> </tr> </table> <p>(まとめ)</p> <p>貯金箱Aについて、x枚の硬貨を取り出した場合の重さがygであるとするとき、xとyはいろいろな値をとるが、xの値が1つ決まると、それに対応してyの値がただ1つに決まる。このようなき、yはxの関数であるという。</p> | 貯金箱 A | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | (枚) |  |  |  |  |  |  |  | (g) | 貯金箱 B | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | (枚) |  |  |  |  |  |  |  | (g) | <p>[歩いて日本を測量した伊能忠敬] 江戸時代に日本地図づくりに取り組んだ伊能忠敬は、最初の測量の旅で、歩数から歩いた道のりを求めました。</p> <p>○展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩数と道のりなど、1つの数量が決まると、それにもなって、もう1つの数量が決まるもの考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</li> <li>歩数と道のりの例以外の例【3例】を示しながら、歩数と道のりの例で関数の定義を説明している。</li> </ul> <p>○主な発問とまとめ</p> <p>(問)「歩幅が一定だとすると、歩数が決まれば、歩いた道のりが決まる」という話をしています。同じように、1つの数量が決まると、それにもなって、もう1つの数量が決まるものをいろいろ見つけて、口が決まると、口が決まると説明しましょう。</p> <p>ア 時速4kmで歩くとき、歩く時間が決まると、口が決まる。</p> <p>イ 1Lのジュースを何人かで等分するとき、口が決まると、1人分の量が決まる。</p> <p>ウ 100円ごとに1ポイントもらえる店で買い物をするとき、口が決まると口が決まる。</p> <p>(問)次の文章のxに、自分で決めたいろいろな数値をあてはめて、それに対応するyの値を求めてみましょう。</p> <p>歩幅が0.7mで一定であるとするとき、x歩でymの道のりを進む。</p> <p>x=10のとき、y=7<br/>x=20のとき、y=□<br/>x=□のとき、y=□</p> <p>(まとめ)</p> <p>歩いた道のりは、歩数にもなって変わります。また、歩数が決まると、それに対応する道のりがただ1つ決まります。ともなって変わる2つの変数x、yがあつて、xの値を決めると、それに対応するyの値がただ1つ決まるとき、yはxの関数であるといえます。</p> |
| X  | 0   | 5   | 10 | 15 | 20 | 25 | 30  | …  |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
| Y  | 0   | 30  |    |    |    |    |     | …  |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
| 開けた幅 x (cm)  | 10  | 20  | 30 | 40 | 50 | 60 |     |    |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
| 周囲の長さ y (cm)   | 200 | 220 |    |    |    |    |     |    |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
| 水を入れ始めてからの時間(分)  | 0   | 1   | 2  | 3  | 4  | 5  | 6   | …  | 7 |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
| 水面の高さ(cm)  | 0   | □   | □  | □  | 6  | □  | □   | □  | … | 40 |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
| 貯金箱 A  | 1   | 2   | 3  | 4  | 5  | 6  | (枚) |    |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
|  |     |     |    |    |    |    | (g) |    |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
| 貯金箱 B  | 1   | 2   | 3  | 4  | 5  | 6  | (枚) |    |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |
|  |     |     |    |    |    |    | (g) |    |   |    |   |    |  |  |  |  |  |   |   |  |             |    |    |    |    |    |    |              |     |     |  |  |  |  |  |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |   |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |       |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |  |     |  |

|   |  |  |   |   |  |  |  |
|---|--|--|---|---|--|--|--|
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p>  | <p><b>【視点】③ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫</b><br/> <b>【方法】</b>○ 説明したり、話し合ったりする問題や問い等の具体例（第2学年：データの活用）</p> <p>◆説明したり、話し合ったりする問題や問いの数…13（内説明を求める問題2）<br/> ◆「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」の具体例<br/> ○きっかけとなる事柄<br/> 「スーパーマーケットでは、なるべく多くの商品を仕入れて、残すことなく売するために販売数の傾向を分析することがあります。」<br/> ○調べてみよう<br/> 「牛乳の販売数を表したヒストグラムから、どのようなことがわかるでしょうか。」<br/> ○考えてみよう<br/> 「箱ひげ図とヒストグラムを比較して、箱ひげ図から読み取れることを考えてみましょう。」<br/> ○調べてみよう<br/> 「牛乳の販売数を曜日ごとに表した箱ひげ図を比較して、その傾向を調べてみましょう。」</p> <p>◆説明したり、話し合ったりする問題や問いの数…8（内説明を求める問題1）<br/> ◆「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」の具体例<br/> ○きっかけとなる事柄<br/> 「日本の（バレーボール）選手の身長は、ほかの国の選手に比べて、どのような傾向があるだろうか。」<br/> ○問題<br/> (1) 表8のデータを、どのような方法で分析すれば、日本の選手の身長の傾向がわかりそうですか。<br/> (2) 表8をもとに、日本とイランの選手の身長データを、箱ひげ図に表しなさい。<br/> (3) (2) から、日本の選手とイランの選手の身長の分布のようすを比べて、わかることをいいなさい。<br/> (4) (3) と同じように、日本の選手とイラン以外の国の選手の身長の分布のようすを比べて、わかることをいいなさい。<br/> (5) (3)、(4) から、日本の選手の身長は、ほかの国の選手に比べてどのような傾向があるといえるか、説明しなさい。</p> <p>◆説明したり、話し合ったりする問題や問いの数…12（内説明を求める問題2）<br/> ◆「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」の具体例<br/> ○きっかけとなる事柄<br/> 「1月から3月の間にメルボルンに行く場合、どんな服を準備すればよいか調べるために、5年間の日ごとの最高気温のデータから月ごとの平均値を求めグラフに表すと、次のようになります。このグラフから、どんなことがわかりますか。」<br/> ○問題<br/> 「メルボルンと東京の5年間の日ごとの最高気温のデータを月ごとに集めて箱ひげ図をつくと、次のようになります。このグラフから、どんな服を準備すればよいか話し合ってみましょう。」<br/> ○問題<br/> 「メルボルンの5年間の1月から3月の日ごとの最高気温を、次のような度数分布表に整理しました。累積度数や相対度数、累積相対度数を求めて、どんな服を用意すればよいか話し合ってみましょう。」</p> <p>◆説明したり、話し合ったりする問題や問いの数…5（内説明を求める問題2）<br/> ◆「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」の具体例<br/> ○きっかけとなる事柄「年々、冬日の日数が減少することは、京都以外の都市でも起こっているのでしょうか。京都以外の都市についても箱ひげ図を利用し、冬日の日数の経年変化を調べてみましょう。また、わかったことを発表してみましょう。」<br/> ○調べたいことを決めよう<br/> 「札幌と横浜の冬日の日数の経年変化は、京都と同じような傾向があるのかな。」<br/> ○計画を立てよう<br/> ○データを集めよう<br/> ○分析しよう<br/> ○結論をまとめよう<br/> ○結論、調査や発表のしかたをふり返ろう</p> <p>◆説明したり、話し合ったりする問題や問いの数…5（内説明を求める問題2）<br/> ◆「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」の具体例<br/> ○きっかけとなる事柄<br/> 「けいたさんとかりんさんは、日ごろから関心をもっているごみのリサイクルについて、全国でどの程度取り組まれているか調べてみることにしました。」<br/> 「けいたさんとかりんさんは、各都道府県のごみのリサイクル率について調べ、次のようにヒストグラムと表にまとめました。」<br/> ○話しあおう<br/> 「上のヒストグラムや表から、ごみのリサイクル率について、どのようなことがわかりますか。」<br/> 「ごみのリサイクル率が高い5県について、それぞれの市町村のごみのリサイクル率のデータを調べたところ、四分位数などの値は、次のようになりました。」<br/> 「この表から箱ひげ図をつくと、次のようになります。」<br/> ○話しあおう<br/> 「前ページのヒストグラムや表、上の図などから、各都道府県のごみのリサイクルへの取り組みについて、どのようなことがいえそうでしょうか。」</p> <p>◆説明したり、話し合ったりする問題や問いの数…6（内説明を求める問題5）<br/> ◆「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」の具体例<br/> ○きっかけとなる事柄<br/> 「ある中学校の体育委員会で、生徒の体力が以前と比べて変化しているか調べるため、体力テストのデータの傾向について調査することになった。」<br/> ○先生の問い<br/> 「これまでに学習した方法を使って、データの傾向について調べましょう。」<br/> ○問題<br/> 「ある中学校の体力テストのハンドボール投げのデータから、2012年、2015年、2018年、2021年の平均値の表と、箱ひげ図をつくと下のようになりました。データの傾向について、気づいたことを答えましょう。また、そのように考えた理由を説明しましょう。」<br/> ○先生の問い<br/> 「箱ひげ図のどこに着目したのですか？」<br/> 「最大値や最小値ではなく、箱の位置や中央値に着目したのはなぜですか？」</p> <p>◆説明したり、話し合ったりする問題や問いの数…5（内説明を求める問題3）<br/> ◆「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」の具体例<br/> ○きっかけとなる事柄<br/> 「1日の最低気温が0℃未満の日を冬日といいます。」<br/> 「真衣さんの班では、今度は冬日が減る傾向にあるのかどうかを調べることにしました。」<br/> 「そこで、福岡、大阪、東京の冬日について、1963年から2022年までの60年間分のデータを20年ごとに区切り、都市ごとに3つずつのデータにしました。それぞれの都市のデータについて、古い方から順にデータ①、②、③とします。」<br/> 「次のページの図1は、それらのデータをもとにかいた箱ひげ図です。」<br/> ○問題<br/> 図1から、3つの都市のデータに共通する特徴を読み取ることができます。その特徴として正しいものを、次の○ア～○エの中からすべて選びなさい。<br/> ・ア データの範囲が①、②、③の順に小さくなっている。<br/> ・イ データの四分位範囲が①、②、③の順に小さくなっている。<br/> ・ウ データの中央値が①、②、③の順に小さくなっている。<br/> ・エ ①、②、③のいずれのデータも、中央値より平均値の方が大きい。<br/> ○話しあおう<br/> 「上の図1から、3つの都市の冬日について、どのような傾向があるといえるでしょうか。根拠にしたことと、その傾向について話し合みましょう。」</p> |  |   |   |  |  |  |
|   | <p><b>【視点】④ 問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫</b><br/> <b>【方法】</b>○ 問題発見・解決の過程における数学的な見方・考え方を働かせる展開例（第2学年：基本的な平面図形の性質）</p>  |  |   |   |  |  |  |
| <p>◆多角形の内角の和における展開例<br/> &lt;導入&gt;<br/> ○多角形の角の和をいろいろな方法で求め、その求め方を説明する。<br/> ○「それぞれの多角形について、角の和の求め方を説明してみましょう。」<br/> ○「友だちの考えやほかの考えを聞いてみましょう。」<br/> (扱う多角形)<br/> ・四角形、五角形、正六角形、六角形</p> | <p>◆多角形の内角の和における展開例<br/> &lt;導入&gt;<br/> ○五角形の内角の和を求めたカルロスさんの考え方を使って、六角形と七角形の内角の和をそれぞれ求める。<br/> (扱う多角形)<br/> ・五角形、六角形、七角形<br/> &lt;展開&gt;<br/> ○「辺の数と、1つの頂点から対角線をひいてできる三角形の数との間には、どのような関係がありますか。」</p>  | <p>◆多角形の内角の和における展開例<br/> &lt;導入&gt;<br/> ○五角形の内角の和を求め、その求め方を説明する。<br/> ▼「根拠を明らかにして、説明できるかな。」<br/> (扱う多角形)・五角形<br/> &lt;展開&gt;<br/> ○「表で、多角形の頂点の数をnとすると、内角の和はどんな式で求めることができるでしょうか。」<br/> ▼「三角形に分ける方法は、ほかにもありそうだね。」</p> | <p>◆多角形の内角の和における展開例<br/> &lt;導入&gt;<br/> ○1つの頂点から対角線をひく方法で多角形の内角の和を求める。<br/> (扱う多角形)<br/> ・四角形、五角形、六角形、七角形<br/> &lt;展開&gt;<br/> ○「多角形の頂点の数をnとすると、1つの頂点からひいた対角線によって、多角形は(n-2)個の三角形に分けられる。」これが正しいことを、教科書の図を</p> | <p>◆多角形の内角の和における展開例<br/> &lt;導入&gt;<br/> ○多角形の内角の和を調べる。<br/> (扱う多角形)<br/> ・四角形、五角形、六角形<br/> &lt;展開&gt;<br/> ○「辺の数がnである多角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、(n-2)個の三角形に分けられます。したがって、n角形の内角の和は、次の式で表すことができます。n角形の内角の和は、<math>180^\circ \times (n-2)</math>である。」</p> | <p>◆多角形の内角の和における展開例<br/> &lt;導入&gt;<br/> ○「n角形の内角の和は何度になりますか。nを使って表しましょう。」<br/> ○まなとさん（小学校の学習を想起する）<br/> ○みかさん（三角形に分ける方法を想起する）<br/> ▼「次のように三角形に分ける方法があったね。」<br/> (扱う多角形)<br/> ・四角形、五角形</p> | <p>◆多角形の内角の和における展開例<br/> &lt;導入&gt;<br/> ○陸さんは、1本の対角線で2つの三角形に分け、四角形の内角の和を求めている。<br/> ○「陸さんと同じ方法で、五角形の内角の和を求めましょう。」<br/> ▼いくつかの場合から予想する具体的な数で考える<br/> ○陸さんと同じ方法で六角形と七角形の内角の和を求める。</p> |  |

|   |  |  |   |   |  |  |
|---|--|--|---|---|--|--|
| <p>▼「どの六角形でも同じ方法で求められるかな。」</p> <p>・十角形</p> <p>▼「頂点の数が増えても同じ方法で角の和を求められるかな。」</p> <p>&lt;展開&gt;</p> <p>○「多角形を、1つの頂点から出る対角線で三角形に分けます。頂点の数がnの多角形の内角の和を求める式はどうなるでしょうか。」</p> <p>▼「頂点が増えても、同じきまりで考えられるのかな。」</p> <p>○「n角形のときに分けられる三角形の個数はどうなるでしょうか。また、その理由を説明してみましよう。」</p> <p>○「n角形の内角の和を求める式はどうなるでしょうか。」</p> <p>○「多角形の内角の和の求め方の説明で、もとにしていることがらをいいなさい。」</p> <p>▼「説明では、もとにしていることがらを明らかにしよう。」</p> <p>○「n角形を、その内部の1つの点から頂点にひいた線分で三角形に分ける方法で、n角形の内角の和の求め方を説明しなさい。」</p> <p>→数学的な見方・考え方を働かせる発問等の数…7</p> | <p>○「n角形の内角の和を、nを使った式で表しなさい。」</p> <p>○五角形の内部に点を取る方法を図で示したマイさんの考え方を使って、内角の和を求める。</p> <p>▼「点Oを辺上にとっても考えることができるかな。」</p> <p>○十角形の内角の和の求め方を例示し、十二角形の内角の和を求める。</p> <p>○内角の和が2340°である多角形の求め方を例示し、内角の和が1980°である多角形を求める。</p> <p>→数学的な見方・考え方を働かせる発問等の数…6</p> | <p>▼「どんな分け方をしても、結果は同じになるのかな。」</p> <p>○「美月さんは、次のようにして五角形の内角の和を求めました。美月さんの考え方を説明してみましょう（五角形の内部に点を取り、各頂点と結んで求める方法）。」</p> <p>○「美月さんの考え方でn角形の内角の和を求め、それが180°×(n-2)と等しいことを確かめてみましょう。」</p> <p>▼「点Pを図形の内部にとっているけど、どこに点Pをとっても同じ結果になるのかな。」</p> <p>▼「辺上や、五角形の外部にとっても同じことがいえるのかな。」</p> <p>○「十二角形の内角の和は何度ですか。」</p> <p>○「正十二角形の1つの内角の大きさは何度ですか。」</p> <p>○「内角の和が1260°になるのは何角形ですか。」</p> <p>○五角形を三角形に分ける方法として、「1つの頂点で分ける」「内部の点で分ける」「辺上の点で分ける」場合を示し、「点Pを五角形の外部に動かした場合も考えることができます。この図を使って、五角形の内角の和を求めてみましょう。」</p> <p>→数学的な見方・考え方を働かせる発問等の数…11</p> | <p>使って説明する。また、このことから、多角形の内角の和を、nを使った式で表す。</p> <p>▼いくつか調べてきまりを見つけて。</p> <p>○たくみさんが、五角形を三角形に分ける方法として、内部に点をとって分ける図をかいて考えている。たくみさんの考え方を説明し、たくみさんの考え方でn角形の内角の和を求める。</p> <p>▼「ほかにも下の図のように考える(三角形を辺上の点で分ける)方法があるよ。」</p> <p>○「十二角形の内角の和を求めなさい。」</p> <p>○「正九角形の内角の和を求めなさい。また、その1つの内角の大きさを求めなさい。」</p> <p>○「内角の和が1980°である多角形は何角形であるか答えなさい。」</p> <p>▼「方程式の形にして求めるといいね。」</p> <p>○「内角の和が2700°である多角形は何角形ですか。」</p> <p>○「1つの内角の大きさが135°である正多角形は正何角形ですか。」</p> <p>→数学的な見方・考え方を働かせる発問等の数…10</p> | <p>○「十角形の内角の和は何度ですか。また、正十角形の1つの内角の大きさは何度ですか。」</p> <p>○「内角の和が900°、1800°となる多角形は何角形ですか。」</p> <p>○かりんさんが、五角形を三角形に分ける方法として、内部に点をとって分ける図を示し、「かりんさんは、n角形の内角の和を、右の図のように考えて、180°×n-360°という式で表しました。かりんさんの考え方を説明しましょう。」</p> <p>→数学的な見方・考え方を働かせる発問等の数…4</p> | <p>&lt;展開&gt;</p> <p>○「n角形は1つの頂点からひいた対角線によって(n-2)個の三角形に分けることができる。よって、次のことが成り立つ。n角形の内角の和は180°×(n-2)」</p> <p>○「2人の考え方では、n角形の内角の和はどのような式で表されますか。」</p> <p>○かんなさん(辺上に点をとって、三角形に分ける)</p> <p>▼「辺の上に点をとって三角形に分けたよ。」</p> <p>○ひびきさん(図形の内部に点をとって、三角形に分ける)</p> <p>▼「図形の中に点をとって三角形に分けたよ。」</p> <p>○十角形の内角の和の求め方を例示する。</p> <p>○「十二角形の内角の和を求めなさい。」</p> <p>○「正十八角形の1つの内角の大きさを求めなさい。」</p> <p>○「内角の和が1260°である多角形は何角形ですか。」</p> <p>→数学的な見方・考え方を働かせる発問等の数…10</p> | <p>▼知っていることを使えるようにする 三角形の内角の和をできるように補助線をひく(扱う多角形)</p> <p>・四角形、五角形、六角形、七角形</p> <p>&lt;展開&gt;</p> <p>○「上の表からきまりを見つけて、気づいたことを話し合ひましょう。また、話し合ったことをもとに、n角形の内角の和を求めましょう。」</p> <p>▼関連づけてまとめる 共通する考え方に着目してまとめる</p> <p>○「n角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、(n-2)個の三角形に分けることができます。このことから、次のことが成り立ちます。n角形の内角の和は180°×(n-2)である。」</p> <p>○「十角形の内角の和を求めなさい。」</p> <p>○「内角の和が1800°である多角形は何角形ですか。」</p> <p>○n角形の内角の和を求めた3人の図を見て、対応する式を選ばせる。</p> <p>▼ほかの方法を考える 三角形のつくり方を考える</p> <p>・陸さん(1つの頂点からひいた対角線で三角形に分ける)</p> <p>・真衣さん(辺上に点をとって三角形に分ける)</p> <p>・レオさん(図形の内部に点をとって三角形に分ける)</p> <p>○3人の考え方の共通点を考えさせる。</p> <p>▼比べて考える 共通する考え方や異なる考え方に着目する</p> <p>→数学的な見方・考え方を働かせる発問等の数…9</p> |
|---|--|--|---|---|--|--|

|                                |  |   |  |   |   |  |
|--------------------------------|--|---|--|---|---|--|
| <p>主体的に<br/>学習に取り組む<br/>工夫</p> | <p><b>【視点】⑤ 興味・関心を高めるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 日常生活や社会とのかかわりを取り扱われている具体例及び題材数</b></p>  |   |  |   |   |  |
|                                | <p>「比例と反比例」<br/>&lt;具体例&gt;</p> <p>○ともなって変わる数量</p> <p>・水そうに水を入れ始めてからの時間と水の深さの関係</p> <p>○比例</p> <p>・ポップコーンを購入するときの待っている人数と待ち時間の関係</p> <p>・スライドショーを作成するときの1枚の写真を映す時間と曲の長さの関係</p> <p>・車いすマラソンの選手のスタートしてから時間と走った距離の関係</p> <p>○反比例</p> <p>・スライドショーを作成するときの1枚の写真を映す時間と写真の枚数の関係</p> <p>&lt;題材数&gt; 18</p> | <p>「量の変化と比例、反比例」<br/>&lt;具体例&gt;</p> <p>○ともなって変わる数量</p> <p>・マラソン大会で、時刻にともなって変化した数量</p> <p>・ある地点での、ある日の8時から18時までの1時間ごとの気温の変化</p> <p>○比例</p> <p>・選手が走ったときの時間と位置の関係</p> <p>・一定の割合で水位が変化している直方体の容器の中での、時間と水位の関係</p> <p>・時計において、12時からの経過時間と長針、短針それぞれが動いた角度の関係</p> <p>○反比例</p> <p>・電子レンジの出力と加熱時間の関係</p> | <p>「比例と反比例」<br/>&lt;具体例&gt;</p> <p>○ともなって変わる数量</p> <p>・プールに水を入れたときにもなって変わる2つの数量</p> <p>・長方形の窓を開けたときの、開けた幅と開けた部分の周囲の長さの関係</p> <p>○比例</p> <p>・ばねにつるしたおもりの重さとばねののびの関係</p> <p>・陸さんと妹が家から駅まで歩くときの時間と道のりの関係</p> <p>・ペットボトルのキャップの個数と寄付できるワクチンの人数分の関係</p> <p>○反比例</p> <p>・視力とランドルト環の外側の直径の関係</p> <p>&lt;題材数&gt; 35</p> | <p>「比例と反比例」<br/>&lt;具体例&gt;</p> <p>○ともなって変わる数量</p> <p>・水そうに水を入れ、水面の高さが40cmになるまでの時間を知るために必要な情報</p> <p>○比例</p> <p>・ペットボトルのキャップ全体の重さと個数の関係</p> <p>・たくみさんとそうたさんがジョギングしたときの時間と道のりの関係</p> <p>○反比例</p> <p>・電子レンジの出力と加熱時間の関係</p> <p>・1000羽のつるを折るときの人数と1人が折る鶴の数の関係</p> <p>&lt;題材数&gt; 28</p> | <p>「変化と対応」<br/>&lt;具体例&gt;</p> <p>○ともなって変わる数量</p> <p>・正方形の厚紙を使って、底面が正方形でふたのない箱を作るときの高さにとりともなって変わる数量</p> <p>○比例</p> <p>・線香に火をつけてからの時間と燃えた長さの関係</p> <p>・紙パックをトイレットペーパーにリサイクルするときの紙パックの重さとトイレットペーパーの個数の関係</p> <p>・アルミ板から形を切り取るときの切り取った形の重さと面積の関係</p> <p>○反比例</p> <p>・電子レンジの出力と温める時間の関係</p> | <p>「比例と反比例」<br/>&lt;具体例&gt;</p> <p>○ともなって変わる数量</p> <p>・貯金箱から取り出した硬貨の枚数と重さの関係</p> <p>○比例</p> <p>・500円硬貨の枚数と重さの関係</p> <p>・回収したペットボトルのキャップの個数と重さの関係</p> <p>・電動式のシャッターの開いた部分の長方形の高さと面積の関係</p> <p>○反比例</p> <p>・電子レンジの出力と加熱時間の関係</p> <p>&lt;題材数&gt; 14</p> |

|  |  |   |  |  |  |   |
|--|--|---|--|--|--|---|
| <p>「データの分析と活用」<br/>＜具体例＞<br/>○ データの分布<br/>・サッカーチームにおいて、現在のチームと優勝時のチームの1500m走の記録の比較<br/>・「体力向上ウィーク」において、全校生徒の運動時間が増えたかどうかの比較<br/>・生徒のスマートフォンやタブレットなどの情報機器の使用状況についての考察<br/>○ 不確定な事象の起こりやすさ<br/>・2社のホエールウォッチング体験ツアーのクジラとの出会いやすさの判断<br/>・ペットボトルキャップを投げて表向きになる確率<br/>・上ばき販売時に、過去3年分のデータをもとに考える各サイズの仕入れ個数<br/>＜題材数＞ 13</p> | <p>・自転車のギアの歯数と回転数の関係<br/>＜題材数＞ 26</p> <p>「データの分析」<br/>＜具体例＞<br/>○ データの分布<br/>・10 cmの長さの感覚について実験をしたときの1回目と2回目の記録の比較<br/>・A中学校とB中学校の生徒の通学時間の比較<br/>○ 不確定な事象の起こりやすさ<br/>・サッカーのコイントスにおいて、びんやペットボトルのふたが代用できるかを実験結果より比較<br/>・2008年から2017年までの日本の男女別出生数のデータから、男子と女子の生まれることの起こりやすさの比較<br/>・2007年と2017年のガソリン自動車の燃費の比較<br/>＜題材数＞ 22</p> | <p>「データの活用」<br/>＜具体例＞<br/>○ データの分布<br/>・A組とB組のルーラーキャッチの記録の比較<br/>・東京の1920年と2020年の8月の日ごとの最高気温のヒストグラムの比較<br/>○ 不確定な事象の起こりやすさ<br/>・ペットボトルのキャップを投げたときの表向き、裏向き、横向きが出る確率<br/>・びんの王冠を投げたときの表、裏が出る確率<br/>・降水確率<br/>＜題材数＞ 25</p> | <p>「データの活用」<br/>＜具体例＞<br/>○ データの分布<br/>・紙コプターの羽の長さや滞空時間のデータの分析<br/>・2つの学級の男子の50m走の記録の比較<br/>○ 不確定な事象の起こりやすさ<br/>・スキー場の昨シーズンのスキーブーツ貸出回数と今後の1000足分の購入計画<br/>・ペットボトルのキャップを投げたときに表向き、裏向き、横向きになる確率<br/>・2015年から2021年までの日本の女子出生数の分析<br/>＜題材数＞ 17</p> | <p>＜題材数＞ 25</p> <p>「データの活用」<br/>＜具体例＞<br/>○ データの分布<br/>・紙ふぶきの長方形の長さや幅の違いと滞空時間の比較<br/>・卵が10個ずつ入った容器A、Bそれぞれの容器に入った卵の重さの分布の比較<br/>○ 不確定な事象の起こりやすさ<br/>・将棋の駒を投げたときの表向き、裏向き、横向き、上向き、下向きがでる確率<br/>・2011年から2020年までの日本の年次ごとの出生児総数と出生児数の割合<br/>・イルカウォッチングツアーの実施回数と、イルカと遭遇できた回数から求められる遭遇できる確率<br/>＜題材数＞ 17</p> | <p>「データの活用」<br/>＜具体例＞<br/>○ データの分布<br/>・A市とB市の50日分の気温と天気のデータの比較<br/>・テーマパークにある2つのアトラクションの待ち時間の比較<br/>○ 不確定な事象の起こりやすさ<br/>・ペットボトルのキャップを投げたときに表向き、裏向き、横向きになる確率<br/>・靴の販売店の過去のデータをもとにした各サイズの靴を何足仕入れるかの考察<br/>＜題材数＞ 13</p> | <p>「データの活用」<br/>○ データの分布<br/>・20世紀の100年間における高知県高知市の3月の平均気温のデータの比較<br/>・野球チームが、対戦相手のA投手の球の速さを分析して立てた練習計画が適切かを判断する<br/>○ 不確定な事象の起こりやすさ<br/>・ペットボトルのキャップを投げたときの表向き、裏向き、横向きが出る確率<br/>・送迎バスの2つのルート of 所要時間の比較<br/>＜題材数＞ 15</p> |
|--|--|---|--|--|--|---|

【視点】⑥ 問題解決的な学習を実施するための工夫

【方法】○ 問題の具体例及び問題数

|   |  |   |   |  |   |  |
|---|--|---|---|--|---|--|
| <p>[数学の自由研究]<br/>「第1学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 素数のひみつを調べよう<br/>○ 円周率<math>\pi</math>の歴史<br/>○ グラフを使って考えよう<br/>○ ランドルト環のしくみ<br/>○ 地震のゆれの予測のしくみ<br/>○ エッシャーに挑戦しよう<br/>○ はちの巣の形のしくみ<br/>○ フラクタル模様を知ろう<br/>○ 正多面体は、なぜ5種類？<br/>＜問題＞ 9</p> <p>「第2学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 17段目のふしぎ<br/>○ 食品ロスの未来を予測しよう<br/>○ アメリカホームステイ<br/>○ 折り紙で正多角形を作ろう<br/>○ 図形の性質を見つけよう<br/>○ パスカルとフェルマーの手紙<br/>○ 点字のきまりを知ろう<br/>＜問題数＞ 7</p> | <p>「もっと数学の世界へ」<br/>「第1学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 鉛筆の芯はどれだけ使える？<br/>○ テーブルは何人で使うことができる？<br/>○ 2つのエレベーターの距離はどうなる？<br/>○ 素数の力で生き抜いてきたセミ<br/>○ 身のまわりのマイナス<br/>○ 私たちの食料とフード・マイレージ<br/>○ 関数で健康管理！<br/>○ 船が安全に進むための工夫<br/>○ 手まり模様の秘密<br/>○ データを正しく活用するには<br/>＜問題数＞ 10</p> <p>「第2学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ どの店に注文する？<br/>○ 考え方の共通点は？<br/>○ 点を結んでできる図形の面積は？<br/>○ まだある！数の世界<br/>○ さっさ立てに挑戦しよう<br/>○ 関数を使って予想しよう<br/>○ 幾何学の起こり<br/>○ 四角形の変身術<br/>○ 不思議な錯視の世界<br/>○ 点字を生んだブライユの想い<br/>＜問題数＞ 10</p> | <p>[さらなる数学へ]<br/>「第1学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう<br/>○ 米は何粒？<br/>○ 複雑な形の面積は？<br/>○ 道路のカーブの半径は？<br/>○ 立方体の切り口の形は？<br/>○ ディオファントスと方程式<br/>○ 円周率<math>\pi</math>の話<br/>＜問題数＞ 7</p> <p>「第2学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ フェアトレードからできることを考えよう<br/>○ 気温は上がっている？<br/>○ 点字のしくみは？<br/>○ どちらが有利？<br/>○ 面積は求められる？<br/>○ パスカルとフェルマーになつてみよう<br/>＜問題数＞ 6</p> | <p>[数学ライブラリー]<br/>「第1学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 最大公約数と最小公倍数<br/>○ 円周率<math>\pi</math>の歴史<br/>○ どちらが得かな？<br/>○ 進行の計画を立てよう！<br/>○ 「動く歩道」の速さは？<br/>○ どちらのほうが長いかな？<br/>＜問題数＞ 6</p> <p>「第2学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 点の数と面積の関係<br/>○ 立体の切り口<br/>○ 点字のしくみ<br/>○ 食塩水の濃度はどれくらいかな？<br/>○ 条件を変えても成り立つのかな？<br/>＜問題数＞ 5</p> | <p>[学びをいかそう]<br/>「第1学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 何時に話そうかな？<br/>○ 最大公約数と最小公倍数<br/>○ おにぎりを売ろう<br/>○ どちらの店で買おうかな？<br/>○ 緊急地震速報<br/>○ ランドルト環<br/>○ 移動を使って面積を求めよう<br/>○ おうぎ形の面積<br/>○ 正多面体の特徴をさぐる<br/>○ 最高気温の推移から気候変動について調べよう<br/>○ 社会見学にいこうー回転焼きができるまでー<br/>＜問題数＞ 11</p> <p>「第2学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ スタートの位置はどこ？<br/>○ 体を動かして健康を維持しよう<br/>○ 料金が安いのは？<br/>○ 角の大きさを求めよう<br/>○ へこみの部分の角の大きさ<br/>○ どちらのくじをひこうかな？<br/>○ 大雨の発生状況を調べよう<br/>○ 社会見学にいこうー明太子ができるまでー<br/>＜問題数＞ 8</p> | <p>[数学旅行]<br/>「第1学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 塵劫記<br/>○ ディオファントスの一生<br/>○ 深海の水圧<br/>○ 封筒で立体を作ってみよう<br/>○ 日本の気候変動<br/>○ 降水確率<br/>＜問題数＞ 6</p> <p>「第2学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 温度の単位<br/>○ LED電球はお得？<br/>○ 星形の図形の角の和<br/>○ ビッグデータ<br/>＜問題数＞ 4</p> | <p>[数学マイトライ]<br/>「第1学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 小町算<br/>○ 地震のP波とS波<br/>○ 三角形の内心と外心<br/>○ 正多面体が5種類しかない理由<br/>○ 多面体の面、頂点、辺の数の関係<br/>○ 立体の切り口にできる図形<br/>○ 素数を求めるプログラムを考えよう<br/>＜問題数＞ 7</p> <p>「第2学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 連続する10個の整数の和<br/>○ さっさ立て<br/>○ 食塩水の濃度<br/>○ ダイアグラム<br/>○ 条件を変えて考えよう<br/>○ 1970年の大阪万博の入場者数<br/>○ 星形正多角形のアルゴリズムを考えよう<br/>＜問題数＞ 7</p> |
|---|--|---|---|--|---|--|

|   |  |   |  |  |   |  |
|---|--|---|--|--|---|--|
| <p>「第3学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 瞬間の速さ<br/>○ 容積を最大にするには？<br/>○ 黄金比<br/>○ 伊能忠敬の業績を知ろう<br/>○ 大工道具「さしがね」<br/>○ 三平方の定理のいろいろな証明<br/>＜問題数＞ 6</p> | <p>「第3学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 黄金比と図形の性質の関係は？<br/>○ 九九表にはどんな規則性がある？<br/>○ 影はどのように変わる？<br/>○ 2乗すると負の数になる数！？<br/>○ リレーのバトンパス<br/>○ 相似を生かして<br/>○ 三平方の定理のいろいろな証明<br/>○ 日本のことばと数<br/>○ 数学から見る芸術の世<br/>＜問題数＞ 9</p> | <p>「第3学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ エンカル消費についてできることを考えよう<br/>○ 黄金比って何？<br/>○ 「三平方の定理の逆」の証明はほかにもある？<br/>○ 放物線はみな相似？<br/>○ ドローンを使った撮影範囲は？<br/>○ 震源の位置を特定できる？<br/>○ 地球の測り方<br/>○ 三平方の定理の証明<br/>○ 高校へのかけ橋<br/>＜問題数＞ 9</p> | <p>「第3学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 新しい因数分解の公式？<br/>○ 2次関数？<br/>○ 散らばりの程度を表す新しい数値？<br/>○ 瞬間の速さ？<br/>○ 考えよう！地球温暖化問題は？<br/>○ 黄金比<br/>○ 和算と算額<br/>○ ページ番号はいくつになるのかな？<br/>○ 円周上の点を結ぶと…？<br/>○ 注文を引き受けることはできるかな？<br/>＜問題数＞ 10</p> | <p>「第3学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ が無理数であることの証明<br/>○ 容器をつくろう<br/>○ 変化の割合の計算<br/>○ グラフの交点の座標<br/>○ 全身がうつる鏡<br/>○ 三角形の五心<br/>○ 円に内接する四角形<br/>○ 接線と弦のつくる角<br/>○ 方べきの定理<br/>○ 曲尺の秘密<br/>○ 三平方の定理の証明<br/>○ データを整理するときには？<br/>○ 災害から身を守ろう<br/>○ 社会見学にいろいろ教科書ができるまで<br/>＜問題数＞ 14</p> | <p>「第3学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ リレーのバトンパス<br/>○ 皆既日食と金環日食<br/>○ 曲尺と数学<br/>○ ピタゴラス<br/>＜問題数＞ 4</p> | <p>「第3学年（巻末）」<br/>＜具体例＞<br/>○ 便利な計算方法<br/>○ が無理数であることの証明<br/>○ 黄金比<br/>○ 円周角を動かしていくと…<br/>○ 三平方の定理の証明<br/>○ フラクタル図形のアルゴリズムを考えよう<br/>＜問題数＞ 6</p> |
|---|--|---|--|--|---|--|

【視点】⑦ 問題解決的な学習に対する振り返りの工夫  
【方法】○ 問題解決的な学習で働かせた数学的な見方・考え方等の振り返りの取扱い

|  |  |   |   |   |   |  |
|--|--|---|---|---|---|--|
| <p>「正負の数」<br/>＜利用の場面における学習の流れと振り返りの取扱い＞<br/>○ <b>問題をつかむ、見通しをたてる</b>「(バレーボール選手6人の身長について)平均を求めてみましょう。」<br/>○ <b>問題を解決する</b>「自分の求め方をノートに書いて説明してみよう。1つの方法ができたら、ちがう方法でも考えよう。」<br/>「あおいさんは(略)。あおいさんの求め方の続きを考えて、説明してみよう。」「はるきさんは(略)。このあとどのようにして求めることができますか。」「あおいさんとはるきさんの求め方で、似ているところやちがうところを話し合ってみよう。」<br/>○ <b>ふり返る</b>「平均をくふうして求めるときに、大切な考え方は何だったでしょうか。学習をふり返ってまとめをしましょう。」<br/>○ <b>深める</b>「自分で基準を決めて、6人の身長を平均を求めてみましょう。」<br/>＜振り返りの視点、ポイント＞<br/>○ 新しく学んだこと<br/>○ 大切だと思った考え方<br/>○ 疑問に思ったこと<br/>○ 次に考えてみたいこと</p> | <p>「数の世界のひろがり」<br/>＜利用の場面における学習の流れと振り返りの取扱い＞<br/>○ <b>問題を見いだそう</b>「(8人の生徒1500m走の記録について)どのように調べれば、つばさんの記録とほかの生徒の記録を比べられそうですか。」<br/>○ <b>解決のしかたを探ろう</b>「つばさんの記録の330秒を基準にして、記録の差を表しなさい。」<br/>○ <b>解決しよう</b>「記録の差の合計を求めなさい。」「つばさんの記録は、8人の生徒の平均値より速かったといえますか。また、そのように考えた理由を説明しなさい。」<br/>○ <b>深めよう</b>「8人の生徒の記録の平均値を求め、つばさんの記録と比べなさい。」「正の数、負の数の考え方を使った数値の比べ方や平均値の求め方について、気づいたことを話し合ってみよう。」<br/>＜振り返りの視点、ポイント＞<br/>○ 解決の過程や結果をふり返って、新しく学んだことをまとめ、疑問に思ったことやもっと調べたいことをあげる</p> | <p>「正の数・負の数」<br/>＜利用の場面における学習の流れと振り返りの取扱い＞<br/>○ <b>問題を見つけよう、予想しよう</b>「(男子4人の立ち幅とびの記録について)4人の記録の平均を求めてみましょう。」<br/>○ <b>平均を求めよう</b>「美月さんは(略)。美月さんの考え方で平均を求めよう。」<br/>○ <b>よりよい方法を見つけよう</b>「この章で学習したことを使って、効率的に平均を求める方法を考えよう。」<br/>○ <b>基準を変えて考えよう</b>「拓真さんは、4人の記録がすべて150cm以上であることに着目し、150cmを基準として平均を求めようと考え、式をつくりました。拓真さんの式の意味を説明しよう。」「健太さんは、自分の記録194cmを基準として(略)平均を求めよう。」「基準を何cmとすると、平均を求めやすいでしょうか。自分で基準を決めて、平均を求めよう。」<br/>○ <b>まとめよう</b>「平均を求めるとき、どんなくふうができるかをまとめよう。」<br/>＜振り返りの視点、ポイント＞<br/>○ 問題を解決するために、どんなことを学び、どんなことがわかったかまとめよう。</p> | <p>「正の数、負の数」<br/>＜利用の場面における学習の流れと振り返りの取扱い＞<br/>○ <b>問題を見いだす、問題をつかむ、見通しを立てる</b>「(昨年の読書週間で貸し出した本の冊数について)貸し出した本の冊数の平均は、何冊でしょうか。」<br/>○ <b>問題を解決する</b>「貸し出した本の冊数の平均を、工夫して求めてみましょう。」「かずまさんの求め方で、平均を求めてみましょう。」「さらさんの求め方について(略)平均を求めてみましょう。」「かずまさんとさらさんの求め方について、似ているところや違うところを話し合ってみよう。」<br/>○ <b>ふり返る</b>「学習をふり返って、平均を求めるときにどんな工夫ができるか、まとめてみましょう。」<br/>○ <b>深める</b>「今年の読書週間では、1日あたり150冊の本を貸し出すことを目標にしました。(略)この表をもとにして、目標が達成できたかどうかを判断してみましょう。」<br/>＜振り返りの視点、ポイント＞<br/>○ 学習したことよき<br/>○ 大切だと思った見方・考え方<br/>○ 数学の楽しさ</p> | <p>「正の数・負の数」<br/>＜利用の場面における学習の流れと振り返りの取扱い＞<br/>○ <b>状況を整理し、問題を設定しよう</b>「(ペットボトルのキャップの収集量について)過去5年間の収集量の平均は何kgですか。」<br/>○ <b>解決の見通しを立てて、問題を解決しよう</b>「仮平均を340kgにして下の表を完成させ、平均を求めなさい。」<br/>○ <b>問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう</b>「いろいろな計算方法で平均を求めたね。」「仮平均とする値をくふうしたら、計算が簡単になったね。」「となりの町の過去5年間の収集量は次のような値でした。仮平均とする値をくふうして平均を求めなさい。」<br/>＜振り返りの視点、ポイント＞<br/>○ 問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう</p> | <p>「正の数と負の数」<br/>＜利用の場面における学習の流れと振り返りの取扱い＞<br/>○ 「(A組の大縄跳びの5回の記録について)くふうして平均を求める方法はありませんか。」<br/>○ <b>TRY 1</b>「A組の2週間前の記録の平均を、くふうして求める方法を考えよう。」<br/>○ 「基準をいくつか決めて、2週間前の記録の平均を求めよう。また、気づいたことを答えよう。」<br/>○ 「エマさんは、毎日30分間読書することを日課にしている、(略)1日あたりの読書時間の平均を求めなさい。」<br/>＜振り返りの視点、ポイント＞<br/>○ TRY 1について、～を求めよう。また、気づいたことを答えよう。</p> | <p>「正の数と負の数」<br/>＜利用の場面における学習の流れと振り返りの取扱い＞<br/>○ <b>数学の問題にしよう</b>「(清掃活動の参加人数について)陸さんたちは、1月から5月までの参加人数は昨年と今年でどちらが多いかを、1回あたりの平均値で比べようとしています。参加人数の平均値を、もっと簡単な計算で求めよう。」<br/>○ <b>見通しをもとう</b>「次のレオさんの考え方で、1回あたりの平均値を求めてみましょう。」<br/>○ <b>考えよう</b>「基準の人数は自分で決めて、基準との差を次の表にまとめよう。また、この表の値を使って、昨年の参加人数の平均値を求めよう。」<br/>○ <b>話し合おう</b>「各自で考えた求め方について、共通することやちがうところなどを話し合ってみよう。」<br/>○ <b>ふり返ろう</b>「平均値を簡単に求めるために、どんなくふうをしましたか。」<br/>○ <b>深めよう</b>「次の表は、Aさんが1500m走を3回走った記録です。この3回の記録の平均値をくふうして求めよう。」<br/>＜振り返りの視点、ポイント＞<br/>○ いろんなことがわかったかな。<br/>○ 問題を解決するとき、どんな方法や考え方、表し方が役に立ったかな。<br/>○ 学んだことがらには、どんなよきがあったかな。<br/>○ 次にしたいこと、さらに調べたいことは何か。</p> |
|--|--|---|---|---|---|--|

| 【視点】⑧ 単元や資料等の配列                                    |   |   |   |  |  |  |   |
|--|---|---|---|--|--|--|---|
| 【方法】○ 各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料                          |   |   |   |  |  |  |   |
| 内容の構成・配列・分量  | <p>&lt;1年&gt;</p> <p>0 算数から数学へ 8 P</p> <p>1 正負の数 44 P</p> <p>2 文字と式 28 P</p> <p>3 方程式 26 P</p> <p>4 比例と反比例 40 P</p> <p>5 平面図形 34 P</p> <p>6 空間図形 34 P</p> <p>7 データの分析と活用 24 P</p> <p>巻末問題 15 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと数学をつなげよう</li> <li>・正多面体の型紙</li> </ul> | <p>&lt;1年&gt;</p> <p>1 数の世界のひろがり 54 P</p> <p>2 文字と式 34 P</p> <p>3 1次方程式 24 P</p> <p>4 量の変化と比例、反比例 40 P</p> <p>5 平面の図形 38 P</p> <p>6 空間の図形 36 P</p> <p>7 データの分析 26 P</p> <p>巻末問題 12 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと数学の世界へ</li> <li>・1年のまとめ</li> <li>・正多面体の型紙</li> </ul>              | <p>&lt;1年&gt;</p> <p>1 正の数・負の数 56 P</p> <p>2 文字式 30 P</p> <p>3 1次方程式 33 P</p> <p>4 比例と反比例 41 P</p> <p>5 平面図形 32 P</p> <p>6 空間図形 39 P</p> <p>7 データの活用 32 P</p> <p>巻末問題 7 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる数学へ</li> <li>・カードゲーム、模型で考える角錐の体積の型紙</li> <li>・数学の力</li> <li>・プログラミングを体験してみよう (スクラッチ)</li> </ul>   | <p>&lt;1年&gt;</p> <p>1 整数の性質 10 P</p> <p>2 正の数、負の数 49 P</p> <p>3 文字と式 36 P</p> <p>4 方程式 29 P</p> <p>5 比例と反比例 36 P</p> <p>6 平面図形 38 P</p> <p>7 空間図形 35 P</p> <p>8 データの分析 31 P</p> <p>巻末問題 15 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末数学ライブラリー</li> <li>・正多面体、直方体の型紙</li> <li>・社会で活躍する数学!</li> <li>・数学パズル</li> </ul> | <p>&lt;1年&gt;</p> <p>1 正の数・負の数 46 P</p> <p>2 文字の式 30 P</p> <p>3 方程式 26 P</p> <p>4 変化と対応 34 P</p> <p>5 平面図形 34 P</p> <p>6 空間図形 38 P</p> <p>7 データの活用 27 P</p> <p>巻末問題 14 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びをふりかえろう</li> <li>・学びをいかそう</li> <li>・1年生のまとめ</li> </ul>  | <p>&lt;1年&gt;</p> <p>1 正の数と負の数 49 P</p> <p>2 文字と式 33 P</p> <p>3 1次方程式 25 P</p> <p>4 比例と反比例 35 P</p> <p>5 平面図形 31 P</p> <p>6 空間図形 41 P</p> <p>7 データの活用 25 P</p> <p>巻末問題 22 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学旅行</li> <li>・中学校1年のまとめ (算数の内容と合わせて)</li> <li>・立方体の切断模型の型紙</li> <li>・学びの自己評価</li> </ul>                             | <p>&lt;1年&gt;</p> <p>1 正の数と負の数 45 P</p> <p>2 文字と式 31 P</p> <p>3 方程式 25 P</p> <p>4 比例と反比例 37 P</p> <p>5 平面図形 33 P</p> <p>6 空間図形 25 P</p> <p>7 データ活用 33 P</p> <p>巻末問題 12 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学マイトライ</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・正多面体の型紙</li> <li>・図形のまとめ</li> </ul>  |
|  | <p>&lt;2年&gt;</p> <p>1 式の計算 24 P</p> <p>2 連立方程式 22 P</p> <p>3 1次関数 38 P</p> <p>4 平行と合同 30 P</p> <p>5 三角形と四角形 36 P</p> <p>6 確率 18 P</p> <p>7 データの比較 14 P</p> <p>巻末問題 12 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の自由研究</li> </ul>   | <p>&lt;2年&gt;</p> <p>1 式と計算 28 P</p> <p>2 連立方程式 26 P</p> <p>3 1次関数 32 P</p> <p>4 平行と合同 36 P</p> <p>5 三角形と四角形 34 P</p> <p>6 データの比較と箱ひげ図 14 P</p> <p>7 確率 18 P</p> <p>巻末問題 14 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと数学の世界へ</li> <li>・2年のまとめ</li> </ul>                                       | <p>&lt;2年&gt;</p> <p>1 式の計算 30 P</p> <p>2 連立方程式 29 P</p> <p>3 1次関数 37 P</p> <p>4 図形の性質の調べ方 40 P</p> <p>5 三角形・四角形 33 P</p> <p>6 確率 20 P</p> <p>7 データの分布 16 P</p> <p>巻末問題 7 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる数学へ</li> <li>・三角形の合同、平行四辺形の性質、サイコロの型紙</li> <li>・図形の性質のまとめ</li> <li>・数学の力</li> <li>・プログラミングを体験してみよう (スクラッチ)</li> </ul>                           | <p>&lt;2年&gt;</p> <p>1 式の計算 31 P</p> <p>2 連立方程式 25 P</p> <p>3 1次関数 35 P</p> <p>4 平行と合同 41 P</p> <p>5 三角形と四角形 37 P</p> <p>6 確率 19 P</p> <p>7 データの分析 16 P</p> <p>巻末問題 14 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末数学ライブラリー</li> <li>・エッセーに挑戦!</li> <li>・図形のまとめ</li> </ul>   | <p>&lt;2年&gt;</p> <p>1 式の計算 24 P</p> <p>2 連立方程式 24 P</p> <p>3 1次関数 36 P</p> <p>4 図形の調べ方 34 P</p> <p>5 図形の性質と証明 34 P</p> <p>6 場合の数と確率 16 P</p> <p>7 箱ひげ図とデータの活用 13 P</p> <p>巻末問題 14 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びをふりかえろう</li> <li>・学びをいかそう</li> <li>・2年生のまとめ</li> </ul>                                    | <p>&lt;2年&gt;</p> <p>1 式の計算 31 P</p> <p>2 連立方程式 27 P</p> <p>3 1次関数 37 P</p> <p>4 図形の性質と合同 35 P</p> <p>5 三角形と四角形 31 P</p> <p>6 データとの活用 17 P</p> <p>7 確率 15 P</p> <p>巻末問題 20 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学旅行</li> <li>・中学校2年のまとめ (1年の内容と合わせて)</li> <li>・学びの自己評価</li> </ul>  | <p>&lt;2年&gt;</p> <p>1 式の計算 25 P</p> <p>2 連立方程式 23 P</p> <p>3 1次関数 35 P</p> <p>4 図形の性質と合同 37 P</p> <p>5 三角形と四角形 31 P</p> <p>6 場合の数と確立 17 P</p> <p>7 データの比較 15 P</p> <p>巻末問題 12 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学マイトライ</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・図形のまとめ</li> </ul>  |
|  | <p>&lt;3年&gt;</p> <p>1 多項式 30 P</p> <p>2 平方根 28 P</p> <p>3 2次方程式 24 P</p> <p>4 関数 <math>y=ax^2</math> 34 P</p> <p>5 相似な図形 40 P</p> <p>6 円 20 P</p> <p>7 三平方の定理 24 P</p> <p>8 標本調査 14 P</p> <p>巻末問題 15 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の自由研究</li> </ul>              | <p>&lt;3年&gt;</p> <p>1 多項式 32 P</p> <p>2 平方根 34 P</p> <p>3 2次方程式 24 P</p> <p>4 関数 34 P</p> <p>5 相似と比 40 P</p> <p>6 円 20 P</p> <p>7 三平方の定理 22 P</p> <p>8 標本調査 18 P</p> <p>巻末問題 16 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと数学の世界へ</li> <li>・中学校のまとめ</li> <li>・因数分解、三平方の定理の定理で使用する型紙</li> </ul> | <p>&lt;3年&gt;</p> <p>1 式の計算 34 P</p> <p>2 平方根 30 P</p> <p>3 2次方程式 27 P</p> <p>4 関数 <math>y=ax^2</math> 39 P</p> <p>5 相似な図形 46 P</p> <p>6 円 26 P</p> <p>7 三平方の定理 27 P</p> <p>8 標本調査 18 P</p> <p>巻末問題 10 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる数学へ</li> <li>・因数分解、三平方の定理、震源の位置の型紙</li> <li>・図形の性質のまとめ</li> <li>・数学の力</li> <li>・プログラミングを体験してみよう (スクラッチ)</li> </ul> | <p>&lt;3年&gt;</p> <p>1 式の計算 35 P</p> <p>2 平方根 29 P</p> <p>3 2次方程式 27 P</p> <p>4 関数 <math>y=ax^2</math> 31 P</p> <p>5 相似な図形 46 P</p> <p>6 円 22 P</p> <p>7 三平方の定理 25 P</p> <p>8 標本調査 16 P</p> <p>巻末問題 18 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末数学ライブラリー</li> <li>・因数分解、三平方の定理で使用する型紙</li> <li>・図形のまとめ</li> </ul>   | <p>&lt;3年&gt;</p> <p>1 式の展開と因数分解 28 P</p> <p>2 平方根 28 P</p> <p>3 二次方程式 24 P</p> <p>4 関数 <math>y=ax^2</math> 30 P</p> <p>5 図形と相似 40 P</p> <p>6 円の性質 20 P</p> <p>7 三平方の定理 22 P</p> <p>8 標本調査とデータの活用 17 P</p> <p>巻末問題 18 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びをふりかえろう</li> <li>・学びをいかそう</li> <li>・3年生のまとめ</li> </ul> | <p>&lt;3年&gt;</p> <p>1 式の計算 33 P</p> <p>2 平方根 35 P</p> <p>3 2次方程式 27 P</p> <p>4 関数 <math>y=ax^2</math> 33 P</p> <p>5 相似 41 P</p> <p>6 円 23 P</p> <p>7 三平方の定理 25 P</p> <p>8 標本調査 17 P</p> <p>巻末問題 36 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学旅行</li> <li>・中学校3年のまとめ (1・2年の内容と合わせて)</li> <li>・因数分解で使用する型紙</li> <li>・学びの自己評価</li> </ul> | <p>&lt;3年&gt;</p> <p>1 式の展開と因数分解 29 P</p> <p>2 平方根 27 P</p> <p>3 2次方程式 19 P</p> <p>4 関数 <math>y=ax^2</math> 33 P</p> <p>5 相似な図形 35 P</p> <p>6 円 19 P</p> <p>7 三平方の定理 21 P</p> <p>8 標本調査 13 P</p> <p>巻末問題 28 P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学マイトライ</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・因数分解で使用する型紙</li> <li>・図形のまとめ</li> </ul> |
| ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。 | ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→小数→分数→利用の配列になっている。  | ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。  | ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。  | ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。   | ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。   | ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→小数→分数→利用の配列になっている。   |   |
| ○ 3年2次方程式の解法が、平方根の考え→解の公式→因数分解の配列になっている。           | ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。  | ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。  | ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。  | ○ 3年2次方程式の解法が、平方根の考え→解の公式→因数分解の配列になっている。   | ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。   | ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。   |   |

|   |   |   |  |   |   |  |
|---|---|---|--|---|---|--|
| <b>【視点】⑨ 発展的な学習に関する内容の記述</b><br><b>【方法】○ 発展的な問題の数及び具体例</b>                    |   |   |  |   |   |  |
| ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容<br><1年>3問…同類項<br><2年>5問…連立三元一次方程式<br><3年>4問…分母が多項式の有理化 | ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容<br><1年>4問…同類項<br><2年>4問…連立三元一次方程式<br><3年>14問…多項式を累乗とする展開 | ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容<br><1年>8問… $a^0$ 、 $a^1$<br><2年>7問…連立三元一次方程式<br><3年>8問…多項式÷多項式 | ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容<br><1年>5問…同類項<br><2年>4問…文字を使った式の学習ひろがり<br><3年>10問…乗法公式を利用した分母の有理化 | ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容<br><1年>1問…最大公約数と最小公倍数<br><2年>1問…どちらのくじを引こうかな？（期待値）<br><3年>7問… $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明（背理法） | ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容<br><1年>2問…三角形の外心、内心<br><2年>2問…あることが起こったときの確率<br><3年>7問… $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明（背理法） | ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容<br><1年>3問…三角形の内心と外心<br><2年>2問…連立三元一次方程式<br><3年>8問…分母が多項式のときの有理化 |

|  |  |   |  |   |   |   |
|--|--|---|--|---|---|---|
| <b>【視点】⑩ イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用</b><br><b>【方法】○ イラスト・写真の数と具体例と及びデジタルコンテンツの数と扱い</b>   |  |   |  |   |   |   |
| 3年「関数 $y=ax^2$ 」<br>○イラスト数…20<br>・ジェットコースター<br>・ジェットコースターのコース<br>・斜面で球を転がしたときの、1秒ごとの球の位置（2）<br>・底面が1辺 $x$ cmで、高さが5 cmである正四角柱<br>・1辺が $x$ cmの立方体<br>・半径が $x$ cmで、面積が $y$ $\text{cm}^2$ である円<br>・底面の半径が $x$ cmで、高さが3 cmである円柱<br>・自動車の急停止の様子<br>・橋と船<br>・1往復するのに $x$ 秒かかる長さ $y$ mの振り子<br>・電車が自動車に追いつく様子<br>・紙をはさみで2等分に繰り返し切る様子<br>・りんごの入った箱<br>・渋滞している車の流れのモデル化（2）<br>・直角三角形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形<br>・台形と長方形の重なりが変化している様子（2）<br>・マイバックとレジ袋 | 3年「関数」<br>○イラスト数…23<br>・1辺が10 cmの正方形に対角線を引いた図<br>・1辺が10 cmの正方形の対角線上に1つの頂点をそろえて直角二等辺三角形を折り返した図<br>・6枚の折り紙の図<br>・1辺が10 cmの正方形の対角線上に1つの頂点をそろえて1辺が $x$ cmの直角二等辺三角形を折り返し、10 cmから $x$ cmをひいた差を $y$ cmとした図<br>・1辺が10 cmの正方形の対角線上に、1つの頂点をそろえて1辺が $x$ cmの直角二等辺三角形を折り返し、その面積を $y$ $\text{cm}^2$ とした図<br>・斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置<br>・放物線上の軸に平行な光や電波などを反射して集まる焦点の解説図<br>・ボールが自然に落ちていくときの、1秒ごとのボールの位置<br>・底面が1辺 $x$ cmで、高さが8 cmである正四角柱<br>・自動車の停止距離の説明<br>・一定の速さで走る1人を、地点Aを通過した瞬間に自転車に乗ったもう1人が、走っている人を追いかける様子<br>・正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる三角形（2）<br>・荷物の入った箱<br>・曾呂利新左衛門が豊臣秀吉からほうびをもらう様子<br>・高層ビル<br>・直角三角形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形<br>・周の長さが20mのロープを使ってできた長方形の図<br>・直角二等辺三角形を長方形に向かって移動させる図（5）<br>○写真数…7 | 3年「関数 $y=ax^2$ 」<br>○イラスト数 22<br>・スキージャンパーが斜面を滑り降りる様子<br>・斜面をボールが転がり落ちる様子<br>・1辺が $x$ cmの立方体<br>・半径が $x$ cmで、面積が $y$ $\text{cm}^2$ である円<br>・正方形のタイルを積み重ねた図<br>・つり橋<br>・パラボラアンテナの断面<br>・長方形と台形の重なりが変化している様子（3）<br>・短距離走のスタートの様子<br>・スタートした1人が、走っている1人に追いつく様子（3）<br>・リレーのバトンパスの様子<br>・底面が1辺 $x$ cmで、高さが8 cmである正四角柱<br>・ゴンドラの位置を示している円<br>・1枚の紙を半分に切り、その紙を重ねて半分に切っていく図<br>・正三角形のタイルをピラミッド状に並べている様子<br>・正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形<br>・風力発電の風車の図<br>・自動車の停止距離の説明 | 3年「関数 $y=ax^2$ 」<br>○イラスト数…16<br>・斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置（2）<br>・底面が1辺 $x$ cmで、高さが9 cmである正四角柱<br>・パラボラアンテナの電波の反射の様子<br>・斜面でボールを転がしたときの、 $x$ 秒後のボールの位置<br>・平面図形の中に潜む放物線（2）<br>・直角二等辺三角形と正方形の重なりが変化している様子（2）<br>・直角二等辺三角形と長方形の重なりが変化している様子<br>・電車やバスが進む様子<br>・自動車の停止距離の説明<br>・紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子<br>・正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形<br>・同じ大きさのタイルを階段状に並べていく様子（2） | 3年「関数 $y=ax^2$ 」<br>○イラスト数…13<br>・ジェットコースター<br>・斜面を転がるボールが $x$ 秒後に $y$ mの距離を転がった図<br>・自動車の制動距離の説明図<br>・自動車の制動距離について会話している様子（2）<br>・1往復するふりこの様子<br>・合同な2つの直角二等辺三角形の重なりが変化している様子（2）<br>・レンタサイクル店<br>・底が階段状になっている直方体の水槽に水を流す様子<br>・水そうを横からみた図<br>・水そうを上から見た図<br>・走っている列車と自動車 | 3年「関数 $y=ax^2$ 」<br>○イラスト数…16<br>・底面が1辺 $x$ cmで、高さが5 cmである正四角柱<br>・1辺が $x$ cmの立方体<br>・半径が $x$ cmの円<br>・ボールを放り投げたときの様子<br>・パラボラアンテナの断面図<br>・変化の割合について会話している様子<br>・自動車がブレーキをかけている様子<br>・自動車の制動距離の説明図<br>・ピサの斜塔<br>・電車が自転車に追いつく様子<br>・2枚の三角定規の重なりが変化している様子（2）<br>・半径 $x$ cm、面積が $10$ $\text{cm}^2$ のおうぎ形の図<br>・正 $x$ 角形の図<br>・長方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形<br>・車のタイヤをスタッドレスタイヤに交換する様子 | 3年「関数 $y=ax^2$ 」<br>○イラスト数…14<br>・斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置<br>・坂道を下っている自転車<br>・斜面でボールを転がしたときの様子について会話している様子<br>・等しい辺の長さが $x$ cmである直角二等辺三角形<br>・1辺が $x$ cmである立方体<br>・半径が $x$ cmである円<br>・パラボラアンテナの断面図<br>・ボールが落ちるときの、1秒ごとの位置<br>・1往復するのに $x$ 秒かかる長さ $y$ mの振り子<br>・自動車の停止距離の説明<br>・電車が自動車に追いつく様子<br>・紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子<br>・宅配便の箱<br>・台形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形<br>○写真数…4 |

内容の表現・表記

|   |  |  |  |  |   |   |
|---|--|--|--|--|---|---|
| <p>○写真…10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェットコースター（3）</li> <li>・噴水</li> <li>・花火</li> <li>・公園内水飲み口の水の軌跡</li> <li>・上記写真とグラフの重ね合わせ</li> <li>・自由落下する球の連続写真</li> <li>・渋滞学研究者（2）</li> </ul> <p>3学年全体</p> <p>○デジタルコンテンツ</p> <p>二次元コードから、次のデジタルコンテンツが利用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画</li> <li>・マイ教科書・マップ</li> <li>・ワークシート</li> <li>・シミュレーション</li> <li>・対話シート</li> <li>・ちょっと確認</li> <li>・フラッシュカード</li> <li>・ヒントと解答</li> <li>・Web サイト</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・投げたボールの軌跡</li> <li>・パラボラアンテナ</li> <li>・ソーラークラッカー</li> <li>・懐中電灯の反射板</li> <li>・振り子の軌跡</li> <li>・製薬会社研究員佐藤さん</li> <li>・佐藤さんの実験の様子</li> </ul> <p>3学年全体</p> <p>○デジタルコンテンツ</p> <p>二次元コードから、次のデジタルコンテンツが利用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーション</li> <li>・外部のウェブサイトへのリンク</li> <li>・PDF データ</li> <li>・資料</li> <li>・動画</li> <li>・インタビュー記事</li> </ul> | <p>○写真数 12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂でボールを転がした様子</li> <li>・投げ上げたボールの奇跡</li> <li>・飛行機の先端</li> <li>・懸垂幕</li> <li>・パラボラアンテナ</li> <li>・落下するボールの軌跡</li> <li>・リレーのバトンパスの様子</li> <li>・観覧車（大阪府）</li> <li>・観覧車（鹿児島県）</li> <li>・風力発電の風車</li> <li>・数学者 岡潔</li> <li>・急停車する自動車</li> </ul> <p>3学年全体</p> <p>○デジタルコンテンツ</p> <p>二次元コードから、次のデジタルコンテンツが利用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメーション</li> <li>・活動</li> <li>・データ</li> <li>・映像</li> <li>・ふりかえり</li> <li>・チャレンジ</li> <li>・パトロール隊</li> <li>・別の解き方</li> <li>・解答</li> <li>・リンク</li> </ul> | <p>○写真数…10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・噴水</li> <li>・パラボラアンテナ</li> <li>・ジェットコースター</li> <li>・スキーのジャンプ</li> <li>・噴水</li> <li>・パラボラアンテナ</li> <li>・懐中電灯</li> <li>・札幌市中心部</li> <li>・ガリレオ・ガリレイ</li> <li>・信号機</li> </ul> <p>3学年全体</p> <p>○デジタルコンテンツ</p> <p>二次元コードから、次のデジタルコンテンツが利用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作</li> <li>・動画</li> <li>・統計ツール</li> <li>・資料</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面で転がるボールの0.1秒ごとの位置</li> <li>・落下するボールの軌跡</li> <li>・カーリングのハウス</li> <li>・投げたボールの軌跡（2）</li> <li>・走り幅跳びの選手の飛んだ軌跡</li> <li>・列車</li> <li>・ふりこ時計</li> </ul> <p>3学年全体</p> <p>○デジタルコンテンツ</p> <p>二次元コードから、次のデジタルコンテンツが利用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動かす</li> <li>・動画</li> <li>・スライドショー</li> <li>・リンク</li> <li>・プログラミング</li> <li>・問題解説</li> <li>・補充問題</li> <li>・例、例題の解説</li> <li>・ふりかえり CBT</li> <li>・前学年までのまとめ</li> </ul> | <p>○写真数…10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面で転がるボールの1秒ごとの位置（2）</li> <li>・パラボラアンテナ</li> <li>・噴水</li> <li>・花火</li> <li>・宅配の様子</li> <li>・美ら海水族館</li> <li>・循環バス</li> <li>・紙を半分に切る様子</li> <li>・車のタイヤ</li> </ul> <p>3学年全体</p> <p>○デジタルコンテンツ</p> <p>二次元コードから、次のデジタルコンテンツが利用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補充</li> <li>・イメージ</li> <li>・資料</li> <li>・考察</li> <li>・探究</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面にボールを放り投げた様子</li> <li>・門司港駅</li> <li>・ボールがはずんでいる様子</li> <li>・パラボラアンテナ</li> </ul> <p>3学年全体</p> <p>○デジタルコンテンツ</p> <p>二次元コードから、次のデジタルコンテンツが利用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見る</li> <li>・ためす</li> <li>・身につける</li> <li>・図形のまとめ</li> <li>・調べる</li> <li>・統計ツール</li> </ul> |
|---|--|--|--|--|---|---|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |    |                    |            |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種  | 教科 | 教科用図書目録に登録された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 理科 | 5                  | 5          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点   | 2 東書  | 4 大日本  | 11 学図  | 17 教出  | 61 啓林館   |
|---|---|--|--|--|--|
| 知識及び<br>技能の習得   | <p><b>【視点】① 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 既習事項の取扱い方及び補充的な問題の設定</b></p>  |  |  |  |  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の取扱い<br/>各単元の導入部に「これまでに学んだこと」という枠組みを設けている。</li> <li>・補充的な問題の設定<br/>単元の中に、「学んだことをチェックしよう」「例題」「練習」を設定している。また、単元末問題として「確かめ問題」「活用問題」を設定している。<br/>(1年：12、2年：12、3年：14)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の取扱い<br/>各単元の導入部に「これまでに学習したこと」という枠組みを設けている。</li> <li>・補充的な問題の設定<br/>単元の中に、「例題」「演習」「章末問題」を設定している。また、単元末に、「単元末問題」「読解力問題」を設定しており、第3学年の巻末に、「学習のまとめ」(1年、2年、3年)を設定している。<br/>(1年：12、2年：12、3年：17)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の取扱い<br/>単元の導入部に「ふり返ろう・つなげよう」という枠組みを設けている。</li> <li>・補充的な問題の設定<br/>単元末に、「学習のまとめ」を設定している。また、巻末に、「計算問題例題」を設定しており、第2学年、第3学年の巻末に、「読解力強化問題」を設定している。<br/>(1年：4、2年：4、3年：4)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の取扱い<br/>各単元の導入部に「学んでいくこと」という枠組みを設け、その中にこれまで学習した内容も示している。</li> <li>・補充的な問題の設定<br/>単元の中に、「例題」「練習」「演習しよう」「要点をチェック」を設定している。また、単元末に、「基本問題」「活用問題」を設定しており、巻末に、「学年末総合問題」を設定している。<br/>(1年：12、2年：12、3年：14)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の取扱い<br/>章の導入部や関連する内容の近くに「つながる学び」という枠組みを設けている。</li> <li>・補充的な問題の設定<br/>単元の中に、「例題」「練習」「レビューをふり返ろう」を設定している。また、単元末に、「力だめし」を設定しており、巻末に、「学年末総合問題」を設定している。また、第3学年の巻末に、「中学校総合問題」を設定している。<br/>(1年：12、2年：12、3年：14)</li> </ul> |
| <p><b>【視点】② 観察、実験の技能を習得させるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 観察、実験の数、実験の安全確保に関する掲載数 (①第1学年：蒸留に関する実験 ②第2学年：硫化鉄に関する実験)</b></p> |   |  |  |  |  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の数<br/>(1年：23、2年：30、3年：30)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の数<br/>(1年：27、2年：35、3年：27)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の数<br/>(1年：27、2年：28、3年：34)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の数<br/>(1年：22、2年：24、3年：20)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の数<br/>(1年：28、2年：33、3年：29)</li> </ul>   |

|                        |  |  |  |   |  |
|------------------------|--|--|--|---|--|
|                        | <p>・実験の安全確保に関する掲載数<br/>①マーク：4、文章による注意事項：5<br/>②マーク：10、文章による注意事項：7</p>  | <p>・実験の安全確保に関する掲載数<br/>①マーク：0、文章による注意事項：4<br/>②マーク：0、文章による注意事項：8</p>   | <p>・実験の安全確保に関する掲載数<br/>①マーク：0、文章による注意事項：5<br/>②マーク：0、文章による注意事項：6</p>   | <p>・実験の安全確保に関する掲載数<br/>①マーク：3、文章による注意事項：5<br/>②マーク：3、文章による注意事項：10</p>   | <p>・実験の安全確保に関する掲載数<br/>①マーク：5、文章による注意事項：6<br/>②マーク：4、文章による注意事項：6</p>   |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p> | <p><b>【視点】③ 単元の導入において、課題を設定するための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 単元の第1章・実験における問いの設定までの流れ（第3学年「化学変化とイオン」の場合）</b></p>  |  |  |   |  |
|                        | <p>① 死海の写真を掲載。<br/>② Before &amp; After 学習前に書こう<br/>「原子構造と電子の関係を、言葉や図、モデルなどを使って表そう。」と投げかけている。（二次元コード）<br/>③ 銅線の拡大図に「2年生で、導線の中の金属のようすを学んだね。」と示されている。<br/>④ 食塩の固体、精製水、食塩水への通電実験を漫画形式で掲載。<br/>「ドライヤーには感電しないようにぬれた手でさわらないよう注意書きがあったよ！」<br/>「だとすると水には電流が流れるんじゃないかな！」<br/>「見て！精製水に電圧をかけても電流は流れないね」<br/>「水には電流が流れないのかな・・・？」<br/>「じゃあ次の実験を試してみよう！」</p> | <p>① スポーツドリンクの成分表の写真を掲載。<br/>「私たちの体や、スポーツドリンクなどには、イオンが含まれている。イオンとはどのようなものか学んでいこう。」<br/>② アルミニウムとプラスチックの写真。<br/>「電流は、導線や金属中を流れやすく、試験管などのガラスには流れない。固体に電流が流れるかどうかは、電子が動きやすいかどうかで決まる。」<br/>③ 「水や、エタノールや食塩を溶かした水溶液には電流が流れるだろうか。水溶液の場合、溶けているものによって、電流の流れ方にちがいはあるだろうか。」<br/>④ 「どのような水溶液に電流が流れるのだろうか。」</p> | <p>① 水質検査を行う団体の実験室、水溶液中のさまざまなイオンを調べる写真を掲載。<br/>② 原子の構造の学習において、「この時間の課題」として「原子はどのようなつくりになっているか。」を設定し、途中「ヘリウム原子の構造」の図及び説明を示し、まとめとして「原子は原子核と電子でできている。」と示している。<br/>③ 蒸留水、固体の塩化ナトリウム、塩化ナトリウム水溶液への通電実験の写真を掲載。「電源装置につないだ電極を蒸留水に入れても、電流は流れません。同じように、固体の塩化ナトリウムも電流が流れません。しかし、塩化ナトリウム水溶液には電流が流れます。これはどのようなしくみでしょうか？」<br/>④ 「電流が流れる水溶液には、何が関わっている</p> | <p>① 海の写真を掲載。<br/>「海水は、地球上に存在する水のうち、97%ほどを占めている。この海水にはさまざまな物質がとけているが、その中には、イオンとよばれるものも含まれている。イオンとはいったいどのようなものだろうか。これから、イオンの正体について調べていこう。」<br/>② 「これまでの学習」として「原子・分子中2」「静電気と電流中2」を提示している（二次元コード）。<br/>③ 「学習前の私」として「イオンとは、どのようなものなのだろうか？」と投げかけている。また、章の最後に「学習後の私」として同様の発問がある。<br/>④ 蒸留水、塩化ナトリウム（固体）、塩化ナトリウム水溶液の通電実験の写真を掲載。「純粋な水には電流が流れない。ま</p> | <p>① 蒸留水、塩化ナトリウム（固体）、塩化ナトリウム水溶液での通電実験の写真を掲載。「蒸留水や固体の塩化ナトリウムには電流が流れないが、塩化ナトリウム水溶液には電流が流れる。どのようなちがいがあのだろうか。」<br/>② 「つながる学び」として、次の4点を示している（二次元コード）。<br/>1 金属は電気を通す(中1)<br/>2 水を電気分解すると水素と酸素に分解される(中2)<br/>3 原子とは、化学変化でそれ以上分けることができない、物質をつくる粒子である(中2)<br/>4 回路を流れる電流の正体は電子である(中2)<br/>③ 「蒸留水には電流が流れない。水の電気分解では、電流を流れやすくするために、蒸留水に水酸化ナトリウムを加え</p> |

|                 |  |   |  |  |   |
|-----------------|--|---|--|--|---|
| 思考力、判断力、表現力等の育成 | 「どうしてこんなちがいがあ<br>るんだろう？」<br>「水に電流が流れるのには<br>何か条件があるのかな？」<br>⑤ ? 「水に電流が流れるの<br>はどのようなときだろう<br>か。」 |   | か。」  | た、固体の塩化ナトリウム<br>にも電流が流れない。しか<br>し、固体の塩化ナトリウム<br>と蒸留水を合わせたもの、<br>つまり塩化ナトリウム水<br>溶液には電流が流れる。こ<br>のような現象は、どのよう<br>な物質でも水にとかせば見<br>られるのだろうか。」<br>⑤ 「どのような物質でも、<br>水溶液にすると電流が流<br>れるのだろうか。」 | た。」(中2)<br>④ 「どのような物質でも、<br>水溶液にすると電流が流<br>れるようになるのだろうか。」   |
|                 | <b>【視点】④ 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫</b><br><b>【方法】○ 観察、実験を計画する視点及び分析し解釈する視点の示し方</b>        |   |  |  |   |
|                 | ・「構想」等により観察、<br>実験を計画する視点を、<br>「結果の見方」「分析解<br>釈」等により分析し解釈<br>する視点を示している。                         | ・「計画を立てよう」等<br>により観察、実験を計画<br>する視点を、「結果の整<br>理」「結果から考えよ<br>う」等により分析し解釈<br>する視点を示している。   | ・「計画」等により観察、<br>実験を計画する視点を、<br>「結果」「考察」等によ<br>り分析し解釈する視点を<br>示している。  | ・「計画を立てる」等によ<br>り観察、実験を計画する<br>視点を、「結果」「考察<br>する」等により分析し解<br>釈する視点を示してい<br>る。  | ・「計画」等で観察、実験<br>を計画する視点を、「結<br>果」「考察」等により分<br>析し解釈する視点を示し<br>ている。   |
|                 | <b>【視点】⑤ 科学的な概念を使用して考えたり説明したりする活動の工夫</b><br><b>【方法】○ 話し合いや説明の学習活動の示し方</b>                        |   |  |  |   |
|                 | ・各学年の巻頭に「議論の<br>しかた」を設定し4点の<br>ポイントを示している。<br>・各学年の巻頭に、「発表<br>のしかた」を設定し、5<br>点のポイントを示してい<br>る。   | ・第1学年の巻末に「探究<br>の進め方」を設定し「話<br>し合いのしかた」5点、<br>「発表のしかた」3点の<br>ポイントを示している。<br>・「調べたことをまとめ、<br>発表しよう」において、<br>3点のポイントを示して<br>いる。<br>・「話し合おう」として、<br>話し合い活動を設定して<br>いる。 | ・各学年の巻頭に「伝え<br>る」を位置付け、伝える<br>際のポイントを示してい<br>る。<br>・第1学年に、「理路整然<br>一智に働けば役に立つ<br>ー」を設定し「どうす<br>る、伝える・伝わるコ<br>ッ」において、発表のし<br>かたや発表スライドのつ<br>くり方の例等を示してい<br>る。 | ・各学年に「話し合おう」<br>として話し合い活動を設<br>定している。<br>・第2学年に「発表しよう」<br>として、発表する活動を設<br>定している。   | ・第1、2学年の巻末にお<br>いて、発表の際のポイント<br>を8点示している。<br>・第1学年の巻末に「理科<br>における話し合い」を設<br>定し、話し合う際のポイ<br>ントを8点示している。<br>・第2学年の巻末に「思考<br>ツールの活用と理科にお<br>ける話し合い」を設定<br>し、話し合う際のポイン<br>トを8点示している。<br>・第1、2学年の巻末に探<br>究の成果の表現方法とし |

|                       |   |  |   |  |  |
|-----------------------|---|--|---|--|--|
|                       |   |  |   |  | て、「発表の進め方」と「ポスターやスライド作成のポイント」を示している。<br>・「発表してみよう」として、発表する活動を設定している。   |
|                       | <p><b>【視点】⑥ 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等の取扱い箇所及び具体例</b></p>  |  |   |  |  |
|                       | <p>・コラム「まちなか科学」「なるほどね!」「お仕事図鑑」や各単元末のコラム「社会につながる科学」「防災特集」「私たちのSDGs」を学習内容に関連させて配置。</p>  | <p>・コラム「Science Press」や「科学のあしあと」、「くらしの中の理科」、「Professional」を学習内容に関連させて配置。</p>   | <p>・コラム「理路整然」や「なぜ理科を学ぶの?」、「SDGsを意識して脱炭素社会へ」「補充資料」学習内容に関連させて配置。</p>  | <p>・コラム「ハローサイエンス」や「広がる科学の世界」を学習内容に関連させて配置。</p>   | <p>・コラム「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」「防災減災ラボ」「深めるラボ」「ひろがる世界」を学習内容に関連させて配置。</p>   |
|                       | <p><b>【視点】⑦ 科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫</b><br/> <b>【方法】○ 探究の過程の示し方及び具体例</b></p>   |  |   |  |  |
| 主体的に<br>学習に取り組む<br>工夫 | <p>・各学年の巻頭に「探究の流れを確認しよう」として探究の過程を掲載(第1、2学年2ページ、第3学年1ページ)。<br/> ①「問題発見」レッツスタート!<br/> ②「？」課題<br/> ③「仮説」課題に対する自分の考えは?<br/> ④「構想」調べ方を考えよう<br/> ⑤「観察」「実験」<br/> ⑥「分析解釈」考察しよう「検討改善」解決方法を考えよう<br/> ⑦「！」課題に対する自分の考えをまとめよう<br/> ⑧「ふり返り」探究をふり返ろう「活用」学びをいかし</p> | <p>・各学年の巻頭に「理科の学習の進め方」の一部として紹介(0.5ページ)。<br/> 1「課題をつかもう」<br/> ①「問題の発見」<br/> ②「学習の課題」<br/> 2「観察・実験をしよう」<br/> ③「予想、計画」<br/> ④「観察・実験」<br/> ⑤「結果」<br/> 3「結果をもとに考えよう」<br/> ⑥「考察」<br/> ⑦「解説など」<br/> ・第1学年の巻末に「探究の進め方」として探究の過程を掲載(6ページ)第2・3学年 巻末 掲載なし<br/> ・探究の過程に沿った学習を意識的に進められるよ</p> | <p>・各学年の巻頭に「理路整然」の中で「どうする、探究の進め方」として探究の過程を掲載(2ページ)。<br/> ①「気づき」<br/> ②「課題設定」<br/> ③「仮説」<br/> ④「検証計画」<br/> ⑤「観察・実験」<br/> ⑥「結果」<br/> ⑦「考察」<br/> ⑧「ふり返り」<br/> ⑨「伝える」<br/> ⑩「次の気づき」<br/> ・第1学年 巻末 補充資料「理路整然」の中で「どうする、探究の手法とあなたの積極性」を掲載(2ページ)。第2・3学年 巻</p> | <p>・各学年の巻頭に「探究の進め方」と「探究の進め方さあ探究を始めよう!」の中で探究の過程を掲載(3.5ページ)。<br/> ①「疑問を見つける」<br/> ②「課題を決める」<br/> ③「仮説を立てる」<br/> ④「計画を立てる」<br/> ⑤「観察する」「実験する」<br/> ⑥「考察する」<br/> ⑦「結論を示す」<br/> ⑧「さらに、新たに疑問を見つける」<br/> ・各学年 巻末 「自由研究」で学習内容と関連させた具体的な紹介を掲載(1ページ)。<br/> ・該当ページ左側に、探究過</p> | <p>・各学年の巻頭に「探究とは」として探究の過程を掲載(1ページ)。<br/> ①「疑問」<br/> ②「課題」<br/> ③「仮説」<br/> ④「計画」<br/> ⑤「観察・実験」<br/> ⑥「結果」<br/> ⑦「考察」<br/> ⑧「表現」<br/> ・各学年 巻末 「探究の流れと探究のふり返り」を掲載。(1ページ)<br/> ・探究の過程に沿った学習活動が行えるように、各学年の各単元の1か所に「探Q実験」を設定し、その実験に対応した「探Qシー</p> |

|             |   |   |   |   |  |
|-------------|---|---|---|---|--|
|             | て考えよう<br>・該当ページ最下部に、探究過程のキーワードが順に示されており、どの段階を学習しているか色を付けて掲載。<br>全学年 巻末 掲載なし。  | う「問題をみつけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」のマークを掲載。   | 末 掲載なし。<br>・該当ページ左側に、探究過程のキーワードとマークが示されて掲載。   | 程のキーワードとマークが示されて掲載。   | ト」を巻末に添付。  |
| 内容の構成・配列・分量 | <b>【視点】⑧ 内容の分量</b><br><b>【方法】○ 総ページ数、付録の総数、補充的な観察・実験の総数発展的な学習の取り扱いの総数及びものづくりの総数</b>   |   |   |   |  |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数：898 ページ</li> <li>付録は第2学年のみ。</li> <li>補充的な観察・実験総数：97</li> <li>発展的な学習の取り扱い総数：59</li> <li>ものづくりの総数：12</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数：986 ページ</li> <li>付録は全学年なし。</li> <li>補充的な観察・実験総数：110</li> <li>発展的な学習の取り扱い総数：86</li> <li>ものづくりの総数：16</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数：866 ページ</li> <li>付録は全学年なし。</li> <li>補充的な観察・実験総数：46</li> <li>発展的な学習の取り扱い総数：59</li> <li>ものづくりの総数：4</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数：898 ページ</li> <li>付録は全学年なし。</li> <li>補充的な観察・実験総数：108</li> <li>発展的な学習の取り扱い総数：69</li> <li>ものづくりの総数：10</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数：932 ページ</li> <li>付録は全学年あり。</li> <li>補充的な観察・実験総数：124</li> <li>発展的な学習の取り扱い総数：57</li> <li>ものづくりの総数：11</li> </ul>   |
| 内容の表現・表記    | <b>【視点】⑨ 内容の表現・表記</b><br><b>【方法】○ 新出用語等のルビの掲載、単元ごとの色分け・内容の表記及び図の掲載数</b>   |   |   |   |  |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>見出しを除く本文において、小学校で学習していない常用漢字にルビを掲載している。加えて、本文中の初出の重要語句は黒色太字で示し、ルビを掲載している。</li> <li>小口には、上部から下部にかけて単元を色分けして示している。また、単元番号と章の内容を表記している。</li> <li>第1学年「身のまわりの物質」において図の掲載数は50。見開きごとに連番で示している。3年間の総数では、772。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>見出しを除く本文において、小学校で学習していない常用漢字にルビを掲載している。加えて、本文中の初出の重要語句は黒色太字で示し、ルビを掲載している。</li> <li>小口の上部を単元で色分けしている。また、単元番号と章の内容を表記している。</li> <li>第1学年「身のまわりの物質」において図の掲載数は41。章ごとに連番で示している。3年間の総数では、699。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>見出しと本文において、小学校で学習していない常用漢字及び、初出の重要用語にルビを掲載している。また、本文中の初出の重要語句は黒色太字で示し、見出しにルビがない場合のみルビを掲載している。</li> <li>小口の中部から下部にかけて単元を色分けして示している。</li> <li>第1学年「身のまわりの物質」において図の掲載数は56。章ごとに連番で示している。3年間の総数では、754。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>見出しと本文において、小学校で学習していない常用漢字にルビを掲載している。加えて本文中で初出の重要語句は赤文字で示し、重ねてルビを掲載している。</li> <li>小口の上部から中部にかけて単元を色分けしている。また、単元番号と章の内容を表記している。</li> <li>第1学年「身のまわりの物質」において図の掲載数は44。章ごとに連番で示している。3年間の総数では、736。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>見出しと本文において、小学校で学習していない常用漢字にルビを掲載している。加えて本文中で初出の重要用語は、黒色太字で示し、ルビを掲載している。</li> <li>小口には、上部から中部にかけて、単元を色分けして示している。また、領域と章の内容を表記している。</li> <li>第1学年「身のまわりの物質」において図の掲載数は66。単元を通した連番で示している。3年間の総数では、841。</li> </ul> |

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |        |                    |            |
|-----|--------|--------------------|------------|
| 校 種 | 教 科    | 教科用図書目録に登録された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 音楽（一般） | 2                  | 5          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| 発行者<br>観点     | 17 教出  | 27 教芸  |
| 知識及び<br>技能の習得 | <p><b>【視点】① 表現領域の知識及び技能の習得を図るための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例</b></p>   |  |
|               | <p>・第1学年及び第2・3学年上巻に「Sing! Sing!」として＜歌うための準備＞・＜言葉の発音について＞・＜変声と混声合唱＞の資料を掲載している。</p>  | <p>・第1学年・第2・3学年上及び下に「My Voice!」として＜自分の歌声を見つけよう＞・＜自分の思いを歌声にのせよう＞・＜鼻濁音＞・＜豊かな歌声で、気持ちを込めて歌おう＞の資料を掲載している。</p>   |
|               | <p><b>【視点】② 鑑賞領域の知識の習得を図るための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 鑑賞領域における知識に関する記載</b></p>  |  |
|               | <p>＜「和声と創意の試み」第1集「四季」から「春」第1楽章＞</p> <p>・曲の形式を捉えることを学習目標にしている。</p> <p>・ソネットごとに旋律の一部の楽譜を掲載している。</p> <p>・リトルネッロ部に色をつけて示すとともに、エピソード部を示している。また、楽譜の上にソネットを示している。</p> <p>・リトルネッロ部とエピソード部の説明を記載し、リトルネッロ形式を表で示している。</p> | <p>＜「和声と創意の試み」第1集「四季」から「春」第1楽章＞</p> <p>・音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴くことを学習目標にしている。</p> <p>・ソネットごとに旋律の一部の楽譜を掲載している。</p> <p>・リトルネッロ部に色をつけて示している。また、楽譜の上にソネットを示している。</p> |
|               | <p><b>【視点】③ 題材の学習目標等の示し方</b></p> <p><b>【方法】○ 学習目標等の表記の仕方の具体例</b></p>   |  |
|               | <p>・教材ページの端に縦書きで題材名を示すとともに、教材名の下に活動のポイントを示している。</p>  | <p>・教材ページの端に縦書きで学習目標を示すとともに、教材名の下に活動文、その横に考えたいポイントを示している。</p>  |

|   |   |  |
|---|---|--|
|   | <p>(例)</p> <p>&lt;題材名&gt; 歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう。</p> <p>&lt;教材名&gt; 歌舞伎「勸進帳」(第2・3学年下)</p> <p>&lt;活動のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎の音楽の役割や効果を考えながら鑑賞しよう。</li> <li>・音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ、多様な表現を聴き取ろう。</li> </ul>  | <p>(例)</p> <p>&lt;学習目標&gt; 歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。</p> <p>&lt;教材名&gt; 歌舞伎「勸進帳」(第2・3学年上)</p> <p>&lt;活動文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「勸進帳」は、日本の伝統芸能である歌舞伎の作品です。</li> <li>・声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、長唄のよさや美しさを味わって聴きましょう。</li> <li>・音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わいましょう。</li> </ul>   |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p>  | <p><b>【視点】④ 音楽表現を創意工夫させるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 創作分野における音楽表現を創意工夫する学習の具体例</b></p>   |  |
|   | <p>・第1学年には2つの活動が掲載されている。</p> <p>&lt;音のスケッチ&gt; 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動1～3の例をもとに活動4～6に取り組む流れになっている。</li> <li>・「チャレンジ」として発展的に創作に取り組む視点を提示している。</li> </ul> <p>&lt;音のスケッチ&gt; 全体の構成を考えながら音楽をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動1～3の例をもとに活動4～6に取り組む流れになっている。</li> <li>・キャラクターの吹き出しや「もっと楽しもう」で工夫の仕方や作品を改善する視点を示している。</li> </ul> | <p>・第1学年には、2つの活動が掲載されている。</p> <p>「My Melody」創作一音のつながり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながり方の特徴を生かした旋律づくりを行うために、「Warmig up」で音のつながり方の特徴を考える活動を設定している。</li> <li>・5つの活動を設定するとともに、活動③についてワークシートを示している。</li> <li>・キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方を示している。「Let`s Create!」</li> <li>・5つの活動を設定するとともに、活動③ではワークシートを示している。</li> <li>・キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方、活動の指示を示している。</li> </ul> |
| <p><b>【視点】⑤ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 鑑賞領域における音楽を形づくっている要素の示し方及び学習内容の記載</b></p> <p>・活動のポイントや学習活動を示す文の中に音楽を形づくっている要素の視点を示している。</p> | <p>・学習目標の下に音楽を形づくっている要素を例示するとともに、活動文や考えたいポイント、キャラクターの吹き出しの中に視点として示している。</p>   |  |

|                       |   |   |
|-----------------------|---|---|
| 主体的に<br>学習に取り組む<br>工夫 | <p><b>【視点】⑥ 興味・関心を高めるための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 資料や巻頭の内容</b></p>   |   |
|                       | <p>&lt;資料&gt;<br/> ・第1学年には7つ、第2・3学年上には6つ、第2・3学年下には9つの資料が掲載されている。</p> <p>&lt;巻頭&gt;<br/> 第1学年<br/> ・ピアニスト 角野隼斗の言葉と写真を掲載している。<br/> ・フランツ・シューベルトに関する内容と自筆譜を掲載している。</p>                                     | <p>&lt;資料&gt;<br/> ・第1学年には4つ、第2・3学年上には3つ、第2・3学年下には5つの資料が掲載されている。</p> <p>&lt;巻頭&gt;<br/> 第1学年<br/> ・俳優・歌手 上白石萌音の言葉と関連する写真を掲載している。<br/> ・宇宙飛行士 野口聡一の言葉と関連する写真を掲載している。</p>   |
| 内容の構成・配<br>列・分量       | <p><b>【視点】⑦ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 音楽文化に関する学習についての記載</b></p>   |   |
|                       | <p>&lt;題材名&gt;<br/> ・多様な芸能や音楽の表現を鑑賞しよう。</p> <p>&lt;活動のポイント&gt;<br/> ・音楽と物語との関わりを理解して鑑賞しよう。<br/> ・物語を表現する音楽の多様性を聴き取ろう。<br/> ・中国、アメリカ、朝鮮半島、インドネシアの特徴的な芸能や音楽について写真を掲載し、説明している。<br/> ・2つの話し合う活動を設定している。</p> | <p>&lt;学習目標&gt;<br/> ・世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。</p> <p>&lt;活動文&gt;<br/> ・楽器の音色、リズム、旋律の特徴などに注目しながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。</p> <p>&lt;考えたいポイント&gt;<br/> ・世界各地のさまざまな音楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。<br/> ・背景に世界地図を掲載し、その上に各地の楽器の写真を楽器群別のマークを付けて掲載している。</p> |
|                       | <p><b>【視点】⑧ 我が国の音楽に関する内容の扱い</b><br/> <b>【方法】○ 学年ごとに扱う鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）</b></p>  |   |
|                       | <p>&lt;第1学年 鑑賞教材&gt;<br/> 郷土のさまざまな民謡、箏曲「六段の調」、日本とアジアをつなぐ音、尺八曲「鹿の遠音」、日本とアジアの声によるさまざまな表現</p> <p>&lt;第1学年 歌唱教材&gt;<br/> 「ソーラン節」「かりぼし切り歌」「夏の思い出」「赤とんぼ」</p> <p>&lt;第2・3学年上 鑑賞教材&gt;</p>                      | <p>&lt;第1学年 鑑賞教材&gt;<br/> 雅楽「平調 越天楽」-管弦-、箏曲「六段の調」、日本の民謡</p> <p>&lt;第1学年 歌唱教材&gt;<br/> 「ソーラン節」「浜辺の歌」「赤とんぼ」</p> <p>&lt;第2・3学年上 鑑賞教材&gt;<br/> 歌舞伎「勧進帳」、文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段”</p>  |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  | <p>雅楽「越天楽」、能「羽衣」キリから「東遊びの数々に～」、能「敦盛」キリから「波の打物抜いて～」、郷土の音楽や芸能</p> <p>&lt;第2・3学年上 歌唱教材&gt;</p> <p>「浜辺の歌」「早春譜」「花の街」</p> <p>&lt;第2・3学年下 鑑賞教材&gt;</p> <p>歌舞伎「勧進帳」、文楽「義経千本桜」から二段め 大物浦の段</p> <p>&lt;第2・3学年下 歌唱教材&gt;</p> <p>長唄「勧進帳」をうたおう 「花」「荒城の月」</p>   | <p>&lt;第2・3学年上 歌唱教材&gt;</p> <p>長唄「勧進帳」から、義太夫節「野崎村の段」から「夏の思い出」「荒城の月」</p> <p>&lt;第2・3学年下 鑑賞教材&gt;</p> <p>尺八楽「巢鶴鈴慕」、能「敦盛」</p> <p>&lt;第2・3学年下 歌唱教材&gt;</p> <p>謡「敦盛」から 「花」「花の街」「早春賦」</p> |
| <p><b>【視点】⑨ 教材の配列及び分量</b></p> <p><b>【方法】○ 教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数</b></p>   |  |   |
| <p>・全学年「歌唱」「鑑賞」「創作」の各領域・分野を掲載している。</p> <p>・第1学年における教材の配列の具体例は次の通りである。</p> <p>歌唱(11)→鑑賞(8)→創作(2)→音楽を形づくっている要素(1)→Sing! Sing!(3)→Let's Try!(4)→資料(7)→歌のアルバム(9)→全校合唱(1)→〔国歌〕君が代(1)</p> <p>・目次に示された領域ごとの教材数は次の通りである。</p> <p>歌唱 第1学年：22 第2・3学年上：20 第2・3学年下：17</p> <p>創作 第1学年：2 第2・3学年上：2 第2・3学年下：2</p> <p>鑑賞 第1学年：8 第2・3学年上：8 第2・3学年下：6</p> | <p>・「歌唱」「鑑賞」「創作」の各領域・分野を掲載している。</p> <p>・全学年「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後に配列している。</p> <p>・第1学年の「創作」は関連する教材の後ろに配列している。</p> <p>・第1学年における教材の配列の具体例は次の通りである。</p> <p>歌唱(3)→創作(1)→歌唱(4)→鑑賞(1)→創作(1)→鑑賞(5)→歌唱(1)→鑑賞(1)→発声(1)→リズムで楽しもう(3)→指揮(1)→特集(2)→資料(2)→歌い継ごう日本の歌(2)→心通う合唱(9)→歌「君が代」(1)</p> <p>・目次に示された領域ごとの教材数は次の通りである。</p> <p>歌唱 第1学年：20 第2・3学年上：18 第2・3学年下：17</p> <p>創作 第1学年：2 第2・3学年上：2 第2・3学年下：2</p> <p>鑑賞 第1学年：7 第2・3学年上：6 第2・3学年下：7</p> |   |
| <p>内容の表現・表記</p>  | <p><b>【視点】⑩ 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用</b></p> <p><b>【方法】○ 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体例</b></p> <p>&lt;第2・3学年下巻「花」&gt;</p> <p>・全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に楽譜を掲載している。</p> <p>・隅田川の風景・青柳・桜の花の写真を掲載するとともに、明治時代の</p>   |   |
|  | <p>&lt;第2・3学年下巻「花」&gt;</p> <p>・全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に楽譜を掲載している。</p> <p>・春の隅田川、柳、おぼろ月、櫛、露にぬれた桜、明治時代の花見の様</p>  | <p>&lt;第2・3学年下巻「花」&gt;</p> <p>・全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に楽譜を掲載している。</p> <p>・春の隅田川、柳、おぼろ月、櫛、露にぬれた桜、明治時代の花見の様</p>   |

|   |   |  |
|---|---|--|
|   | <p>隅田川の様子の写真、小林清親による風景版画を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページにアクセスできる。</li> </ul>  | <p>子の写真、桜のイラストを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページにアクセスできる。</li> <li>・二次元コードを掲載し、パート別とカラピアノの音源を掲載しているページにアクセスできる。また、「組歌「四季」」についての説明と、それぞれの旋律の一部の音源を掲載しているページにアクセスできる。</li> </ul>   |
| <p><b>【視点】㊦ 特別支援教育へ配慮した構成及びデザインの工夫</b><br/> <b>【方法】○ ユニバーサルデザインに配慮した示し方</b></p> |   |  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・紙面全体や、図版やイラスト等について、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・領域分野ごとに基本色を設定し、ページ左端もしくは右端にそれぞれの基本色の枠を設け「題材名」を示している。</li> <li>・ページの左端もしくは右端に縦書きで「題材名」、ページ上部に「教材名」、教材名の下部に「活動のポイント」と、紙面構成を統一している。</li> <li>・複数の教材において、文字を写真中に掲載するときに、無地の部分に配置している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・紙面全体や、図版やイラスト等について、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・領域分野ごとに基本色を設定し、ページ左端もしくは右端にそれぞれの基本色の枠を設け、「学習目標」と「音楽を形づくっている要素」を示している。</li> <li>・ページの左端もしくは右端に縦書きで「学習目標」、学習目標の下部に「音楽を形づくっている要素」、ページ上部に「教材名」、教材名の下部に「活動文」と、紙面構成を統一している。</li> <li>・複数の教材において、文字を写真中に掲載するときに、無地の部分に配置している。</li> </ul> |

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |          |                    |            |
|-----|----------|--------------------|------------|
| 校種  | 教科       | 教科用図書目録に登載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 音楽（器楽合奏） | 2                  | 5          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

|  |   |       |  |   |   |  |
|--|---|-------|--|---|---|--|
| 発行者<br>観点  | 17 教出   | 27 教芸 |  |   |   |  |
| 知識及び技能の習得  | <p><b>【視点】① 器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫</b><br/> <b>【方法】○ リコーダーにおける知識及び技能に関する記載</b></p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの歴史に関して、古代から現代にいたるまでの演奏の場や演奏形態などの変遷が記載されている。</li> <li>・姿勢と構え方、指穴の番号と指番号、チューニング、タンギング、サミング、アーティキュレーション、運指標が記載されている。</li> <li>・演奏する順番は、1つの音で吹いてみようから始まり、左手の演奏、右手を加えた演奏、サミング、音域を広げよう、アーティキュレーションの順に記載されている。</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの歴史に関して、16世紀～18世紀にかけての演奏の場や演奏形態などの変遷に加え、楽器の改良の歴史、独奏楽器としての活躍について記載されている。</li> <li>・姿勢と構え方、指穴の番号と指番号、チューニング、タンギング、サミング、アーティキュレーション、運指標が記載されている。</li> <li>・演奏する順番は、LESSON 1 [左手による運指]、LESSON 2 [両手による運指]、LESSON 3 [サミング]、LESSON 4 [高い音、#やbの付く音]の順に記載されている。</li> </ul> </td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>【視点】② 題材の学習目標等の示し方</b><br/> <b>【方法】○ 学習目標等の表記の仕方及び目標達成のための支援の具体例</b></p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢とかまえ方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。</li> <li>・数字やアルファベットを使って、演奏で使用する指の名称について、右手と左手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。また、写真の中に指の記号と番号を示している。</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢と構え方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。その中で、左手と右手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。</li> <li>・指の番号と記号について、両手のイラストを掲載し、説明している。また、イラストの中に指の番号と記号を示している</li> </ul> </td> </tr> </table> |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの歴史に関して、古代から現代にいたるまでの演奏の場や演奏形態などの変遷が記載されている。</li> <li>・姿勢と構え方、指穴の番号と指番号、チューニング、タンギング、サミング、アーティキュレーション、運指標が記載されている。</li> <li>・演奏する順番は、1つの音で吹いてみようから始まり、左手の演奏、右手を加えた演奏、サミング、音域を広げよう、アーティキュレーションの順に記載されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの歴史に関して、16世紀～18世紀にかけての演奏の場や演奏形態などの変遷に加え、楽器の改良の歴史、独奏楽器としての活躍について記載されている。</li> <li>・姿勢と構え方、指穴の番号と指番号、チューニング、タンギング、サミング、アーティキュレーション、運指標が記載されている。</li> <li>・演奏する順番は、LESSON 1 [左手による運指]、LESSON 2 [両手による運指]、LESSON 3 [サミング]、LESSON 4 [高い音、#やbの付く音]の順に記載されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢とかまえ方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。</li> <li>・数字やアルファベットを使って、演奏で使用する指の名称について、右手と左手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。また、写真の中に指の記号と番号を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢と構え方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。その中で、左手と右手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。</li> <li>・指の番号と記号について、両手のイラストを掲載し、説明している。また、イラストの中に指の番号と記号を示している</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの歴史に関して、古代から現代にいたるまでの演奏の場や演奏形態などの変遷が記載されている。</li> <li>・姿勢と構え方、指穴の番号と指番号、チューニング、タンギング、サミング、アーティキュレーション、運指標が記載されている。</li> <li>・演奏する順番は、1つの音で吹いてみようから始まり、左手の演奏、右手を加えた演奏、サミング、音域を広げよう、アーティキュレーションの順に記載されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの歴史に関して、16世紀～18世紀にかけての演奏の場や演奏形態などの変遷に加え、楽器の改良の歴史、独奏楽器としての活躍について記載されている。</li> <li>・姿勢と構え方、指穴の番号と指番号、チューニング、タンギング、サミング、アーティキュレーション、運指標が記載されている。</li> <li>・演奏する順番は、LESSON 1 [左手による運指]、LESSON 2 [両手による運指]、LESSON 3 [サミング]、LESSON 4 [高い音、#やbの付く音]の順に記載されている。</li> </ul>   |       |  |   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢とかまえ方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。</li> <li>・数字やアルファベットを使って、演奏で使用する指の名称について、右手と左手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。また、写真の中に指の記号と番号を示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢と構え方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。その中で、左手と右手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。</li> <li>・指の番号と記号について、両手のイラストを掲載し、説明している。また、イラストの中に指の番号と記号を示している</li> </ul>  |       |  |   |   |  |

|                        |  |  |
|------------------------|--|--|
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アポヤンド奏法とアル・アイレ奏法について、右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。</li> <li>・コードの押さえ方について、4つのコード（G、D7、C、Em）のダイアグラム（運指図）と右手で弦を押さえている写真を掲載し、説明している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アポヤンド奏法とアル・アイレ奏法について、指のイラストを掲載し、説明している。</li> <li>・コードの押さえ方について、4つのコード（G、D、Em、C）のダイアグラム（運指図）と右手で弦を押さえているイラストを掲載し、説明している。</li> </ul> |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p> | <p><b>【視点】③ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 音楽表現を創意工夫する学習の記載内容</b></p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合わせて演奏しようでは、創作教材として「音のスケッチ」を4カ所に掲載している。基本形の楽譜を練習後、オプションパートを加えて演奏したり、即興演奏をしたり、構成を工夫して演奏したりするなどの例を示している。</li> </ul>   |  |
| <p>主体的に学習に取り組む工夫</p>   | <p><b>【視点】④ 興味・関心を高めるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 資料及び巻頭の内容</b></p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器の「小太鼓（スネアドラム）」「大太鼓（バスドラム）」「ボンゴ」「コンガ」「カホン」について、演奏している写真を掲載し、説明している。</li> <li>・リコーダーの運指表を掲載し、リコーダーの変遷について、写真を掲載し、説明している。また、リコーダーの種類についての写真を掲載している。</li> <li>・ギター&amp;キーボード コードについて、ダイアグラム、コードを押さえた写真、和音の楽譜、押さえる鍵盤を示したキーボードのイラストを掲載している。</li> </ul> |  |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな用語、記号について表や楽譜を掲載している。</li> <li>・巻頭に「LET'S PLAY MUSIC!」と題し、世界のいろいろな楽器の演奏写真、演奏者名を掲載している。</li> <li>・「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」と題して、兵庫県、佐賀県、宮城県に設置されているストリート・ピアノの写真を掲載している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギター/キーボードそれぞれのコードについて、ダイアグラム、コードを押さえたイラスト、和音の楽譜、押さえる鍵盤を示したキーボードのイラストを掲載している。</li> <li>・「楽器の図鑑」では様々な楽器を7つに分類して写真で紹介している。</li> <li>・音符・休符・記号・用語について、表や楽譜で掲載している。</li> <li>・巻末に「楽しもう！和楽器の音楽」で、部活動を通して太鼓と箏に取り組んでいる写真、写真の説明、「中学生にインタビュー」を掲載している。</li> <li>・巻頭で「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」と題し、石若駿の写真と言葉、ドラムを演奏している写真を掲載している。</li> <li>・「音楽って何だろう？じぶんの、そして、ひとのもの」において、さまざまな楽器の演奏写真とともに、小沼純一の写真と言葉を掲載している。</li> </ul> |
| <p style="text-align: center;">主体的に<br/>学習に取り組む工<br/>夫</p> | <p><b>【視点】⑤ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 音楽文化に関する記載</b></p>   |   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「LET'S PLAY MUSIC!」でバーンスリー、アパラチアン・ダルシマーを演奏している写真を掲載している。</li> <li>・「発展 吹く楽器の仲間たち」で、スリン、ケーナ、バーンスリーを演奏している写真を掲載し、楽器について説明している。</li> <li>・「発展 弾く楽器の仲間たち」で、背景に世界地図を掲載し、その上に、リュート、バラライカ、ピーパー、マンドリン、カーヌーン、グージョン、ウッド、カヤグム、トンコリ、サンシエン、アパラチアン・ダルシマー、ウクレレ、バンジュー、チャランゴの写真と説明を掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽って何だろう？」で、シーク・ボンゴ、チャンゴ、イプヘケ、アイタ、バグパイプ、ンビラ、カヤグム、ガルベ・タンブラン、ディジェリドゥを演奏している写真を掲載している。</li> <li>・「楽器の図鑑」で、世界の諸民族の楽器として、ズルナ、バグパイプ、サンポーニャ、クندان、ジェンベ（ジャンベ）、モリンホール（馬頭琴）、コラの写真を掲載している。</li> </ul>   |

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| 内容の構成・配列・分量 | <p><b>【視点】⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い</b></p> <p><b>【方法】○ 和楽器に関する教材の扱い</b></p>  |  |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各楽器単独で扱っているページ数<br/>箏（8）、三味線（7）、太鼓（6）、篠笛（5）、尺八（2）</li> <li>・楽器ごとの楽曲（鑑賞曲も含む）<br/>篠笛（7）、尺八（2）、箏（7）、三味線（4）、太鼓（1）</li> <li>・上記以外の和楽器に関する教材<br/>表現の仕方を調べてみよう PART-1<br/>表現の仕方を調べてみよう PART-2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各楽器単独で扱っているページ数<br/>箏（10）、三味線（6）、太鼓（6）、篠笛（3）、尺八（3）</li> <li>・楽器ごとの楽曲（鑑賞曲も含む）<br/>篠笛（5）、尺八（4）、箏（8）、三味線（3）、太鼓（3）</li> <li>・上記以外の和楽器に関する教材<br/>日本の伝統音楽の楽器編成<br/>伝統の枠を超えて活躍する和楽器<br/>楽しもう！和楽器の音楽</li> </ul>  |
|             | <p><b>【視点】⑦ 教材の分量及び構成</b></p> <p><b>【方法】○ 楽器別カテゴリ別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリ別教材数及び内容の構成</b></p>   |  |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>① リコーダー（20）</li> <li>② 篠笛（6）</li> <li>③ 尺八（1）</li> <li>④ ギター（6）</li> <li>⑤ 箏（6）</li> <li>⑥ 三味線（1）</li> <li>⑦ 太鼓（1）</li> <li>⑧ 合奏（アンサンブル）（31）</li> <li>⑨ 名曲旋律集</li> <li>⑩ 資料</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>① リコーダー（14）</li> <li>② ギター（2）</li> <li>③ 箏（6）</li> <li>④ 三味線（1）</li> <li>⑤ 太鼓（1）</li> <li>⑥ 篠笛（3）</li> <li>⑦ 尺八（1）</li> <li>⑧ 打楽器（1）</li> <li>⑨ アンサンブル曲（25）</li> <li>⑩ 楽器でMelody</li> <li>⑪ 資料</li> </ul> |

|          |   |   |
|----------|---|---|
| 内容の表現・表記 | <p><b>【視点】⑧ 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用</b></p> <p><b>【方法】○ 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体</b></p>   |   |
|          | <p>&lt;リコーダーのデジタルコンテンツ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 掲載曲やサミングについての動画。</li> <li>○ アーティキュレーションについて、二つの奏法の音源。</li> </ul> <p>&lt;箏のデジタルコンテンツ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調弦法について、2つのパターンの平調子の音源</li> <li>○ 親指による基本的な奏法の動画</li> <li>○ 「六段の調」の三段の冒頭の動画</li> </ul> | <p>&lt;リコーダーのデジタルコンテンツ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演奏者の情報</li> <li>○ 姿勢と構え方、タンギングについての動画</li> <li>○ 教材曲の伴奏の音源</li> <li>○ 「学びのコンパスアーティキュレーションを工夫しよう」のワークシート</li> </ul> <p>&lt;箏のデジタルコンテンツ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演奏者の情報</li> <li>○ 基本的な奏法、いろいろな奏法についての動画</li> </ul> |

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |    |                    |            |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種  | 教科 | 教科用図書目録に登載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 美術 | 3                  | 12         |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

|               |  |  |  |
|---------------|--|--|--|
| 発行者<br>観点     | 9 開隆堂  | 38 光村  | 116 日文   |
| 知識及び<br>技能の習得 | <p><b>【視点】① 【共通事項】の指導を充実させるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 造形的な視点の示し方及び具体例</b></p>   |  |  |
|               | <p><b>美術2・3</b><br/>「語る彫刻」p48～51<br/>○キャラクターの吹き出しに、コメントを示している。<br/><b>【具体例】</b><br/>《キャラクターのコメント》<br/>・表情、姿勢、体つきなどに注目してみよう。</p> <p>○アイデアスケッチの吹き出しに、表現意図とともに示している。<br/><b>【具体例】</b><br/>《吹き出し》<br/>・11月の早朝、池のまわりで犬の散歩をしていたときでした。鳥が羽ばたく音にびっくりして池を見たら、魚を食べていました。きれいな色の鳥で、調べたらカワセミという鳥でした。<br/>・鳥が羽を広げている様子や、魚を見つけた瞬間の水面の様子を表したいと思いました。<br/>・カワセミがくちばしを川に突っ込んだ瞬間に、そのまわりに水しぶきが上がるのを強調したいな。<br/>・何色もの色を重ねることで、水の動きが表せそうだな。</p> | <p><b>美術2・3</b><br/>「躍動感を捉える」p48・49<br/>○鑑賞と表現の活動のはじめや「POINT」に示している。<br/><b>【具体例】</b><br/>《鑑賞》<br/>・動きを捉えた作品を鑑賞して、躍動感を表すための工夫について考えてみよう。<br/>《表現（発想・構想）》<br/>・友達の生き生きとした動きを捉えて、作品に表そう。<br/>《POINT》<br/>・この一瞬の動きを表すために、どのような工夫がされているだろう。</p> <p>○スケッチや写真の吹き出しに、表現意図とともに示している。<br/><b>【具体例】</b><br/>《動きを捉える》<br/>・テニス部の後輩がボールを打つ瞬間が、カッコいい。いろいろな角度からスケッチしてみよう。<br/>《形をつくる》<br/>・体の重心を意識しながら粘土を付けていこう。</p> | <p><b>美術2・3上</b><br/>「しぐさで語る動物たち」p18・19<br/>○作品や写真の吹き出しに、「造形的な視点」を示している。<br/><b>【具体例】</b><br/>《造形的な視点》<br/>・形や色彩の特徴、表情やしぐさに着目して効果を考えよう。</p> <p>○生徒作品の「作者の言葉」に、表現意図とともに示している。<br/><b>【具体例】</b><br/>《作者の言葉》<br/>・背中を黒色だけでなく、青色や灰色を加えることでより本物らしくしました。</p> <p>○「鑑賞の入り口」に、問いで示している。<br/><b>【具体例】</b><br/>《鑑賞の入り口》<br/>・その動物らしさはどこから感じるのだろうか。</p> <p>○主文の中で、造形的な視点を基に思考することを促す文を示している。<br/><b>【具体例】</b><br/>・あなたは動物のどんな姿に興味があります</p> |

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>○生徒作品の「作者のこぼし」に、表現意図とともに示している。</p> <p><b>【具体例】</b><br/> 《生徒作品・作者の言葉》<br/> ・雨が降った後の様子を再現しました。道路の汚れた感じが出るようにいろいろな色を使って塗りました。</p>   | <p>○生徒作品の「作者の言葉」に、表現意図とともに示している。</p> <p><b>【具体例】</b><br/> 《生徒作品・作者の言葉》<br/> ・競技かるたの公式戦に挑む、将来の自分を想像してつくりました。揺れる髪や衣服で、勢いよく札を取った瞬間のスピード感を表現しました。</p>  | <p>か。(中略)体の形や色彩、さりげない動き、何かを語りかけてくるような表情など、その動物らしさが伝わるのは、どのような瞬間でしょうか。それぞれの姿から作品のイメージを広げ、材料にも工夫して立体で表しましょう。</p>  |
| <p><b>【視点】② 形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載及び具体例</b></p>   |  |   |
| <p>○巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p><b>美術1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字のデザイン</li> <li>・著作権を知ろう</li> <li>・発想・構想のヒント</li> <li>・鑑賞ってなんだろう</li> <li>・美術館へ行こう</li> <li>・色彩と光</li> <li>・用具を知って使ってみよう</li> </ul> <p><b>美術2・3</b></p> <p><b>【具体例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会をつくる</li> <li>・奥行き表現</li> <li>・美術史の扉</li> <li>・量感表現</li> <li>・余白の美</li> <li>・紙の表現</li> <li>・これってどう撮るの</li> <li>・共に学ぶ美術</li> <li>・持続可能な未来へ</li> <li>・世界遺産と美術</li> <li>・日本の伝統色</li> <li>・美術と私と社会</li> </ul> | <p>○巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p><b>美術1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館を楽しもう</li> <li>・芸術祭へ行こう</li> <li>・美術鑑賞を楽しむ手がかり</li> </ul> <p><b>美術2・3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を支える資料一覧</li> <li>・仏像について知ろう</li> <li>・美術史年表</li> <li>・日本の伝統工芸</li> <li>・北と南の民族衣装</li> </ul> <p>○別冊「美術1資料」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p><b>美術1資料</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって描く？</li> <li>・鉛筆で描く</li> <li>・水彩絵の具で描く</li> <li>・アクリル絵の具で描く</li> <li>・さまざまな描き方</li> <li>・版画で表す</li> <li>・文字をデザインする</li> <li>・端末を活用する</li> <li>・どんな材料でつくる？</li> <li>・紙でつくる</li> <li>・粘土でつくる</li> <li>・木でつくる</li> </ul> | <p>○巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p><b>美術1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火焰型土器</li> <li>・発想・構想の手立て①</li> <li>・発想・構想の手立て②</li> <li>・どんなふうにかきたい？</li> <li>・さまざまな技法で描く</li> <li>・木版画</li> <li>・水墨画の表現</li> <li>・文字の基本</li> <li>・木でつくる</li> <li>・粘土でつくる</li> <li>・色彩の基本・仕組み</li> <li>・美術館へ行こう</li> </ul> <p><b>美術2・3上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡本太郎“芸術はみんなのもの”</li> <li>・暮らしに息づくパブリックアート</li> <li>・立体を描く</li> <li>・遠近感を表す</li> <li>・人物をつくる</li> <li>・北斎の大波</li> <li>・金属でつくる</li> <li>・日本美術と世界の美術の歩み</li> <li>・日本の伝統色</li> <li>・色彩の特徴を深く知る</li> <li>・写真で表現する</li> </ul> <p><b>美術2・3下</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなアートに触れよう</li> <li>・動画で表現する</li> </ul> |

|                             |  |  |   |
|-----------------------------|--|--|---|
|                             |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属でつくる</li> <li>・石でつくる</li> <li>・写真を撮影する</li> <li>・映像を制作する</li> <li>・発想・構想のために</li> <li>・自然の中の形・色・光</li> <li>・色の世界に出会う</li> <li>・色の特徴</li> <li>・色の効果と配色</li> <li>・日本と世界の伝統色図鑑</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵巻物の世界</li> <li>・仏像の種類</li> <li>・美術文化の継承</li> <li>・日本の世界文化遺産</li> <li>・受け継ぐ伝統と文化</li> <li>・世界の工芸品と色彩</li> </ul> |
| <p>思考力、判断力、<br/>表現力等の育成</p> | <p><b>【視点】③ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方及び具体例</b></p> <hr/> <p>○第1学年の「この教科書で美術を学習するみなさんへ」において、キャラクターの吹き出しで、表現と鑑賞のつながりを示している。</p> <p>○作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術1</b><br/>「生き生きとした姿を表す」 p22～25<br/>《作者のことば》<br/>・広島県の宮島で、おぼつかない足取りである子鹿に出会い、この子の生命感を連れて帰りたいと思い、アトリエに帰って制作しました。<br/>・座りながら物思いにふけっている姿を表しました。<br/>・いろいろなポーズをした人体をつかって、校庭で友達と組み合わせました。<br/>・一瞬の動きの中のエネルギーを感じてもらうために色も工夫し、さらに躍動感を出すためにクリアファイルを切って目に見えないパワーを表しました。</p> <p><b>美術2・3</b><br/>「イメージを形にして」 p52～55<br/>《作者のことば》<br/>・私は鏡に映ったもう一人の私を見ることができます。では、鏡の向こうの私は誰を見</p> <p>○第1学年の「教科書を活用しよう」において、矢印で表現と鑑賞の学習活動のつながりを示している。</p> <p>○作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術1</b><br/>「材料に命を吹き込む」 p32・33<br/>《作者の言葉》<br/>・どんな動物も顔からつくり始めます。顔ができると表情が生まれ、性別や性格が感じられるような気がして、その顔に合わせて材料を選び、体の動きや形、色を考えていきます。<br/>・学校の周辺で見つけた材料でつくりました。リスがどんぐりをくわえている感じが出るように工夫しました。<br/>・先の割れた流木が亀の頭のように見えたので、亀の形をつくりました。歌っているような口がポイントです。<br/>・幸運をもたらす幻の鳥です。材料には金属を使って、統一感を出しました。羽をきれいに神秘的に見せるために、形や色を工夫しました。</p> <p><b>美術2・3</b><br/>「空想の世界へようこそ」 p16～19<br/>《作者の言葉》</p> <p>○第1学年の「ようこそ美術の学びへ」において、表現と鑑賞を関連させた学習の流れの例を示している。</p> <p>○作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術1</b><br/>「材料に命を吹き込む」 p20・21<br/>《作者の言葉》<br/>・空き缶を見た時に、何かの殻っぽいと思いひらめました。<br/>・私の作品を見てくださった方が、身の回りから材料を探して送ってくれることがあります。自分では選ばない材料は、新たな発想を広げてくれます。作品を通じて人とのつながりも感じます。<br/>・電話ケーブルを羊毛のように、受話器を足のように使用できることに気づいた時にテレフォンシープは完成したのです。</p> <p><b>美術2・3上</b><br/>「イメージを形にすると」 p20・21<br/>《作者の言葉》<br/>・学校生活がどんどん大変になっていく様子を表現しました。高校はわからないので粘土はつけていません。<br/>・人それぞれが全く違う感情や個性を持っていることを、たくさん色で表しました。</p> |  |   |

ているのでしょうか。鏡の前の私と鏡の向こうの私は、相互に入れ替わり、見つめ合います。

この作品は、中央にわずかなすき間を開けて並ぶ一對の直方体の木材から彫り出しています。

中央のすき間を鏡に見立て、左右交互にチェーンソーで彫り進めました。

彫り進めていくうちに現れた無数の凹凸や穴は、鏡に映った私であり、鏡に映った私も私自身を見つめ返してきます。作品を見返すことで私自身を見つめ、作品も私を見返してくるのです。

- ・不安やプレッシャーに押しつぶされそうなときに、友達や先生に助けってもらって、心が落ち着いた時の気持ちを表しました。
- ・黄色は自分の努力が報われたり、目標を達成したりしたときの気持ちで、まわりにへばりついているものはうまくいなくて諦めそうになったときの気持ちです。今までがんばってきたことは必ずどこかでつながっていることを表しました。

○「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」を表記し、相互に関連した学習の流れを示している。

#### 【具体例】

#### 美術1

「生き生きとした姿を表す」 p22～25

#### 《鑑賞》

- ・動きや対象の特徴に注目して鑑賞し、見方や感じ方を広げよう

#### 《発想・構想》

- ・針金で人の動きを工夫しながら構想を広げよう

#### 《知識・技能》

- ・さまざまな材料の特徴を理解して、表し方を工夫しよう

#### 美術2・3

「イメージを形にして」 p52～55

#### 《鑑賞》

- ・抽象的な形で表した作品を鑑賞しよう

#### 《発想・構想》

- ・2001年9月11日にアメリカで起こった同時多発テロ事件の翌年の作品です。ニューヨークの街は美しく、劇場やレストランはにぎわっているけれど、人々は精神的に何か怯えているような印象を受けてこの絵を描きました。

- ・世界から感染症が消えてみんなが楽しく生活する風景を、私の好きなフクロウに重ねて描きました。

- ・大人になると失われてしまう純粹でファンタジーな心を、人一倍大事にしてきたのに、中学校に入ってそれが少しずつ失われてきました。下の女の子は、そのかすかな変化に悲しみ絶望しながら、ココロの声を糸電話を通じて聞いています。

○「表現」「鑑賞」を表記し、相互に関連した学習の流れを示している。

#### 【具体例】

#### 美術1

「材料に命を吹き込む」 p32・33

#### 《鑑賞》

- ・材料の特徴をどのように生かしているだろう。それぞれの作品の工夫を見つけてみよう。

#### 《表現（発想・構想）》

- ・材料の特徴を生かし、組み合わせて作品をつくろう。

#### 美術2・3

「空想の世界へようこそ」 p16～19

#### 《鑑賞》

- ・これらの作品を、作者の思いを想像しながら鑑賞してみよう

#### 《表現（発想・構想）》

- ・自分の好きなもの、身近なものから想像を膨らませ、空想の世界を表そう

ひも状の羊毛一つ一つが他のものからみ合っているのは、人と人が複雑につながり合っていることを表現しています。

- ・ダンスの発表会で、みんなで思いっきり踊れた楽しい気持ちを明るい色で表現しました。

#### 美術2・3下

「空想の中の不思議な世界」 p16～19

#### 《作者の言葉》

- ・雨のどんよりとした空気の中で筆を一気に動かすと、そこが光輝く花畑となります。嫌なことがあっても工夫することで、楽しい美しい世界に変わるといふ思いを表現しました。

- ・授業中の「甘いパンが食べたい」という気持ちと「寝たい」という気持ちを表しました。アップルパイを本物っぽくするために、粘土を編んでつくりました。

- ・「外国のすてきな家に住みたい」という幼少期のころの夢を想像しながら描きました。時々よみがえる無邪気な思い出たちも忘れたくないという願いも込めました。

○題材名の下に「鑑賞の入り口」を示している。

#### 【具体例】

#### 美術1

「材料に命を吹き込む」 p20・21

#### 《鑑賞の入り口》

- ・材料の特徴が、生き物にどのように生かされているだろうか。

#### 美術2・3上

「イメージを形にすると」 p20・21

#### 《鑑賞の入り口》

- ・作者の感覚やイメージが、どのように表現されているだろうか。

#### 美術23下

「空想の中の不思議な世界」 p16～19

#### 《鑑賞の入り口》

- ・作品の不思議な印象は、どこからもたらされているだろうか。

|   |  |   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表現したいイメージを考えて発想しよう<br/>《知識・技能》</li> <li>・自分の表現したいイメージをもとに材料や表現方法を工夫しよう<br/>《鑑賞》</li> <li>・パブリック・アートやインスタレーションの作品を鑑賞しよう</li> </ul>  |  |   |
| <p><b>【視点】④ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</b></p>  |  |   |
| <p><b>【方法】○ 発想・構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方及び具体例</b></p>  |  |   |
| <p>発想・構想の場面</p> <p>○「発想・構想のヒント」のページを設け、デザイナーが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術1</b><br/>「発想・構想のヒント」p58・59<br/>《制作するときの手掛かりにしよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察する</li> <li>・話し合う</li> <li>・調べる</li> <li>・試す</li> <li>・考えを整理する</li> </ul> <p>○発想・構想に向けて、ワークシートやアイデアスケッチ、生徒作品に作者の言葉を示している。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術2・3</b><br/>「生活を楽しく心地よく」p76～79<br/>《ワークシート》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住む人の特徴や趣味から思いつくことを書き出そう。</li> <li>・スケッチをして部屋の雰囲気をもっと具体的に考えよう。</li> </ul> <p>《作者のことば》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住む人の特徴に合わせて暖かくて柔らかい雰囲気にしました。</li> <li>・本がたくさんある部屋にあこがれて、階段や机などの形にこだわりました。本の日焼けを防ぐために窓はなくし、どこにどんな</li> </ul> | <p>発想・構想の場面</p> <p>○「発想・構想のために」のページを設け、生徒が学習の中で発想・構想する方法を手書きの記入例、スケッチ例とともに見開き2ページで示している。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術1 資料</b><br/>「発想・構想のために」p24・25</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広げる（マッピング、9マスの表）</li> <li>・焦点化する（ピラミッドチャート）</li> <li>・比べる（ベン図）</li> <li>・多面的に見る（レーダーチャート）</li> </ul> <p>○発想・構想に向けて、アイデアスケッチ、生徒作品に作者の言葉を示している。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術2・3</b><br/>「地域の魅力を表すパッケージ」p88～91<br/>《作者の言葉》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪城は桜で有名ですが、夏、秋、冬もそれぞれ魅力があることを伝えるため、箱の側面を使って四季を表しました。</li> <li>・誰でも手に取りやすいようにシンプルにしました。外国から来た観光客向けに、商品名は英語でも表記し、上面には、はんこ風に「秋田県産枝豆」と描いてアクセントにしました。</li> <li>・タンチョウが集まる釧路湿原の緑と、夕日の輝きをイメージして色を決めました。タンチョウらしさを表しつつ、持ちやすい形にするために、羽の部分工夫しました。</li> </ul> | <p>発想・構想の場面</p> <p>○「発想・構想の手立て」のページを設け、アーティストが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する方法を示している。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術1</b><br/>「発想・構想の手立て①」p58・59<br/>《アーティストはどうやって作品をつくるんだろう？》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きっかけを探す</li> <li>・発想する</li> <li>・構想する</li> </ul> <p>「発想・構想の手立て②」p60・61<br/>《みんなはどうやって作品をつくる？》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞する～発想のきっかけを探そう～</li> <li>・発想する～イメージをとらえて広げよう～</li> <li>・構想する～どうつくるか考えよう～</li> <li>・制作する～考えを形にしよう～</li> <li>・発表展示する</li> </ul> <p>○発想・構想に向けて、「表現のヒント」、アイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉、「造形的な視点」を示している。</p> <p><b>【具体例】</b><br/><b>美術2・3 下</b><br/>「魅力を伝えるパッケージ」p40・41<br/>《表現のヒント》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージを調べる</li> <li>・企画書を作成する</li> <li>・イメージや構想を発表し合う</li> </ul> <p>《作者の言葉》</p> |

|                                |   |  |   |
|--------------------------------|---|--|---|
|                                | <p>本があると手に取りやすいかを考えながらデザインしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙で暮らす人のための部屋を考えました。いつでも外に出られるように宇宙服を置き、窓から地球や星がよく見えるようにデザインしました。</li> </ul> <p>鑑賞の場面</p> <p>○巻末に「鑑賞ってなんだろう」として、鑑賞活動の流れやポイント等について示している。</p> <p>【具体例】</p> <p><b>美術1</b></p> <p>「鑑賞ってなんだろう」p60・61</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品と向き合おう</li> <li>・自分なりの根拠をもって意味づけよう</li> <li>・さまざまな視点から見よう</li> <li>・見方や考え方はたくさんある だから伝え合おう</li> </ul> <p>○キャラクターの吹き出しに、話し合いを促す記述を示している。</p> <p>【具体例】</p> <p><b>美術2・3</b></p> <p>「目にとまる 心にとまる」p68～71</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの作品がどうして目や心にとまるのかを友達と話し合ってみよう。</li> </ul> | <p>鑑賞の場面</p> <p>○巻末資料に鑑賞活動の流れやポイント等について示している。</p> <p>【具体例】</p> <p><b>美術1</b></p> <p>「美術鑑賞を楽しむ手がかり」p68・69</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じっくり見る</li> <li>・自分なりに考える</li> <li>・調べる</li> <li>・まとめる</li> </ul> <p>○国語科とのつながりとして、「美術鑑賞を広げる言葉」を掲載している。</p> <p>【具体例】</p> <p><b>美術1</b></p> <p>「美術鑑賞を楽しむ手がかり」p68・69</p> <p>《美術鑑賞を広げる言葉》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[印象を表す言葉]</li> <li>・[気持ちを表す言葉]</li> <li>・[美術でよく使われる言葉]</li> </ul> <p>○題材名の下に、話し合いを促す記述を示している。</p> <p>【具体例】</p> <p><b>美術2・3</b></p> <p>「形や材料で比べる」p86・87</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や材料、大きさ、重さなどに着目して、誰がどんな場面で使うカップなのか話し合ってみよう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子と洋菓子を同時に楽しめるお菓子をつくろうと思い、パッケージは和と洋の違いを対比させる色やデザインを考えて表現しました。</li> </ul> <p>《造形的な視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け取る人の気持ちを考えて形や色彩をイメージしよう。</li> </ul> <p>鑑賞の場面</p> <p>○巻頭に「オリエンテーション」として、鑑賞活動の対象やポイント等について示している。</p> <p>【具体例】</p> <p><b>美術1</b></p> <p>「鑑賞との出会い」p9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象から感じ取った「美しいな」「いいな」という思いを大切に、感じたことを言葉にして、友だちと意見を交わしながら見方や感じ方を豊かに広げ、深めていきましょう。</li> <li>・友だちと作品について話してみよう。</li> </ul> <p>○題材名の下に「鑑賞の入り口」に問いを示している。</p> <p>【具体例】</p> <p><b>美術2・3下</b></p> <p>「住み続けられる町づくり」p46・47</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その場所から安らぎや快適さを感じられるのは、なぜだろうか。</li> </ul> |
| <p>主体的に<br/>学習に取り組む<br/>工夫</p> | <p><b>【視点】⑤ 興味・関心を高めるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫及び具体例</b></p>  |  |   |
|                                | <p>表現</p> <p>○生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真や吹き出しで示したり、生</p>  | <p>表現</p> <p>○生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を学習活動の過程に分けて、写真</p>   | <p>表現</p> <p>○作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現のヒントや生徒の活動の様子を写真で示</p>  |

徒作品と作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。

【具体例】

美術1

「スケッチブックから広がる」p10～13

《吹き出し》

・描いたスケッチブックを見返すと、その時のことを思い出したり、新しい発見をしたりすることができるね。

《作者のことば》

- ・思い出の場所や、愛着のあるものなどのスケッチを集めたマイ・スケッチブックをつくって、みんなで見せ合いました。
- ・ランドセルを開閉させたり、見る角度や方向を変えたりすることで、印象が変わることに注目しながら描きました。
- ・家で一緒に暮らしている猫の姿を描くことを毎日の習慣にしています。
- ・ガードレールの外に見える空の色がとてもきれいだったので、絵の具を混ぜて空の色をつくり、スケッチに残しました。

○生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。

【具体例】

美術2・3

「ひと目で伝える表示」p64～67

《吹き出し》

・ここの曲がり角で、友達とぶつかりそうになることがあるんだ。

・再現した様子を写真に撮って参考にしよう。

《作者のことば》

- ・一人一人が自然環境を大切に思い、守ろうとしてほしいという願いを込めてデザインしました。シャボン玉のようなものに葉が入っているイメージで、自然のはかなさを表しました。

や吹き出しで示したり、主題や表現の意図を作者の言葉で示したりしている。

【具体例】

美術1

「見つめ、感じ取り、描く」p16・17

《吹き出し》

・小学校の入学式で履いた靴。うれしかったことを思い出して描こう。

《作者の言葉》

- ・実際は黒いエナメルの靴ですが、入学式に集まってくれた祖父母や両親の笑顔を思い出しながら、温かみのある色合いで描きました。
- ・メダルの立体感や色合いを表現するのが難しかったけれど、何度も実物を観察して、影の部分と光っている部分を表しました。
- ・春の暖かさを表すため、淡い色を塗り重ねました。花の一つ一つがはっきり見えるように、細かいところまで描きました。

○生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真や吹き出し等で示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。

【具体例】

美術2・3

「わかりやすく情報を伝える」p76・77

《吹き出し》

・廊下の曲がり角での衝突が多いな。危険であることを伝えるために、ぶつかる瞬間を表してみよう。

《作者の言葉》

- ・ひと目で危険であることが伝わるよう、注意を引く黄色と黒を用いて制作した。衝突の起こりやすい曲がり角に掲示した。

したり、作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。

【具体例】

美術1

「見つめて、感じて、描いて」p12・13

《表現のヒント》

・観察の仕方をくふうしてみよう

《作者の言葉》

- ・光のあたり具合で変化する葉の色みを、いろいろな色を使って表しました。
- ・いつも使っているホチキスの形が独特だと思ったので、描いてみました。
- ・つやつやとおおいそうなさくらんぼを描いてみました。張りのある線で実の丸さを表し、色は光が透けるようなイメージで描いています。
- ・金属のきらきら光っているところに魅力を感じたので、それが見た人に伝わるように表現しました。

○生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、表現のヒントを示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。

【具体例】

美術2・3上

「ひと目で伝わるみんなのデザイン」p40・41

《表現のヒント》

・行為から発想してみよう

《作者の言葉》

- ・美術室の場所がみんなに分かるようなものを考えて、3色のパレットと絵筆を描きました。

鑑賞

○作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を拡大したり、原寸大の図版で示したりしている。

【具体例】

美術1

- ・「ナポリの漁師の少年」ジャン＝バティスト・カルポー
- ・「いのちの木」富田菜摘
- ・「風神雷神図屏風」俵屋宗達
- ・「樹花鳥獣図屏風」伊藤若沖（原寸大）
- ・「ラグビー日本代表ユニフォーム」
- ・「トンボの精」ルネ・ラリック（原寸大）
- ・「十二の鷹（12番）」鈴木長吉（原寸大）
- ・「白磁籠目菊花貼付壺」（原寸大）

美術2・3

- ・ 展覧会の様子「荒木飛呂彦原画展J0J0冒険の波紋」荒木飛呂彦
- ・ 「燕子花図屏風」尾形光琳
- ・ 「興亡史」池田学（原寸大）
- ・ 「松林図屏風」長谷川等伯
- ・ 「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会」オーギュスト・ルノワール
- ・ 「アルジャントウイユの橋」クロード・モネ（原寸大）
- ・ 「赤い浮標」ポール・シニャック（原寸大）
- ・ 「鳥獣人物戯画（甲巻）」（原寸大）
- ・ 「最後の晚餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ
- ・ 「ピエタ」ミケランジェロ・ブオナローティ
- ・ 「モナ・リザ」レオナルド・ダ・ヴィンチ（原寸大）
- ・ 「双影体Ⅱ」戸谷成雄
- ・ 「立体曼荼羅」
- ・ モザイクタイル
- ・ 「螺鈿紫檀五絃琵琶」（原寸大）
- ・ 東京スカイツリー内のエレベーターにある江戸切子を使った装飾
- ・ 加賀友禅
- ・ 美術史の扉
- ・ 「誕生」池田学
- ・ 「手をたずさえる船」イリヤ&エミリア・カバコフ

鑑賞

○作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を原寸大の図版で示している。

【具体例】

美術1

- ・ 「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」オーギュスト・ルノワール
- ・ 「風神・雷神像」
- ・ 「風神雷神図屏風」
- ・ 「火焰型土器No. 1」
- ・ 「クオ・ヴァディス」北脇昇

○作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、紙質とページの大きさを変えたりして示している。

【具体例】

美術2・3

- ・ 「バルナツソスへ」パウル・クレー（原寸大）
- ・ 「最後の晚餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ
- ・ 「明日の神話」岡本太郎
- ・ 「日本の絵画を楽しむ 五つのキーワード」
- ・ 「鳥獣人物戯画」（原寸大）
- ・ 「松林図屏風」長谷川等伯「燕子花図屏風」尾形光琳
- ・ 「富嶽三十六景」葛飾北斎（原寸大）
- ・ 「星月夜」フィンセント・ファン・ゴッホ
- ・ 「ゲルニカ」パブロ・ピカソ
- ・ 「阿修羅像」（原寸大）

鑑賞

○作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載したり、折って立てられるようにしたり、作品の一部または全体を原寸大の図版で示したりしている。

【具体例】

美術1

- ・ 「グランド・ジャット島の日曜日の午後」ジョルジュ・スーラ（原寸大）
- ・ 「風神雷神図屏風」俵屋宗達
- ・ 「唐獅子図屏風」狩野永徳
- ・ 「ラスコー洞窟壁画」
- ・ 「火焰型土器」（原寸大）

美術2・3上

- ・ 「神奈川沖浪裏」葛飾北斎（原寸大）
- ・ 「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」東洲斎写楽
- ・ 「ポップンを吹く娘」喜多川歌麿

美術2・3下

- ・ 「Shadows travelling on the sea of the day」オラファー・エリアソン
- ・ 「誕生」池田学（原寸大）
- ・ 「ゲルニカ」パブロ・ピカソ
- ・ 「鳥獣人物戯画」

**【視点】⑥ 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫**

**【方法】** ○ 生活や社会の中の美術の働きを示す具体例

- 複数の題材に、生活の中の美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。
- 「デザインや工芸など」のはじめに、特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。

**【具体例】**

**美術1**

「つくることでつながる」 p34・35

- SDGsに関する造形的な取組や作品を紹介するマークを設け、生活や社会の中の美術との関わりや美術の働きを具体的に示している。

**【具体例】**

**美術1**

- ・廃材に命を吹き込む
- ・静岡市プラモデル化計画ロゴマーク
- ・豊かな森を育成する
- ・受け継がれていく文化財
- ・器を使い続ける工夫

**美術2・3**

- ・受け継がれる伝統の技法
- ・気候変動を食い止める手
- ・言語の壁を超える絵文字
- ・おいしさと安全をすべての人に
- ・みんなの活動を作品へ
- ・鉄塔の骨組みを生かして
- ・木のぬくもりを感じるスタジアム
- ・竹害を竹材に
- ・捨てずに資源として再利用する
- ・持続可能な未来へ

- 3年間の学びのまとめとして、自分自身や社会のことなどについて考えるページを設けている。

**【具体例】**

**美術2・3**

「美術と私と社会」 p120・121  
・美術で人生を豊かに

- 複数の題材に、生活の中の美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。

- 「デザインや工芸など」のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。

**【具体例】**

**美術1**

「デザインや工芸の世界」 p46・47

**美術2・3**

「暮らしの中のデザイン・工芸」 p68・69

- オリエンテーション「私たちに問いかける美術」において、SDGsのアイコンと共に作品等の写真を掲載している。

**【具体例】**

**美術2・3**

- 「私たちに問いかける美術」 p4～6
- ・教育への関心を呼び起こす
  - ・海洋ごみへの管理
  - ・安全で住みやすい街に
  - ・難民問題への問いかけ
  - ・地球温暖化への警鐘

- SDGsの17の目標との関連を示すマークをページ下に設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。

**【具体例】**

**美術1**

- ・SDGs12「材料に命を吹き込む」
- ・SDGs11「印象に残るロゴマーク」
- ・SDGs15「木と親しむ暮らし」

**美術2・3**

- ・SDGs11、13「環境と共に生きる彫刻」
- ・SDGs16「『ゲルニカ』を鑑賞しよう」
- ・SDGs4、5、6、7、10、13、14、16「メッセージを伝える」
- ・SDGs10、11「分かりやすく情報を伝える」
- ・SDGs3、11「防災のデザイン」
- ・SDGs8「地域の魅力を表すパッケージ」

- 複数の題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。

- 「デザインや工芸など」のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。

**【具体例】**

**美術1**

「デザインや工芸との出会い」 p36・37

- オリエンテーション「社会に生きる美術の力」で3名の体験談を掲載し、生活や社会における美術の働きを示している。

**【具体例】**

**美術2・3下**

「社会に生きる美術の力」 p5～7

- SDGsの17の目標との関連を示すマークをページ下に設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。

**【具体例】**

**美術1**

- ・14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう「材料に命を吹き込む」

**美術2・3上下**

- ・16 平和と公正をすべての人に「その1枚が心を動かす」
- ・3 すべてのの人に健康と福祉を「使う人の立場で考える」
- ・8 働きがいも経済成長も、11 住み続けられるまちづくりを「デザインの力でできること」
- ・12 つくる責任 つかう責任「魅力を伝えるパッケージ」
- ・8 働きがいも経済成長も、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう「デザインで地域を豊かに」
- ・11 住み続けられるまちづくりを、15 陸の豊かさも守ろう「住み続けられるまちづくり」

|                         |   |  |  |
|-------------------------|---|--|--|
|                         | <p>・美術を通して社会を考える。</p>   | <p>・SDGs3、8、9、11「憩いの場をつくる」</p> <p>○「学習を支える資料」の中に、これまでの学びを振り返りながら美術にどんな力や働きがあるのかを考えるページを設けている。</p> <p><b>【具体例】</b><br/> <b>美術2・3</b><br/> 「美術の力」p104・105</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国や言葉を超越る力</li> <li>・見えないものを見えるようにする力</li> <li>・個性を認める力</li> </ul>  |  |
| <p>内容の構成・配<br/>列・分量</p> | <p><b>【視点】⑦ 題材の配列</b></p> <p><b>【方法】○ 題材数及び構成・配列</b></p>  |  |  |
|                         | <p>「美術1」、「美術2・3」で構成され、題材を分野等に分けて配列している。</p> <p><b>美術1</b></p> <p>○「絵や彫刻など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 5</li> <li>・鑑賞 1</li> </ul> <p>○「デザインや工芸など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 4</li> <li>・鑑賞 1</li> </ul> <p>題材数合計 11</p> <p><b>美術2・3</b></p> <p>○「絵や彫刻など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 8</li> <li>・鑑賞 5</li> </ul> <p>○「デザインや工芸など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 7</li> <li>・鑑賞 2</li> </ul> <p>題材数合計 22</p> | <p>「美術1（別冊『美術1資料』）」、「美術2・3」で構成され、題材を分野等に分けて配列している。</p> <p><b>美術1</b></p> <p>○「絵や彫刻など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 8</li> <li>・鑑賞 3</li> </ul> <p>○「デザインや工芸など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 5</li> <li>・鑑賞 3</li> </ul> <p>題材数合計 19</p> <p><b>美術2・3</b></p> <p>○「絵や彫刻など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 7</li> <li>・鑑賞 7</li> </ul> <p>○「デザインや工芸など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 5</li> <li>・鑑賞 5</li> </ul> <p>題材数合計 24</p> | <p>「美術1」、「美術2・3上」、「美術2・3下」で構成され、題材を分野等に分けて配列している。</p> <p><b>美術1</b></p> <p>○「絵や彫刻など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 7</li> <li>・鑑賞 3</li> </ul> <p>○「デザインや工芸など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 6</li> <li>・鑑賞 2</li> </ul> <p>題材数合計 18</p> <p><b>美術2・3上</b></p> <p>○「絵や彫刻など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 6</li> <li>・鑑賞 3</li> </ul> <p>○「デザインや工芸など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 7</li> <li>・鑑賞 1</li> </ul> <p>題材数合計 17</p> <p><b>美術2・3下</b></p> <p>○「絵や彫刻など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 5</li> <li>・鑑賞 4</li> </ul> <p>○「デザインや工芸など」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞 5</li> <li>・鑑賞 1</li> </ul> <p>題材数合計 15</p> |

**【視点】⑧ 作品等についての示し方の工夫**

**【方法】** ○ 作品等や造形活動の示し方及び具体例

内容の表現・表記

**美術1**

「イメージを伝える形」p40～43  
○社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。  
**【具体例】**  
・ロゴタイプ  
・シンボルマーク  
・ロゴマーク  
○作品とともに作者の言葉や表現意図を示している。  
○デザインと社会のつながりを示している。  
**【具体例】**  
・文字意味やイメージを伝える絵文字を考えよう  
・身のまわりにあるロゴタイプの表現を楽しもう

**美術2・3**

「ひと目で伝える表示」p64～67  
○社会の中で使われているピクトグラムを取り上げ、表現意図とともに示している。  
**【具体例】**  
・EXPERIENCE JAPAN PICTOGRAMS  
・横須賀美術館のオリジナルピクトグラム  
・九州大学病院小児医療センターの館内表示  
○作品とともに作者の言葉や表現意図を示している。  
○デザインと社会のつながりを示している。  
**【具体例】**  
・身近な生活の場面から発想し、活用できるピクトグラムを構想しよう。  
・すべての人にわかりやすいように工夫して伝えよう。

**美術1**

「印象に残るロゴマーク」p50・51  
○社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。  
**【具体例】**  
・ロゴマーク（同じ分類（美術・博物館）のマークを16個掲載している。）  
○作品と共に作者の言葉や表現意図を示している。  
○デザインと社会のつながりを示している。  
**【具体例】**  
・伝えたい内容からイメージを広げ、見る人の印象に残るロゴマークをつくろう。  
・これらは、美術館や博物館のロゴマークだ。それぞれ、何をもとにデザインされているのか、考えてみよう。

**美術2・3**

「わかりやすく情報を伝える。」p76・77  
○社会の中で使われているピクトグラムを取り上げ、その表現意図を考えさせる問いと表現意図とともに示している。  
**【具体例】**  
・仁川国際空港（韓国）の案内板  
・ウィーン（オーストリア）の電車の座席のシール  
・ハワイ州オアフ島（アメリカ）の海水浴場の看板  
○作品とともに作者の言葉や表現意図を示している。  
○デザインと社会のつながりを示している。  
**【具体例】**  
・言葉に頼らず情報を伝えるためにどのような工夫がされているだろう。  
・廊下の曲がり角での衝突が多いな。危険であることを伝えるために、ぶつかる瞬間を表してみよう。  
・パラリンピック シッティングバレーボールのピクトグラムのデザイン（廣村正彰）では制作過程ごとに言葉を示している。「①

**美術1**

「形や色で伝えるシンボルマーク」p44・45  
○社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。  
**【具体例】**  
・シンボルマーク  
・ロゴマーク  
○作品と共に作者の言葉や表現意図を示している。  
○デザインと社会のつながりを示している。  
**【具体例】**  
・自分や身近なもののマークを考えよう。  
・伝えたいイメージは、マークにどのように生かされているだろうか。

**美術2・3上**

「ひと目で伝わるみんなのデザイン」p40・41  
○社会の中で使われているピクトグラムを取り上げ、その表現意図とともに示している。  
**【具体例】**  
・非常口のピクトグラム  
・フードピクト  
・上野動物園の旧案内マップ（部分）  
○作品とともに作者の言葉や表現意図を示している。  
○デザインと社会のつながりを示している。  
**【具体例】**  
・「生活であつたらいいな…」をつくろう  
・一つのテーマから、できるだけ多くの場面や行動を想像して練ってみよう。

でん部が床から離れてしまっている」「②でん部が床に付いているが、足の位置がわかりにくい」「③足の位置がわかりやすくなるように修正し、動きの美しさも表現した」

**【視点】⑨ デジタルコンテンツの活用**

**【方法】○ デジタルコンテンツの扱い及び具体例**

- 各題材の上の「CONTENTS」に二次元コードを示している。
- 「巻末の資料」の一部に、二次元コードを示している。

**【具体例】**

**美術1**

「木版画の面白さ」 p20・21

《CONTENTS》

- ・はじめに
- ・木版画の技法
- ・生徒作品
- ・鑑賞シート
- ・ふり返りシート

**美術2・3**

「目にとまる心にとまる」 p68～71

《CONTENTS》

- ・はじめに
- ・生徒作品
- ・アイデアシート
- ・鑑賞シート
- ・ふり返りシート

- 各題材において、題材名の横に二次元コードで示している。

- 表現の各題材において、見開きページ右上部に、関連する二次元コードが記載された「美術1資料」や「巻末の資料」のページを示している。

**【具体例】**

**美術1**

「版の表現を味わう」 p34・35

《全国の生徒作品を見てみよう。》

《「資料」 p. 8～9 「版画で表す」》

- ・木版画
- ・ドライポイント

**美術2・3**

「メッセージを伝える」 p70～73

《広島・アピールズの画像や生徒作品を見てみよう。》

《作者のインタビュー動画を見てみよう。》

《資料 p. 94～95 「学習を支える資料一覧」》

- ・描く
- ・つくる
- ・色の世界
- ・発想・構想

- 各題材において、「学びのはじめに」に二次元コードを示している。

- 「表現のヒント」等に二次元コードを示している。

- 巻末資料「学習を支える資料」に、二次元コードを示している。

**【具体例】**

**美術1**

「刷って楽しむ版画の世界」 p22・23

《学びのはじめに》

《版表現の種類について》

- ・資料を見よう

**美術2・3上**

「その1枚が心を動かす」 p42・43

《学びのはじめに》

《資料を見よう》

- ・「ヒロシマ・アピールズ」ポスター
- ・家でやろう

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |      |                    |            |
|-----|------|--------------------|------------|
| 校種  | 教科   | 教科用図書目録に登載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 保健体育 | 4                  | 9          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点     | 2 東書   | 4 大日本  | 50 大修館   | 224 学研   |
|---------------|--|--|--|--|
| 知識及び<br>技能の習得 | <p><b>【視点】① 単元の学習内容の示し方</b><br/> <b>【方法】○ 単元の学習内容の示し方及び具体例</b></p>   |  |  |  |
|               | <p>・章扉で、「この章で学習すること」を示すとともに、「小学校で学習したこと」及び「高校で学習すること」を示している。</p> <p>具体例</p> <p>・2年 体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全なおこない方<br/>                     「この章で学習すること」<br/>                     体育編2章では、運動やスポーツを行うことによって、心身の発達や社会性を高める効果が期待できること、運動やスポーツの技術や戦術を学ぶための合理的な学習方法があること、また、運動やスポーツを行う際は、安</p> | <p>・章扉で、「この章で学習すること」を示すとともに、「小学校で学習したこと」「中学校で学習すること」及び「高校で学習すること」を示している。</p> <p>具体例</p> <p>・2年 体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全なおこない方<br/>                     「この章で学習すること」<br/>                     運動やスポーツが心身や社会性の発達におよぼす効果や学び方を学習し、自分の取り組みに活かそう<br/>                     「中学校で学習すること」<br/>                     ①運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果</p> | <p>・章とびらで、「この章で学習すること」を示すとともに、「小学校で学習したこと」及び「高校で学習すること」を示している。</p> <p>具体例</p> <p>・2年 体育理論② 運動やスポーツの効果・学び方・安全<br/>                     「小学校で学習したこと」<br/>                     運動やスポーツの安全なおこない方を学び、体の動きを高める運動も実践しています。<br/>                     「この章で学習すること」<br/>                     運動やスポーツの体と心への効果を知り、安全で合理的な学習方法について学びます。<br/>                     ①運動やスポーツの体と心への効果</p> | <p>・章の扉で、その章の学習内容を示すとともに、「小学校で学習したこと」及び「高校で学習すること」を示している。</p> <p>具体例</p> <p>・2年 体育編2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方<br/>                     1 スポーツが心身と社会性に及ぼす効果<br/>                     2 スポーツの学び方<br/>                     3 スポーツの安全な行い方<br/>                     「高校で学習すること」<br/>                     運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害、スポーツの技術と技能及びその変化、</p> |

|  |  |  |   |  |
|--|--|--|---|--|
|  | <p>全に留意する必要があることなどを学習します。</p> <p>「高校で学習すること」</p> <p>運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害、スポーツの技術と技能及び変化、運動やスポーツの技能の上達過程</p>  | <p>②運動やスポーツの学び方</p> <p>③安全な運動やスポーツの行い方</p> <p>「高校で学習すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの技能と体力およびスポーツによる障害</li> <li>・スポーツの技術と技能およびその変化</li> <li>・運動やスポーツの技能の上達過程</li> <li>・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方</li> <li>・豊かなスポーツライフが広がる未来の社会</li> </ul> | <p>②運動やスポーツの学び方</p> <p>③運動やスポーツの安全なおこない方</p> <p>「高校で学習すること」</p> <p>運動やスポーツと体力の関連、技能の上達過程を理解するとともに、運動時の安全確保の方法について学びます。</p>  | <p>運動やスポーツの技能の上達過程、運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方</p>   |
| <p><b>【視点】② 知識及び技能の習得を図る工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 基本的な知識及び技能を習得するための工夫及び具体例</b></p> |  |  |   |  |
|  | <p>・「見つける」として、日常経験や小学校で学習したことを基にした課題を提示し、「学習課題」において、本時の課題を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 体育編1章 運動やスポーツの多様性</li> <li>2 運動やスポーツへの多様な関わり方</li> </ul> <p>「見つける」</p> <p>右の写真は北海道マラソンの様</p> | <p>・「学習のねらい」として、学習を通して解決する課題を提示し、「つかもう」において、学習の導入を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 体育編1章 運動やスポーツの多様性</li> <li>2 運動やスポーツへの多様な関わり方</li> </ul> <p>「学習のねらい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツには多様な関わ</li> </ul>   | <p>・「課題をつかむ」として、これまでの経験や学習を基にした課題を提示し、「きょうの学習」において、本時の学習内容を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 体育理論① 運動やスポーツの多様性</li> <li>2 運動やスポーツへのかかわり方</li> </ul> <p>「課題をつかむ」</p> <p>東京マラソンには約3万8千人</p> | <p>・「ウォームアップ」として、事例や情報などの問いから課題を提示し、「学習の課題」で、1時間の学習を通して身に付けることや、考えたり、判断したりすることを提示している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 体育編1章 スポーツの多様性</li> <li>2 スポーツへの多様な関わり方</li> </ul> <p>「ウォームアップ」</p> <p>小学校のときの運動会を思い出</p> |

|                        |   |   |   |   |
|------------------------|---|---|---|---|
|                        | <p>子です。ここに写っているのはランナーだけではありません。どのような人が、どのように関わっているか、グループで意見を出し合ってみましょう。</p> <p>「学習課題」</p> <p>運動やスポーツには、どのような関わり方があるのでしょうか。</p>  | <p>り方があることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツとこれからどのように関わっていくかを考える。</li> </ul> <p>「つかもう」</p> <p>東京マラソンの参加者は約36,000人ですが、ボランティアの人数や沿道で応援する人の数はどのくらいいるのでしょうか。</p>   | <p>のランナーが参加します。では、ランナーを支えるボランティアは何人くらい参加していると思いますか。①～③の中から正しいと思う答えを選ぼう。</p> <p>▶ ①約3千人 ②約9千人 ③約3万8千人</p> <p>「きょうの学習」</p> <p>①運動やスポーツには、どのようなかかわり方があるのでしょうか。</p> <p>②運動やスポーツにかかわることができるのは、特定の人だけでしょうか。</p> | <p>してみましよう。自分が競技に参加する以外に、どんな係活動がありましたか。</p> <p>「学習の課題」</p> <p>【わかる】スポーツへのかかわり方にはどんなものがあるでしょうか。</p> <p>【考える】これから、スポーツにどのように関わっていきたいか考えてみましょう。</p>  |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p> | <p>【視点】③ 思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫</p> <p>【方法】○ 思考を促すための発問や活動の設定及び具体例</p>  |   |   |   |
|                        | <p>・「㊟」として、思考するための発問を設定するとともに、「活用する」として、習得した知識及び技能を活用し、思考する活動を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 保健編2章 心身の機能の発達と心の健康</li> <li>4 性に関する適切な態度や行動の選択</li> </ul> <p>「㊟」</p> | <p>・「つかもう」として、学習の初めの発問を設定するとともに、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」及び「活用して深めよう」として、学習したことを生かして思考する活動を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 保健編2章 心身の発達と心の健康</li> <li>4 思春期の心の変化への対応</li> </ul> <p>「つかもう」</p> <p>中学生になると、小学生の頃の</p> | <p>・「課題をつかむ」として、気づきや思考を促す発問を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 保健② 心身の発達と心の健康</li> <li>5 性への関心と性情報への対処</li> </ul> <p>「課題をつかむ」</p>  | <p>・「エクササイズ」として、学習した知識及び技能や資料などの情報を基に、思考したり、話し合ったりする活動を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 保健編2章 心身の発達と心の健康</li> <li>4 性とどう向き合うか</li> </ul> <p>「エクササイズ」</p> |

|  |  |   |  |   |
|--|--|---|--|---|
|  | <p>中学生は性に関してどのようなことを知りたいと考えているのでしょうか。</p> <p>「㊦」</p> <p>私たちは性情報をどこで入手しているのでしょうか。</p> <p>「活用する」</p> <p>ここまでの学習を踏まえ、次の事例の背景や問題点を話し合ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aさんは、コミュニティサイトで知り合った男性に求められ、自身の住所や画像を送ってしまった。</li> </ul> | <p>自分と比べて、心にどのような変化が見られると思いますか。</p> <p>「やってみよう」</p> <p><b>資料1～4</b>を参考に、異性との関わり方や性情報との向き合い方について、気をつけたいことを書き出してみよう。</p> <p>「活用して深めよう」</p> <p>あなたにとって、「中学生にふさわしい責任ある行動」とはどのようなことだと思うか、考えてみましょう。</p> | <p>右のAさんのつぶやきと、同じような経験をしたり聞いたりしたことがありますか。どうしてAさんはこのように感じたのか、想像してみよう。</p> <p>Aさんのつぶやき</p> <p>体育の前、教室で着替える男子は、チャイムが鳴るとすぐに制服を脱ぎ始めるんだよね。まだ私たち女子がいるのに着替えないでほしいなあ。</p> | <p>次のようなことがなかったか、思い出してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目に見えていることを、うのみにしてしまう。</li> <li>・一つの情報だけで、それが正しいと思ってしまう。</li> </ul> |
|--|--|---|--|---|

**【視点】④ 自分の考えをまとめて表したり、理由を添えて伝えたりする学習活動の工夫**

**【方法】○** 自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動や課題の設定及び具体例

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <p>・「広げる」として、学習したことを自分の生活にあてはめたり、調べたりする活動を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年 保健編4章 健康な生活と疾病の予防②</li> <li>2 生活習慣病の予防</li> <li>「広げる」</li> <li>自分の日常生活を振り返り、生活習慣病を予防するために改善できることを考えてみましょう。</li> </ul> | <p>・章末に「学びを活かそう」として、その章で学習したことを生活に活かすための課題を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年 保健編3章 健康な生活と病気の予防</li> <li>「学びを活かそう」がんについて考えよう。</li> <li><b>1</b>がんを早期発見するためにはどのようにすればよいでしょうか。</li> <li><b>2</b>Aさんの不安に対処して生活</li> </ul> | <p>・「章のまとめ」において、これまで学習したことをもとに、筋道を立てて説明する課題を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年 保健③ 健康な生活と病気の予防②</li> <li>「章のまとめ」思考・判断・表現②生活習慣病は、一度なってしまうたら治らないことが少なくないので、ならないことが何より重要です。では中学生はどうすればよいか、次の問いにそ</li> </ul> | <p>・1時間の最後に、「学びを生かす」として、身に付けた知識及び技能を活用する課題や活動を設定している。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年 保健編3章 健康な生活と病気の予防②</li> <li>1 生活習慣病とその予防</li> <li>「学びを生かす」</li> <li>あなたの生活を振り返って、生活習慣病を予防するために、続けたほうがよい生活習慣と、改善したほうがよい生活習慣を、</li> </ul> |
|---|---|---|---|

|                   |   |   |   |  |   |
|-------------------|---|---|---|--|---|
|                   |   | <p>の質を上げるためには、どのようなことが必要か、グループで話し合い、考えたことをまとめてみましょう。</p> <p>3がんについて学んだことを振り返り、これから大切にしていきたいことや家族や身近な人に伝えたいことを書いてみましょう。</p>                                  | <p>って考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の私たちは、どうすればよいか。</li> <li>・なぜそうしなければならないか。</li> </ul>                            | <p>それぞれ二つずつ挙げてみましょう。</p>   |   |
| 主体的に<br>学習に取り組む工夫 | <p><b>【視点】⑤ 自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定</b></p> <p><b>【方法】○ 学習の流れ</b></p>   | <p>・「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「⑦」、「活用する」、「広げる」という流れで、1時間の学習の流れが提示してある。</p>  | <p>・「学習のねらい」、「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」、「活用して深めよう」という流れで、1時間の学習の流れが提示してある。</p>  | <p>・「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」という流れで、1時間の学習の流れが提示してある。</p>  | <p>・「ウォームアップ▶課題の発見」、「学習の課題」、「本文と資料」、「エクササイズ⇒課題の解決」、「学びを生かす▶学びの活用」という流れで、1時間の学習の流れが提示してある。</p> |
|                   | <p><b>【視点】⑥ 興味・関心を高めるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 単元内に掲載している資料の数及び具体例</b></p>  | <p>・「読み物」として、体育理論で2、保健分野で15の読み物資料を掲載してある。</p>   | <p>・「トピックス」として、体育理論で8、保健分野で41の読み物資料を掲載している。</p>   | <p>・「コラム」、「事例」、「保健の窓」「体育の窓」として、体育理論で9、保健分野で37の読み物資料を掲載している。</p>  | <p>・「コラム」として、体育理論8、保健分野で21の読み物資料を掲載している。</p>  |
|                   | <p>・3年 保健編5章 健康と環境<br/>「読み物」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高山病</li> <li>・一酸化炭素中毒死</li> <li>・レジ袋の有料化</li> <li>・風評被害</li> </ul> | <p>・3年 保健編6章 健康と環境<br/>「トピックス」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高地トレーニングの効果</li> <li>・冷房による体の不調</li> <li>・放射線の健康への影響</li> <li>・体内の水分量</li> </ul> | <p>・3年 保健⑥ 環境の健康への影響<br/>「コラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報が提供されるまで</li> <li>・熱中症のリスクを調べよう</li> <li>・ブルーライトに注意</li> </ul> | <p>・3年 保健編6章 健康と環境<br/>「コラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素が判断力を鈍らせる?!</li> <li>・地球の水資源</li> <li>・現存する日本最古の下水道</li> </ul> |   |
|                   |   |   |   |  |   |

|             |   |  |  |   |
|-------------|---|--|--|---|
|             |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の情報の活用</li> <li>・食品の廃棄物</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・空気汚染のいまとむかし</li> <li>・日本で最初に敷かれた水道</li> <li>・復活した多摩川のアユ</li> <li>・SNS情報の正確性を判断できるかな？</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時のトイレと健康</li> <li>・化学物質と健康</li> </ul>   |
| 内容の構成・配列・分量 | <b>【視点】⑦ 単元・題材や資料等の配列</b><br><b>【方法】○ 各単元における項目の構成</b>  |  |  |   |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の学習内容を、「保健編」、「体育編」の順で配列している。</li> <li>・各章の終わりに、「章末資料」と「学習のまとめ」が位置付けられている。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の学習内容を、「体育編」、「保健編」の順で配列している。</li> <li>・各章の終わりに、「章末資料」と「学びを活かそう」、「学習のまとめ」が位置付けられている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の学習内容を、「体育理論」、「保健」の順で配列している。</li> <li>・各章の終わりに、「章のまとめ」が位置付けられている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の学習内容を、「体育編」、「保健編」の順で配列している。</li> <li>・各章の終わりに「探究しようよ！」と「章のまとめ」が、学年末には「〇年の学習の終わりに」が位置付けられている。</li> </ul>                   |
| 内容の表現・表記    | <b>【視点】⑧ 発展的な学習に関する内容の工夫</b><br><b>【方法】○ 発展的な学習の扱い、記載数及び記載単元</b>  |  |  |   |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展」として、「学習指導要領」に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」と巻頭に示している。</li> <li>・主に章末に発展的な資料を掲載している。</li> <li>・記載数 19</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展」として、「学習指導要領」には示されていない発展的な学習内容です。興味・関心に応じて学習しましょう。」と巻頭に示し、単元内で本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。</li> <li>・主に章末と「トピックス」に発展的な資料を掲載している。</li> <li>・記載数 15</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展」として、「学習指導要領」の範囲外の内容です。先生の指示にしたがって学習しましょう。」と巻頭に示し、本編と関連させ、章末の「特集資料」として発展的な内容の資料を掲載している。</li> <li>・記載数 13</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展」として、「学習指導要領」の範囲外で、興味・関心などに応じて取り組む「発展的な学習内容」と巻頭に示している。</li> <li>・主に章末の「探究しようよ！」で発展的な活動を設定している。</li> <li>・記載数 17</li> </ul> |
| 内容の表現・表記    | <b>【視点】⑨ 学習内容に関するマーク等の活用</b><br><b>【方法】○ マーク等が示す内容</b>  |  |  |   |

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キーワード」：今日の学習のキーワードを示している。</li> <li>・「ポイント」：資料を読み取るためのポイントを示している。</li> <li>・「リンク①」：関連する学習内容がこの教科書にあることを示している。</li> <li>・「リンク②」：関連する学習内容がほかの教科書にあることを示している。</li> <li>・「スキル」：関連する学習内容が巻末スキルブックにあることを示している。</li> <li>・「発展」：学習指導要領には示されていない内容だが、必要に応じて学習できることを示している。</li> <li>・「読み物」：学習内容に関する読み物を示している。</li> <li>・「虫眼鏡」：検索ワードを基に調べる活動を示している。</li> <li>・「D」：学習を広がるデジタルコンテンツを示している。</li> <li>・キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料」：本文の内容をより理解したり、活動に取り組んだりする際に参考となる資料を示している。</li> <li>・「トピックス」：学習内容と関連が深い話題や読み物を示している。</li> <li>・「ミニ知識」：学習内容に関連した情報を、ミニ知識として示している。</li> <li>・「注意」：学習内容や生活のなかで、特に注意すべきことについて示している。</li> <li>・「リンク」「他教科」：関連した内容を学習するページや、他の教科とのつながりを示している。</li> <li>・「キーワード」：学習のポイントとなる大切な言葉を示している。</li> <li>・「家」：家で取り組みたい活動を示している。</li> <li>・「地域」：地域で取り組みたい活動を示している。</li> <li>・「発展」：学習指導要領には示されていない内容だが、興味・関心に応じて学習できるよう示している。</li> <li>・「WEB」：ウェブサイトにある動画や資料を使って学習できる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「実習」：実際に体を動かしておこない方を身に付けるもの示している。</li> <li>・「コラム」「事例」：本文に関連した読みもの資料を示している。</li> <li>・「体育の窓」「保健の窓」：保健と体育を関連させて考える資料を示している。</li> <li>・「キーワード」：本文の重要語句を示している。</li> <li>・「よみ取る」：資料をよみ取るためのポイントを示している。</li> <li>・「関連」「他教科」：関連したページや他教科とのつながりを示している。</li> <li>・「発展」：学習指導要領には示されていない内容だが、教師の指示にしたがって学習できることを示している。</li> <li>・「ほり下げる」：本文に出てくることばなどをくわしく解説している。</li> <li>・「二次元コード」：「動画コンテンツ」や「Web 保体情報館」「Web ワークシート」「保体クイズにトライ」にアクセスできる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キーワード」：本文中の太字を中心とした代表的な重要語句を示している。</li> <li>・「技能」：方法を知ったり、身に付けたりする内容を示している。</li> <li>・「実習」：実際に行って、方法や技術を理解・習得する学習内容を示している。</li> <li>・「関連」：関連する学習内容へのガイドを示している。</li> <li>・「情報サプリ」：学習内容に関連したミニ知識を示している。</li> <li>・「リンク」：参考になるウェブサイトへのガイドを示している。</li> <li>・「探究」：「探究しようよ！」へのガイドを示している。</li> <li>・「発展」：学習指導要領には示されていない内容だが、興味・関心などに応じて取り組む「発展的な学習内容」を示している。</li> <li>・「協働」：教え合い学び合う課題を示している。</li> <li>・「コラム」：学習内容に関連した読み物資料を示している。</li> <li>・「二次元コード」：教科書サイトにアクセスできる。</li> <li>・キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。</li> </ul> |
|--|--|--|--|--|

|   |   |  |  |  |
|---|---|--|--|--|
|   |   | ところを示している。   |  |  |
| <p><b>【視点】⑩ デジタルコンテンツの活用</b></p> <p><b>【方法】○ 技能の習得につながるデジタルコンテンツ（動画）の設定及び具体例</b></p>  |   |  |  |  |
| <p>・デジタルコンテンツ（動画）を掲載している単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 保健編2章 心身の機能の発達と心の健康（2）</li> <li>・2年 保健編3章 傷害の防止（11）</li> </ul> <p>具体例</p> <p>2年 保健編3章 傷害の防止</p> <p>7 応急手当の意義と方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接圧迫止血法</li> <li>・包帯法（包帯法①、巻き包帯による実践、固定具を使用した実践、段ボールで固定する場合、三角巾による実践）</li> </ul> <p>8 心肺蘇生法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生の方法（心肺蘇生の方法、胸骨圧迫の方法、呼吸の確認）</li> <li>・心肺蘇生の方法（気道の確保、人工呼吸</li> <li>・AED（自動体外式除細動器）</li> </ul> | <p>○デジタルコンテンツ（動画）を掲載している単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年 保健編4章 傷害の防止（12）</li> </ul> <p>具体例</p> <p>2年 保健編4章 傷害の防止</p> <p>6 心肺蘇生法</p> <p>資料2 心肺蘇生法の手順（流れ）</p> <p>心肺蘇生法の手順（方法）</p> <p>胸骨圧迫の正しい方法</p> <p>気道確保の正しい方法</p> <p>人工呼吸の正しい方法</p> <p>AEDの使い方</p> <p>7 出血があるときの応急手当</p> <p>資料1 傷の手当の基本</p> <p>資料2 鼻出血</p> <p>資料3 包帯の巻き方</p> <p>資料4 ネット包帯</p> <p>8 外傷の応急手当</p> | <p>○デジタルコンテンツ（動画）を掲載している単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 保健② 心身の発達と心の健康（4）</li> <li>・2年 保健④ けがの防止と応急手当（7）</li> </ul> <p>具体例</p> <p>2年 保健④ けがの防止と応急手当</p> <p>7 実習 心肺蘇生法</p> <p>実習1 胸骨圧迫</p> <p>実習2 AEDの操作</p> <p>実習3 気道確保と人工呼吸</p> <p>8 実習 止血法、包帯法、固定法</p> <p>実習1 止血をする（直接圧迫止血法）</p> <p>実習2 包帯で保護と固定をする</p> <p>実習3 三角巾で保護と固定をする</p> <p>実習4 固定具で固定をする</p> | <p>○デジタルコンテンツ（動画）を掲載している単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 保健編2章 心身の発達と心の健康（3）</li> <li>・2年 保健編4章 傷害の防止（8）</li> </ul> <p>具体例</p> <p>2年 保健編4章 傷害の防止</p> <p><b>実習</b>心肺蘇生法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法の流れ</li> <li>・胸骨圧迫</li> <li>・AEDパッドの貼り方</li> <li>・人工呼吸</li> <li>・直接圧迫止血法</li> <li>・包帯法 巻き包帯（腕）</li> <li>・包帯法 巻き包帯（指）</li> <li>・固定法 足首の捻挫</li> </ul> |  |

|  |  |   |  |  |
|--|--|---|--|--|
|  |  | 資料2 三角巾を使った固定<br>のしかた<br>資料3 当て物を使った固定<br>のしかた〈雑誌〉<br>当て物を使った固定<br>のしかた〈タオルを巻<br>いた板〉 |  |  |
|--|--|---|--|--|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |             |                    |            |
|-----|-------------|--------------------|------------|
| 校 種 | 教 科         | 教科用図書目録に登録された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 技術・家庭（技術分野） | 3                  | 8          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観 点           | 発 行 者 | 2 東 書  | 6 教 団   | 9 開 隆 堂  |
|---------------|-------|--|---|--|
| 知識及び<br>技能の習得 |       | <p><b>【視点】① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る記述</b></p>   |   |  |
|               |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。<br/>(記述例) ・漏電 ・感電 ・ショート(短絡) ・ブレーカ(遮断器) ・アース線 ・漏電遮断器 ・トラッキング現象</li> <li>・基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「ポイント」の囲みを37か所、問題解決に取り組むときに必要となる基礎的な技能を確認させるため、「テックラボ」を18ページ掲載している。</li> <li>・「安全」マークを18か所、「衛生」マークを9か所掲載し、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。</li> <li>・個別最適な学び、協働的な学びに対応することができる二次元コードを412掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。<br/>(記述例) ・分電盤 ・遮断機 ・漏電遮断器 ・アンペアブレーカ ・配線用遮断器 ・漏電</li> <li>・基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「ポイント」マークを64か所(内、スキルアシスト16か所)掲載している。</li> <li>・「安全」マークを48か所(内、スキルアシスト23か所)、「衛生」マークを8か所(内、スキルアシスト1か所)掲載し、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。</li> <li>・個別最適な学び、協働的な学びに対応することができる二次元コードを121掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。<br/>(記述例) ・短絡(ショート) ・過熱 ・感電 ・ろう電 ・電流制限器(アンペアブレーカ) ・ろう電しゃ断器(ろう電ブレーカ) ・配線用しゃ断器(配線用ブレーカ) ・接地線(アース線) ・ヒューズ</li> <li>・基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「作業のポイント」の囲みを18か所、学習の参考になる内容や資料・解説として、「参考」マークを63か所掲載している。</li> <li>・「安全」マークを25か所掲載し、実習などにおける安全のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。</li> <li>・個別最適な学び、協働的な学びに対応することができる二次元コードを400掲載している。</li> </ul> |

|                             |   |  |  |
|-----------------------------|---|--|--|
|                             | <p><b>【視点】② 技術の概念の理解を促すための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 技術の概念の理解を促す記述</b></p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容A～内容Cの第3章及び内容Dの第4章の冒頭において、技術の概念の理解を促すために、「技術の最適化」という項目があり、これまでの学習を振り返り、自分の問題解決と社会における問題解決の共通点と違いについて考えることを促す記述や、生徒のつぶやき等を掲載している。</li> <li>・内容A～内容Cの第3章及び内容Dの第4章の冒頭において、技術の概念の理解を促すために、「技術のプラス面とマイナス面」という項目があり、これまでの学習を振り返り、技術の役割や影響について考えたり、技術のプラス面とマイナス面を見極めたりすることを促す記述や、生徒のつぶやき等を掲載している。</li> <li>・内容A～内容Dの3の冒頭において、技術の概念の理解を促すために、各内容において技術の学習を振り返らせたり、技術の学習と社会とのつながりを考えさせたりする項目があり、これまでの学習を振り返ったり、技術の見方・考え方について確認したりすることを促す記述や図等を掲載している。</li> </ul>  |  |  |
| <p>思考力、判断力、表現力<br/>等の育成</p> | <p><b>【視点】③ 技術の見方・考え方を働かせるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 技術の見方・考え方に気付かせ、働かせるための示し方</b></p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス「技術の見方・考え方」において、身近な製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていることに気付かせるための漫画等を掲載している。</li> <li>・各内容の冒頭「技術の見方・考え方」において、身近な技術の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫や、技術を最適化する際に着目する視点について掲載している。</li> <li>・技術の最適化について意識できるよう、「技術の天秤」マークを4か所表示し、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</li> <li>・身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示してい</li> <li>・ガイダンス「技術の問題解決ってなに？」において、身近な製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていることに気付かせるためのイラスト及び会話やつぶやき等を掲載している。</li> <li>・各内容の冒頭において、生活や社会を支える技術の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫について掲載している。</li> <li>・技術の最適化について意識できるよう、各内容とも1章において、問題を解決する工夫や技術の工夫について調べ、考えさせる項目があり、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</li> <li>・身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示してい</li> <li>・ガイダンス「技術の見方・考え方」において、身近な製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていることに気付かせるための学習課題等を掲載している。</li> <li>・各内容の冒頭において、製品の進歩の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫や、技術を最適化する際に着目する視点について掲載している。</li> <li>・技術の最適化について意識できるよう、「トレードオフ」マークを12か所表示し、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</li> <li>・身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示してい</li> </ul> |  |  |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
|  | <p>る。<br/>(具体例) A 材料と加工の技術(飲料容器の問題解決の例)</p> <p>[着目の視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能性 ・丈夫さ ・環境への配慮</li> <li>・経済性</li> </ul>  | <p>る。<br/>(具体例) A 材料と加工の技術(ペットボトルの製品開発の工夫)</p> <p>[着目の視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会からの要求 ・安全性</li> <li>・環境負荷の軽減 ・経済性</li> </ul>   | <p>る。<br/>(具体例) A 材料と加工の技術(パソコンラックに詰められた技術のしくみ)</p> <p>[着目の視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wants ・安全 ・経済 ・環境</li> </ul>   |
| <p><b>【視点】④ 技術による問題の解決を行うための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 技術に関わる問題を見だし、課題解決及び実践の評価改善を行う学習過程の示し方</b></p> |   |   |   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容A～内容Cの第2章及び内容Dの第2章、第3章において、生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図などに表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善させるためのイラストやつぶやき等を掲載している。</li> </ul> <p>問題を見いだすことに係るつぶやき<br/>「机の上がいつも散らかるな。」</p> <p>評価・改善に係るつぶやき<br/>「仕切りのアルミニウム板が本の重さで少し曲がってしまったよ。使用中にかかる力を考えて、よりよい材料を選びたいな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容A～内容Cの第2章及び内容Dの第2章、第3章において、実習例を「問題解決例」として53事例取り上げ、「問題の発見」「課題の設定」の具体例を示すとともに、そのうち、15事例において、技</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容A～内容Cの第2章及び内容Dの第2章、第3章において、生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図などに表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善させるためのイラストやつぶやき等を掲載している。</li> </ul> <p>問題を見いだすことに係るつぶやき<br/>「単行本をコンパクトに整理したいなあ」</p> <p>評価・改善に係るつぶやき<br/>「家族にも使ってもらいたいな。次は設計を改良しようかな」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容A～内容Cの第2章及び内容Dの第2章、第3章において、実習例を「題材例」として21事例取り上げ、製作・制作・育成に必要な手順等を示すとともに、そのうち、8事例において技術による問題</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容A～内容Dの2において、生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図などに表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善させるためのイラストやつぶやき等を掲載している。</li> </ul> <p>問題を見いだすことに係るつぶやき<br/>「机の上を整理するには？」</p> <p>評価・改善に係るつぶやき<br/>「家族が便利に生活するには？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容A～内容Dの2において、実習例を「実習例」として32事例取り上げ、技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。</li> </ul> |

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
|   | <p>術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。</p>  | <p>の解決の学習過程の具体例を掲載している。また、各内容に基礎技能を身に付け、次の本題材の製作・制作につながる練習題材「プチ問題解決」を設けている。</p>   |  |
| <p>主体的に<br/>学習に取り組む工夫</p>   | <p><b>【視点】⑤ 目標の示し方</b><br/> <b>【方法】○ 各内容における学習項目の目標の示し方及び具体例</b></p>   |   |  |
|   | <p>・各内容とも、項目ごとに、「目標」「学習課題」マークを付け、目標及び学習課題を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。</p> <p>「材料と加工の技術の問題解決の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料と加工の技術の問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。</li> </ul> </li> <li>・学習課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料と加工の技術の問題解決の工夫にはどのようなものがあるのだろうか。</li> </ul> </li> <li>・キーワード <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術の工夫</li> </ul> </li> </ul> | <p>・各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。</p> <p>「材料と加工の技術の工夫を調べ考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料と加工の技術に込められた工夫を調べ、考える。</li> </ul> </li> <li>・キーワード <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題 ・ 課題 ・ 最適化</li> </ul> </li> </ul> | <p>○ 各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の囲みと「学習課題」マークを設け、目標及び学習課題を示している。</p> <p>「身の回りにある材料と加工の技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料と加工の技術に関する製品に込められた技術のしくみに気づく。</li> </ul> </li> <li>・学習課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものを収納して整理するための棚の材料はどのように使い分けられているのだろうか。</li> <li>・ パソコンラックにはどのような技術のしくみがあるのだろうか。</li> </ul> </li> </ul> |
| <p><b>【視点】⑥ 社会の発展と技術について考えさせるための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 主体的に技術に関わり、技術を工夫し創造しようとさせる記述</b></p> |  |   |  |
| <p>・内容A～内容Cの第3章及び内容Dの第4章において、社会で開発されている新しい技術について具体例を挙げるとともに、「未来の Technology」において、こ</p>    | <p>・内容A～内容Cの第3章及び内容Dの第4章において、社会で開発されている新しい技術について具体例を挙げるとともに、「やってみよう」において、技術の上</p>  | <p>・内容A～内容Dの3において、社会で開発されている新しい技術について具体例を挙げるとともに、「やってみよう」において、新しい技術について調べ、それが</p>   |  |

|                    |  |   |  |
|--------------------|--|---|--|
|                    | <p>れまでの学習を踏まえ、これからの社会や生活で技術を改良、応用するとき、どのようなことを考えていきたいか考えさせるためのワークシートを掲載している。</p> <p>・「技術分野の学習を終えて」において、これまでの学習を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいか考えをまとめさせる記述を掲載するとともに、社会の中で技術に携わる人へのインタビュー等を掲載している。</p>  | <p>手な活用方法や、新しく開発したい技術、これからどのように技術と向き合っていきたいか考えさせるためのワークシートを掲載している。</p> <p>・「夢をかなえる技術」において、これまで学んだ技術を振り返り、それらの技術を組み合わせることで開発された新たな技術を具体例で掲載するとともに、技術関係の専門高等学校に進んだ先輩や、様々な分野の日本の技術と、その技術を支える人々の想いを写真等で掲載している。</p>  | <p>どのようなものなのか、どのような使い方が考えられるか、どうやったら広く活用されるようになるか考えさせるための記述を掲載している。</p> <p>・「技術分野の学習を終えて」において、3年間の学習を振り返り、その成果や反省、将来に向けて生かそうとすることなどを考えさせる記述を掲載するとともに、社会が抱える問題と、それを解決している新しい技術の具体例を掲載している。</p>  |
| <p>内容の構成・配列・分量</p> | <p><b>【視点】⑦ 題材や資料等の配列</b><br/> <b>【方法】○ 題材及び学習内容の配列及び分量</b></p>  |   |  |
|                    | <p>A 材料と加工の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 30 ページ</li> <li>・技術による問題解決 20 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 6 ページ</li> </ul> <p>B 生物育成の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 16 ページ</li> <li>・技術による問題解決 20 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 6 ページ</li> </ul> <p>C エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 30 ページ</li> <li>・技術による問題解決 20 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 6 ページ</li> </ul> | <p>A 材料と加工の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 18 ページ</li> <li>・技術による問題解決 32 ページ</li> <li>(スキルアシスト) 12 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 3 ページ</li> </ul> <p>B 生物育成の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 12 ページ</li> <li>・技術による問題解決 24 ページ</li> <li>(スキルアシスト) 11 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 3 ページ</li> </ul> <p>C エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 22 ページ</li> <li>・技術による問題解決 32 ページ</li> <li>(スキルアシスト) 5 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 3 ページ</li> </ul> | <p>A 材料と加工の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 22 ページ</li> <li>・技術による問題解決 48 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 4 ページ</li> </ul> <p>B 生物育成の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 20 ページ</li> <li>・技術による問題解決 22 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 4 ページ</li> </ul> <p>C エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える技術 28 ページ</li> <li>・技術による問題解決 16 ページ</li> <li>・社会の発展と技術 4 ページ</li> </ul> |

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
|   | <p>D 情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会を支える技術 20 ページ</li> <li>技術による問題解決 36 ページ</li> <li>社会の発展と技術 6 ページ</li> </ul>  | <p>D 情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会を支える技術 18 ページ</li> <li>技術による問題解決 50 ページ</li> <li>(スキルアシスト) 10 ページ</li> <li>社会の発展と技術 3 ページ</li> </ul>   | <p>D 情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会を支える技術 34 ページ</li> <li>技術による問題解決 30 ページ</li> <li>社会の発展と技術 4 ページ</li> </ul>   |
| <p><b>【視点】⑧ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 実践的・体験的な学習の具体例</b></p> |  |   |   |
|   | <p>A 材料と加工の技術に関する具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>踏み台を作って、玄関の段差を小さくする。</li> <li>なるべく軟らかい材料で絵本ラックを作る。</li> <li>木材で丈夫なカバーを作ってプランターを守る。</li> <li>調理台の高さと収納したい調味料に合わせて、2段の調味料ラックを作る。</li> <li>リモコンがすべて収納できるリモコンラックを作る。</li> <li>プリントを2段に分けて整理できる棚を作る。</li> <li>3段ラックを作って、省スペースでいろんな小物を並べられる小物ラックを作る。</li> <li>ロッカーの空間を2段に分ける棚を作る。</li> <li>技術室の端材とMDFを使って、タブレット端末の角度を調整する台を作る。</li> <li>家で使わなくなった小さなすのこと技術室の端材を無駄なく生かしてブックラックを作る。</li> </ul> | <p>A 材料と加工の技術に関する具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不思議な本立てをつくってみよう。</li> <li>背板で支える 調味料ホルダー</li> <li>箱の構造で支える 便利なプランターラック</li> <li>引き出しをつけよう 2段小物ラック</li> <li>写真を飾ろう パンチングメタルスタンド</li> </ul> | <p>A 材料と加工の技術に関する具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小さなスペースで机の上を整理・整頓できるマルチラック</li> <li>家族で使える充電しやすいタブレットスタンド</li> <li>小さい子でも使いやすいふみ台</li> <li>調理スペースが広がる調味料ラック</li> <li>見ばえよく植物を飾れる鉢入れ</li> <li>必要なものがまとめられるカレンダーつきメモホルダー</li> <li>分類して収納できる文房具の整理箱</li> </ul> |

|                 |   |   |  |
|-----------------|---|---|--|
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術室の端材を無駄なく生かして、ペンスタンドを作る。</li> <li>・技術室の端材を重ね合わせて強い材料に作り変え、キャスター付きの植木鉢台を作る。</li> </ul>   |   |  |
| <p>内容の表現・表記</p> | <p><b>【視点】⑨ 各教科等と関連させて学習を進める工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 各教科等と関連する内容の示し方及び具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の各教科等の学習内容との関連については、「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している。(28)</li> <li>・小学校の各教科等の学習内容との関連については、「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している。(5)</li> </ul> <p>A材料と加工の技術に関する具体例<br/>「リンクマーク（他教科）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科1年 物の調べ方</li> <li>・理科1年 身の回りの物質とその性質</li> <li>・理科2年 分子・原子</li> <li>・理科3年 さまざまな物質とその利用</li> <li>・数学1年 立体の投影図</li> <li>・家庭分野 消費生活・環境</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の各教科等の学習内容との関連については、「関連」マークを用いて、教科を示している。(11)</li> <li>・小学校の各教科等との学習内容との関連については、「関連」マークを用いて、教科を示している。(8)</li> </ul> <p>A材料と加工の技術に関する具体例<br/>「関連」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小学校では、図画工作の時間に木を使って作品をつくれるようになったよ。ほかの材料も使ってみたいな。」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各内容の最初に「他教科」、「小学校」をまとめて掲載し、小学校や教科書のつながりとして示している。</li> <li>・中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マークを用いて、教科、内容等を示している。(4)</li> <li>・小学校の各教科等の学習内容との関連については、「小学校」マークを用いて、教科、内容等を示している。(4)</li> </ul> <p>A材料と加工の技術に関する具体例<br/>「他教科」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学 平面図形 空間図形</li> <li>・理科 身の回りの物質</li> </ul> <p>「小学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小3～6・図画工作 表現の活動</li> <li>・小4・算数 立体図形</li> <li>・小4・理科 金属、水、空気と温度</li> <li>・小5・算数 立体図形</li> <li>・小5・社会 我が国の工業生産</li> </ul> |

| 【視点】⑩ デジタルコンテンツの活用  |  |   |   |  |  |
|---|--|---|---|--|--|
| 【方法】○ デジタルコンテンツの種類及び具体例   |  |   |   |  |  |
| デジタルコンテンツの種類  | 具体例  | デジタルコンテンツの種類  | 具体例   | デジタルコンテンツの種類   | 具体例  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画</li> <li>・ シミュレーション</li> <li>・ 思考ツール</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ クイズ</li> <li>・ 資料、図鑑</li> <li>・ WEBサイト</li> <li>・ 他教科リンク</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動画<br/>「身の回りの木製品」</li> <li>○ シミュレーション<br/>「技術の見方・考え方」</li> <li>○ 思考ツール<br/>「解決したい問題を構造化して考えよう」</li> <li>○ ワークシート「【やってみよう】立体を描こう」</li> <li>○ クイズ<br/>「【レッツスタート】情報モラルチェック」</li> <li>○ 資料、図鑑<br/>「材料の図鑑」</li> <li>○ WEBサイト<br/>「SDGs 私たちがつくる未来」</li> <li>○ 他教科リンク<br/>「理科物の調べ方」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プログラム</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 題材例制作動画・画像</li> <li>・ 基礎技能動画・画像</li> <li>・ インタビュー動画</li> <li>・ 資料動画・画像</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プログラム<br/>「サイコロの目の数を当てる」</li> <li>○ ワークシート<br/>「工夫調べレポート」</li> <li>○ 題材例制作動画・画像<br/>「不思議な本立てをつくる」</li> <li>○ 基礎技能動画・画像<br/>「基礎技能動画(けがき)」</li> <li>○ インタビュー動画<br/>「技ビットインタビュー」</li> <li>○ 資料動画・画像<br/>「木質材料の利用例」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題コンテンツ</li> <li>・ 動画コンテンツ</li> <li>・ 資料コンテンツ</li> <li>・ 操作コンテンツ</li> <li>・ ワークシート</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題コンテンツ<br/>「木材の性質と種類」</li> <li>○ 動画コンテンツ<br/>「木材の構造」</li> <li>○ 資料コンテンツ<br/>「CCライセンス」</li> <li>○ 操作コンテンツ<br/>「乳牛の育成シミュレーション」</li> <li>○ ワークシート<br/>「木材の性質を考慮した使用方法」</li> </ul> |

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |             |                    |            |
|-----|-------------|--------------------|------------|
| 校種  | 教科          | 教科用図書目録に登録された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 技術・家庭（家庭分野） | 3                  | 10         |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点     | 3 東書   | 3 教図  | 3 開隆堂   |
|---------------|--|---|---|
| 知識及び<br>技能の習得 | <p><b>【視点】① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための記述及び具体例（B 衣食住の生活【食生活】）</b></p>  |   |   |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な用語のうち、家庭科で扱う重要語句を本文と異なる書体を用いた太字で表記している。</li> <li>・重要語句（活用順）<br/>食習慣 生活習慣病 栄養素 たんぱく質<br/>無機質 ビタミン 炭水化物 脂質 五大栄養素 等</li> <li>・「実習を楽しく安全に進めよう」を巻頭に掲載し、食物アレルギーや感染症予防にも気を付けて、安全に実習に取り組むためのポイントをまとめている。</li> <li>・資料 食物アレルギーの症状 等</li> <li>・編末の「学習のまとめ」では、知識及び技能を習得するための問いを掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な用語のうち、家庭科で扱う重要語句を本文と異なる書体を用いた太字で表記している。</li> <li>・重要語句（活用順）<br/>食事 生命を維持し 健康を保持する<br/>食文化を伝承 人間関係をつくる 共食 等</li> <li>・「実習は安全に取り組もう！」を巻頭に掲載し、けがや衛生面に気を付けて、安全に実習に取り組むためのポイントがまとめられている。また、実習の注意点についてのワークを設定している。</li> <li>・危険な取り組み方をしている人を見つけよう 次の実習の場面から、危険な取り組み方をしている人を見つけよう。また、どのように取り組みばよいか考えよう。 等</li> <li>・章末のまとめの「学習のふり返り」では、知識及び技能を習得するための問いを掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な用語のうち、家庭科で扱う重要語句を本文と異なる書体を用いた太字で表記している。</li> <li>・重要語句（活用順）<br/>共食 食文化 食習慣 欠食 偏食 生活習慣病<br/>生活リズム 食事（栄養） 等</li> <li>・「楽しく安全に実習しよう」を巻頭に掲載し、実習前、実習中、実習後のそれぞれのポイントがまとめられている。</li> <li>・次に使う人の安全も守るためには何が大切でしょうか。下のイラストを見て考えてみましょう。 等</li> <li>・内容末の「学習のまとめ」では、知識及び技能を習得するための問いを掲載している。</li> </ul> |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
|  | <p>1 学習したことを確かめよう <b>知識・技能</b></p> <p>大切な用語の確認 次の語句を自分の言葉で説明しましょう。</p> <p>□食事の役割▶p. 31 □朝食▶p. 31</p> <p>□食習慣▶p. 33 □生活習慣病▶p. 33 等</p>   | <p>1 確認しよう <b>知識・技能</b></p> <p>① 食べることがつなぐ3つの営みをまとめよう。</p> <p>1 生命の維持・(㉞)の保持</p> <p>2 (㉟)の伝承</p> <p>3 (㊱)をつくる 等</p>   | <p>1 次の文章について、正しい場合は( )に○、まちがっている場合はその文中の該当箇所の下線を引き、( )に正しい答えを書きましょう。</p> <p>(知識・技能)</p> <p>① ある中学生は五大栄養素を次のようにあげました。「糖分、たんぱく質、脂肪、カロテン、鉄」等</p>  |
| <p><b>【視点】② 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 実践的・体験的な学習の具体例 (B 衣食住の生活)</b></p> |   |   |   |
|  | <p>・日常食の調理における調理実習例</p> <p>・合計43事例</p> <p>・布を用いた物の製作例</p> <p>・合計14事例</p>  | <p>・日常食の調理における調理実習例</p> <p>・合計45事例</p> <p>・布を用いた物の製作例</p> <p>・合計9事例</p>   | <p>・日常食の調理における調理実習例</p> <p>・合計51事例</p> <p>・布を用いた物の製作例</p> <p>・合計11事例</p>  |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p>   | <p><b>【視点】③ 生活の中から課題を見いだすための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 学習過程の示し方及び具体例 (A 家族・家庭生活)</b></p>  |   |   |
|  | <p>・編の導入には課題設定の記入欄を設け、自分の知りたいことやできるようになりたいことを記入することで、生活の課題と実践へとつなげている。</p> <p>・6編 私たちの成長と家族・地域</p> <p>「私の知りたいこと、できるようになりたいこと(課題設定)」</p> <p>・編の導入には「この編で学ぶこと」、各節には「目標」を示している。</p> <p>・「この編で学ぶこと」</p> <p>1章 家族・家庭生活での自立</p> <p>2章 幼児の生活と家族</p> <p>3章 持続可能な家庭・地域生活</p> | <p>・節の導入には自分の生活を見つめるきっかけとなるコーナーを設定している。</p> <p>・A編 1章 家族・家庭や地域とのかかわり</p> <p>「見つめる」</p> <p>・お弁当作って ・ゴミを出して</p> <p>・朝ごはんまだ? ・洗濯して</p> <p>・編の導入には「自立度チェック」、各節には「めあて」を示している。</p> <p>・「自立度チェック」</p> <p>自分の普段の家庭生活について、YES, NO で答えてみよう</p> <p>1. 朝は自分で決めた時間に自分で起きている。</p> | <p>・編の導入には生徒の身近な話題を用いている。</p> <p>・A 家族・家庭・地域</p> <p>「家族ってありがたいときもあるけど、うっとうしいときもある。どうしてだろう。」</p> <p>・編の導入には「～で学習する内容」、各節には「学習の目標」を示している。</p> <p>・「家族・家庭で学習する内容」</p> <p>1章 今の自分とこれから</p> <p>2章 家庭のはたらきと家庭の仕事</p> <p>3章 様々な家族・家庭</p> |

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
|  | <p>・編末の「学習のまとめ」では、思考・判断・表現に関わる問いを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」</li> </ul> <p>2 学習を深めよう <b>思考・判断・表現</b></p> <p><b>1</b>身近な地域で行われている活動を調べ、参加する計画を立てましょう。</p> <p>例) 清掃活動、リサイクル活動、防災訓練など 等</p>   | <p>等</p> <p>「めあて」</p> <p>家族・家庭の基本的な働きを理解する。</p> <p>自分にできる家庭の仕事を見つけ、実践することができる。</p> <p>・章末の「学習のふり返り」では、思考・判断・表現に関わる問いを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末のまとめ「学習のふり返り」</li> </ul> <p>2 考えてみよう <b>思考・判断・表現</b></p> <p>① 家庭生活をよりよくするために、あなたがこれから取り組んでいこうと思うことをあげてみよう。 等</p>                                  | <p>6章 かかわり合う地域と家庭</p> <p>7章 持続可能な家庭生活</p> <p>「学習の目標」</p> <p>自分の成長と家族や地域の人々とのかかわりと、自分自身について理解する。</p> <p>・編末の「学習のまとめ」では、思考・判断・表現に関わる問いを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」</li> </ul> <p>2 次の問いに答えましょう。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>(1) 幼児、小学生、中学生、高校生、外国籍の人、高齢者、働いている人などの立場になって、その人たちが暮らしやすい地域にするために、アイデアや工夫を考え、下の表に書き入れましょう。</p> |
| <p><b>【視点】④ 課題を実践し、評価を改善し表現するための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 「生活の課題と実践」の示し方及び実践例</b></p> |   |  |  |
|  | <p>「生活の課題と実践」の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活の課題と実践」に関わる内容を「選択 生活の課題と実践」として掲載している。</li> <li>・「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、学習の流れを示している。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題を決めよう</li> <li>2 計画を立てよう</li> <li>3 家庭や地域で実践しよう</li> <li>4 評価しよう</li> <li>5 改善しよう</li> <li>6 次の課題に挑戦しよう</li> </ol> | <p>「生活の課題と実践」の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活の課題と実践」に関わる内容を「選択 生活の課題と実践～生活をよりよくしよう～」として掲載している。</li> <li>・「生活の課題と実践の学習の流れ」を掲載し、学習の流れを示している。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 問題を発見する</li> <li>2 課題を設定する</li> <li>3 計画・実践する</li> <li>4 評価する</li> <li>5 改善する</li> <li>6 次の課題へ</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活の課題と実践」に関わる内容として、「生活の課題と実践」として掲載している。</li> <li>・「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、学習の流れを示している。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活を見つめ、課題発見・課題設定</li> <li>2 計画</li> <li>3 実行・実践</li> <li>4 まとめ・発表</li> <li>5 ふり返り・評価</li> <li>6 生活にいかす・次の課題へ</li> </ol>   |

|                                |  |   |  |
|--------------------------------|--|---|--|
|                                | <p>・実践例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。</p> <p>実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの食生活」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サステナブルクッキングにチャレンジ!</li> </ul> </li> <li>・「私たちの衣生活」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服のリメイク</li> </ul> </li> <li>・「私たちの住生活」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の安全・安心な住まい</li> </ul> </li> <li>・「私たちの消費生活と環境」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家電製品の購入計画の検討</li> </ul> </li> <li>・「私たちの成長と家族・地域」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児のためのおやつを作ろう!</li> <li>・地域の人と炊き出し訓練を開催しよう!</li> </ul> </li> </ul> | <p>・実践例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。</p> <p>実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族・家庭や地域とのかかわり」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすいまち・安全なまちってどんなまち?</li> </ul> </li> <li>・「幼児の生活と家族」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児のおやつを工夫しよう!季節を感じるおやつ</li> </ul> </li> <li>・「食生活」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちでつくっただいこんをおいしく食べよう!</li> </ul> </li> <li>・「私たちの衣生活」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民族衣装について、家族や友達に聞いてみよう</li> </ul> </li> <li>・「生活を豊かにする製作」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを込めたものづくり～幼稚園へのお礼～</li> </ul> </li> <li>・「私たちの住生活」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内事故の防止をみんなに呼びかけよう!</li> </ul> </li> <li>・「私たちの消費生活」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物のむだを減らす大作戦!</li> </ul> </li> <li>・「消費者の権利と責任」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・兄の新生活のキーワードは、「エシカル」!!</li> </ul> </li> </ul> | <p>・実践例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。</p> <p>実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A家族・家庭生活とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 我が家の整理・整頓・清掃プロジェクト</li> <li>2 祖父母といっしょにピクニック</li> <li>3 地域を調査してマップづくりに挑戦</li> </ol> </li> <li>・B食生活とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 1日分の野菜を使った調理に挑戦</li> <li>2 カップ焼きそばと手づくり焼きそばを比較!</li> <li>3 お雑煮づくりに挑戦</li> </ol> </li> <li>・B衣生活とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭でしみ抜きに挑戦</li> <li>2 不用になった衣服のリメイク</li> </ol> </li> <li>・B住生活とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 我が家の防災チェック</li> </ol> </li> <li>・C消費生活・環境とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 家電買い替えプロジェクト</li> </ol> </li> </ul> |
| <p>主体的に<br/>学習に取り組む<br/>工夫</p> | <p><b>【視点】⑤ 学習した内容を家庭や地域で実践するための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 学習のまとめの示し方及び具体例（B 衣食住の生活【住生活】）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活に生かそう」「まとめよう」で学習を振り返ったり、次の学習に生かしたりする活動を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめよう」</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふり返る」でそのページの知識・技能が身に付いたか生徒が自己評価する欄を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふり返る」<br/>住まいの基本的な働きを理解できましたか。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」で生活の中の具体的なできごとから課題を考える活動を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えてみよう」</li> </ul> </li> </ul>   |

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
|   | <p>住まいの役割と、生活行為と住空間の関係について説明しましょう。等</p> <p>・編末の「学習のまとめ」では、1 知識・技能、2 思考・判断・表現、3 主体的に学習に取り組む態度に関連した問いを掲載している。</p> <p>・「学習のまとめ」</p> <p>3 生活に生かそう</p> <p style="text-align: center;"><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <p><b>1</b> 住生活の学習を振り返り、次のことについてまとめましょう。</p> <p>①できるようになるまで取り組んだこと</p> <p>②できるようになったこと、できなかったこと（改善しようとしたこと）</p> <p>③よりよい住生活に向けて、生活に生かしたいこと、大切にしたいこと</p> <p><b>2</b> 住生活の学習から、興味・関心を持ったことや、自分や家族の生活で改善できること、持続可能な社会のためにできることなどを書きましょう。</p> | <p>生活行為と住まいの空間の関係について考えることができましたか。等</p> <p>・「章末のまとめの「学習のふり返し」」では、1 知識・技能、2 思考・判断・表現、3 主体的に学習に取り組む態度に関連した問いを掲載している。</p> <p>・「章末のまとめ「学習のふり返し」」</p> <p>3 自分の言葉でまとめよう</p> <p style="text-align: center;"><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <p>①あなたがB編「6章 私たちの住生活」で学んでよかったと思ったことをまとめてみよう。理由もあげてみよう。</p> <p>②あなたがB編「私たちの住生活」の学習をして、興味をもったことやもっと調べてみたいと思ったこと、やってみたいと思ったことなどをあげてみよう。</p> <p>③あなたは「6章 私たちの住生活」で学んだことを、これからの生活で、どのように生かしていきたいだろうか。自分の考えをまとめてみよう。</p> | <p>4人家族のAさんの住まいのダイニングキッチンには図のように様々なものが置いてあり、いくつかの点で困っています。どこが困っているでしょうか。また、その改善点を話し合ってみましょう。等</p> <p>・編末の「学習のまとめ」では、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に関連した問いを掲載している。</p> <p>・「学習のまとめ」 住生活</p> <p style="text-align: center;"><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <p>③下の文章と絵は、絵本「ちいさいおうち」の一部です。作者は何を伝えたかったのでしょうか。また、それについてあなたの考えを書きましょう。</p> |
| <p><b>【視点】⑥ 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方及び具体例</b></p> |   |   |  |
|   | <p>・「生活の営みに係る見方・考え方」を「家庭分野のガイダンス」において、マークやイラストを用いて説明している。</p>   | <p>・「生活の営みに係る見方・考え方」を「ガイダンス「つなぐ、つながる」×家庭分野」において、キーワードを用いて説明している。</p> <p>・人物の吹き出しを用い、見方・考え方に気付かせ</p>   | <p>・家庭分野の「ガイダンス」において、生活の見方・考え方の視点を示している。</p> <p>・キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付かせている。</p>  |

|                    |   |   |  |
|--------------------|---|---|--|
|                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>各編の導入において、関連する見方・考え方をマークやキーワードで示している。</li> <li>キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付かせている。</li> <li>「生活の営みに係る見方・考え方」の1つの視点である「持続可能な社会の構築」においては、各編にその内容を掲載している。</li> </ul> <p>具体例（B 衣食住の生活【衣生活】）</p> <p>3編 私たちの衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生活の営みに係る見方・考え方」のマーク <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な製作</li> <li>快適な着方</li> <li>健康的な着方</li> <li>地域の衣服の文化</li> <li>和服</li> <li>日本の文様</li> </ul> </li> </ul> <p>3章 1 持続可能な衣生活を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの吹き出しで、「一人一人が、限りある資源を大切に使うように意識したいね。」と記載している。</li> </ul> | <p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各項目において、生徒と教師の対話の場面等を「見つめる」「見つめてみよう」で示し、吹き出し等を用いて、生活の営みに係る見方・考え方に気付かせている。</li> <li>「生活の営みに係る見方・考え方」の1つの視点である「持続可能な社会の構築」においては、消費生活と環境問題とのつながりを取り上げ、関連する写真や資料にSDGsアイコンを用いて示している。</li> </ul> <p>具体例（B 衣食住の生活【衣生活】）</p> <p>B編 4章 私たちの衣生活</p> <p>1 衣服の働きを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「見つめる」に生徒の吹き出しがあり、「1日に何度も着替えているね。」と記述。「見つめてみよう」に、「昨日1日で何回着替えたか思い出してみよう。また、制服の必要性について話し合ってみよう。」と記載している。</li> </ul> <p>5 衣服を計画的に活用できるようになろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参考 SDGsとファッション <ul style="list-style-type: none"> <li>10 人や国の不平等をなくそう</li> <li>12 つくる責任つかう責任</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活の営みに係る見方・考え方の1つの視点である「持続可能な社会の構築」においては、「ガイドダンス」で詳しく説明され、各編にその内容が掲載されている。</li> </ul> <p>具体例（B 衣食住の生活【衣生活】）</p> <p>B 衣生活</p> <p>4 持続可能な衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの吹き出しで、「衣服の選択や着方、手入れのしかた、不用になった衣服の扱い方によって、環境にどのような影響があるか話し合ってみよう。」と記載している。</li> <li>環境に配慮した衣生活</li> </ul> |
| <p>内容の構成・配列・分量</p> | <p><b>【視点】⑦ 発展的な学習の扱い方</b></p> <p><b>【方法】○ 発展的な学習の扱い及び具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>発展</b>のマークを付している。</li> </ul> <p><b>【説明】</b></p> <p>学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>発展</b>のマークを付している。</li> </ul> <p><b>【説明】</b></p> <p>学習指導要領には示されていない内容ですが、必要に応じて取り組んでみましょう。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>発展</b>のマークを付している。</li> </ul> <p><b>【説明】</b></p> <p>発展的な学習の内容（学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内</p>   |

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
|  | <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3編 私たちの衣生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の民族衣装</li> </ul> </li> <li>・ 4編 私たちの住生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界のさまざまな住まい</li> </ul> </li> <li>・ 5編 私たちの消費生活と環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェアトレード</li> </ul> </li> <li>・ 6編 私たちの成長と家族・地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤ちゃんが学校に</li> <li>・ 幼児の成長を支える地域の役割</li> <li>・ 子どもを守る条約や法律</li> <li>・ ユニセフの活動</li> <li>・ 赤ちゃんー人間の育ちの始まりー</li> </ul> </li> <li>・ ユニバーサルデザイン <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなが暮らしやすい社会を目指して</li> </ul> </li> </ul> | <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口絵9 世界の衣食住</li> <li>・ A編 家族・家庭生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の大好きな、ごっこ遊びを見てみよう</li> <li>・ 子どものすこやかな成長のために</li> </ul> </li> <li>・ B編 衣食住の生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 味といっしょに楽しもう</li> <li>～地域の伝統的な器～</li> <li>・ マンガやアニメの主人公は、どのような住まいで暮らしているの？</li> </ul> </li> <li>・ C編 消費生活・環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェアトレードのチョコレートで児童労働をなくす</li> <li>・ ラナプラザの悲劇</li> </ul> </li> </ul> | <p>容ではない)。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 家族・家庭生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族・家庭を支える経済</li> <li>・ 家庭生活を支える社会</li> <li>・ 乳児期の場合</li> <li>・ アタッチメント(愛着)と探索行動</li> <li>・ 子どもの健やかな成長のために</li> </ul> </li> <li>・ B 衣食住の生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目に見えない栄養素を見てみよう</li> <li>・ 進化する素材</li> <li>・ 子どもの権利条約</li> <li>・ ふだん→災害時→生活再建のサイクルで学ぶ</li> <li>・ 災害後の生活の立て直し</li> </ul> </li> <li>・ C 消費生活・環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童労働の実態</li> <li>・ 世界に視野を広げて</li> <li>・ 世界の生活文化を見てみよう</li> </ul> </li> </ul> |
| <p><b>【視点】⑧ 他教科等と関連させて学習を進めるための工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 他教科等と関連する内容の示し方及び具体例</b></p> |   |  |  |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校の他教科等の学習内容との関連については「リンク」マークを示し、教科名、単元・題材概要を示している。技術分野の学習内容との関連については「リンク」マークを示し、題材概要を示している。</li> <li>・ 家庭分野の他の章などに、関連する内容があるものについては「リンク」マークを示し、掲載ページと内容を示している。</li> <li>・ 各編の導入ページで、「小学校家庭科で学んだこ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校の他教科等の学習内容や技術分野との関連については「関連」マークを示し、教科名、分野、単元・題材概要を示している。</li> <li>・ 家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては「関連」マークを示し、掲載ページと内容を示している。</li> <li>・ 各編の導入ページ等で、小学校家庭科の学習内容とのつながりを「関連」マークで示している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校の他教科等の学習内容や技術分野との関連については「他教科・他分野との関連マーク」を右ページ上部に示し、教科、分野、単元、題材概要を示している。</li> <li>・ 家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては→マークを示し、掲載ページ又は掲載ページと内容を示している。</li> <li>・ 各内容の冒頭に、「小学校での学び」を設け、小学校家庭科での学習内容を示している。</li> </ul>  |

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
|  | <p>と」をキーワードで示している。小学校の他教科等の学習内容との関連については「リンク」マークを示し、小学校で学んだことを示している。</p> <p>具体例（C 消費生活・環境）</p> <p>5編 私たちの消費生活と環境</p> <p>小学校家庭科で学んだこと</p> <p>□買い物の仕組みや消費者の役割 等</p> <p>1章 私たちの消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校家庭 物や金銭の大切さ、計画的な使い方</li> <li>・社会（公民）契約と消費生活</li> <li>・小学校家庭 買い物の仕組み</li> <li>・小学校家庭 物や金銭の計画的な使い方</li> <li>・消費生活と契約 ・技術分野 情報モラル</li> <li>・消費者の権利と責任</li> <li>・社会（公民）市場の働きと経済 ・契約自由の原則</li> </ul> <p>2章 責任ある消費者になるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の選択に役立つ表示やマーク</li> <li>・社会（公民）市場の働きと経済</li> <li>・食品の選択と購入 ・既製服の選択と購入</li> <li>・食品のマークの例 ・取り扱い表示の例</li> <li>・認証ラベル付きの商品の例</li> <li>・おもちゃに付いているマーク</li> <li>・契約自由の原則</li> <li>・消費者トラブルを未然に防ぐために</li> <li>・買い物は投票 ・フェアトレード</li> <li>・ユニバーサルデザイン</li> <li>・社会（公民）市場の働きと経済</li> </ul> | <p>具体例（C 消費生活・環境）</p> <p>C編 消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校家庭科「物や金銭の使い方と買い物」、「環境に配慮した生活」</li> </ul> <p>1章 私たちの消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭生活と家庭の仕事」</li> <li>・社会 公民的分野 「市場の働きと経済」</li> <li>・「食品の選択と購入」</li> <li>・「衣服の選択と購入」</li> <li>・技術分野「個人情報の保護の必要性」「情報セキュリティと情報モラル」</li> <li>・「意思決定のプロセス」</li> <li>・「いろいろな販売方法」</li> <li>・技術分野 「個人情報の保護の必要性」</li> <li>・社会 公民的分野「国民の生活と政府の役割」</li> </ul> | <p>具体例（C 消費生活・環境）</p> <p>C 消費生活・環境</p> <p>小学校での学び 買い物のしくみや消費者の役割 等</p> <p>1 家庭生活と消費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会／公民的分野 「身近な消費生活と経済活動」</li> <li>・→「生活に必要な費用」「生活を支える制度の実際」</li> <li>・小学校 買い物のしくみ ものや金銭の大切さ、計画的な使い方</li> </ul> <p>2 購入・支払いと生活情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会／公民的分野 「市場経済の考え方」</li> <li>・小学校 消費者の役割、身近なものの選び方、買い方、情報の収集・整理</li> <li>・技術分野 「情報の技術」 ・小学校 買い物のしくみ</li> <li>・「いろいろなマーク」 「生鮮食品の表示」</li> <li>・社会／公民的分野 「身近な消費生活と経済活動」</li> <li>・小学校 買い物のしくみ</li> <li>・社会／公民的分野 「消費者の保護」</li> </ul> |
|--|--|---|--|

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
|  | <p><b>【視点】⑨ 特別支援教育へ配慮した構成、デザインの工夫</b></p> <p><b>【方法】○ ユニバーサルデザインに配慮した示し方</b></p>  |   |   |
| <p>内容の表現・<br/>表記</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の書体は、UDフォントを使用している。</li> <li>・内容ごとに基本色を設定し、見開き左端上部及び右端にそれぞれインデックスを付している。</li> <li>・教育漢字以外の漢字には全て丸ゴシック体でふり仮名を付している。</li> <li>・実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。</li> <li>・食品群別摂取量の目安を実物大の写真で示している。また、1日に必要な食品の種類と概量の例、1日分の食事の例を写真で示している。（朝食・昼食・夕食）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の書体は、UDフォントを使用している。</li> <li>・内容ごとに基本色を設定し、見開き左端上部及び右端にそれぞれインデックスを付している。</li> <li>・中学校以降で学習する漢字には、見開きの初出でふり仮名を付している。</li> <li>・実習・製作の作業手順を縦向きの配置に統一している。</li> <li>・食品群別摂取量の目安をほぼ原寸大の写真で示している。また、1日の食事献立の例を写真で、食品群ごとの概量の重量を表で示している。（朝食・昼食・間食・夕食）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の書体は、UDフォントを使用している。</li> <li>・内容ごとに基本色を設定し、見開き左側上部にインデックスを付している。</li> <li>・中学校以降で学習する漢字には、見開きページごとの初出箇所にはふり仮名を付している。</li> <li>・実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。</li> <li>・食品群別摂取量の目安を実物大の写真で示している。また、1日に取りたい食事量の例を写真で示している。（朝食・昼食・夕食）</li> </ul> |
|  | <p><b>【視点】⑩ デジタルコンテンツの活用</b></p> <p><b>【方法】○ デジタルコンテンツの活用及び具体例（B 衣食住の生活【住生活】）</b></p>   |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画、シミュレーションなどにつながる二次元コードを表示している。</li> <li>・誰がどの部屋を使うかを考えよう<br/>【ワークシート】 【思考ツール】</li> <li>・理科 日本の天気の特徴と気団【他教科リンク】</li> <li>・日本各地の住まいの例【資料】</li> <li>・寒い土地の暮らし【動画】</li> <li>・世界の住まい【資料】</li> <li>・小学校家庭 よごれに合ったそうじをしよう<br/>【他教科リンク】</li> <li>・小学校家庭 冬の住まい方を見直そう、効果的に日光を利用しよう【他教科リンク】</li> <li>・小学校理科 結露【他教科リンク】</li> <li>・窓の開け方【動画】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク、予習・復習に活用できる動画などにつながる二次元コードを表示している。</li> <li>・日本各地の住まいの例【ワーク】</li> <li>・コレクティブハウス、シェアハウス【ワーク】</li> <li>・日本の伝統的な住まい 360° パノラマビュー<br/>【Webサイト】</li> <li>・シックハウス症候群の対策【Webサイト】</li> <li>・結露が起こる仕組み【動画】</li> <li>・住まいの防犯対策【Webサイト】</li> <li>・住まいの中で起こる事故【ワーク】</li> <li>・国土交通省ハザードマップポータルサイト<br/>【Webサイト】</li> <li>・日本の自然災害【Webサイト】</li> <li>・自然災害への備え【Webサイト】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料や動画などにつながる二次元コードを表示している。</li> <li>・書籍「ホームレス中学生」【資料】</li> <li>・「考えてみよう」（正解例）【資料】</li> <li>・「工夫してみよう」（新課題）【資料】</li> <li>・日本各地の住まい【資料】</li> <li>・家の中のヒヤリハットを探そう！【資料】</li> <li>・様々な換気方法【資料】</li> <li>・過去に発生した主な災害【動画】</li> <li>・地震の被害にあった中学生（全文）【資料】</li> <li>・省エネな住まい方【資料】</li> <li>・ユニバーサルデザインの例【資料】</li> <li>・B住生活 学習のまとめ</li> </ul> |   |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内の空気循環シミュレーション【動画】</li> <li>・室内汚染の原因と対策【資料】</li> <li>・ほこりの動き【動画】</li> <li>・保健体育 室内の空気の衛生的管理【他教科リンク】</li> <li>・住まいの中の危険を探そう【シミュレーション】</li> <li>・防災・減災手帳【資料】</li> <li>・ハザードマップポータルサイト【Webサイト】</li> <li>・保健体育 自然災害による傷害の防止<br/>【他教科リンク】</li> <li>・理科 自然の恵みと災害【他教科リンク】</li> <li>・災害に備えた住まいの整え方を考えよう<br/>【シミュレーション】</li> <li>・防災・減災クイズ【クイズ】</li> <li>・安全計画を立てよう【思考ツール】</li> <li>・避難訓練を見直す【動画】</li> <li>・保健体育 防災の自助、共助、公助【他教科リンク】</li> <li>・緊急時の防寒対策【動画】</li> <li>・SDGs 私たちがつくる未来【Webサイト】</li> <li>・小学校家庭 すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう【他教科リンク】</li> <li>・地域を観察しよう【思考ツール】</li> <li>・自己評価チェックシート【ワークシート】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の代用品のつくり方【動画】</li> <li>・記録レポート用紙【PDF】</li> <li>・ふり返しシート【PDF】</li> </ul> |  |
|--|--|--|--|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |    |                    |            |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種  | 教科 | 教科用図書目録に登載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 英語 | 6                  | 19         |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行<br>者<br>観点     | 2 東書   | 9 開隆堂   | 15 三省堂   | 17 教出   | 38 光村   | 61 啓林館   |
|-------------------|--|---|--|---|---|--|
| 知識及び<br>技能の習<br>得 | <p><b>【視点】① 単元の目標の示し方</b><br/> <b>【方法】○ 目標の示し方及び具体例</b></p>  |   |  |   |   |  |
|                   | <p><b>【目標の示し方】</b><br/>                     ○ 目次に各 Unit の「活動目標(GOAL)」を示している。<br/>                     ○ 単元である Unit ごとに目標「GOAL」を示している。</p> <p><b>【目標の具体例】</b><br/>                     ○ Unit 6 How can we make a good presentation?<br/>                     ・活動目標 (GOAL)<br/>                     アンケート調査の結果を発表することができる。<br/>                     ・ GOAL<br/>                     身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。</p> | <p><b>【目標の示し方】</b><br/>                     ○ 単元である PROGRAM 内のコーナーごとに目標「GOALS」を示している。</p> <p><b>【目標の具体例】</b><br/>                     ○ PROGRAM 6 High-Tech Nature<br/>                     ・ GOALS<br/>                     Scenes<br/>                     大きさや程度などを比べて伝え合う。<br/>                     Part 1, 2, 3 / Review &amp; Retell<br/>                     生物をヒントにして作られたものについて理解し、伝える。<br/>                     Action</p> | <p><b>【目標の示し方】</b><br/>                     ○ 目次に各 Lesson の「Goal Activity (活動の内容)」を示している。<br/>                     ○ 単元である Lesson ごとに目標「Goal Activity」を示している。</p> <p><b>【目標の具体例】</b><br/>                     ○ Lesson 6 Friends from Singapore<br/>                     ・ Goal Activity (活動の内容)<br/>                     Read+Write [意見文]<br/>                     シンガポールの友だちから受け取ったメールを読もう。<br/>                     ・ Goal Activity<br/>                     事実と、筆者の考えや気持ちに着目して、シンガポールの</p> | <p><b>【目標の示し方】</b><br/>                     ○ 単元である Lesson ごとに「Goal (内容理解) (活動)」を示している。</p> <p><b>【目標の具体例】</b><br/>                     ○ Lesson 6 Castles and Canyons<br/>                     ・ Goal (内容理解)<br/>                     日本や海外の観光名所について紹介されている内容を理解する。<br/>                     ・ Goal (活動)<br/>                     「どちらがより～だ」を表す文を使ってやり取りすること</p> | <p><b>【目標の示し方】</b><br/>                     ○ 目次に各 Unit の「単元の目標」を示している。<br/>                     ○ 単元である Unit ごとに関連する領域別の目標「Goal」を示している。</p> <p><b>【目標の具体例】</b><br/>                     ○ Unit 5 How Do We Stay Safe?<br/>                     ・ 単元の目標<br/>                     防災バッグの中身を決めよう<br/>                     ・ Goal<br/>                     Listen<br/>                     災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取ることができる。<br/>                     Speak</p> | <p><b>【目標の示し方】</b><br/>                     ○ 単元である Unit ごとに関連する目標「Unit Goal (Input) (Output)」を示している。</p> <p><b>【目標の具体例】</b><br/>                     ○ Unit 7 World Heritage Sites<br/>                     ・ Unit Goal (Input)<br/>                     紹介されている世界遺産の特徴や課題、そこでのルールなどを読み取ることができる。<br/>                     ・ Unit Goal (Output)<br/>                     自分の住む地域の“Treasure”としての大切な場所や建物、人、ものなどを、</p> |

|  |   |  |  |   |  |
|--|---|--|--|---|--|
|  | 自分が取り組んでいる省エネ対策について伝える。   | 姉妹校の友だちから受け取ったメールを読もう。   | ができる。  | 必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合うことができる。   | 理由を示しながら紹介するスピーチをすることができる。   |
| <p><b>【視点】② 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫</b><br/> <b>【方法】○ 文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定および具体例 (to不定詞 (want to～) に繰り返し触れる機会を設定した単元及び具体例 (第2学年))</b></p>  |   |  |  |   |  |
| <p><b>【単元名】</b></p> <p>Unit 1 What can we experience on a trip?<br/> Unit 2 What is local food?<br/> Unit 3 What kind of job are you interested in?<br/> Unit 4 What is important in a homestay?<br/> Unit 5 What design is good for everyone?</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○Unit 4 What is important in a homestay?<br/> •So, I <u>want to</u> enjoy doing something with them.<br/> •I don't <u>want to</u> hurt his feelings.<br/> •What does Lucas <u>want to</u> do?<br/> • I <u>want to</u> visit them again in the near future.<br/> • I <u>want to</u> go to hot springs.<br/> •I <u>want to</u> say to Patrick, "You don't <u>have to</u> use chopsticks."<br/> • I <u>want to</u> say to him, "You must take off your shoes when you enter a house."</p> | <p><b>【単元名】</b></p> <p>○PROGRAM 2 Koshien Project in Africa<br/> ○PROGRAM 3 Taste of Culture<br/> ○PROGRAM 5 Work Experience<br/> ○PROGRAM 6 High-Tech Nature<br/> ○PROGRAM 7 Unique Animals<br/> ○PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○PROGRAM 3 Taste of Culture<br/> • I <u>want to</u> go!<br/> •What do you <u>want to</u> do this weekend?<br/> • I <u>want to</u> go fishing.<br/> •I <u>want to</u> eat an "American dog."<br/> • What do you <u>want to</u> have?<br/> • I <u>want to</u> have something sweet.<br/> • Does Mao <u>want to</u> drink lemonade?<br/> • I <u>want to</u> eat a corn dog.<br/> •Mao <u>wants to</u> eat a corn dog.<br/> •I <u>want to</u> sell something to eat.<br/> •I <u>want to</u> sell a lot to buy a present for Miki.<br/> • Yumi <u>wants to</u> have a dog.<br/> • I <u>want to</u> see the movie.</p> | <p><b>【単元名】</b></p> <p>○Lesson 1 Meet New Friends<br/> ○Lesson 3 My Dream<br/> ○Lesson 5 Visiting Australia<br/> ○ Lesson 6 Friends from Singapore<br/> ○Lesson 7 Gifts from China<br/> ○ Lesson 8 Rakugo Goes Overseas</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○Lesson 3 My Dream<br/> • I <u>want to</u> help animals.<br/> •I <u>want to</u> travel to space.<br/> •I <u>want to</u> be an interpreter.<br/> •I <u>want to</u> work with people around the world.<br/> •Where do you <u>want to</u> go for your day-at-work program?<br/> • I don't <u>want to</u> waste anything.<br/> • What do you <u>want to</u> do in the future?<br/> •I <u>want to</u> travel all around the world.<br/> • You <u>want to</u> travel around the world.<br/> • Where do you <u>want to</u> go first?</p> | <p><b>【単元名】</b></p> <p>○ Lesson 3 Design Makes Change<br/> ○Lesson 4 Workplace Experience<br/> ○Lesson 5 How to Celebrate Halloween<br/> ○ Lesson 6 Castles and Canyons<br/> ○Lesson 8 Rakugo in English</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○ Lesson 3 Design Makes Change<br/> •I <u>want to</u> become a teacher in the future.<br/> •I <u>want to</u> drink grape juice.<br/> • I <u>want to</u> be a baseball player.<br/> • I <u>want to</u> be a doctor.<br/> • I <u>want to</u> be a tennis player.</p> | <p><b>【単元名】</b></p> <p>○Unit 1 Hajin's Diary<br/> ○Unit 2 Basketball Tournament<br/> ○Unit 3 Plans for the Summer<br/> ○Unit 4 Tour in Singapore<br/> ○Unit 6 Guide Dogs<br/> ○Unit 7 Working Together<br/> ○Unit 8 Performing a Play</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○Unit 4 Tour in Singapore<br/> •OK, what do you <u>want to</u> do first?<br/> •I <u>want to</u> see the Merlion.<br/> • I <u>want to</u> go there, too.<br/> •Where do you <u>want to</u> go on your next vacation?<br/> • I <u>want to</u> buy Shota a mug.<br/> • I <u>want to</u> buy my mother a magnet.<br/> •Do you <u>want to</u> look inside?<br/> •I <u>want to</u> have lunch right now.</p> | <p><b>【単元名】</b></p> <p>○Unit 1 Talent Show<br/> ○Unit 2 Festivals in the World<br/> ○Unit 3 Visiting Singapore<br/> ○Unit 4 Preparing for Natural Disasters<br/> ○Unit 5 What is Your Dream?<br/> ○Unit 6 Kiri on the Stage<br/> ○ Unit 7 World Heritage Sites<br/> ○Unit 8 Food Diversity</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○Unit 5 What is Your Dream?<br/> •Where does Hina <u>want to</u> go for the internship?<br/> •Where do you <u>want to</u> go for an internship?<br/> • Where do you guys <u>want to</u> go for the internship?<br/> • My dream is to be a game creator, so I <u>want to</u> go to a game company.<br/> •Why does Jin <u>want to</u> go to a game company?<br/> •What animals do you <u>want to</u> see in the zoo?<br/> • She became a zookeeper because she <u>wanted to</u> protect endangered species.<br/> •Where do you <u>want to</u> go for an internship?<br/> • I <u>want to</u> go to a grocery store because I like fruit</p> |

|  |  |  |  |  |  |   |
|--|--|--|--|--|--|---|
|  |  |  |  |  |  | <p>and vegetables.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• I <u>want to</u> go to a nursery school because I <u>want to</u> be a nursery school teacher.</li> <li>• I <u>want to</u> think about my future career more.</li> <li>• I <u>want to</u> be a scenario writer.</li> <li>• I <u>want to</u> have better communication skills because teamwork is important, too.</li> <li>• I <u>want to</u> be a game developer like you.</li> <li>• I <u>want to</u> show you my game if I can see you again.</li> <li>• What did Jin <u>want to</u> be before he visited the game company?</li> <li>• Why does Jin <u>want to</u> have better communication skills?</li> <li>• I <u>want to</u> be a professional dancer in the future.</li> <li>• If I have a chance, I <u>want to</u> study dance abroad and learn from the best dancers in the world.</li> </ul> |
|--|--|--|--|--|--|---|

|                        |  |  |   |  |  |  |
|------------------------|--|--|---|--|--|--|
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p> | <p><b>【視点】③ 単元における言語活動の工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 単元や題材など内容や時間のまとまりにおける言語活動の設定及び単元終末の言語活動の具体例</b></p>  |  |   |  |  |  |
|                        | <p><b>【社会的な話題を取り上げている単元における言語活動の設定（第2学年）】</b></p> <p>Unit 5 What design is good for everyone?</p> <p>単元終末の言語活動である「Unit Activity」に向け、言語活動を設定している。</p> | <p><b>【社会的な話題を取り上げている単元における言語活動の設定（第2学年）】</b></p> <p>PROGRAM6 High-Tech Nature</p> <p>単元終末の言語活動である「Action」に向け、言語活動を設定している。</p> | <p><b>【社会的な話題を取り上げている単元における言語活動の設定（第2学年）】</b></p> <p>Lesson 4 Safe Clean Water</p> <p>単元終末の言語活動である「Goal Activity」に向け、言語活動を設定している。</p> | <p><b>【社会的な話題を取り上げている単元における言語活動の設定（第2学年）】</b></p> <p>Lesson2 Energy Sources for Our Future</p> <p>単元終末の言語活動である「Task」に向け、言語活動を設定している。</p> | <p><b>【社会的な話題を取り上げている単元における言語活動の設定（第2学年）】</b></p> <p>Unit 6 Guide Dogs</p> <p>単元終末の言語活動である「Goal」に向け、言語活動を設定している。</p> | <p><b>【社会的な話題を取り上げている単元における言語活動の設定（第2学年）】</b></p> <p>Unit 4 Preparing for Natural Disasters</p> <p>単元終末の言語活動である「Think &amp; Speak」に向け、言語活動を設定している。</p> |

|   |   |   |   |   |  |
|---|---|---|---|---|--|
| <p>言語活動数</p> <p>聞くことの活動 2</p> <p>読むことの活動 6</p> <p>話すこと [やりとり] の活動 3</p> <p>話すこと[発表の]活動 3</p> <p>書くことの活動 3</p> <p>【単元終末の言語活動の具体例】</p> <p>Unit Activity 取り入れたいユニバーサルデザインを伝え合おう</p> <p>自分たちの学校を、生徒、先生、来校者など全ての人々にとって過ごしやすい場所にするために、取り入れたいユニバーサルデザインについて伝え合ひましょう。</p> <p>・STEP 1 取り入れたいユニバーサルデザインを考えよう</p> <p>身のまわり（町や施設など）から、学校に取り入れたいユニバーサルデザインを選んで、その理由や特徴をまとめましょう。</p> <p>・STEP 2 ユニバーサルデザインを取り入れた学校について伝え合おう</p> | <p>言語活動数</p> <p>聞くことの活動 7</p> <p>読むことの活動 4</p> <p>話すこと [やりとり] の活動 3</p> <p>話すこと[発表の]活動 1</p> <p>書くことの活動 3</p> <p>【単元終末の言語活動の具体例】</p> <p>Action あなたは外国の中学生と、身近な SDGs について、リモートで話し合いをしています。</p> <p>・Step 1 アメリカの中学生オリバーが省エネの取り組みについて話しています。</p> <p>・Step 2 あなたがふだん取り組んでいる、または取り組みそうな省エネ対策をメモしましょう。</p> <p>・Step 3 Step 2 のメモをもとに、自分が取り組んでいる、または取り組みそうな省エネ対策について、グループで発表しましょう。</p> | <p>言語活動数</p> <p>聞くことの活動 7</p> <p>読むことの活動 4</p> <p>話すこと [やりとり] の活動 2</p> <p>話すこと[発表の]活動 2</p> <p>書くことの活動 4</p> <p>【単元終末の言語活動の具体例】</p> <p>Goal Activity 身の回りにはどんな環境問題がある？</p> <p>・SETTING 身近な環境問題について、シンガポールの姉妹校の生徒と情報交換をすることになりました。陸たちと一緒に、問題点と解決策をレポートにまとめよう。</p> <p>・Read 陸たちが書いたレポートを読もう。レポートの内容を表にまとめよう。</p> <p>・Write 身近な環境問題について、問題点と解決策をレポートにまとめよう。</p> <p>Step 1 問題点を書き出し、レポートにまとめることを1つ選ぼう。</p> <p>Step 2 Read を参考にして、レポートにまとめることを整</p> | <p>言語活動数</p> <p>聞くことの活動 4</p> <p>読むことの活動 2</p> <p>話すこと [やりとり] の活動 7</p> <p>話すこと[発表の]活動 1</p> <p>書くことの活動 1</p> <p>【単元終末の言語活動の具体例】</p> <p>Task</p> <p>1. ケンタが、地球温暖化について学んだことを、ノートにまとめています。本文を読み返して、あてはまる語句から選んで書こう。文頭にくる文字は、大文字にしよう。</p> <p>2. 地球温暖化や環境問題についての対策を考えるため、今後起こる可能性のあることを想像して、クラスで話し合うことにしました。次のようなことが起こったらどうなるかを考えて、クラスに共有しよう。</p> | <p>言語活動数</p> <p>聞くことの活動 7</p> <p>読むことの活動 4</p> <p>話すこと [やりとり] の活動 4</p> <p>話すこと[発表の]活動 0</p> <p>書くことの活動 4</p> <p>【単元終末の言語活動の具体例】</p> <p>Goal ボランティア活動についての紹介記事を書こう</p> <p>・目的・場面・状況 あなたは学校新聞に、ボランティア活動について紹介する英語の記事を書くことになりました。</p> <p>Kota の書いた記事を参考にして、あなたも文章を書いてみましょう。</p> <p>・Read Kota は、学校新聞でどんな活動を紹介しているでしょうか。</p> <p>(1) Kota は、記事に挿絵を掲載したいと考えています。</p> <p>記事の内容にいちばん合う絵を1つ選び、✓を付けましょう。</p> <p>(2) 次の表は、文章の構成を表したものです。1～4の段</p> | <p>言語活動数</p> <p>聞くことの活動 10</p> <p>読むことの活動 3</p> <p>話すこと [やりとり] の活動 4</p> <p>話すこと[発表の]活動 3</p> <p>書くことの活動 5</p> <p>【単元終末の言語活動の具体例】</p> <p>Think &amp; Speak 災害発生時のとるべき行動について説明しよう</p> <p>・Step 1 Ms. Hall は火災が発生したときの行動について説明しています。説明を聞いて、内容と合っている絵を①～④から選び、話されている順番になるように記号を（ ）に書きましょう。</p> <p>・Step 2 下の表から災害を1つ選び、災害発生時の行動や注意事項をメモしましょう。</p> <p>・Step 3 Step 2 をもとに、災害発生時の行動について発表しましょう。</p> |
|---|---|---|---|---|--|

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
| <p>STEP 1 でまとめた内容をもとに、ユニバーサルデザインを取り入れた学校の絵をかき、ペアで伝え合しましょう。</p> <p>・STEP 3 伝え合ったことを書いてまとめよう</p> <p>1 STEP 2 で伝え合った内容をもとに、自分たちの学校に取り入れたいユニバーサルデザインについて、書いてまとめましょう。</p> <p>2 ここまでの学習をふまえて、Unit Question について、自分の考えを書きましょう。</p> <p>What design is good for everyone?</p> |  | <p>理しよう。</p> <p>Step 3 レポートを書いて、最後にひとことつけ加えよう。</p> <p>Step 4 ペアでレポートを交換し、感想を言ったり、アドバイスをしたりしよう。</p> |  | <p>落番号を表に書きましょう。</p> <p>・Write あなたが紹介したいボランティア活動について調べて、文章にまとめましょう。</p> <p>① 伝える内容を整理しよう<br/>紹介したいボランティア活動について調べた後、図表を使って情報を整理し、文章の構成を考えましょう。</p> <p>② 文章を書いて、友達と読み合おう</p> |  |
|--|--|--|--|--|--|

**【視点】④ 知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫**

**【方法】○ 複数の領域を関連付けた統合的な言語活動及び展開の具体例**

|  |   |  |   |  |   |
|--|---|--|---|--|---|
| <p>[第2学年]</p> <p>Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food</p> <p>・GOAL 自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。</p> <p>・目的・場面・状況 国際交流の授業で、カナダのバンクーバーの生徒から、ビデオレターが届きました。相手が知り</p> | <p>[第2学年]</p> <p>Our Project 4 海外でヒットするラーメンのCMを作ろう</p> <p>・GOALS <input checked="" type="checkbox"/>わかりやすい説明になるように、やさしい語句を使って説明する。<input checked="" type="checkbox"/>売り出したいラーメンの魅力伝えるために、聞き手を引きつける工夫をする。<input checked="" type="checkbox"/>CMの発表を聞いて、リアクション、コメント、質問などをする。</p> | <p>[第2学年]</p> <p>Project 1 スピーチ「My Dream」</p> <p>・SETTING 世界中の中学生が参加する「夢」をテーマにしたスピーチコンテストが開催されています。将来したいことや、夢についてスピーチをしよう。</p> | <p>[第2学年]</p> <p>Project 1 Ideas for Change</p> <p>・Goal 解決すべき課題に対し、自分たちにできる取り組みを考え、表現することができる。</p> <p>・Scene 環境問題やデザインなどについてのこれまでの学びを通じて、世のなかのさまざまな課題を解決するためにできることを考え、グループ</p> | <p>[第2学年]</p> <p>You Can Do It! ①「わが町観光プラン」をおすすめしよう</p> <p>・目的・場面・状況 あなたの学校に来週から、外国からの交換留学生がやって来ます。フィンランドからの Mika Laine と、ブラジルからの Laura Matsumoto の2人です。あなたの町の魅力を知ってもらうために、2人にぴったり</p> | <p>[第2学年]</p> <p>Project 1 Sharing Japanese Culture with the World</p> <p>・目標 日本文化について紹介する一貫性のある文章を書くことができる。<input checked="" type="checkbox"/>Scene 日本文化について紹介するパンフレットを作成し、オーストラリアの姉妹校へ送ることになりました。あなたならどんなことを紹介しますか。</p> |
|--|---|--|---|--|---|

|   |   |   |  |  |   |
|---|---|---|--|--|---|
| <p>たい情報を確認しましょう。</p> <p><b>*関連する単元</b></p> <p>Unit 0 My Spring Vacation</p> <p>Unit 1 What can we experience on a trip?</p> <p>Unit 2 What is local food?</p> <p>Unit 3 What kind of job are you interested in?</p> <p>【複数単元の学習を踏まえ、複数の領域を関連付けた統合的な言語活動に向けた展開】</p> <p>Thinking 紹介する日本食についての情報をまとめよう</p> <p>紹介する日本食を1つ選んで、<b>例</b>を参考にして項目ごとに伝える情報をまとめましょう。</p> <p>Speaking いちばん好きな日本食を紹介しよう</p> <p>①Thinkingでまとめた情報を、話すためのメモにまとめましょう。</p> <p>②グループになり、好きな日本食を発表し合ひましょう。</p> <p>PLUS [Optional Reading]</p> <p>バンクーバーの日本食レスト</p> | <p><b>*関連する単元</b></p> <p>PROGRAM 1 New Start</p> <p>PROGRAM 2 Koshien Project in Africa</p> <p>PROGRAM 3 Taste of Culture</p> <p>【複数単元の学習を踏まえ、複数の領域を関連付けた統合的な言語活動に向けた展開】</p> <p>① ある企業が海外で売り出すラーメンのアイデアを募集しています。採用を目指し、魅力的なCMを作って応募しましょう。(Listen, Read)</p> <p>1. その企業が現在売り出し中のラーメンのCMを聞きましょう。CMの中で話している3つの特長をメモしましょう。</p> <p>2. CMの台本を読みましょう。</p> <p>② CMの構想を練りましょう。(やり取り、Write)</p> <p>②1. 売り出し中のラーメンのCMの情報を確認しましょう。</p> <p>②2. 1. を参考に、売り出</p> | <p><b>*関連する単元</b></p> <p>Lesson 1 Meet New Friends</p> <p>Lesson 2 Fun with Books</p> <p>Lesson 3 My Dream</p> <p>【複数単元の学習を踏まえ、複数の領域を関連付けた統合的な言語活動に向けた展開】</p> <p>Step 1 花、陸、マークのスピーチを聞こう。(聞く活動)</p> <p>Step 2 Step 1のスピーチをもう一度聞こう。</p> <p>(1) 3人のスピーチの構成を確認しよう。</p> <p>(2) 3人が発表するときになどんな工夫をしているか、ペアやグループで話し合おう。</p> <p>Step 3 スピーチの内容を考えて、メモや原稿を作ろう。(書く活動)</p> <p>(1) 将来したいことや、夢について考えよう。</p> <p>(2) (1)で考えたことを整理し</p> | <p>で発表することになりました。</p> <p><b>*関連する単元</b></p> <p>Lesson 1 Assistance Dogs</p> <p>Lesson 2 Energy Sources for Our Future</p> <p>Lesson 3 Design Makes Change</p> <p>【複数単元の学習を踏まえ、複数の領域を関連付けた統合的な言語活動に向けた展開】</p> <p>(Listen, Read, Talk, Speak, Write)</p> <p><b>1</b> ダンが自分たちのできる取り組みについて発表しています。聞き取ったことをメモしましょう。</p> <p><b>2</b> 自分たちが関心のある問題、気になっていることを挙げてみよう。そのなかから、特に解決したい課題を選ぼう。</p> <p><b>3</b> 選んだ課題について、問題が起こる原因を考えてみよう。マッピング図 (p.43) を描いて、知っていることやイメージをつなげ、原因につい</p> | <p>の観光プランを考えましょう。</p> <p><b>*関連する単元</b></p> <p>Unit 1 Hajin' s Diary</p> <p>Unit 2 Basketball Tournament</p> <p>Unit 3 Plans for the Summer</p> <p>【複数単元の学習を踏まえ、複数の領域を関連付けた統合的な言語活動に向けた展開】</p> <p>Read</p> <p>① MikaとLaunaから自己紹介文が届きました。2人の興味・関心が見つかる部分に下線を引きましょう。</p> <p>② もう一度読んで、2人の共通点を見つけましょう。</p> <p>Write 自己紹介文の内容をふまえて、2人がいっしょに楽しむことのできる観光プランを作りましょう。</p> <p>① すずめる内容を考えよう</p> <p>2人の興味・関心をもとに、プランを考えましょう。条件は以下の3つです。</p> <p>見どころは3つ 日帰り旅行</p> | <p><b>*関連する単元</b></p> <p>Unit 1 Talent Show</p> <p>Unit 2 Festivals in the World</p> <p>Unit 3 Visiting Singapore</p> <p>【複数単元の学習を踏まえ、複数の領域を関連付けた統合的な言語活動に向けた展開】</p> <p>Step 1 (Read)</p> <p>ShoとHinaが書いた紹介文を読み、それぞれがどんなことをどのように紹介しているか確認しましょう。</p> <p>Step 2</p> <p>①紹介したい日本文化のジャンルを1つ選びましょう。</p> <p>②自分がしたい物事について、例にならって、マッピングしましょう。</p> <p>③(Write)下の表に書きたいことを英語でメモしましょう。</p> <p>④ペアになり、表を見せ合い</p> |
|---|---|---|--|--|---|

|  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|
|  | <p>ランのレビューサイト（口コミサイト）です。あなたなら、どちらのレストランに行ってみたいですか。ペアで話しましょう。</p> <p>お好み焼きの作り方が英語で紹介されているウェブページです。レシピではどんな表現が使われているかに注目して、読みましょう。</p> | <p>したいラーメンについて、グループで整理しましょう。</p> <p>③ 売り出したいラーメンのCM台本を作りましょう。(Write)</p> <p>Go! さあ、本番だ!(Speak)</p> <p>1. 自分たちが考えたラーメンのCMを発表しましょう。聞き手はコメントや質問をしましょう。</p> <p>2. 発表が終わったら、p.41のGOALSの達成度を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい説明になるように、やさしい語句を使って説明できた。</li> <li>・売り出したいラーメンの魅力を伝えるために、聞き手を引きつける工夫ができた。</li> <li>・CMの発表を聞いて、リアクションやコメント、質問などができた。</li> </ul> <p>3. 自分たちの発表を振り返ってうまくできたことやできなかったこと、ほかのグループの発表を聞いて、次回の発表に取り入れたいと思ったことを自由に書きましょう。</p> | <p>よう。</p> <p>(3) スピーチのメモや原稿を書こう。</p> <p>(4) ペアでスピーチの練習をし、気づいたことをアドバイスしよう。</p> <p>Goal スピーチ動画を撮影し、グループやクラスでシェアしよう。(話す活動(発表))</p> | <p>での考えを深めよう。</p> <p>④ 課題を解決するために、どんなことができるだろう。③で考えた原因をふまえながら、自分たちにできることを、by myself(自分自身で)、with cooperation(協力して)、with ease(やさしい)、with effort(努力がいる)の座標にあてはめて考えてみよう。</p> <p>⑤ ②で選んだ課題について、③④で考えた問題の原因や解決するためにできることを英語でまとめて、発表の原稿をつくろう。</p> <p>⑥ 発表しよう。発表が終わったら、ほかのグループが選んだ課題についても、みんなでアイデアを出し合ってみよう。</p> | <p>予算は1人3,000円まで</p> <p>② 観光プランを作ろう</p> <p>考えたプランを書きましよう。</p> <p>Extra</p> <p>作成したプランをグループで読み合い、いちばんよいと思うものを選びましよう。選んだプランを理由といっしょに、クラスのみんなに発表ましよう。</p> | <p>ましよう。表の内容について質問し合ったり、追加できそうな情報を伝え合ったりましよう。</p> <p>Step 3</p> <p>①(Write)Step 2をもとに、日本文化を紹介する文章を書きましよう。</p> <p>②(Speak)グループになり、発表ましよう。</p> |
|--|--|--|--|--|--|--|

|                       | <b>【視点】⑤ 単元に関する興味・関心を高めるための工夫</b><br><b>【方法】○ 単元の導入の工夫</b>  |   |  |   |  |  |
|-----------------------|---|---|--|---|--|--|
| 主体的に<br>学習に取り<br>組む工夫 | <p>【単元の扉（とびら）における興味・関心を高めるための工夫の具体例（2学年）】</p> <p>○Unit 1<br/>What can we experience on a trip?</p> <p>①単元の目標及び言語活動等<br/>・単元を貫く問い「Unit Question」を単元名として設定し示している。<br/>・「GOAL」として、単元の目標を示している。<br/>・単元終末の言語活動である「Unit Activity」のタイトルを示している。<br/>・目的・場面・状況を示した上で、登場人物が対話しているアニメを視聴し、問いに答える「Preview」を設定し、その一場面のイラストとともに掲載している。</p> <p>②絵・写真<br/>・単元の話題に関連する写真を複数掲載している。</p> <p>③二次元コード</p> | <p>【単元の扉（とびら）における興味・関心を高めるための工夫の具体例（2学年）】</p> <p>○PROGRAM 4<br/>Leave Only Footprints</p> <p>①単元の目標及び言語活動等<br/>・「GOALS」として、単元の各コーナーの目標を示している。<br/>・「こんな表現ができる！」として、単元を通してできるようになることをイラストとともに3つ示している。<br/>・単元のタイトルの下に、単元におけるコミュニケーションの目的・場面・状況の設定を示している。<br/>・「New Words」として、とびらで扱われる新出語を掲載している。</p> <p>②絵・写真<br/>・単元の話題に関連する写真を複数掲載している。<br/>・単元の話題に関連するSDGsのアイコンを掲載している。</p> | <p>【単元の扉（とびら）における興味・関心を高めるための工夫の具体例（2学年）】</p> <p>○Lesson 5<br/>Visiting Australia</p> <p>①単元の目標及び言語活動等<br/>・「Lesson Preview」として、単元のテーマ及び各PartにおけるSceneの一場面のイラストを示すとともに、イラストの一枚に関連する日本語の問いを、独自のキャラクターとともに吹き出しで示している。また、単元終末の言語活動である「Goal Activity」の内容を掲載ページの画像の一部とともに示している。<br/>・単元の話題に関連するとびらの写真について、英語で簡単なやり取りをする活動を設定している。また、二次元コードからアクセスすることができる「イントロダクションの動画を見る」の最後に設定された問いを示すとともに、問いに関連する日本語の問い</p> | <p>【単元の扉（とびら）における興味・関心を高めるための工夫の具体例（2学年）】</p> <p>○Lesson 6<br/>Castles and Canyons</p> <p>①単元の目標及び言語活動等<br/>・「Goal」として、単元の目標を「内容理解」と「活動」に分けて示している。<br/>・「聞く活動」として、単元で扱う話題に関連する問いを設定し、登場人物のイラストに吹き出しを付けて示している。<br/>・単元で取り組む5領域の活動のアイコンを記載している。<br/>・扉ページで扱われる新出語を掲載している。</p> <p>②絵・写真<br/>単元の話題に関連する写真を複数掲載している。</p> <p>③二次元コード<br/>「まなびリンク」の「Lesson 6</p> | <p>【単元の扉（とびら）における興味・関心を高めるための工夫の具体例（2学年）】</p> <p>○Unit 4<br/>Tour in Singapore</p> <p>①単元の目標及び言語活動等<br/>・「Goal」として、単元の目標を「Read」と「Speak」に分けて示している。<br/>単元におけるコミュニケーションの目的・場面・状況について、登場人物のイラストと台詞で示している。<br/>・ストーリーのおおまかな内容をつかむ活動として、「1. 予想する」「2. 音声を聞く」「3. 映像を見る」を設定している。<br/>・「やり取りする活動」として、題材と自分をつなげて話すSmall Talkの話題を「About You」のマークとともに示している。</p> <p>②絵・写真<br/>単元の話題に関連する写真を</p> | <p>【単元の扉（とびら）における興味・関心を高めるための工夫の具体例（2学年）】</p> <p>○Unit 3<br/>Visiting Singapore</p> <p>①単元の目標及び言語活動等<br/>・「Unit Goal」として、単元の目標を「Input」と「Output」に分けて示している。<br/>・目的・場面・状況を示した上で、扉ページの写真やイラストに関する登場人物の会話を聞いて問いに答える「聞く活動」を設定している。<br/>・「Words」として、扉ページで扱われる新出語を掲載している。</p> <p>②絵・写真<br/>単元の話題に関連する写真を複数掲載している。</p> <p>③二次元コード<br/>「扉」の「Listen 音声」「Listen スライドショー」「Words 音声」「本文アニメーション(Part 1</p> |

|  |   |  |   |   |  |
|--|---|--|---|---|--|
| <p>「Preview」の「Previewアニメ(字幕ON/字幕OFF)」、「Unitタイトル」、「写真・図版資料」を掲載したページにアクセスすることができる。</p> | <p>③二次元コード<br/>「単語アプリ」、「とびら」の「語句」、「Scenes 1～3」の「対話」「Listen」「語句」「動画」、「Tuning in」の「Listen」「動画」、「Part(本文)1～3」の「本文」「語句」、「1～3通し音声」の「本文」、「Action」の「語句」及び「英語早わかり」の「語句」「動画」を掲載したページにアクセスすることができる。</p> | <p>を、独自のキャラクターとともに吹き出しで示している。<br/>②絵・写真<br/>単元の問題に関連する写真を複数掲載している。<br/>③二次元コード<br/>「とびら」の「写真/イラストを見る」「イントロダクションの動画を見る」「Sceneのアニメーションを見る」及び「資料動画」の「資料動画を見る」を掲載したページにアクセスすることができる。</p> | <p>Words &amp; Phrases 学習シート<br/>を掲載したページにアクセスすることができる。</p> | <p>複数掲載している。<br/>③二次元コード<br/>「扉」の「Listen」「ピクチャーカード並びかえ」及び「Watch(アニメ/ドラマ)」を掲載したページにアクセスすることができる。</p> | <p>～3)及び「本文音声(Part 1～3)」を掲載したページにアクセスすることができる。</p> |
|--|---|--|---|---|--|

**【視点】⑥ 単元等における振り返りの工夫**

**【方法】○ 単元や題材など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例**

|   |   |  |   |   |   |
|---|---|--|---|---|---|
| <p><b>【単元などの学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</b><br/>○各単元末の「Unit Activity」の「STEP 3」に「Unit Question」を設定し、自分の考えを書くとともに、「CHECK」において、4段階の振り返りを設定している。<br/>(復習単元Unit 0を除く)<br/>○「Stage Activity」に「CHECK」を設定し、4段階で振り返りを</p> | <p><b>【単元などの学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</b><br/>○各単元内の「Scenes for Basic Dialogs」「Review &amp; Retell」及び「Action」の「できたかな? GOAL」において、3段階の振り返りを設定している。<br/>○「Our Project」の「Go! さあ、本番だ!」の「GOALSの達成度を振り返りましょう。」に</p> | <p><b>【単元などの学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</b><br/>○各単元末の「Goal Activity」の「ふり返り」において、2項目について振り返りを設定している。<br/>○「Project」の「ふり返り」において、2項目について振り返りを設定している。<br/><b>【具体例】</b></p> | <p><b>【単元などの学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</b><br/>○各単元末の「Lesson○をふり返ろう」において、「内容理解」と「活動」について4段階の振り返りを設定している。<br/>(復習単元 Review Lessonを除く)<br/>○「Project」の「Project○をふり返ろう」において、</p> | <p><b>【単元などの学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</b><br/>○各単元末の「Goal ふり返り」において、2項目について振り返りを設定している。<br/>○「You Can Do It!」の「Goal 学期のふり返り」において、4段階の振り返りを設定している。<br/><b>【具体例】</b></p> | <p><b>【単元などの学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</b><br/>○各単元末の「Check」において、「Input」と「Output」について4段階の振り返りを設定している。<br/><b>【具体例】</b><br/>○Unit 1 Trick Your Eyes with Art<br/>Check</p> |
|---|---|--|---|---|---|

|  |   |   |   |   |  |
|--|---|---|---|---|--|
| <p>行うとともに、巻末口絵「CAN-DO リスト」で各 Stage の学習について、領域ごとに 4 段階で振り返りを行う。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○ Unit 1 What is special about Japanese pop culture? Unit Question</p> <p>・ What is special about Japanese pop culture?</p> <p>CHECK</p> <p>・日本のポップカルチャーの魅力を伝えることができましたか。</p> <p>○ Stage Activity 1 Discover Japan</p> <p>CHECK</p> <p>・日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができましたか。</p> <p>「CAN DO CHECK Stage 1 (pp. 6-49)」</p> <p>・これまでの学習をふり返ろう</p> <p>▶巻末口絵 CAN-DO リスト</p> <p>Stage 1 は p. 49 までです。p. 49 までの学習を終えたら、巻末にある CAN-DO リストで学習をふり返りましょう。</p> | <p>において、3 項目について 3 段階の振り返りを設定している。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○ PROGRAM 1 Japanese Bentos Are Interesting! Scenes for Basic Dialogs できたかな? GOAL</p> <p>・自分がしてほしいことや好きなことについて伝え合えた。</p> <p>Review &amp; Retell できたかな? GOAL</p> <p>・日本の弁当文化について理解し、伝えられた。</p> <p>Action できたかな? GOAL</p> <p>・生徒の希望に沿ったオリジナルの弁当を提案できた。</p> <p>○ Our Project 7 パラスポーツについて知ろう</p> <p>Go! さあ、本番だ!</p> <p>2. ポスターセッションを終えたら、p. 43 の GOALS の達成度を振り返りましょう。</p> <p>・目線や声の大きさ、表情を意識しながらやり取りできた。</p> <p>・[訪問者]積極的に説明者へ</p> | <p>○ Lesson 1 Join Us</p> <p>ふり返り</p> <p>・詳しい説明をつけ加えて、夢中になっていることの魅力を伝えることができた。</p> <p>・聞き手を意識しながら、夢中になっていることについて話そうとした。</p> <p>○ Project 1 旅行プランの提案</p> <p>ふり返り</p> <p>・読んだことに基づき、引用するなどして、旅行プランを提案することができた。</p> <p>・聞き手を意識しながら、旅行プランを提案しようとした。</p> | <p>「Goal」の達成度について 4 段階の振り返りを設定している。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>○ Lesson 1 Aya's Homestay in Vancouver</p> <p>Lesson 1 をふり返ろう</p> <p>どのくらい達成できたか、右側のマークを選んでなぞろう。</p> <p>内容理解</p> <p>・アヤがバンクーバーでしたことや知ったことを理解する。</p> <p>活動</p> <p>・相手が経験したことをまじえて、クラスに紹介することができる。</p> <p>○ Project 1 The Best Product Ever</p> <p>Project 1 をふり返ろう</p> <p>・Goal をどれくらい達成できたか、右のマークを選んでなぞろう。</p> | <p>○ Unit 1 Virtual Safari Tour</p> <p>Goal 振り返り</p> <p>・記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>→ CAN DO List (R-1)</p> <p>・記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することができる。</p> <p>→ CAN DO List (SP-3)</p> <p>○ You Can Do It! 1 学校生活について意見をまとめよう</p> <p>Goal 学期の振り返り</p> <p>・話し合いの中で意見をまとめることができるかな。</p> <p>→ CAN-DO List (R-2) (SI-3)</p> | <p>Input</p> <p>・絵についてのやり取りや説明を読んで、話の大概かな内容や説明の要点を捉えることができる。</p> <p>Output</p> <p>・自分の好きな美術作品について、気に入っている点やその理由などを聞き手に分かりやすい表現で発表することができる。</p> |
|--|---|---|---|---|--|

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  | 質問をし、多くの情報を引き出せた。<br>・[説明者]訪問者が理解できるように、具体的に説明できた。 |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|

|             |   |  |  |  |  |  |
|-------------|---|--|--|--|--|--|
| 内容の構成・配列・分量 | <b>【視点】⑦ 単元の構成・配列の工夫</b><br><b>【方法】○ 総ページ数、総単元数及び領域別言語活動数（第3学年）</b>   |  |  |  |  |  |
|             | ○総ページ数 158<br>○総単元数 7<br>○領域別言語活動数<br>（4技能5領域の活動を示すマークの数）<br>・聞くこと 13<br>・読むこと 37<br>・話すこと[やり取り] 26<br>・話すこと[発表] 19<br>・書くこと 26   | ○総ページ数 166<br>○総単元数 7<br>○領域別言語活動数<br>（4技能5領域の活動を示すマークの数）<br>・聞くこと 54<br>・読むこと 38<br>・話すこと[やり取り] 43<br>・話すこと[発表] 7<br>・書くこと 38                     | ○総ページ数 172<br>○総単元数 8<br>○領域別言語活動数<br>（4技能5領域の活動を示すマークの数）<br>・聞くこと 57<br>・読むこと 34<br>・話すこと[やり取り] 21<br>・話すこと[発表] 13<br>・書くこと 27  | ○総ページ数 182<br>○総単元数 7<br>○領域別言語活動数<br>（4技能5領域の活動を示すマークの数）<br>・聞くこと 29<br>・読むこと 19<br>・話すこと[やり取り] 21<br>・話すこと[発表] 21<br>・書くこと 13                                      | ○総ページ数 194<br>○総単元数 8<br>○領域別言語活動数<br>（4技能5領域の活動を示すマークの数）<br>・聞くこと 58<br>・読むこと 35<br>・話すこと[やり取り] 33<br>・話すこと[発表] 15<br>・書くこと 28  | ○総ページ数 154<br>○総単元数 6<br>○領域別言語活動数<br>（4技能5領域の活動を示すマークの数）<br>・聞くこと 60<br>・読むこと 37<br>・話すこと[やり取り] 32<br>・話すこと[発表] 14<br>・書くこと 46                |
|             | <b>【視点】⑧ 小学校外国語科との接続を図った単元等の構成・配列</b><br><b>【方法】○ 小学校外国語科との接続を図った単元等の構成・配列及び具体例</b>   |  |  |  |  |  |
|             | <b>【小学校外国語科との接続と図った単元等の構成・配列】</b><br>○Unit 0～4<br>○Stage Activity 1<br>○Sounds and Letters 0～4<br>○夏休みの特集<br><b>【具体例（第1学年）】</b><br>○ Sounds and Letters 0 英語の音と文字<br>・アルファベットの名前と音を | <b>【小学校外国語科との接続と図った単元等の構成・配列】</b><br>○ Get Ready 1～6及び番外編<br>○ 各単元の「Scenes」<br><b>【具体例（第1学年）】</b><br>○ Get Ready 5 アルファベットを確認しよう<br>1. 英語を聞いて、アルファ | <b>【小学校外国語科との接続と図った単元等の構成・配列】</b><br>○ Starter 1～6<br>○ My Dictionary<br>○ Lesson 1～4<br>○ Words & Sounds 1, 2<br><b>【具体例（第1学年）】</b><br>○ Starter 5 英語の音と文字を確認しよう！<br>やってみよう | <b>【小学校外国語科との接続と図った単元等の構成・配列】</b><br>○ Springboard 1～6<br>○ Lesson 1～Lesson 3 Part 1<br><b>【具体例（第1学年）】</b><br>○ Springboard 4 アルファベットに親しもう<br>・英語を聞いて、聞こえた単語の絵を指さそう。 | <b>【小学校外国語科との接続と図った単元等の構成・配列】</b><br>○ Let' s Be Friends! 1～8<br>○ Sounds and Letters 1～4<br>○ Unit 1～3<br><b>【具体例（第1学年）】</b><br>○ Let' s Be Friends! 8 アルファベットを確かめよう<br>①音声に合わせて、アルファ | <b>【小学校外国語科との接続と図った単元等の構成・配列】</b><br>○ Let' s Start 1～3<br>○ Unit 1～5<br><b>【具体例（第1学年）】</b><br>○ Let' s Start 3 英語の文字と音を確認しよう<br>目標 英語の文字の名前と音 |

|  |   |   |   |   |  |
|--|---|---|---|---|--|
| <p>確認しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み方のちがいを確認しよう</li> <li>・単語の中の音を聞き取ろう</li> <li>・単語を読もう</li> </ul> <p>○ Sounds and Letters 1 2字<br/>1音・母音時の名前読み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットが表す音を確認しよう・1</li> <li>・単語を読もう</li> <li>・アルファベットが表す音を確認しよう・2</li> <li>・単語を書こう</li> </ul> <p>○ Sounds and Letters 2 さまざまな母音①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットが表す音を確認しよう・1</li> <li>・単語を読んだり書いたりしよう</li> <li>・アルファベットが表す音を確認しよう・2</li> <li>・単語を読もう</li> <li>・文を読もう</li> </ul> <p>○ Sounds and Letters 3 さまざまな母音②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットが表す音を確認しよう</li> <li>・単語を読んだり書いたりしよう</li> <li>・文を読もう</li> </ul> | <p>ベットの名前読み、音読み、単語の発音を確認しましょう。</p> <p>2. 英語を聞いて、読まれたものを絵の中から探して指さしましょう。</p> <p>3. 対話を聞いて、ベンの友だちやペット、好きな歌手の名前を書き取りましょう。</p> <p>4. 音声を聞いて、下線部を表す文字を書きましょう。</p> <p>※巻末資料に「6 英語の音声」及び「7 英語のつづり字と発音」を掲載している。</p> | <p>1 聞こえてきた文字や単語を指でさそう。</p> <p>2 絵の中に、それぞれの文字から始まる単語がかくれているよ。全部見つけられるかな。</p> <p>Sounds</p> <p>1 音声を聞いて、○に入る文字を上から探して指でさそう。</p> <p>2 上の単語の下線部と音が同じものにチェックしよう。</p> <p>※資料に「Sounds つづりと発音」を掲載している。</p> | <p>○ Springboard 5 音と文字をつなげよう</p> <p>1 どちらの文字で始まる単語か、英語を聞いてあてはまる文字の書かれた<b>実</b>に○をつけよう。</p> <p>2 音声を聞いて、□にあてはまる文字を線で結ぼう。</p> <p>3 音声を聞いて、読まれた文字に○をつけよう。</p> <p>4 ビンゴ・ゲームをしよう。</p> <p>まず、AまたはBのカードを選んで、記号を○で囲もう。次に、音声を聞いて、選んだカードの中の単語に○をつけていこう。</p> <p>※巻末資料に「つづりと発音～基本的なつづりと発音の関係覚えよう～」を掲載している。</p> | <p>ベットジングルを言いましょ</p> <p>う。</p> <p>②英語を聞いて、単語が表すものを絵の中から探して指さしましょう。</p> <p>③友達や先生と名前のつづりをたずね合って、書きましょ</p> <p>う。</p> <p>④音声を聞いて、それぞれの単語の初めの文字を書きましょ</p> <p>う。</p> <p>○ Sounds and Letters</p> <p>1 子音字 単語の初めの音を意識しよう</p> <p>Step 1 音に合わせて、くり返しましょ</p> <p>う。</p> <p>Step 2 音を聞いて、どちらの文字か選びましょ</p> <p>う。</p> <p>Step 3 つづりを見て、声に出して読みましょ</p> <p>う。</p> <p>Check 音を聞いて初めの文字を書き、声に出して読みましょ</p> <p>う。</p> <p>Extra 英文を聞いてまねして</p> <p>ましょ</p> <p>う。</p> <p>2 母音字単語の真ん中の音を意識しよう</p> <p>Step 1 音に合わせて、くり返しましょ</p> <p>う。</p> | <p>や発音とつづりについて聞き取ったり、発音したりすることができる。</p> <p>1 A～Zの文字の名前を聞きながら、文字を指差しましょ</p> <p>う。次に、あとについて言ってみましょ</p> <p>う。</p> <p>2 A～Zの文字の歌を聞いて</p> <p>ましょ</p> <p>う。次に、一緒に歌ってみましょ</p> <p>う。</p> <p>3 A～Zの文字の表す音</p> <p>を聞いてましょ</p> <p>う。次に、あとについて言ってみましょ</p> <p>う。</p> <p>4 英語の音声を聞いて、あとについて言ってみましょ</p> <p>う。</p> <p>5 文字の形に気を付けて音声を聞いて、文字を指で指しましょ</p> <p>う。</p> <p>6 (1)～(5)の文字の音と名前を聞いてましょ</p> <p>う。次にあとについて言ってみましょ</p> <p>う。</p> <p>7 単語を聞いて、□の中に共通して入る文字を書きましょ</p> <p>う。</p> <p>8 単語を聞いて、読まれたほうに☑をつけましょ</p> <p>う。</p> <p>9 同じ文字の音の違いに注意して聞き、発音してましょ</p> <p>う。</p> |
|--|---|---|---|---|--|

|  |  |  |  |  |   |   |
|--|--|--|--|--|---|---|
|  | <p>○ Sounds and Letters 4 音と文字のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語を読んだり書いたりしよう</li> <li>・文を読もう</li> </ul> <p>※資料編に「英語の音と文字」を掲載している。</p> |  |  |  | <p>Step 2 音を聞いて、どちらの文字か選びましょう。</p> <p>Step 3 つづりを見て、声に出して読みましょう。</p> <p>Check 英文を聞いて、読まれた単語に○を付けましょう。</p> <p>虫がいる場所はわかるかな。</p> <p>Let's Try!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語を読んで、合う絵を探しましょう。</li> </ul> <p>Try More!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>あ</b>と<b>あ</b>を分けて言ってみよう。その後、つなげて言ってみよう。</li> <li>・右の単語を読んで、左側から合う絵を探しましょう。</li> <li>・点線を山折りにして、左のページに重ねましょう。単語を読んで、右側から合う絵を探しましょう。</li> </ul> <p>Try More!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>あ</b>や<b>あ</b>を入れ替えて、別の単語を作ってみよう。</li> </ul> <p>3 母音字の異なる読み方</p> <p>Step 1 音に合わせて、くり返しましょう。</p> <p>Step 2 音を聞いて、各組の中で下線部の発音が異なるものに✓を付けましょう。</p> | <p>よう。</p> <p>10 次の①～⑦は2つの文字で1つの音を表します。音声を聞いて発音してみましよう。</p> |
|--|--|--|--|--|---|---|

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  | <p>Step 3 つづりを見て、声に出して読みましょう。</p> <p>Check 絵に合う母音字を書き、音の違いに注意して声に出して読みましょう。</p> <p>4 2文字の子音字</p> <p>Step 1 音に合わせて、くり返しましょう。</p> <p>Step 2 つづりを見て、声に出して読みましょう。</p> <p>Check 音を聞いて初めの2文字を書き、声に出して読みましょう。</p> |
|--|--|--|--|--|--|

|          |  |  |  |   |  |  |
|----------|--|--|--|---|--|--|
| 内容の表現・表記 | <p><b>【視点】⑨ 巻末資料、付録等の工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 巻末資料、付録及びデジタルコンテンツの内容</b></p>  |  |  |   |  |  |
|          | <p><b>【巻末資料及び付録の内容】</b></p> <p>○ 「資料編」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> <p>1 Word List</p> <p>2 Word Room(ジャンル別の補充単語・表現集)</p> <p>3 英語の音と文字</p> <p>4 ローマ字(ヘボン式)の書き方</p> <p>5 フォント(書体)の種類</p> <p>6 手紙やカードの書き方</p> <p>7 Key Sentences・Key Expressions 一覧</p> <p>○ 「巻末付録」として、次の</p> | <p><b>【巻末資料及び付録の内容】</b></p> <p>○ 「Word Web」を掲載している(第1学年)。</p> <p>○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> <p>1 辞書の使い方</p> <p>2 英語の書体</p> <p>3 クイック Q&amp;A</p> <p>4 ローマ字(ヘボン式)</p> <p>5 不規則動詞活用表</p> <p>6 英語の音声</p> <p>7 英語のつづり字と発音</p> <p>8 単語と熟語</p> | <p><b>【巻末資料及び付録の内容】</b></p> <p>○ 「For Self-study」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> <p>1 中学校で学ぶこと</p> <p>2 単語の意味の調べ方</p> <p>3 使える単語を増やそう</p> <p>4 音読のコツ</p> <p>5 日本語から英語へ</p> <p>Plus 二次元コードの使い方</p> <p>○ 「資料」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> <p>・Classroom English</p> <p>・Further Reading 1</p> | <p><b>【巻末資料及び付録の内容】</b></p> <p>○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> <p>・語形変化のまとめ</p> <p>・不規則動詞変化表</p> <p>・重要構文復習リスト</p> <p>・Think &amp; Try! 活動例</p> <p>・分野別用語集</p> <p>・Word List</p> <p>・つづりと発音</p> <p>・Can-Do 自己チェックリスト</p> <p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> | <p><b>【巻末資料及び付録の内容】</b></p> <p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> <p>・英語の学び方ガイド</p> <p>・英語の文字・文の書き方</p> <p>・ローマ字表</p> <p>・英語のしくみ</p> <p>・Word List</p> <p>・Unit1-3 本文の全文</p> <p>・基本文のまとめ</p> <p>・CAN-DO List</p> <p>・思考の地図</p> <p>○ 「付録」として、次の資料</p> | <p><b>【巻末資料及び付録の内容】</b></p> <p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> <p>・Listening Script</p> <p>・発音とつづり</p> <p>・基本文のまとめ</p> <p>・ローマ字表</p> <p>・筆記体</p> <p>・Word Box</p> <p>・Word List</p> <p>・CAN-DO List</p> <p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している(第1学年)。</p> |

|   |   |  |   |   |  |
|---|---|--|---|---|--|
| <p>資料を掲載している（第1学年）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>My Diary（絵日記を書こう）</li> <li>帯活動用 Small Talk 即興で伝え合おう</li> <li>語順カード</li> <li>CAN-DO リスト</li> </ul>  | <p>9 CAN-DO リスト</p> <p>10 Small Talk 表現集</p> <p>11 アクションカード①～④</p> <p>12 Small Talk の流れ</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>Further Reading 2</li> <li>ローマ字表【ヘボン式】</li> <li>英語の文字</li> <li>Sounds</li> <li>基本文のまとめ</li> <li>Audio Scripts</li> <li>不規則動詞活用表</li> <li>いろいろな単語</li> <li>単語の意味</li> <li>Tips for Small Talk</li> <li>Role-play Sheet</li> <li>What Can I Do?</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>Classroom English</li> <li>ローマ字表+英語の書き方のルール</li> <li>辞書の使い方</li> <li>How to Study</li> <li>Sing Along! ①</li> <li>Sing Along! ②</li> <li>前置詞のまとめ</li> <li>効果的な英語学習法</li> </ul>   | <p>を掲載している（第1学年）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>World Tour</li> <li>1 世界の中学生①</li> <li>2 世界の中学生②</li> <li>Let's Read More My Japanese Lessons</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>文の書き方</li> <li>Classroom English</li> <li>英語の学び方 ①英和辞典の引き方</li> <li>②英語を音読するコツ</li> <li>Sing a Song</li> <li>①Hello, Goodbye</li> <li>②Sailing</li> <li>③Yesterday Once More</li> </ul>   |
| <p>【最終単元におけるデジタルコンテンツの内容】</p> <p>Unit 10 The Year's Memories</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Preview</li> <li>Preview アニメ（字幕 ON）</li> <li>Preview アニメ（字幕 OFF）</li> <li>Unit タイトル</li> <li>写真・図版資料</li> <li>Part 1、2 及び Read and Think</li> <li>Before You Read ※Read and Think のみ</li> <li>語句（音声）</li> <li>語句（クイズ）</li> <li>本文</li> <li>Key Sentences（解説動画）</li> <li>Key Sentences（クイズ）</li> </ul> | <p>【最終単元におけるデジタルコンテンツの内容】</p> <p>PROGRAM 10 Grandma Baba's Warming Ideas!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とびら</li> <li>語句</li> <li>Scenes 1～3</li> <li>対話</li> <li>Listen</li> <li>語句</li> <li>動画</li> <li>Part（本文）1～3</li> <li>本文</li> <li>語句</li> <li>Part 1～3 通し音声</li> <li>Action</li> <li>Listen</li> </ul> | <p>【最終単元におけるデジタルコンテンツの内容】</p> <p>Lesson 9 Emergency Food</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson 9 とびら</li> <li>とびら：写真/イラストを見る</li> <li>イントロダクションの動画を見る</li> <li>Scene のアニメーションを見る</li> <li>資料動画：資料動画を見る</li> <li>Lesson 9 Part 1 及び 2</li> <li>Scene 1：アニメーションを見る</li> <li>音声を聞く</li> <li>Scene 2：アニメーションを見る</li> </ul> | <p>【最終単元におけるデジタルコンテンツの内容】</p> <p>Lesson 9 A Better World for Everyone</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson 9 扉ページ</li> <li>Words &amp; Phrases 学習シート</li> <li>Lesson 9 Part 1～3</li> <li>本文音声</li> <li>Lesson 9 Grammar：Let's Use 活動用動画</li> <li>Lesson 9 Grammar:Let's Use</li> </ul> | <p>【最終単元におけるデジタルコンテンツの内容】</p> <p>Unit 8 Getting Ready for the Party</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>扉</li> <li>Listen</li> <li>ピクチャーカード並べかえ</li> <li>Watch（アニメ/ドラマ）</li> <li>Part 1～3</li> <li>Listen and Read</li> <li>Listen</li> <li>Eri and Kota と学ぶ基本文</li> <li>Extra Story ※Part 3 のみ</li> <li>Goal</li> <li>Listen</li> </ul> | <p>【最終単元におけるデジタルコンテンツの内容】</p> <p>Unit 10 Plastic Waste</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Unit 10、扉</li> <li>Listen 音声</li> <li>Listen スライドショー</li> <li>Words 音声</li> <li>本文アニメーション（Part1～3）</li> <li>本文音声（Part 1～3）</li> <li>Unit 10、Part 1～3</li> <li>本文音声</li> <li>本文アニメーション</li> <li>Words 音声</li> <li>Target の解説動画</li> <li>Listen 音声</li> <li>Unit 10、Think &amp; Speak</li> </ul> |

|   |  |   |  |  |   |
|---|--|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Tool Box ※Part 1のみ</li> <li>○ Unit Activity</li> <li>・ 思考ツール</li> <li>・ Tool Box</li> <li>○ 本文全文読み</li> <li>・ 本文全文読み</li> <li>○ 単語・用例などの活動用資料</li> <li>・ Word Room</li> <li>・ NEW HORIZON 用例辞典</li> <li>・ Digital Map</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語早わかり</li> <li>・ 語句</li> <li>・ 動画</li> <li>○ 単語アプリ</li> <li>※全 PROGRAM 共通</li> </ul> | <p>音声を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ New Words : 単語を確認する</li> </ul> <p>単語を練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Check : 文法解説動画を見る</li> </ul> <p>基本文を練習する① (肯定文)</p> <p>基本文を練習する② (疑問文)</p> <p>基本文を練習する③ (否定文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 9 Goal Activity</li> <li>・ Reading : 音声を聞く</li> <li>・ New Words : 単語を確認する</li> </ul> <p>単語を練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英和辞典 ※全 Lesson 共通</li> <li>○ 発音チェック ※全 Lesson 共通</li> </ul> |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Step 1 音声</li> <li>・ Words 音声</li> </ul> |
|---|--|---|--|--|---|

**【視点】⑩ 学習到達目標の設定**

**【方法】** ○ 学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定及び具体例

|   |  |  |   |   |  |
|---|--|--|---|---|--|
| <p><b>【学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末絵「学習を振り返ろう -CAN-DO リスト-</li> <li>・ 学年ごとに領域別学習到達目標を1文で設定している。</li> <li>・ 当該学年の領域別学習到達目標を「Stage」ごとに1文で設定している。</li> <li>・ 領域別及び「Stage」ごとの振り返りを4段階で設定している。</li> </ul> | <p><b>【学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末資料8「CAN-DO リスト」</li> <li>当該学年の領域別学習到達目標を2～3項目設定している。</li> <li>・ 単元ごとに領域別学習到達目標を3項目設定している。</li> <li>・ 各単元に設定した「できること」について、領域別の振り返りを3段階で設定している。</li> </ul> | <p><b>【学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料「What Can I do 英語の学習にCan-Do リストを活用しよう。</li> <li>・ 学年ごとに領域別学習到達目標を1文で設定している。</li> <li>・ 当該学年の領域別学習到達目標を2～3項目設定している。</li> <li>・ 当該学年でできるようになったことについて、領域別の</li> </ul> | <p><b>【学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末資料「Can-Do 自己チェック」</li> <li>・ 学年ごとに領域別学習到達目標を2～3項目設定している。</li> <li>・ 「2年学習到達目標」について、領域別の振り返りを4段階で設定している。</li> <li>・ 巻頭において生徒自身が設定した1年間の目標である「あなた自身の目標」につい</li> </ul> | <p><b>【学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末付録「CAN-DO List」</li> <li>・ 当該学年及び第3学年の学習到達目標を1文で設定している。</li> <li>・ 当該学年の領域別学習到達目標を2～3項目設定している。</li> <li>・ 「You Can Do It!」ごとに学習到達目標を1文で設定している。</li> <li>・ 「You Can Do It!」ごとに、</li> </ul> | <p><b>【学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末付録「CAN-DO List」</li> <li>・ 当該学年の領域別学習到達目標を3項目設定している。</li> <li>・ 「2年生の学習到達目標」について、領域別の振り返りを4段階で設定している。</li> </ul> |
|---|--|--|---|---|--|

|  |  |   |   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|---|---|
|  |  |   | 振り返りを4段階で設定している。  | て、振り返りを4段階で設定している。  | 領域別の振り返りを4段階で設定している。また、「2年の自己評価」として、領域別の振り返りを4段階で設定している。  |   |
|  | <p>【「書くこと」の領域における学習到達目標の具体例】</p> <p>○ Stage 1</p> <p>自分のことについて知ってもらうために、経験や予定、将来の夢などについて電子メールや手紙などの形で意見や理由などを加えて書くことができる。</p> <p>○Stage 2</p> <p>興味のある話題や人気があるものなどについて紹介するために、その情報を整理してまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>○Stage 3</p> <p>身近な街や有名な場所などについて紹介するために、その場所の特徴について説明するまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>○2学年末</p> <p>興味がある話題や場所について紹介するために、その情報や</p> | <p>【「書くこと」の領域における学習到達目標の具体例】</p> <p>○2年生の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを整理できる。</li> <li>・簡単な表現を使って正確に書くことができる。</li> <li>・簡単な表現を使って、まとまりのある文章を書くことができる。</li> </ul> <p>○PROGRAM 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週末の予定について書ける</li> <li>・次の日曜日にしようと思うことについて書ける</li> <li>・この前の日曜日に楽しんだことについて書ける</li> </ul> <p>○PROGRAM 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や相手の考えについて書ける</li> <li>・暇なときにすることなどについて書ける</li> <li>・晴れ[雨]だったらすることなどについて書ける</li> </ul> <p>○PROGRAM 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・したいことについて書ける</li> </ul> | <p>【「書くこと」の領域における学習到達目標の具体例】</p> <p>○中学2年</p> <p>日常な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>○2年の学びをふり返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常な話題について、事実や自分の考えを整理して、(おすすめの本やおみやげなどの)紹介文を書くことができる。</li> <li>・社会的な話題について、事実や自分の考えなどを整理して、解決策を提案する文を書くことができる。</li> </ul> | <p>【「書くこと」の領域における学習到達目標の具体例】</p> <p>○2学年学習到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①調べたことや自分の考えを整理して、まとまりのあるスピーチ原稿を書くことができる。</li> <li>②自分の経験や感想を、読み手にわかりやすく書くことができる。</li> <li>③教科書の文章に、自分で考えた英文を加えて書き、話を発展させることができる。</li> </ul> <p>○あなた自身の目標</p> <p>表見返し書いたことにチャレンジすることができた。</p> | <p>【「書くこと」の領域における学習到達目標の具体例】</p> <p>○2年の目標</p> <p>自分の町や地域、日本の文化などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。</p> <p>○領域別の到達目標(CAN-DO)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことや興味のあることについて、教科書や辞書などを参考にして、正確に書くことができる。</li> <li>・日常な話題について、事実や気持ちを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。</li> </ul> <p>○You Can Do It!の学習到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手にあったプランを提案することができる</li> <li>・自分の意見や考えを伝えることができる</li> <li>・説明や描写をすることができる</li> </ul> | <p>【「書くこと」の領域における学習到達目標の具体例】</p> <p>○2年生の学習到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 関心のある事柄について、自分の考えや伝えたい内容を正確に書くことができる。</li> <li>2 日常な話題について、事実や自分の考えを整理して、構成を考えながらまとまりのあるメールや紹介文を書くことができる。</li> <li>3 社会的な話題について聞いたり読んだりして把握した内容を、短い文章にまとめて書くことができる。</li> </ol> |

|  |  |   |  |  |  |  |
|--|--|---|--|--|--|--|
|  | <p>気持ちなどを整理して説明するまとまりのある文章を書くことができる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的について書ける</li> <li>・何をするためのものなのかについて書ける</li> </ul> <p>○PROGRAM 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしいと思うことについて書ける</li> <li>・しなければならないこと／してはいけないことについて書ける</li> <li>・しなければいけないこと／する必要がないことについて書ける</li> </ul> <p>○PROGRAM 5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かの仕方について書ける</li> <li>・相手の様子について書ける</li> <li>・だれかに何かを（して）あげることについて書ける</li> </ul> <p>○PROGRAM 6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのものを比べた内容について書ける</li> <li>・いちばん程度の高いものについて書ける</li> <li>・同じ程度のものを比べた内容について書ける</li> </ul> <p>○PROGRAM 7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのうち、より好きな方について書ける</li> <li>・もっとも好きなものについて書ける</li> </ul> |  |  |  |  |
|--|--|---|--|--|--|--|

|  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かの仕方を教える内容について書ける</li> <li>○PROGRAM 8</li> <li>・売られているものなどについて書ける</li> <li>・だれかによってされたものについて書ける</li> <li>・ものの原料などについて書ける</li> </ul> |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|

※ すべての発行者について調査研究を行い、番号順に記載する。

## 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

|     |    |                    |            |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種  | 教科 | 教科用図書目録に登載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 中学校 | 道徳 | 7                  | 8          |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者<br>観点     | 2 東書  | 17 教出   | 38 光村  | 116 日文  | 224 学研   | 232 あか図   | 233 日科   |
|---------------|---|---|--|---|--|---|--|
| 知識及び<br>技能の習得 | <p><b>【視点】① 道徳科の学び方等の示し方</b><br/> <b>【方法】○ オリエンテーションのタイトル、示し方及び記載例</b></p>  |   |  |   |  |   |  |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションのタイトルは、「1年間で学ぶこと」とし、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目を示す言葉と教材等を見開き2ページで示している。</li> <li>・3つの学習の流れ等「①気づく」「②考える」「③深める・広げる」をイラストや吹き出しとともに見開き2ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションのタイトルは、「さあ、道徳を始めよう!」とし、「どうやって学ぶの?」に、4つの学習の流れ等をイラストや吹き出しとともに見開き1ページで示している。</li> <li>・道徳科で考えていきたい7つのテーマを教材名等とともに1ページに示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳の学習を始めよう」とし、「本書で学ぶ皆さんへ」に、道徳を学ぶ3つのポイントをイラストとともに見開き2ページで示している。</li> <li>・「道徳で学ぶ22のキーワード」に、4つの視点ごとの1年間で学ぶ内容項目をイラスト等とともに見開き2ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳科での学びを始めよう!」とし、「どんなことをするの?」に、道徳科についてイラストや吹き出しを使って1ページで示している。</li> <li>・「ミニ教材で考えてみよう」に、3つの学習の流れ等をイラストや吹き出しとともに見開き2ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションのタイトルは、「さまざまなテーマで学ぼう」とし、13個のテーマをイラストや写真等とともに見開き2ページで示している。</li> <li>・「よりよく生きるための22の鍵」に4つの視点ごとの1年間で学ぶ内容項目や教材名等を見開き2ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」とし、4つの視点ごとの1年間で学ぶ内容項目をマークとともに見開き2ページで示している。</li> <li>・道徳科について、「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「自分の生き方を考える」の3つをイラスト</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションのタイトルは、「さまざまなテーマから考えを深めよう」とし、テーマを8個、教材名等とともに見開き2ページで示している。</li> <li>・道徳科について、「自分の考え、意見を言おう」「友達の考え、意見をしっかり聞こう」「自分と違う考え、意見も認め、きちんと聞こう」の3つをイラスト</li> </ul> |

|           |   |   |  |  |   |   |  |
|-----------|---|---|--|--|---|---|--|
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載例として「演じて考えよう」「問題を見つけて考えよう」と示している。【1年P4～5】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載例として「①考えたいことは何かを見つけよう。」「②自分の考えをもとう。」と示している。【1年P5】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載例として「ポイント1答えは一つではない」と示している。【1年P7】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載例として「道徳科では、「よりよく生きる」ために大切なことについて、みんなで考え合います。」と示している。【1年P4】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載例として「見つけよう(教材と出会う)」と示している。【1年P9】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>とともに見開き2ページで示している。</li> <li>・記載例として「教材の主人公や登場人物と自分を重ねたり、比べたりしてみよう」と示している。【1年P2】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>き2ページで示している。</li> <li>・記載例として「「よりよい在り方」に「正解」はありません」と示している。【1年P4～5】</li> </ul>                             |
|           | <p><b>【視点】② 発問の示し方</b></p> <p><b>【方法】○ 学年、数、記載箇所及び発問</b></p>  |   |  |  |   |   |  |
| 知識及び技能の習得 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問は、教材文の終わりの「考えてみよう」「見つけよう」のコーナーにイラストとともに2～3つ示している。</li> <li>・3年生「二通の手紙」では、「元さんは二通の手紙を机に並べて、どのようなことを考えていたろう。」「社会の中で規則や決まりを</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問は、冒頭の教材名の下に1つ、また教材文の終わりに「学びの道しるべ」として、3つ示している。</li> <li>・3年生「二通の手紙」では、「元さんが晴れ晴れとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていたのはなぜだろう。」「姉弟を入園</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問は、教材文の終わりの「考えよう」のコーナーに、イラストとともに1～4つ示している。</li> <li>・3年生「二通の手紙」では、「規則は、何のためにあるのだろう。」「元さんが、規則を知っていながら姉弟を動物園の中に入れたのは、ど</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問は、教材文の終わりから教材文に続く「考えてみよう」「自分に+1」のコーナー2つ示している。</li> <li>・3年生「二通の手紙」では、「二通の手紙を見比べて元さんが、この年になって初めて考えさせられたこととは、どんなことだろう。」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問は、教材文の終わりの「考えよう」のコーナーに、マークとともに2つ示している。</li> <li>・3年生「二通の手紙」では、「二通の手紙に、元さんが考えさせられたことは何だろう。」「この話から、どのようなことを自分に生か</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問は、教材文の終わりの「いろいろな見方で考える」「自分を見つめて考える」「考えを深める」のコーナーに2つ示している。</li> <li>・3年生「二通の手紙」では、「元さんや佐々木さんの変化について考えよう。」「元さんが「この年になって初めて考えさせられること」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問は、教材文の終わりに2～3つ示している。</li> <li>・2年生「二通の手紙」では、「なぜ元さんは潔く職場を去ったのだろうか。」「きまりを守ることについて、お互いに考えを出し合っ</li> </ul> |

|                        |   |   |  |   |   |   |  |
|------------------------|---|---|--|---|---|---|--|
|                        | <p>守ることが大切なのは、どうしてだろう。」「決まりは、何のためにあるのだろう。」の3つを示している。<br/>【3年 P17】</p> | <p>させた元さんの判断を、あなたは どう思うだろうか。」「きまりや法は、なんのためにあるのだろう。」等、4つを示している。<br/>【3年 P81】</p> | <p>んな思いからだろう。」「元さんが、「この年になって初めて考えさせられ」たのは、どんなことだったのだろう。」の3つを示している。<br/>【3年 P183】</p> | <p>「法やきまりの意義とは何か、考えたことをまとめてみよう。」「話し合いを通して、法やきまりの意義について考えてみよう。」「姉弟を入園させた元さんの、何が問題だったのだろう。」等6つ示している。<br/>【3年 P99】</p> | <p>せるだろうか。」の2つを示している。<br/>【3年 P107】</p>                               | <p>とは、どのようなことだろう。」「動物園の規則はなんのために定められているのだろうか。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。」「世の中にある法やきまりがどのような視点で定められているのかを考えよう。」の4つを示している。<br/>【3年 P102】</p> | <p>みましょう。」の2つを示している。<br/>【2年 P75】</p>  |
| <p>思考力、判断力、表現力等の育成</p> | <p>【視点】③ 考えを伝え合う活動の工夫<br/>【方法】○ 話し合いを促す示し方及び具体例</p>                   |   |  |   |   |   |  |
|                        | <p>・巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。<br/>【1年 P4～5】</p>   | <p>・巻頭「さあ、道徳を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。<br/>【1年 P4～5】</p>              | <p>・巻頭「道徳の学習を始めよう」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。<br/>【1年 P6～7】</p>                    | <p>・巻頭「道徳科での学びを始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや工夫例を示している。<br/>【1年 P4～5】</p>  | <p>・巻頭「道徳科で学ぶこと 考えること」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。<br/>【1年 P8～9】</p> | <p>・巻頭「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。<br/>【1年 P2～3】</p>  | <p>・巻頭「クラスのみみんなと「道徳授業」を創り出そう」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや具体例を示している。<br/>【1年 P4～6】</p> |

|                 |  |  |  |   |  |  |   |
|-----------------|--|--|--|---|--|--|---|
| 思考力、判断力、表現力等の育成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の終わりの「考えよう」「見つけよう」「ぐっと深める」等に、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年 P33】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の終わりの「学びの道しるべ」に、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年 P15】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の終わりに、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年 P111】</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の「学びを深めよう」に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや工夫例を示している。【1年 P88～89】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の終わりの「深めよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年 P117】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の終わりの「いろいろな見方で考える」等に、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年 P149】</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の終わりに、「memo」の欄を設けている。教材の終わりの「考えよう」「深めよう」に教材における話し合いを促す発問を示している。【1年 P139】</li> </ul> |
|                 | <p><b>【視点】④ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、記入欄の数等及び具体例</b></p>                 |  |  |   |  |  |   |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に、授業の取組や心に残った教材等を記入するページ「自分の学びをふり返ろう」を設けている。【3回分】【3年 P201～205】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に、一年間で学んできたことをもとにして考えるページ「「よりよく生きる」って、どういうことだろう？」を設けている。【1回分】【3年 P188～189】</li> <li>巻末に、心に残った教材や一番考えさせられた教材等を記入するページ「道徳科の学びを振り返ろう」を設けている。【3回分】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末折り込みに、心に残ったことや1年間の学習の振り返り等を記入するページ「まなびの記録」を設けている。【2回分】【毎時間分】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>別冊「道徳ノート」に、自分の考えや友達の意見等を書く欄を設けている。【教材ごと】</li> <li>別冊「道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業や考えたこと等を記入するページ「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を設けている。【3回分】【3年 P28～40】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に、心に残った言葉や友達や身近な人に伝えたい言葉等を記入するページ「未来への扉」を設けている。【1回分】【3年 P188】</li> <li>巻末に授業での取組や心に残った授業等を記入するページ「学びの記録」【3回分】と、「学びのメモ」【毎時間分】を設けている。【3年 P189～195】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に、授業での取組や心に残った授業等を記入するページ「学習の記録」【3回分】と、「1年間の学習の記録」【1回分】を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に、自分自身が思いついた「ウェルビーイング」のキーワードを書く欄「ウェルビーイングカード」を設けている。【1回分】【3年 P164】</li> </ul>        |

|   |  |  |  |   |   |   |   |
|---|--|--|--|---|---|---|---|
| 主体的に<br>学習に取り<br>組む工夫   | <p><b>【視点】⑤ 問題解決的な学習を取り入れた工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 問題解決的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程</b></p> |  |  |   |   |   |   |
|   | <p>・「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【2年 P92】</b></p>       | <p>・教材文の終わりの「学びの道しるべ」に、学習過程の例を示している。<br/><b>【2年 P101】</b></p>                    | <p>・教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【2年 P49～50】</b></p>                                    | <p>・「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【2年 P74】</b></p> | <p>・「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【2年 P13】</b></p>      | <p>・「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【2年 P94～95】</b></p> | <p>・教材文の終わりの「考えよう」「深めよう」に学習過程の例を示している。<br/><b>【2年 P130】</b></p> |
| <p><b>【視点】⑥ 体験的な学習を取り入れた工夫</b></p> <p><b>【方法】○ 体験的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程</b></p>    |  |  |  |   |   |   |   |
| <p>・「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【3年 P142、143】</b></p> | <p>・「やってみよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【3年 P107】</b></p>    | <p>・「チャレンジ」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【3年 P144】</b></p> | <p>・「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【3年 P112～113】</b></p> | <p>・「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【3年 P61】</b></p>    | <p>・「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。<br/><b>【3年 P12～13】</b></p> | <p>・教材文の終わりの「考えよう」「深めよう」に学習過程の例を示している。<br/><b>【3年 P11】</b></p>                      |   |

|                     |  |   |   |  |   |  |  |
|---------------------|--|---|---|--|---|--|--|
| 内容の<br>構成・配列・<br>分量 | <p><b>【視点】⑦ 分量や教材の数</b></p> <p><b>【方法】○ 判型、ページ数及び4つの視点ごとの教材数</b></p>                                       |   |   |  |   |  |  |
|                     | <p>・分量は、AB判 202～210 ページある。</p> <p>・教材数は、Cが 42 教材、その他は、A21、B21、D21 と配分されている。</p>                            | <p>・分量は、B5判 202～210 ページある。</p> <p>・教材数は、Cが 39 教材、その他は、A23、B21、D22 と配分されている。</p>                 | <p>・分量は B5判変型 192～200 ページある。</p> <p>・教材数は、Cが 41 教材、その他は、A29、B25、D28 と配分されている。</p>                 | <p>・分量は、B5判 178～194 ページと別冊 42 ページ、合計 220～236 ページある。</p> <p>・教材数は、Cが 43 教材、その他は、A20、B20、D22 と配分されている。</p> | <p>・分量は、AB判 190～198 ページある。</p> <p>・教材数は、Cが 38 教材、その他は、A24、B21、D22 と配分されている。</p>   | <p>・分量は、B5判 194 ページある。</p> <p>・教材数は、Cが 36 教材、その他は、A24、B21、D24 と配分されている。</p>                      | <p>・分量は、AB判 164～172 ページある。</p> <p>・教材数は、Cが 42 教材、その他は、A24、B20、D16 と配分されている。</p>  |
| 内容の<br>構成・配列・<br>分量 | <p><b>【視点】⑧ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</b></p> <p><b>【方法】○ いじめ問題の扱い及び教材等の例</b></p>                                 |   |   |  |   |  |  |
|                     | <p>・いじめの問題をテーマとした3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめのない世界へ」を設け、目次に色付けして示し、扉ページを設けている。</p> <p><b>【1年 P22～33】</b></p> | <p>・いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくそう」を設け、目次に色付けして示している。</p> <p><b>【1年 P22～33】</b></p> | <p>・いじめの問題をテーマとした3つの教材でユニット化した「いじめを許さない心について考える」を設け、目次に緑色の下線で示している。</p> <p><b>【1年 P34～46】</b></p> | <p>・いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめと向き合う」を設け、目次に色付けして示している。</p> <p><b>【1年 P28～41】</b></p>        | <p>・いじめの問題をテーマとした複数の教材を特設ページとともに年間を通して配置している。</p> <p><b>【1年P22～31、P42～45、P127、P 158～163】</b></p> <p>・巻頭の「さまざまなテーマで学ぼう」に、「いじめ防止」をテーマとして示すとともに、いじめの問題を扱う教材には、</p> | <p>・いじめの問題をテーマとした3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめ」を考える」を設け、目次に色付けして示している。</p> <p><b>【1年P24～37】</b></p> | <p>・いじめの問題をテーマとした複数の教材を配置している。</p> <p>・巻頭の「さまざまなテーマから考えを深めよう」に、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。</p> <p><b>【1年P36～40、P58～64、P82～87】</b></p> |

|          |   |  |   |   |   |  |   |
|----------|---|--|---|---|---|--|---|
|          |   |  |   |   | 「いじめ防止」マークを使い、該当ページに示している。【1年P22、26、42、158】   |  |   |
| 内容の表現・表記 | <b>【視点】⑨ 巻頭等、巻末等の取扱いの工夫</b><br><b>【方法】○ 巻頭等、巻末等の示し方</b>   |  |   |   |   |  |   |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、各学年、「1年間で学ぶこと」を見開き2ページ、「道徳とは」を4ページで示している。</li> <li>・巻末に、各学年、「教材一覧表」を見開き2ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、各学年「さあ、道徳を始めよう！」を3ページ、「この教科書で学べるテーマ」を1ページで示している。</li> <li>・巻末に、各学年、「内容項目別教材一覧表」を1ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、各学年、「本書で学ぶ皆さんへ」を見開き2ページで示している。</li> <li>・巻末に、各学年、「教材別テーマ一覧」を見開き2ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、各学年、「道徳科での学びを始めよう！」を4ページで示している。</li> <li>・巻末に、各学年、「内容項目別教材一覧」を見開き2ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、各学年、「道徳科で学ぶこと 考えること」を見開き2ページで示している。</li> <li>・巻末に、各学年、「未来への扉」を1ページ設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、各学年、「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」を見開き2ページで示している。</li> <li>・巻末に、各学年、「内容一覧」を1ページで示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、各学年、「さまざまなテーマから考えを深めよう」を見開き2ページ、「クラスのみんなど「道徳授業」を創り出そう」を3ページで示している。</li> <li>・巻末に、各学年、「ウェルビーイングカードとは」を1ページで示している。またウェルビーイングカードを設けている。</li> </ul> |

|   |  |  |   |  |  |
|---|--|--|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年「テーマでふり返ろう」を1ページ、「自分の学びをふり返ろう」「心情円」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年「一年間の道徳科で学んだこと」を見開き2ページ、「道徳科の学びを振り返ろう」「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年「まなびの道具箱」を見開き2ページ、「まなびの記録」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>別冊「道徳ノート」には、各学年、「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年「学びの記録」「学びのメモ」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年「学習の記録」「1年間の学習の記録」を設けている。</li> </ul> |
|---|--|--|---|--|--|

**【視点】⑩ 教材の内容を理解させる工夫**

**【方法】○ マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方及び活用の具体例**

|  |   |   |   |  |  |  |
|--|---|---|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>4つの視点をマークで示しており、「Plus」「つぶやき」「SDGs」「いじめのない世界へ」「いのちを考える」のマークや、「朗読音声」「ワークシート」「Webサイト」「資料」「VR映像」「心情円」「映像」「他教科リンク」等のマークを設定し、二次元コードを示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4つの視点をマークで示しており、「導入の問い」「学びの道しるべ」「ひろば」「やってみよう」「SDGs」「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」「まなびリンク」のマークを設定し、二次元コードを示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4つの視点をマークで示しており、「やってみよう」「チャレンジ」「まなびをプラス」「コラム」「SDGs」「教科」のマークを設定し、二次元コードを示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4つの視点をマークで示しており、「考えてみよう」「自分に+1」「あすへのメッセージ」「視野を広げて」「学びを深めよう」「いじめ」「情報社会」「自立と共生」「環境と未来」「安全な生活」「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」のマークを設定し、二次元コードを示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4つの視点をマークで示しており、「考えよう」「クローズアップ」「深めよう」「キャリア」「情報モラル」「いのち」「多様性」「環境」「家庭連携」「いじめ防止」「消費者教育」「スポーツ」「安全」「伝統文化」「グローバル」「健康」「法教育」「SDGs」「メモ」「!」「?」のマークを設定し、二次元コードを示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4つの視点をマークで示しており、「Thinking」「マイ・プラス」「SDGs」「いじめを考える」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会(2・3年生)」のマークを設定し、二次元コードを示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4つの視点をマークで示しており、「ウェルビーイングカードマーク」を設定し、二次元コードを示している。</li> </ul> |
|--|---|---|---|--|--|--|

